

かっぱ遺跡

発掘調査報告書

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第114集



2003

財団法人 山形県埋蔵文化財センター



かっぱ遺跡

発掘調査報告書

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第114集

平成15年

財団法人 山形県埋蔵文化財センター





調査区全景



遺跡遠景（北東から）





床面検出（竪穴住居ST4 南西から）



地床炉E L311（ST4 北から）



床面出土土器15（ST4 西から）



貼床土（ST4 北から）



覆土内出土土器22・29（ST4 西から）



掘立柱建物 S B 15 (北西から)



柱穴 S P 214 (西から)



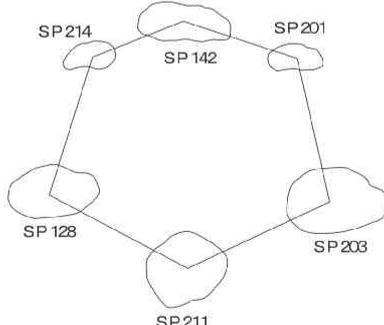
柱穴 S P 142・206 (東から)



柱穴 S P 201 (北東から)



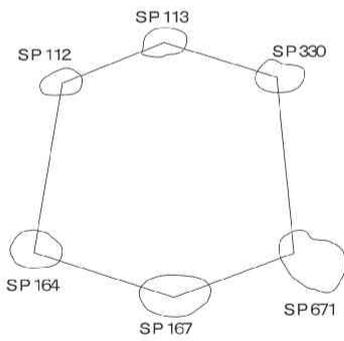
柱穴 S P 128 (東から)



柱穴 S P 203 (北から)



掘立柱建物 S B 16 (北西から)



柱穴 S P 167 (東から)



柱穴 S P 164 (西から)



柱穴 S P 330 (東から)



柱穴 S P 113 (西から)



柱穴 S P 112 (北から)



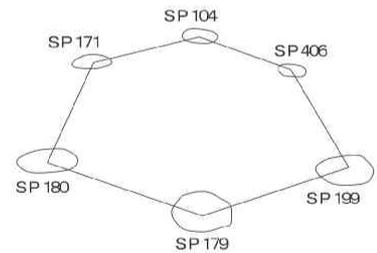
掘立柱建物 S B 17 (北西から)



柱穴 S P 171 (北東から)



柱穴 S P 104 (東から)



柱穴 S P 180 (東から)



柱穴 S P 179 (南から)



柱穴 S P 199 (東から)



掘立柱建物 S B 18 (北東から)



柱穴 S P 672 (北から)



柱穴 S P 360 (西から)



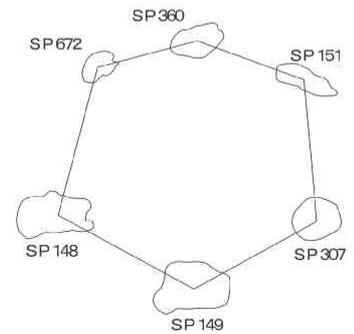
柱穴 S P 151 (北から)

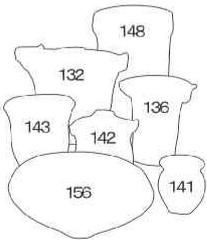


柱穴 S P 148 (東から)

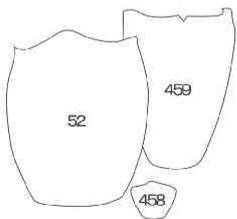


柱穴 S P 149 (南から)

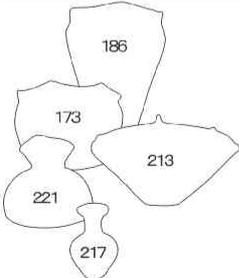




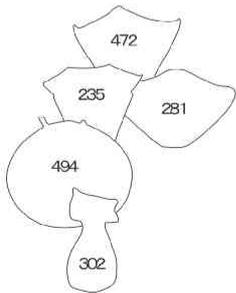
I 群 大木 8 a 式土器



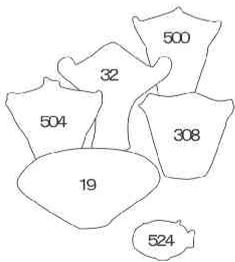
Ⅱ群 南境1式土器



Ⅲ群 南境2式土器



IV群 宝ヶ峯1式土器



V群 宝ヶ峯2式土器



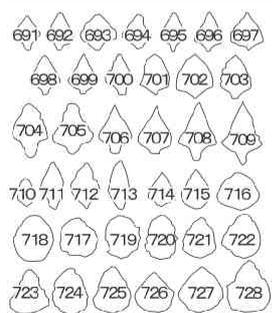
- 605 606 607 608 609 610 611
- 612 613 614 615 617 616 618
- 619 620 621 622 623 624 625
- 626 627 628 629 630 634 632 633
- 631 635 636 637 638 639 640
- 641 642

石鏃 凹基無莖・凹基有莖



- 643 644 645 646 647 648 649 650
- 651 652 653 654 655 656 657 658
- 659 660 661 662 663 664 665 666
- 667 668 669 670 671 672 673 674
- 675 676 677 678 679 680 681
- 682 683 684 685 686 687 688
- 689 690

石鏃 平基有茎



石鏃 凸基有茎・尖基・円基

序

本書は、財団法人山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した、かっぱ遺跡の調査成果をまとめたものです。

かっぱ遺跡は、山形県の北東端に位置する最上郡最上町に所在します。この町は四方を奥羽山脈・神室山地に囲まれた独立盆地で、中央部を最上小国川が西流しています。豊富な森林資源を利用した林業も盛んです。

この度、平成12年度山形県農林水産部の中山間地域総合整備事業(立小路地区)に伴い、工事に先立ってかっぱ遺跡の発掘調査を実施しました。

調査では、主に縄文時代後期の遺構として竪穴住居、掘立柱建物、さらに貯蔵穴と考えられる土坑群が検出されました。ほかに配石遺構、旧河道を利用したゴミ棄て場などもあり、これらの集落を構成する要素が一つの遺跡から発見されたことは、縄文時代の集落を考えるうえで貴重な資料を得ることができたといえます。また、出土した石器は縄文時代の食料生産にかかわるものが多くみられました。石鏃は狩猟に、石皿・磨石・凹石は木の実などの加工に、石錘は漁労にと、当時のかっぱ遺跡周辺が自然豊かであったことを示すものです。

埋蔵文化財は、祖先が長い歴史の中で創造し、育んできた貴重な国民的財産といえます。この祖先の足跡を学び、子孫へと伝えていくことが、私たちの重要な責務と考えます。その意味で、本書が文化財保護活動の啓発・普及・学術研究・教育活動などの一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査においてご協力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

平成15年3月

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

理事長 木村 宰

例 言

- 1 本書は、中山間地域総合整備事業（立小路地区）に係る「かっぱ遺跡」の発掘調査報告書である。
- 2 既刊の年報、調査説明資料などの内容に優先し、本書をもって本報告とする。
- 3 調査は山形県農林水産部の委託により、財団法人山形県埋蔵文化財センターが実施した。
- 4 調査要項は下記のとおりである。

遺 跡 名	かっぱ遺跡
遺 跡 番 号	923
所 在 地	山形県最上郡最上町大字富沢字合羽
調 査 主 体	財団法人山形県埋蔵文化財センター 理 事 長 木 村 宰
受 託 期 間	平成12年4月1日～平成13年3月31日 平成14年4月1日～平成15年3月31日
現 地 調 査	平成12年5月8日～8月23日
調 査 担 当 者	調 査 第 一 課 長 野 尻 侃（県農林水産部関連事業担当） 主任調査研究員 黒坂雅人 調 査 研 究 員 水戸部秀樹（調査主任） 調 査 研 究 員 斉藤健 調 査 研 究 員 菅原哲文 調 査 員 宮地文七

- 5 本書の作成、執筆は水戸部秀樹が、遺物写真撮影・レイアウトは須賀井明子が担当した。
 - 6 委託業務は下記のとおりである。
- 7 出土遺物、調査記録類については、報告書作成終了後すみやかに山形県教育委員会に移管する。
 - 8 発掘調査および本書を作成するにあたり、下記の方々からご協力、ご助言をいただいた。（順不同、敬称略）

山形県農林水産部、山形県教育庁社会教育課文化財保護室、最上教育事務所、最上町教育委員会、安孫子昭二、新井達哉、荒川隆史、安斎正人、石井寛、石川日出志、長田友也、北野博司、木下哲夫、小林達雄、佐川正敏、佐藤宏之、鈴木健太郎、海藤直行、高橋龍三郎、滝沢規朗、竹田純子、巽淳一郎、田中耕作、土肥孝、富樫秀之、富樫泰時、長澤正機、秦昭繁、本間宏、宮尾亨、宮本長二郎、武藤康弘、渡邊裕之

凡 例

- 1 本書で使用した遺構・遺物の分類記号は下記のとおりである。

ST…竪穴住居

SB…掘立柱建物

SK…土坑

SP…柱穴・ピット

SG…旧河道

SX…そのほかの遺構・性格不明遺構

EL…炉跡

EU…埋設土器遺構

- 2 遺構番号は、現地調査段階での番号をそのまま報告書での番号として踏襲した。
- 3 遺構図に付す座標値は、平面直角座標系第X系（日本測地系）により、高さは海拔高で表す。
- 4 本文中の遺物番号は、遺物実測図・写真図版とも共通のものとした。
- 5 基本層序および遺構覆土の色調記載については、1997年版農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版基準土色帖」に拠った。

目 次

I 調査の経緯	1
II 遺跡の立地と環境	3
III 遺跡の概要	9
IV 遺 構	10
V 遺 物	14
VI 調査のまとめ	30
遺物観察表	32
遺構実測図	45 (付図)
遺物実測図	87
報告書抄録	巻末

表

表 1 縄文土器観察表	32	表 3 石器観察表	40
表 2 土偶・耳飾・スタンプ状土製品・土錘・そのほかの土製品・円盤状土製品観察表	39		

図 版

第 1 図 調査区概要図	2	第 26 図 竪穴住居 S T 19	68
第 2 図 向町盆地東部の地形分類図	4	第 27 図 竪穴住居 S T 1004	69
第 3 図 遺跡位置図	7	第 28 図 地床炉	70
遺構実測図			
第 4 図 遺構実測図の割付図	45	第 29 図 地床炉 埋設土器遺構 立石遺構	71
第 5～12 図 遺構実測図 1～8	46	第 30・31 図 掘立柱建物 S B 15	72
第 13 図 旧河道 S G 21 基本層序	54	第 32 図 掘立柱建物 S B 16	74
第 14 図 旧河道 S G 21 断面図 b - b'	55	第 33 図 掘立柱建物 S B 17	75
第 15 図 旧河道 S G 21 断面図 c - c' ・ d - d'	56	第 34 図 掘立柱建物 S B 18	76
第 16 図 旧河道 S G 21 断面図 e - e'	57	第 35 図 掘立柱建物 S B 1006・1007	77
第 17 図 旧河道 S G 21 断面図 f - f'	58	第 36 図 掘立柱建物 S B 1008	78
第 18 図 旧河道 S G 21 断面図 g - g'	59	第 37 図 配石遺構 S X 25 土坑	79
第 19 図 旧河道 S G 21 断面図 h - h'	60	第 38～42 図 土坑	80
第 20 図 竪穴住居 S T 2	62	第 43・44 図 柱穴	85
第 21 図 竪穴住居 S T 3	63	遺構出土の土器	
第 22 図 竪穴住居 S T 4 床面検出	64	第 45 図 土器分類図	87
第 23 図 竪穴住居 S T 4 掘方完掘	65	第 46 図 竪穴住居 S T 2～4	88
第 24 図 竪穴住居 S T 7	66	第 47 図 竪穴住居 S T 4・7・19・1004	89
第 25 図 竪穴住居 S T 9	67	第 48 図 埋設土器遺構 E U 27・509 掘立柱建物 S B 15・16・17・1007・1008 土坑 S K 40・63・64	90

第 49 図	立石遺構 S P482 配石遺構 S X25 土坑 S K41・69……………91
第 50 図	土坑 S K230・232・233・247・251・252・ 258・271……………92
第 51 図	土坑 S K308・361・416・426・488・502・511 ……93
第 52 図	土坑 S K516・614・627 ピット S P156・174・217 ……94
第 53 図	柱穴 S P144 ピット S P219・221・256・268・ 320・372・402・434・438・441・462・498・542 ……95
第 54 図	ピット S P557・650・656 性格不明遺構 S X11・ 24・62・65・70・139 ……96
第 55 図	性格不明遺構 S X222・250・253・286・ 587・646……………97

旧河道 S G21出土の土器

第 56～60 図	I 群 旧河道 S G21……………98
第 61 図	I 群 旧河道 S G21 ピット S P542……………103
第 62・63 図	I 群 旧河道 S G21 ……104
第 64 図	II・III 群 旧河道 S G21 ……106
第 65～69 図	III 群 旧河道 S G21 ……107
第 70～77 図	IV 群 旧河道 S G21 ……112
第 78～81 図	V 群 旧河道 S G21 ……120
第 82・83 図	VI 群 旧河道 S G21 ……124
第 84～90 図	VII 群 旧河道 S G21 ……126
第 91 図	VII・VIII 群 旧河道 S G21 ……133

遺物包含層出土の土器

第 92 図	II 群 遺物包含層 ……134
第 93 図	II・III・IV 群 遺物包含層 ……135

第 94～96 図	IV 群 遺物包含層 ……136
第 97 図	IV・V 群 遺物包含層 ……139
第 98・99 図	V 群 遺物包含層 ……140
第 100 図	VI・VII・VIII 群 遺物包含層 ……142
第 101 図	VII・VIII 群 遺物包含層 出土地点不明土器 ……143

土偶など

第 102 図	土偶 耳飾 スタンプ状土製品 土錘 そのほかの土製品 ……144
第 103 図	円盤状土製品 ……145

石器

第 104～106 図	石鏃……………146
第 107 図	尖頭器 有舌尖頭器 石筥 ……149
第 108 図	搔器 石匙 ……150
第 109 図	石匙 ……151
第 110・111 図	石錐……………152
第 112 図	接合資料 ……154
第 113 図	磨製石斧 ……155
第 114 図	磨製石斧 石錘 ……156
第 115 図	浮子 砥石 磨石 ……157
第 116 図	磨石 凹石 ……158
第 117・118 図	凹石……………159
第 119 図	凹石 石皿 ……161
第 120・121 図	石皿……………162
第 122 図	線刻礫 石刀 石剣 石棒 そのほかの石製品 水晶 球状自然石 ……164
第 123 図	棒状自然礫 ……165

写真図版

巻頭写真 1	調査区全景・遺跡遠景
巻頭写真 2	竪穴住居 S T 4
巻頭写真 3	掘立柱建物 S B 15
巻頭写真 4	掘立柱建物 S B 16
巻頭写真 5	掘立柱建物 S B 17
巻頭写真 6	掘立柱建物 S B 18
巻頭写真 7	I 群 大木 8 a 式土器
巻頭写真 8	II 群 南境 1 式土器
巻頭写真 9	III 群 南境 2 式土器
巻頭写真 10	IV 群 宝ヶ峯 1 式土器
巻頭写真 11	V 群 宝ヶ峯 2 式土器
巻頭写真 12	石鏃 凹基無茎・凹基有茎
巻頭写真 13	石鏃 平基有茎

巻頭写真 14	石鏃 凸基有茎・尖基・凹基
遺 構	
写真図版 1～3	旧河道 S G21
写真図版 4	竪穴住居群・掘立柱建物群
写真図版 5	竪穴住居 S T 2・3
写真図版 6	竪穴住居 S T 7・9
写真図版 7	竪穴住居 S T 1004
写真図版 8	竪穴住居 S T 19・配石遺構 S X25
写真図版 9	地床炉
写真図版 10	地床炉・埋設土器遺構・立石遺構
写真図版 11	掘立柱建物 S B 1006・1007
写真図版 12	掘立柱建物 S B 1008
写真図版 13～18	土坑

写真図版19～20	柱穴	写真図版70	VI群 深鉢
	遺構出土の土器	写真図版71	VI群 鉢・浅鉢・壺
写真図版21	竪穴住居S T 2・3	写真図版72	VI群 壺, VII群 深鉢
写真図版22	竪穴住居S T 3・4	写真図版73～76	VII群 深鉢
写真図版23・24	竪穴住居S T 4	写真図版77	VII群 深鉢・壺
写真図版25	竪穴住居S T 7	写真図版78	VII群 深鉢・鉢
写真図版26	竪穴住居S T 7・19・1004	写真図版79	VII群 深鉢
	埋設土器遺構		VIII群 ミニチュア土器・異形土器
写真図版27	立石遺構S P 482		遺物包含層出土の土器
写真図版28	掘立柱建物・配石遺構SX 25・土坑	写真図版80・81	II群 深鉢・鉢
写真図版29	土坑S K 4 1	写真図版82	III群 深鉢・壺, IV群 深鉢
写真図版30～32	土坑	写真図版83・84	IV群 深鉢
写真図版33	土坑・柱穴・ピット	写真図版85	IV群 深鉢・浅鉢
写真図版34	ピット	写真図版86・87	IV群 壺
写真図版35	ピット・性格不明遺構	写真図版88～90	V群 深鉢
写真図版36・37	性格不明遺構	写真図版91	V群・VI群・VII群
	旧河道S G 21出土の土器	写真図版92	VI群 壺, VII群 深鉢, VIII群
写真図版38～42	I群 深鉢		出土地点不明の土器
写真図版43・44	I群 浅鉢		土偶など
写真図版45	II群, III群 深鉢	写真図版93	土偶
写真図版46～50	III群 深鉢	写真図版94	円盤状土製品・耳飾・スタンプ状土製品
写真図版51	III群 浅鉢213		土錘・そのほかの土製品
写真図版52	III群 浅鉢・壺		石 器
写真図版53	III群 壺220・221	写真図版95	尖頭器・有舌尖頭器・石筥・搔器・石匙
写真図版54～59	IV群 深鉢	写真図版96	石錘
写真図版60	IV群 深鉢・鉢	写真図版97	接合資料・石錘
写真図版61	IV群 鉢・浅鉢	写真図版98	磨製石斧
写真図版62	IV群 浅鉢281	写真図版99	浮子・砥石・磨石
写真図版63	IV群 浅鉢・壺・片口土器・注口土器	写真図版100	凹石
写真図版64	IV群 壺・片口土器	写真図版101	石皿・棒状自然礫
写真図版65	IV群 片口土器302	写真図版102	線刻礫・石棒・石刀・石剣
写真図版66・67	V群 深鉢		そのほかの石製品・水晶・球状自然石
写真図版68	V群 深鉢・鉢・壺		
写真図版69	V群 壺・注口土器・台付浅鉢		
	台部・脚部		

I 調査の経緯

1 調査に至る経過

飯豊山系の山々の沢水を集めた最上川は、山形県内を縦貫するように置賜地方、村山地方、最上地方を蛇行しながら北流し、各地方に肥沃な土地を形成している。また、最上川は最上地方の新庄市南西部で急激に西流し、最上峡を抜けて、庄内地方に広大な沖積平野を形成し、日本海に流れる。

本遺跡が所在する山形県最上郡最上町大字富沢字合羽は、最上地方の北東部、最上町域の中心となる向町盆地を西流する小国川の右岸に位置し、小国川には神室山系の急峻な山々から、鳥出川や、絹出川等の清流が注ぎ込んでいる。これら中・小河川が注ぎ込む急峻な谷間には肥沃な土壌を作り、小区画の水田が営まれている。

昭和50年代になると中心となる向町盆地の小国川周辺の河岸段丘には、水田経営の効率化から水田を広げ、収益を高めるためのほ場整備計画が進められた。このことにより、最上町管内の遺跡分布調査が実施され41ヵ所の遺跡が確認され、ほ場整備事業にかかわり水木田遺跡や、水上遺跡、熊ノ前遺跡などが調査された。その後平成10年代になると、小国川に注ぎ込まれる中・小河川の小区画の水田にもほ場整備計画が策定され、山形県農林水産部では、平成11年度に中山間地域総合整備事業として、遺跡が所在する当地域に同事業の整備計画を(立小路地区)として計画し、計画地域内の遺跡詳細分布調査を県教育委員会に依頼した。これを受けた教育委員会文化財課では、平成11年10月5・6日に事業区域内に試掘トレンチを設定し、遺跡の内容や、文化層までの深度や広がりなどを確認し、事業実施での文化財の保護協議を申し入れた。協議では事業での保護が困難な削平計画であり、記録での保護が求められたことによって調査が計画され、財団法人山形県埋蔵文化財センターに調査の依頼がなされたものである。

ほ場整備計画

調査が開始されるまでには、平成12年4月7日に事業実施事務所である最上土地改良事務所において、事業計画の再聴取を行い、先に報告していた調査面積や、調査経費などの確認と、調査期間、残土置き場、調査事務所設置箇所、仮の水路の切り回しなどを打ち合わせた。調査は当初計画で5月8日から8月8日までの延べ97日間の予定で進めることとし、事前の調査打ち合わせ会を4月26日に地元の立小路公民館で開催した。そこでは事前に調整された調査計画や、出土遺物の予測を約300箱とし、事業範囲内は事後転作との計画が打ち合わされ、県教育委員会、最上町教育委員会、最上町農林課、土地改良事務所、地元地権者代表との共通理解が得られ、5月8日から調査が進められた。

2 調査の経緯

調査開始後、6月初めには表土の除去が進み、遺跡の内容が明らかになると、遺構・遺物の出土が予測を上回ることが確認されたため、調査計画の見直しが必要となった。このことから、県教育委員会に調査状況と今後の調査計画について報告し、県農林部との調整を依頼した。そ

の結果、調査経費は当初どおりとしながらも内訳内部の操作で次年度に一部を振り分けることや、調査員の増員、作業員の増員などで対処することで了解が得られた。しかし、6月後半になると、さらに、遺構・遺物の出土量が増大することが判明し、予定の8月8日までに終了する調査日程が難しい状況となった。そこで、事業実施工程に合わせ調査終了部分を引渡し、終了日を8月23日とすることで了解を受けた。調査は変更日程で進められ、終了までに至った。

参加者 400人

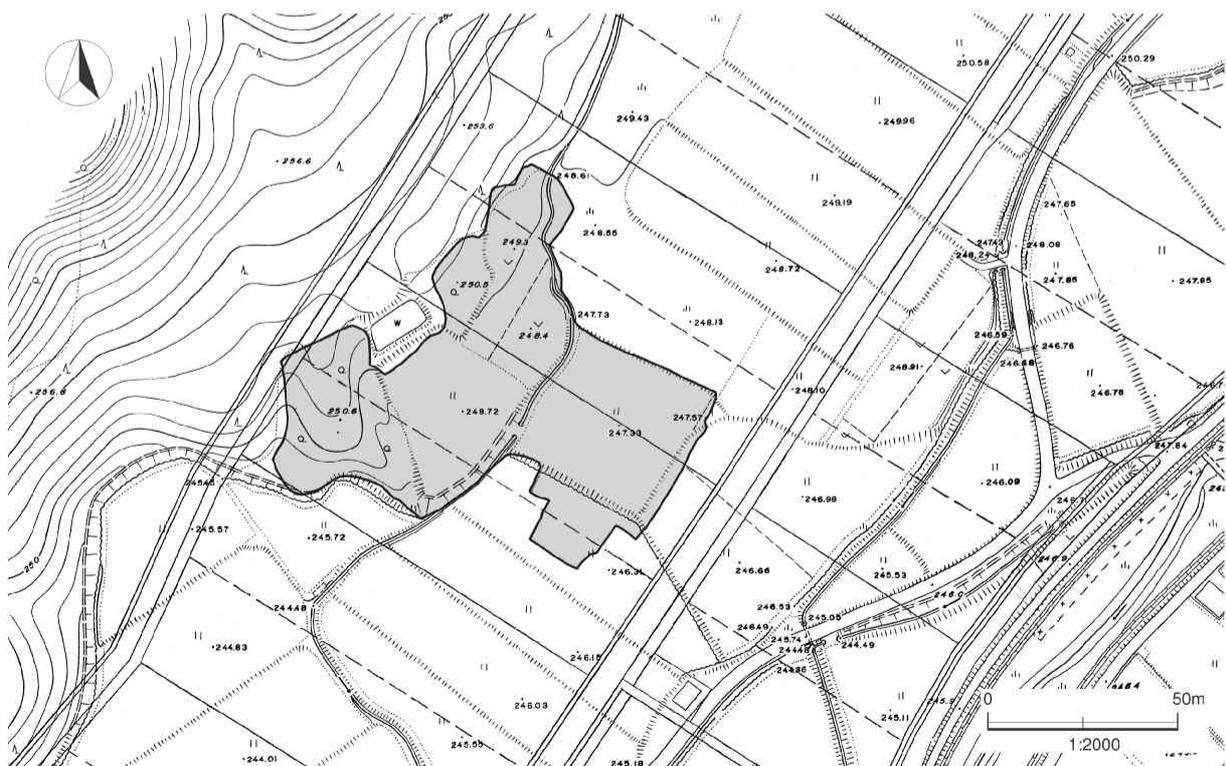
平成12年7月20日には現地で参加者400人を集めた調査説明会が行われた。

3 調査の方法

調査区の表土および旧耕土を重機により取り除き、グリッドを設定した。グリッドの縦軸は座標北で西に22度22分26秒振る方角に設定した。グリッドの間隔は2m四方とした。グリッドの名称とした数字は、左から右へ大きくなる数字と下から上へ大きくなる数字を、それぞれグリッドの横軸と縦軸に沿わせた。その数字の組合せを、縦軸と横軸の交点の第1象眼となる2m方眼のグリッド名とした。

表土、および旧耕土を除去中にも良好な状態で遺物を確認することがあり、特に調査区の西半部は旧耕土中でも大きな攪乱はなかったものと推測された。

その後、遺構検出、遺構精査、そして遺構断面図・遺構平面図の作成、遺構断面・遺構の完掘状況・遺物出土状況の写真撮影などの記録作業を進めた。そして、三度に分けてラジコンヘリを用いた空中写真撮影を行った。遺物の出土地点の記録については、遺構から出土したものは遺構とグリッドと層位により、遺構外から出土したものはグリッドと層位によった。



第1図 調査区概要図

II 遺跡の立地と環境

1 地理的環境

かっぱ遺跡は、山形県最上郡最上町大字富沢字合羽（北緯38度44分55秒、東経140度32分57秒）に位置する。遺跡のある最上町は山形県の北東端にあたり、宮城県と秋田県に接し、地域的には最上地方に含まれる。最上町には平地として向町盆地（別名最上盆地・小国盆地）が存しており、盆地中央を最上川支流の小国川が西流する。最上町内の遺跡はすべて向町盆地内に位置しており、小国川水系に属することになる。

向町盆地は、平地で見ると東西幅約11km、南北幅約1～8kmの奥羽山脈中の小盆地であるが、東隣の鳴子や鬼首と同様にカルデラとして生成したと考えられており、外輪は直径約10km超を測り、噴火の時期は約70万年前と推定されている（向町カルデラの噴出物の多くは新庄・尾花沢盆地に広く分布する）。盆地の四囲は、800～1,300m級の急峻な奥羽山脈・神室山地に囲まれており、カルデラ内の大部分は、裏山と称される緩やかな丘陵地で占められている。丘陵地形は陥没した凹地に周囲から急激に供給された土石流により埋められ、その間に鬼首カルデラの噴出物が堆積し、その後の浸食作用により、300～400mのなだらかな丘陵地形を形成するに至ったと考えられている。

盆地を貫流する小国川は、流路延長約49kmの最上川の支流で、最上町の南東端の標高785mの無名峰に源を発する。上流部は急激な下刻作用で深い峡谷を穿って曲流が著しく、幾つかの段丘を形成する。盆地谷口付近の赤倉温泉（標高250m）まで流下した小国川は、次第に川幅を広げ、谷底を浅くして、盆地東端を南東から北西方向に緩やかに流れるが、向町までの区間では、北東から南西方向に向かってほぼ並行して三つの支流（明神川・鳥出川・絹出川）が直交する。絹出川合流後は流れを西方向に変え、右岸に白川・大横川、左岸に満沢川・杉ノ入沢川などを肋骨状に合わせ、盆地南部の丘陵地帯を浸食しながら7km程直進する。小国川は盆地（盆地底標高150m）を抜けると南西方向に流路を変えて、奥羽山脈の西端に深い峡谷を穿って横切り、舟形町長者原で最上川に合流する。

盆地内の平地は、段丘と谷底平野から構成される。特に小国川右岸や北部の支流沿いには平坦な低位段丘が発達している。低位段丘は白川など支流が形成した扇状地が開析されたものとして、広く分布している。盆地北部には中位・高位段丘も認められるが、これらは丘陵の山脚の先端に細長く突き出す形で分布するのみである。また盆地南部には起伏が大きく開析の進んだ台地（火砕流台地）が展開している。

かっぱ遺跡は、小国川支流鳥出川右岸の山裾から河成段丘（低位段丘）にかけて営まれた遺跡である。鳥出川によって開削された谷は狭く、幅は約150mほどで、山間低地としての立地条件にある。遺跡は合流点から2.4kmほど溯った地点にあり、鳥出川から北西へ約100mの距離、現河床との比高差は約5mを測る。

小国川は最上川水系を代表する清流であり、サケ、マス、ハヤ、アユ、カジカなど豊富な水

「第2図 向町盆地東部の地形分類図」参照

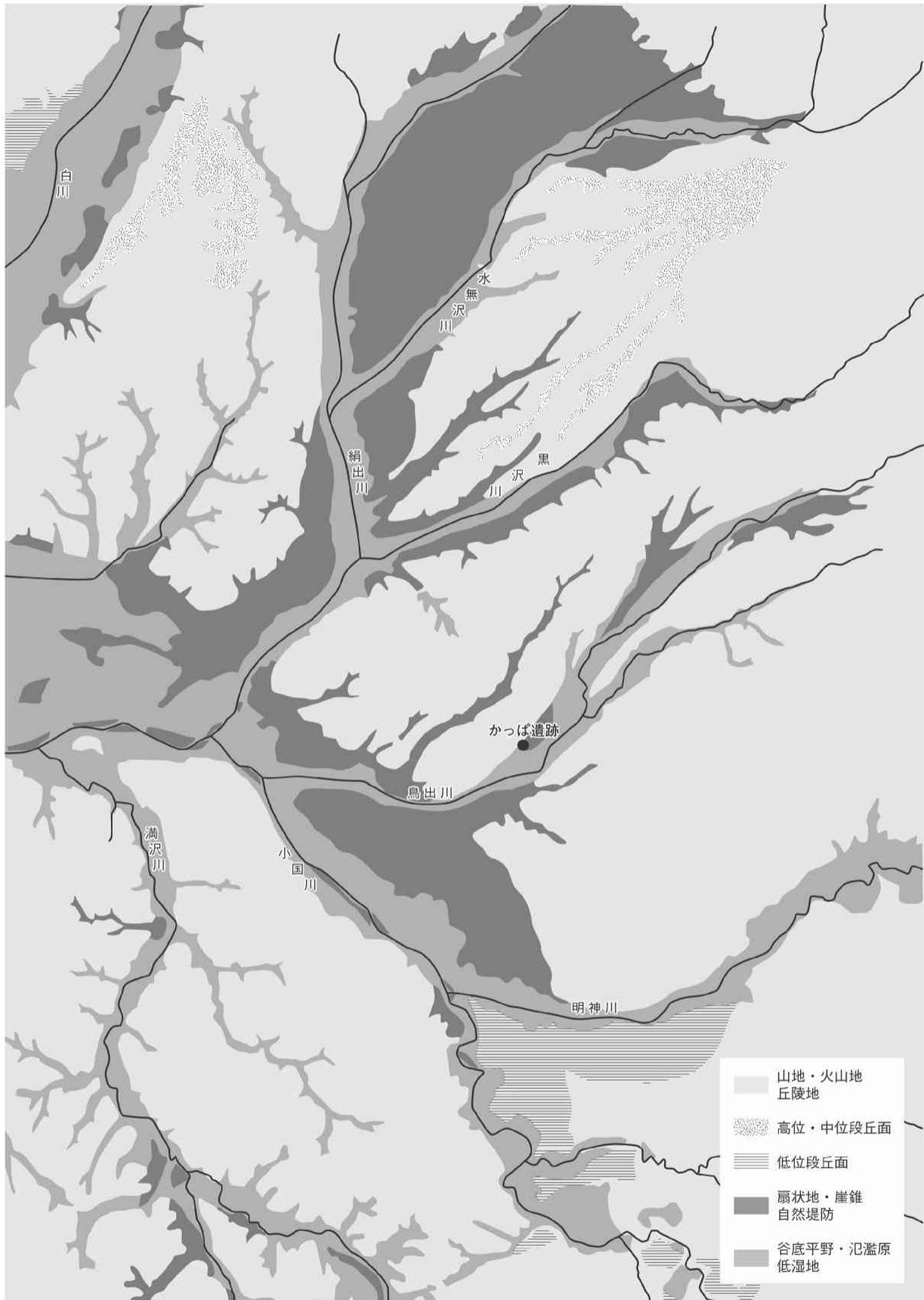
最上地方

向町盆地

向町カルデラ

小国川

鳥出川



第2図 向町盆地東部の地形分類図 (1 : 50,000)

産資源に恵まれている。今日においては溪流釣りが盛んな河川となっているが、縄文時代においても当然これらの資源が重要な食料源となっていたものと推定される。

盆地東端の明神川に沿って溯ると、奥羽山脈を横切る標高350mの横谷（おうこく さかいだごえ境田越）に至る。境田越
勾配が緩く、古くから宮城県方面との交通の要衝となってきたが、現在は国道47号線とJR陸羽東線が並走している。しかし東方の標高が低いため、東（太平洋側）からの気流が比較的流入しやすく、夏季にオホーツク高気圧が発達した場合には、ヤマセと呼ばれる冷涼気団が流れ込み、冷害を引き起こしやすい環境にある。また冬季の積雪が多く日照時間は少なく、融雪時期が遅い地域でもある。

2 周辺の遺跡

「第3図 遺跡位置図」参照

かっぱ遺跡が位置する向町盆地内には、現在52カ所の遺跡が周知されている。時代別でみると、旧石器時代末期1カ所、縄文時代34カ所、弥生時代1カ所、平安時代3カ所、中世16カ所で、中世は全て城館跡である（複数時期にわたる遺跡については、それぞれに組み入れて遺跡数をカウントした）。

最上町の遺跡の分布調査は1962年頃に初めて実施された。文化財保護委員会（当時）の全国規模の遺跡台帳作成の要請によるもので、最上町内では縄文時代の遺跡が18カ所登録された。更に1972年さあべい同人会による分布調査が実施され、新たに遺跡が追加された。かっぱ遺跡については報告の中では触れられなかったが、分布図の中で図示されており、遺跡の初出例として特記されるものであろう。1974年県教委の要請により、長沢正機・本間敬義氏を中心に最上町内の「埋蔵文化財包蔵地調査カード」が作成され、それらに基づき『山形県遺跡地図』（1978年）が刊行された。今日における調査・研究の典拠となるものであるが、この調査で最上町内には41カ所の遺跡が登録され、縄文時代は30カ所にのぼっている。かっぱ遺跡は「遺跡番号923」として登録されており、時期は大木8式と新地式の遺跡と記されている。

向町盆地内で最も古い人類の痕跡は、月楯地内で採集された細石刃核である。1960年頃に月楯在住の中学生によって採集されたもので、同地内には水木田遺跡（28）などが所在するが、出土地点を特定するには至っておらず、遺跡としては未詳である。旧石器時代末期に位置づけられるもので、縄文時代以前はこの1例のみである。多数の遺跡が確認されている隣接地域（新庄盆地・宮城県北部）の在り方に比べると、旧石器時代遺跡の僅少さは、カルデラに由来する向町盆地の成因に関係しているとも考えられる。

さいせきじんかく細石刃核

*遺跡名の後の括弧内数字は「第3図 遺跡位置図」の番号に対応する。

縄文時代の遺跡は、小国川右岸や支流沿いの河成段丘・山裾に多く分布している。時期が判別している遺跡は、早期1カ所、前期5カ所、中期12カ所、後期14カ所、晩期11カ所で、中期以降に遺跡数の増加と遺跡規模の大型化が認められる。

主な支流で遺跡をみていくと、明神川沿いには中～晩期の狐塚遺跡（43）と中期の長原遺跡（44）が存する。前者は分布範囲が広く約50,000㎡に及んでおり、後者は水田化され遺跡の規模は不明である。

明神川

かっぱ遺跡が位置する鳥出川沿いでは、上流部に油子沢遺跡（25）や中首遺跡（32）、米入遺跡（33）が存する。いずれも後・晩期の遺跡で、特に油子沢遺跡は発達した舌状台地の先端部にあって、水田化に際し後・晩期の遺物が多数出土したとされている。またかっぱ遺跡の北

鳥出川

東に隣接する大沢口遺跡（42）も後期中葉の遺跡であり、かっぱ遺跡と一体の遺跡であったと推察される。

絹出川 絹出川沿いには、一本杉北遺跡（6）、材木遺跡（11）、水上遺跡（23）などが存する。材木遺跡は、1973年町教委によってトレンチ主体の発掘調査が実施された。調査では晩期大洞BC～A'式の土器や土偶などの土製品、石鏃などの石器が多数出土し、地床炉の痕跡も認められており、晩期全般にわたる有力遺跡であったことが判明している。水上遺跡は、1976年と1980年の2度にわたって県教委によって発掘調査が実施された。調査では中期の堅穴住居跡1棟、後期前葉の堅穴住居跡12棟が検出され、そのほかに前期大木6式や晩期大洞BC～C2式の土器が出土した。山形県内では数少ない後期前葉主体の遺跡として注目されるが、堅穴住居跡は不整楕円形・方形プランを呈しており、円形プランを主体とするかっぱ遺跡とは対照的な在り方を示している。

白川 白川沿いには、げんだい遺跡（13）が存する。げんだい遺跡は、1987年県教委によって発掘調査が実施された。調査では中期と晩期の埋設土器群が検出され、後期後葉～大洞A2式までの連綿とした生活の痕跡が認められた。

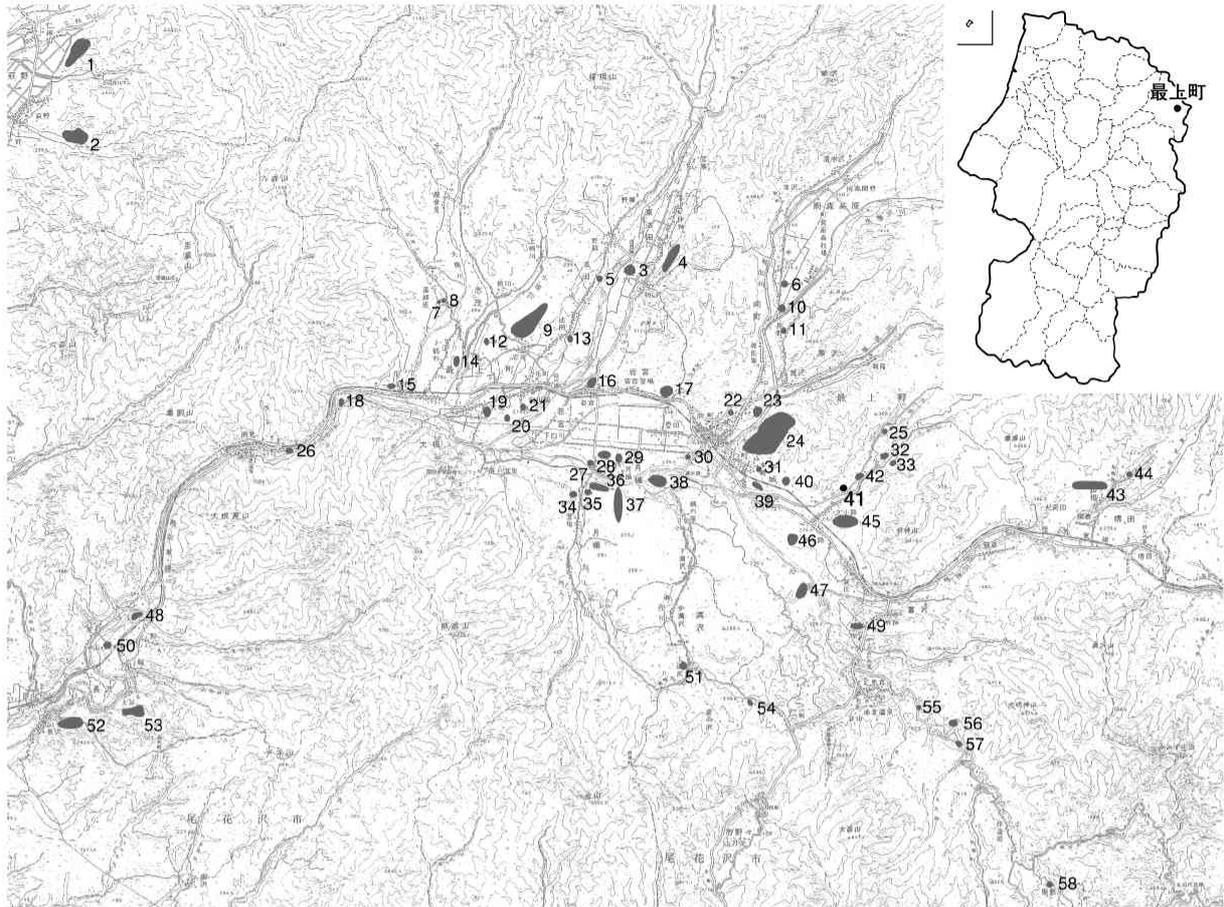
大横川 大横川沿いには、狐穴口遺跡（8）、高すず遺跡（7）が存する。二つの遺跡は小さな谷川で遮られているが、本来は一体の遺跡と捉えるべきであろう。晩期大洞BC～C2式の土器や石棒、石皿などが採集されている。

小国川本流域 小国川本流域でみると、上流域では狭小な段丘上に荒沢遺跡（55）、へそ岩遺跡（56）、菅の平遺跡（57）が存する。いずれも後・晩期の遺跡であるが、後二者では比較的多くの遺物が採集されており、規模はいずれも5,000㎡と推定されている。更に上流には屋敷平遺跡（58）が存するが、早期の可能性が指摘されている。

盆地中央の小国川右岸の河成段丘には熊の前遺跡（30）と水木田遺跡（28）、白川との合流点付近には宮の下遺跡（20）と森の越遺跡（21）、小国川左岸の杉ノ入沢川との合流点には楯の裏遺跡（35）が存する。

水木田遺跡 熊ノ前遺跡（30）は1977年県教委によって発掘調査が実施された。調査では中期大木7b～8a式の堅穴住居跡3棟が検出されており、西方1.5kmに位置する水木田遺跡とは時期的に並行の関係にある。水木田遺跡（28）は1978年県教委による発掘調査が実施された。調査では堅穴住居跡8棟や土器捨場が検出され、大木7b～8a式の完形土器が多量に出土した。遺物の散布範囲は90,000㎡に及んでおり、向町盆地では最大規模の集落跡であったことが判明している。宮の下遺跡（20）は1985年県教委によって発掘調査が実施された。調査では後期中葉の堅穴住居跡4棟と溝状遺構が検出され、かっぱ遺跡とは時期的に並行の関係にある。楯の裏遺跡（35）は1985年町教委によって発掘調査が実施された。調査では後期前葉の土器と住居跡と思われる遺構が検出された。

遺跡分布を時期別にみると、中期では盆地中央の水木田遺跡を中心として、各支流域への遺跡の分散が認められる。後期では遺跡の分布が小国川右岸にほぼ限られるようになり、鳥出川・絹出川・白川流域に遺跡が集中する。特に後期中葉には鳥出川沿いのかっぱ遺跡（41）、絹出川沿いの水上遺跡（23）、白川沿いの宮の下遺跡（20）といった有力遺跡が併存しており、狭小な盆地ながら8遺跡を数えることができる。晩期になると盆地中央の小国川右岸の河成段丘



国土地理院発行 5 万分の 1 地形図「新庄」・「鳴子」を使用
第 3 図 遺跡位置図 (1 : 150,000)

番号	遺跡名	時代	種別	番号	遺跡名	時代	種別
1	小倉館	戦国	城館跡	30	熊の前遺跡	縄文 (中期)	集落跡
2	落館	中世	城館跡	31	本城遺跡	縄文	集落跡
3	楯の内		楯	32	中首遺跡	縄文	集落跡
4	東法田の館		館	33	米入遺跡	縄文	集落跡
5	新田遺跡	縄文	集落跡	34	まないた原遺跡	縄文 (中期)	集落跡
6	一本杉北遺跡	縄文	集落跡	35	楯の裏遺跡	縄文	集落跡
7	高すず遺跡	縄文	集落跡	36	物見の楯		楯
8	狐穴口遺跡	縄文	集落跡	37	月楯		楯
9	志茂の手楯		館	38	赤館		館
10	山野神遺跡	縄文	集落跡	39	要害館		館
11	材木遺跡	縄文	集落跡	40	平沢遺跡	縄文	集落跡
12	水の手楯	室町	城館跡	41	かっぱ遺跡	縄文	集落跡
13	げんだい遺跡	縄文・弥生前期	集落跡	42	大沢口遺跡	縄文・平安	集落跡
14	鶴杉遺跡	縄文	集落跡	43	狐塚遺跡	縄文	集落跡
15	戦沢遺跡	縄文	集落跡	44	長原遺跡	縄文	集落跡
16	太郎田館		館	45	富沢館・富沢楯	室町	城館跡
17	半兵衛館		館	46	氏家館		館
18	立石遺跡	縄文	集落跡	47	比丘尼館		館
19	小館		館	48	フン館		館
20	宮の下遺跡	縄文	集落跡	49	万騎の原遺跡	縄文	集落跡
21	森の越遺跡	縄文・平安	集落跡	50	野田遺跡	縄文	集落跡
22	愛宕前遺跡	平安	集落跡	51	小松原 a 遺跡	縄文	集落跡
23	水上遺跡	縄文 (前期～晩期)	集落跡	52	古館		
24	小国城		館	53	葦館		館
25	油子沢遺跡	縄文	集落跡	54	小松原 b 遺跡	縄文	集落跡
26	瀬見遺跡	縄文	集落跡	55	荒沢遺跡	縄文	集落跡
27	堀の畑		館	56	へそ岩遺跡	縄文	集落跡
28	水木田遺跡	縄文	集落跡	57	菅の平遺跡	縄文	集落跡
29	曾楯		楯	58	屋敷平遺跡	縄文	集落跡

からは遺跡が姿を消し、合流点から2～3km溯った鳥出川・絹出川・白川・大横川沿いの河成段丘上に有力遺跡の規則的な配置が認められる。即ち鳥出川には油子沢遺跡(25)、絹出川沿いには材木遺跡(11)と水上遺跡(23)、白川沿いにはげんだい遺跡(13)、大横川沿いには狐穴口遺跡(8)と高すず遺跡(7)であるが、少なくとも大洞BC～C2式までは併存形態が存していたと推定される。それぞれの河川沿いに生活領域が形成されていたのか、資源の消費を適正規模に押さえるための移動の結果であったのかは判然としないが、興味深い遺跡分布の在り方である。

げんだい遺跡 弥生時代では、げんだい遺跡(13)で弥生時代前期の甕や鉢の小片が報告されている。細片のみで詳細は判然としないが、報告の通りとすれば向町盆地では唯一の資料であり、継続期間の長い遺跡であったと想定される。なお報告書の中で弥生上器として報告された完形の甕と蓋形土器については大洞C2～A式に帰属するものであり、訂正を要する。また立小路地内からは弥生時代と推定される石鍬が採集されている。

上記のように、狭小な盆地ではあるが縄文時代の中期から晩期にかけては多くの遺跡が知られている。向町盆地が繁栄を極めた背景には、小国川の水産資源と背後に聳える山々の資源に恵まれていた点が挙げられるが、宮城県方面との中継地点としての役割も無視できない要因であったと思われる。しかし弥生時代から平安時代までは遺跡が途切れているのは、当該域が冷害の影響を受けやすい地理的条件により水稻耕作などの新たな生業形態には適さなかったためと推察される。

III 遺跡の概要

1 基本層序

調査区の西半部は隣接する山の裾部分である。調査前の現状が畑地ということもあり、大きな削平を受けず遺物包含層・遺構とも遺存状態は良好だった。ただしその西半部でも北端部と南端部は遺物・遺構とも確認できたのはわずかであった。つまり、北端・南端の遺構・遺物の希薄な部分が遺跡の範囲を示しているものと考えられる。また、西半部の南側の調査区外は大きく削平されており水田になっている。

遺跡の範囲

東半部も本来は鳥出川に向かいなだらかに傾斜する山裾であったはずだが、現状は水田であり、すでに一度削平を受けている状態であった。ここには南流する旧河道SG21が存在しており、多くの遺物を出土した。基本層序はこの旧河道SG21の北端と南端を含む調査区壁面（第14図 旧河道SG21断面図 b-b' および第19図 旧河道SG21断面図 h-h'）で確認した。

調査区は遺跡の範囲を確認しながら一部拡張したが、東半部の北側・東側・南側ともやはり削平を受けている状態であり、遺構・遺物ともほとんど確認できなかった。

地山の状態は遺構のない69-58グリッド部分にトレンチを設定して確認した（第13図 旧河道SG21 基本層序）。断面図によると西側に向かいなだらかに傾斜している状況が確認できる。第四紀更新世から完新世の半固結堆積物、一刃層にあたる（山野井1998）。このトレンチから遺物の出土はない。

2 遺構と遺物の分布

遺構は調査区西半部で竪穴住居、掘立柱建物、土坑、ピットなどが多く確認された。調査前の現状が畑地で遺存状態が良い部分にあたる。遺物も遺物包含層から相当量出土した。遺構からの出土は少ないが、竪穴住居ST3・4などの遺存状態の良い遺構からは比較的多く出土している。

調査区東半部は、その面積の半分ほどが旧河道SG21にあたる。掲載した遺物総数964点中572点がこの遺構から出土したものである。旧河道SG21の埋没前および埋没過程で廃棄されたと考えられる出土状態のものと、埋没後に掘り込まれた遺構内から出土したと考えられるものがある。ただし、埋没後に掘り込まれた遺構を認識するのは、土色などの差異が不明瞭なため困難であり、旧河道SG21上で遺構を検出することは、一部を除いて行わなかった。

572/964

調査区全体で倒木痕と考えられる遺構が多く確認された。遺物包含層中の遺物を多く含んでいるため、調査の対象にしたが、記録などは掲載しない。削平を受け、遺物包含層が確認できなかった地点においても、倒木痕の中からは黒色シルトと遺物を確認することができた。削平を受けなければ、さらに多くの遺構・遺物が存在したことを裏付けるものである。

IV 遺 構

検出した遺構は数知れないがその中でも重要なものを報告する。文章中で遺構の時期を表す目安として、次章で示した土器分類を用いて記述している。詳しくは次章を参照されたい。

1 竪穴住居

確認できた竪穴住居はST2・3・4・7・9・19・1004の7棟である。遺構実測図では、ほかにも壁柱穴のみが円形に残る竪穴住居が多く見受けられる。おそらくこれらも掘り込みの浅い竪穴住居の残存部なのであろうが、遺存状態が悪く、詳細な調査はできなかった。

ST2 (第20図) 掘り込みは浅く深いところでも15cm程度だが、明確に円形のプランが確認された。規模は直径3.9m。主柱穴は明確ではないが、可能性のあるものをエレベーション図に示した。土器埋設炉EL266を有する。埋設された土器1は深鉢の底部のみの資料である。ほかの出土遺物は覆土からのものであるが、V群とした加曾利B2式併行期の土器2が最新である。

ST3 (第21図) 遺存状況の良好な円形の竪穴住居で、深さは50cmを測る。規模は直径4.8m。中央に地床炉EL212を有する。この地床炉を挟んだ位置に柱穴が認められる。覆土内からは多くの遺物が出土したが、V群の遺物が最も新しく、主体を占める。

ST4 (第22・23図) 第22図には床面での検出状況を図示した。直径6.6mの遺存状況の良好な円形の竪穴住居で、深さは60cmを測る。中央に地床炉EL311をもつ。地床炉の周囲には炭が分布する。貼床は黄褐色粘質土で厚さ10~25mm、床面全面に認められる。床面から出土した土器15・16はV群である。覆土内出土の土器もV群主体である。

床面のV群土器
東側に入口施設

第23図には貼床を除去した掘方の完掘状況を図示した。入口が東側に設けられている。住居の北半部は壁柱穴が二重に巡ることから、一度拡張を行ったと考えられる。断面d-d'とe-e'に主柱穴と入口施設の柱穴のエレベーション図を示した。e-e'の柱穴は規模が小さい。柱穴SP290からはIV群の鉢18が、入口施設の柱穴SP430からはV群の深鉢17が出土した。

ST7 (第24図) 旧河道SG21の西岸で検出した。SG21埋没後に構築された住居である。円形を呈し、残存部は浅い。規模は3.5mである。地床炉EL8をもつ。床面からV群の深鉢32が出土した。断面図では壁柱穴は見られるが、主柱穴は判然としない。

ST9 (第25図) 残存部は浅く、円形を呈する。直径は4.2mを測る。中央部を土坑に切られており、炉跡は確認されなかった。主柱穴はSP296・298・675と断面b-b'に見られる19~22層であると考えられる。壁柱穴も認められる。

覆土からは、図示していないがV群の48に類似した連続する弧線文を施す土器片が出土している。

ST19 (第26図) 同じく遺存状態が良くない円形の住居。北西側にわずかに掘り込みが残るのみである。主柱穴の可能性を持つものをエレベーション図に示したが、判然としない。炉跡も確認されない。遺物はIV群の土器33のほか図示していないV群の土器片がある。

S T 1004 (第27図) 削平により西半部を失った竪穴住居。プランは方形と見られるが、明瞭でない。中央部に地床炉E L 649がある。断面b - b'の住居の掘方と考えられる4層からは819～826を始めとする69点の剥片が一括して出土した。土器はV群の34などが覆土から出土した。

埋納された剥片

2 地 床 炉 (第28・29図)

E L 6・22・29・31・34・534・535・536・579・584・588・613の単独で検出した地床炉をまとめた。周囲では住居を確認できなかった。また屋外炉の可能性もある。E L 6は大型の地床炉である。4層は炉以前の土坑。隣接する配石遺構S X 36は拳大の石を並べたものである。互いの関連性については不明である。ほかの地床炉についても規模はさまざまであるが、周囲が強く熱を受け赤化しているものである。

3 埋設土器遺構 (29図)

E U 27とE U 509の2基を検出した。いずれもピットに土器を正位に埋設したものと考えられるが、土器37・38とも大きく欠損しているため時期的な特徴はつかめない。

4 立石遺構 (29図)

S P 336とS P 482の2基を検出した。ピットに棒状の石を埋設し立てたものである。石自体に加工は施されないが、石棒としての性格を持つものと考えられる。S P 482からはV群の土器48が出土している。

5 掘立柱建物

検出した7棟は、いずれも6基の柱穴を六角形に配置する。柱穴はほかにも多数検出しており、棟数はさらに多いはずだが、実際に組むことができたのはここに記載するものだけである。柱穴底面の柱が載った部分は白色粘土化しており、明確に柱位置を確認できるものが多かった。柱間は桁行・梁行ともにすべて一間である。建物内部の施設・構造に関する遺構は検出されなかった。

明確な柱痕跡

S B 1006・1008を構成する柱穴は、ほかの掘立柱建物の柱穴に比べ明らかに小さい。柱間はやや短い、大きな違いではない。建物の重量が柱の太さなどに影響するとすれば、建物の高さ、あるいは構造が複数タイプ存在したものと考えられる。

S B 15 (第30・31図) 柱穴S P 128・214・142・201・203・211から成る。柱間は桁行4.1m、梁行3.8m、棟持柱¹⁾どうして6.6mである。建物の方位は北で西に70度50分14秒振れる。柱穴底面の高さは一定ではない。柱痕跡の径は25～35cmである。S P 203からIV群の土器39が出土している。S P 202・214では柱の抜取が認められる。S P 198・206・143・202は建物を構成できなかった柱穴である。

S B 16 (第32図) 柱穴S P 167・164・112・113・330・671から成る。柱間は桁行3.7m、梁行3.3m、棟持柱で5.5mである。方位は北で西に72度37分15秒振れる。柱穴底面の高さは一定ではない。柱痕跡の径は15～25cmである。S P 112からIV群の土器40が出土している。S P 108・204は柱位置がS B 16とは合わず、建物を構成できなかった柱穴である。

S B 17 (33図) 柱穴 S P 179・180・171・104・406・199から成る。柱間は桁行3.8m、梁行4m、棟持柱間で6.6mである。方位は北で西に64度44分31秒振れる。柱穴底面の高さは一定ではない。柱痕跡の径は10~30cmである。S P 199から注口土器の注口部41が出土するが、時期的な特徴に欠ける。

S B 18 (第34図) 柱穴 S P 151・307・149・148・672・360から成る。柱間は桁行4.1m、梁行4.2m、棟持柱間で7mである。方位は北で東に54度57分49秒振れる。柱穴底面の高さはほぼ一定である。S P 672では白色粘土化した柱痕跡が2ヵ所確認された。柱を付け替えたのか、あるいは別の建物の柱穴であろうか。柱痕跡の径は20~35cmである。時期的な特徴を表す遺物は出土していない。

S B 1006 (第35図) 柱穴 S P 663・658・659・660・661・662から成る。柱間は桁行3.5m、梁行3.1m、棟持柱間で4.6mである。方位は北で西に70度29分15秒振れる。柱穴底面の高さは棟持柱がほかに比して低い。時期的な特徴を表す遺物は出土していない。

S B 1007 (第35図) 柱穴 S P 624・551・561・580・642・318から成る。柱間は桁行2.8m、梁行3.2m、棟持柱間で5.4mである。方位は北で西に11度8分57秒振れる。柱穴底面の高さはほぼ一定である。S P 561からIV群の鉢42が出土する。

S B 1008 (第36図) 柱穴 S P 628・631・629・630・619・617から成る。柱間は桁行3m、梁行2.6m、棟持柱間で5.9mである。方位は北で西に29度22分27秒振れる。柱穴底面の高さはS P 630がほかよりやや低い。S P 619からIII群の深鉢43が出土する。

6 配石遺構S X 25 (第37図)

堅穴住居S T 4に隣接して検出された配石遺構である。住居の入口施設の上層に構築されたものであり、住居と直接的な関わりはない。人頭大の石を同心円状に配する。北端、東端部分は攪乱されており、本来の規模、形態は分からない。中央部のみ石が配されていないが、断面図に示したように本来立石として立てられていた石が、倒れたためとも考えられる。配された石の一部は石皿・凹石などの石器を利用している。IV群の深鉢49が出土しているが、S T 4との前後関係から、混入によるものと考えられる。

7 土坑 (第37図~42図)

円形のものについては貯蔵穴であると考えられる。調査区全域から検出された。墓壙と見られるような土坑は検出されなかった。

第37図S K 39・42・47・49は長方形を呈する土坑。S K 39は大型で長軸2.5m、短軸2.2m、深さ0.5mを測る。

貯蔵穴 第38・39図に示した土坑は平面形が円形で、断面形が開口部より内部が大きいフラスコ状を呈しており、貯蔵穴と考えられる一群である。覆土には炭・焼土・地山土・礫・土器・石器などが廃棄されることが多い。S K 230ではV群の深鉢が、S K 232では粗製深鉢が一括して廃棄されている。

第40図には平面形が円形で、断面形が円筒形の土坑を図示した。フラスコ状土坑の上半部が崩落し円筒形になったものも含まれる。S K 424には内部に多数の石が、S K 648には板状石が

廃棄されていた。

第41図・第42図 S K 635までは削平により、断面形がフラスコ状とも円筒形とも判別できないものである。平面形は円形を呈す。S K 41ではⅡ群の土器50～52が底面に敷き詰められた状態で出土した。S K 64ではⅤ群の土器45・46、S K 511ではⅣ群の特徴を有する土器76～78が一括して出土した。

第42図 S K 508は丸底の土坑、S K 103は陥穴であり、底面に逆茂木を立てたピットが見られる。S K 103は位置的にも調査区の北端、集落の本体より外れている山裾部分で検出された。

8 柱 穴 (第43・44図)

ここで述べる柱穴は、堅穴住居、あるいは掘立柱建物などの柱穴なのであろうが、実際にそれらの遺構の要素としては確認されなかったものである。いずれの柱穴も断面で柱痕と掘方が判別できたものである。また、S P 92・95・96・99・107・141・190・334・559では底面に白色粘土化した柱の痕跡が確認された。S P 193では石皿942が、あたかも礎石のように柱痕の下で出土した。

9 旧河道S G 21 (第13～19図)

調査区の東、約100mに南流する鳥出川の旧河道と考えられる。現在は幅約20mの小河川で、兩岸をコンクリートで護岸されている。調査区内で検出された旧河道 S G 21では、砂や礫などの河川堆積物が一時的に層を形成することもあるが、覆土は主に黒色シルトの自然堆積による。S G 21の幅は最大で約28mを測るが、地山面での幅であり、実際の川幅を表すものではない。また、常に一定の幅で河道が存在するのではなく、幾度も流れを変えた後の姿である。概して浅く、河川堆積物も顕著ではないことから、鳥出川が何度も流れを変えた際の一つの河道、つまり氾濫原と考えられる。第1図調査区概要図の等高線が示すように、遺跡は西側の山裾からの傾斜地に営まれたので、S G 21の埋没も山側からの土砂などの流入によって西側から始まったものと考えられる。

S G 21からは多くの遺物が出土している。中期の遺物については70 - 30グリッド付近から一括して出土している。ほかの地点でわずかに出土する中期の遺物を含めて、ほぼすべて S G 21の東岸から、しかも地山付近で出土している。中期段階での S G 21はまだ埋没しておらず、河道として一時的に水が流れることもあったものと考えられる。

後期段階の遺物は S G 21の全域から出土する。この段階ですでに S G 21が完全に埋没していたかどうか確認できないが、埋没後に掘り込まれた遺構もベルトの断面で多数検出している。第15図 d - d' の2層・17～22層のフラスコ状土坑、第16図 e - e' の13～19層の堅穴住居、第17図 f - f' の20～28層の堅穴住居、第24図堅穴住居 S T 7 などである。これらは覆土が黒色シルトの、埋没した S G 21に掘り込まれた遺構であり、平面的に掘り下げるなどの調査は行わなかった。

埋没後は生活面

S G 21全体も覆土を分層して調査はしたものの、埋没後に掘り込まれた遺構が多数あるため、覆土がすでに攪乱された状態であった。上下層での遺物の時期的な差も中期の遺物を除いては認められなかった。

V 遺物

出土した遺物はコンテナ（55×39×14cm）で467箱を数える。石器が100箱、ほかは縄文土器である。数点の近世陶磁器片も出土した。報告するのは縄文土器が548点、土偶19点、耳飾1点、土錘1点、スタンプ状土製品1点、円盤状土製品31点、そのほかの土製品が3点、石器は360点である。縄文土器については遺構ごとに掲載したが、そのほかの遺物については遺物の種類ごとにまとめて掲載する。出土地点については観察表を参照されたい。

1 縄文土器

出土した縄文土器の属する時期は中期中葉、後期前葉・中葉のものがあるが、主体は後期である。ほかは後期後葉に属する土器の破片が2点のみである。実測図は、遺構出土の土器を447点、遺物包含層出土の土器を93点、出土地点不明の土器を8点掲載した。以下この順で内容を記す。実測図は、各遺構ごとに掲載した。旧河道S G 21出土の315点は数が多いため、土器の特徴により時期的な分類を行った順で掲載している。遺物包含層出土の土器も同様である。出土地点不明の土器は最後にまとめた。

土器の分類 土器の分類は次のように行った（第45図土器分類図）。

- I 群 中期中葉の土器群（大木8 a 式）。
- II 群 後期前葉、関東地方における堀之内1式に併行する土器群、南境1式²⁾。
- III 群 後期前葉、堀之内2式に併行する土器群、南境2式。
- IV 群 後期中葉、加曾利B 1式に併行する土器群、宝ヶ峯1式。
- V 群 後期中葉、加曾利B 2式に併行する土器群、宝ヶ峯2式。
- VI 群 無文土器、時期的な分類が困難なため文様をもたない土器を一括した。
- VII 群 粗製土器、時期的な分類が困難なため縄文、条線文のみが施された土器を一括した。
- VIII 群 そのほか上記の分類にあてはまらない土器、後期後葉の土器など。

A 遺構出土の土器

i 竪穴住居出土の土器（第46・47図）

竪穴住居ST 2（1～3） 1は土器埋設炉E L 266に埋設された深鉢の底部付近。文様、底部圧痕とも認められない。強く被熱している。2は波状口縁深鉢の口縁部で縄文帯の太さからV群、3は平口縁深鉢の口縁部、平行沈線が施される、IV群。

竪穴住居ST 3（4～14） 4は口縁部に無文帯、低く幅の広い隆帯上に縄文を施す。体部には磨消縄文により上下が大きく噛み合う弧状文が施される、V群。5は平口縁、6は4単位波状口縁の深鉢、両者とも平行沈線が施されるが、6は口縁部の無文帯が広がり、文様は体部まで下る、IV群。7は平口縁に小突起のつく深鉢、口縁部無文帯の下に隆帯をもつ、V群。8は無文の鉢。9も3と同様の深鉢。10・11は注口土器の注口部と口縁部、V群。12は頸部の長い壺、13・14は粗製土器とした。

竪穴住居 S T 4 (15~29) 床面と柱穴から遺物が出土しており、遺構の年代をつかむ重要な手がかりとなる。15・16が床面出土の土器、共にV群。15は台付深鉢の体部下半、17・21も同様の器形の破片。16は鉢、口縁部に平行沈線と列点状の刺突文、体部の弧線文にも刺突文が沿う。17が柱穴 S P 430出土の深鉢。18は柱穴 S P 290出土の鉢、IV群。19は口縁部が内側に屈曲する平口縁の浅鉢、馬鞍状の突起は第98図504と類似する。口縁部の屈曲部には斜沈線が鋸歯状に施される、V群。20は薄手の鉢、口縁部内面に沈線、外面には幅広の縄文帯、V群。21は3単位波状口縁台付深鉢、波頂部に発達した装飾部が付属するが、欠損している、V群。22と25はV群の注口土器、22は29の粗製深鉢と密着した状態で覆土から出土した。23は小型壺、胴部には磨消縄文の波状文が施される、V群。24は直線的な沈線による渦巻文が施された平口縁の深鉢、V群。26は小型無文の鉢、27は同じく浅鉢。28は撚糸文Rを口縁部には横位に、体部には斜位に施文した粗製深鉢。

床面出土の土器

この住居から出土した土器は覆土・床面にかかわらずV群の土器が主体を占めている。18はほかの土器より古い特徴をもつが、柱穴出土であり、埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

竪穴住居 S T 7 (30~32) 32が床面から出土している。加曽利B 2式に特徴的な器形の3単位波状口縁深鉢、波頂部には装飾が付くが欠損している。口縁部の無文帯は広がり、平行沈線が胴部に施される。平行沈線上にはC字文、逆C字文が施される。また口縁部は肥厚し内湾する。

床面出土の土器

30はIV群の平行沈線を施す鉢、31はボウル形の浅鉢、波状口縁の波頂部の口唇部にはS字状の貼付文が付く。IV群とした。

竪穴住居 S T 19 (33) 波状口縁の波頂部の左側には1点の刺突が施されている、IV群。ほかに図示していないが、前掲21と同様の口縁部の破片資料が出土している。

竪穴住居 S T 1004 (34~36) S T 1004からは3点の破片資料を図示した。34は幅広の縄文帯をもつ平口縁深鉢、V群。36は内面に平行沈線を施された浅鉢、IV群。

ii 埋設土器遺構出土の土器 (第48図)

2点出土した。E U 27出土の37は底部付近のみの資料、網代痕をもつ。E U 509出土の38は体部下半の資料、底部は木葉痕。両者ともに正位で埋設されたため、残存部以上は削平を受け欠損している。

iii 掘立柱建物出土の土器 (第48図)

掘立柱建物 S B 15の柱穴 S P 203から出土した小型の壺39はIV群。S B 16の柱穴 S P 112出土の40は波状口縁で平行沈線の施される深鉢、体部が細く口縁部が大きく開く器形、IV群。41はS B 17の柱穴 S P 199出土の注口土器の注口部。S B 1007の柱穴 S P 561出土の42は平口縁で体部の文様は弧状の磨消縄文だが、小破片でしかも外面の剥離も著しい。ここでは入組文の可能性を想定しIV群に含める。43はIII群の深鉢、S B 1008の柱穴 S P 619出土。東北地方北部の土器型式である十腰内1式の深鉢に類似する器形と文様である。

iv 立石遺構出土の土器 (第49図)

立石遺構ではS P 482出土の土器48を図示した。4単位の波状口縁深鉢で、頸部でくびれる器形をもつ。文様は頸部に連続する弧線文を、体部に平行沈線を施す、V群。

v 配石遺構出土の土器 (第49図)

S X25出土の49を図示する。5条の平行沈線が口縁部に施される波状口縁深鉢、IV群。

vi 土坑出土の土器 (第48～52図)

S K40 (44) 口縁部が内側に屈曲するIV群の浅鉢、口縁部稜線直上に沈線が1条、口唇部に連続する刻目が施される。内外面とも丁寧に磨かれており光沢を有する。

II群の一括資料

S K41 (50～52) S K41からはII群の土器3点を図示した。50は頸部がくびれ、胴部が膨らむ器形で、口縁部は平口縁だが、橋状把手が付く部分のみ緩やかな波状を呈す。また、把手の接合部分などに円形刺突文が施される。51は同じく橋状把手をもち、頸部がくびれる器形だが、胴部は底部へ向かい直線的にすぼむ。口縁部は無文、その下に隆線に連続する刺突を施す鎖状隆線文をもつ。地文は燃糸文R、体部には連続するS字文と縦位に弧状の磨消縄文が施される。52も燃糸文Rを地文とする4単位波状口縁深鉢である。胴部には磨消縄文によるJ字文が施され、また隣の単位の文様はS字連鎖文である。

S K63 (47) 頸部にくびれをもつ粗製土器の深鉢である。くびれ部分のみ地文が磨り消されている。

S K64 (45・46) 45は台部のみの資料であり、器部分は欠損している。縄文のみ施される。46は頸部が緩やかにくびれる平口縁の深鉢、幅広の縄文帯が2本認められる。共にV群。

S K69 (53・54) 53は小型の粗製深鉢。54は口縁部に沈線と連続する刺突が施文される。おそらく壺の口縁部であろう、V群。

V群の一括資料

S K230 (55～57) 55は平口縁の深鉢、頸部でくびれる。くびれ部の沈線を境に上下に文様帯をもち、いずれも波状入組文が施される。上段の文様は簡略化され、下段の波状入組文が2条で構成されるのに対し、1条の沈線で施文されている。56は内外面に赤色顔料が塗布された波状口縁深鉢の口縁部である。文様などの特徴から十腰内2式b類の台付深鉢の可能性が高い。57も十腰内2式b類に見られる台付深鉢と同様の土器の台部であろう。外面に塗布されているのは漆であると考えられる。56・57とも同じ器形の土器の破片であり、同じ遺構からの出土でもあるので同一個体と推測することができる。つまり器部分は赤色顔料で、台部は漆で黒く彩られたと考えることもできるが、残念ながら資料はこの2点だけであり断定できない。3点ともV群。

S K232 (58～60) 3点とも小型の粗製深鉢、60の大きく開く口縁部は無文。

S K233 61は波状口縁の深鉢、口縁部無文、平行する沈線とその間に連続する刺突が施される。最上段の沈線には縄の側面圧痕が沿う。

S K247 (62) II群の小型深鉢の口縁部、波状口縁の波頂部には3条の櫛歯条線によるS字文が施される。

S K251 (63) 地文のみの壺。図は体部上半と底部から図上復元したものである。

S K252 (64) 直線的に外傾する平口縁の深鉢、55に近いが、上段はV字状文、下段は波状文になる、V群。

S K258 (65) 孔が開く浅鉢の口縁部。口唇部に跨る隆線をもつ。さらに口唇部から口縁部内面にかけて矢羽状の刻目が施される。

S K271 (66・67) 66はいわゆる宝ヶ峯型注口土器の破片資料。文様の全体像は不明だが、

半肉彫的手法により曲線文様が施される。外面は丁寧に研磨仕上げされ、黒色で光沢を有する、V群。

S K308 (68・69) 68は口縁部が無文で幅広の縄文帯をもつV群の深鉢。69は口縁部に平行沈線をもつIV群の深鉢。

S K361 (70) 口縁部にコの字状の文様が施された波状口縁深鉢、V群。

S K416 (71・72) 71は壺の口縁部。72は口縁部が強く屈曲し外反するIV群の波状口縁深鉢。波頂部は小突起状で内面に沈線が施文される。外面の口縁部には半截竹管状の工具による刺突文が連続する。

S K426 (73) V群の壺、頸部以上を欠損している。胴上半部の文様は55・64などに関連を有する曲線文様で構成される。また、胴上半部の内面には輪積痕が明瞭に残されており、粘土紐を1本ずつ積み上げた様子が確認できる(写真図版30参照)。

明瞭な輪積痕

S K488 (74) 刷毛目状の条線文が施される粗製土器の口縁部。口縁部の内側にも沈線が1条施文される。外面の口縁部は無文で、横位の沈線以下が縦位の条線文である。

S K502 (75) III群の壺の体部である。3条の沈線による波状入組文が施される。

S K511 (76~78) 76は口縁部が強く外反する波状口縁深鉢、IV群。口縁部には多条沈線、体部には同じく多条沈線によるZ字文、連続刺突文が施される。77は76と同様の器形の粗製土器、口縁部のみ無文。78は77と同様に無文の口縁部をもつが体部が膨らむ器形である。

S K516 (79) 壺の口縁部のみである。口端は無文帯を有する。

S K614 (80~84) 80は平口縁深鉢、文様は64に近い、V群。81は胴上半部に平行沈線を施文する波状口縁深鉢、IV群。口縁部は無文、補修孔が2ヵ所開いている。82も64・80と同様の器形と文様をもつ、V群。83の波頂部は欠損のため明らかではないが、装飾突起が付くものと考えられる。器形は直線的に外傾する波状口縁深鉢、胴上半部と下半部と文様帯が二つに分かれる。上半部の複雑な曲線文には連続刺突文が沿う。十腰内2式b類の台付深鉢に類するものである、V群。84も上下に2段の文様帯をもつ小型の平口縁深鉢。地文はなく2~4条の沈線のみ施文である。

S K627 (85) 緩やかな波状口縁と頸部でくびれる器形の粗製深鉢。頸部の屈曲部のみ縄文が磨り消される。

vii 柱穴・ピット出土の土器 (第52~54図)

S P144 (89) くびれをもつ粗製深鉢で、頸部の屈曲部のみ縄文が磨り消される。

S P156 (86) 無文の鉢。器形は8に近いが、体部の立ち上がりはやや急である。

S P174 (88) 平口縁、頸部のくびれる粗製深鉢。

S P217 (87) 緩やかな波状口縁深鉢の口縁部。口縁部の凹線、刺突などはII群の特徴である。

S P219 (90) 体上半部に平行沈線が施された波状口縁深鉢、IV群。

S P221 (98・99) 98は頸部が強く外反し、波頂部が鋭く伸びる6単位の波状口縁深鉢である。内2単位の波頂部は小突起が付き、内外面に肥厚する器形。補修孔が2ヵ所開く。文様は頸部に波状の磨消縄文、体部には上下に噛み合う弧線文が施される、V群。99は口縁部の小破片、波状口縁の粗製土器である。波頂部の内面に沈線が施される。

- S P 256 (91) 小型の台付深鉢の底部から台部にかけての資料、V群。
- S P 268 (92) 沈線が口縁部直下に1条のみ施文された壺の口縁部。内外面とも磨かれ光沢をもつ。
- S P 320 (93) 76と同様の頸部の強い外反を特徴とする波状口縁深鉢である。文様も多条沈線と刺突で構成される、IV群。
- S P 372 (94) 口縁部が肥厚し、沈線が施される深鉢、IV群か。
- S P 402 (95) 台部の資料、器部分は不明だが、台が付くのはV群に見られる特徴である。
- S P 434 (96) 発達した波頂部の装飾部、32などの口縁部に付く、V群。器面は丁寧に磨かれ、焼成も良く堅緻である。
- S P 438 (97) 口縁部が強く外反する波状口縁深鉢、文様は沈線による、IV群。
- S P 441 (100) 台部のみ、細長い台である。外面は丁寧に磨かれる。
- S P 462 (101) 十腰内1式に近い器形と文様をもつ小型の深鉢、III群。
- S P 498 (102) 内傾する器形、壺あるいは注口土器の口縁部であろう、V群。
- S P 542 (103) 波頂部に断面菱形の装飾部をもつ波状口縁深鉢、口縁部には平行沈線が施文される、IV群。
- S P 557 (104) 口縁部に縄文を施し、頸部を無文とする波状口縁深鉢、V群か。
- S P 650 (105) 100と同様の器形だが、やや大きく、作りが粗い。外面には縄文が施される。
- S P 656 (106) III群の波状口縁深鉢。口縁部と体部に入組文が施される。

倒木痕と考えられるものが多い

viii 性格不明遺構出土の土器 (第54・55図)

- S X 11 (107~112) 107は口縁部が強く外反する波状口縁深鉢、この器形には口縁部に連続刺突を多段に施文するものと、多条沈線を施文するものがあるが、この土器はその両者を左右に分けて施文している。また、波頂部には小突起が付く、IV群。109は短沈線を連続したうえ、多段に施文する、IV群。111は片口土器の片口部、IV群。112は小型の壺、IV群に含める。
- S X 24 (113) 筒型の深鉢の胴部、上下に噛み合う弧線文を2段施す、V群。
- S X 62 (114) 体部上半に最大径をもつ壺、連続するS字文を3単位施す。体部下半にはS字文に対応して3単位の弧線文が配される、IV群。
- S X 65 (115・116) 2点とも口縁部が強く外反し、連続刺突文を施す、IV群。
- S X 70 (117~119) 117は93と同様の口縁部の破片資料だが、波頂部内面にも沈線が施文される、IV群。118は台部の資料、V群の深鉢に付くもの。外面は無文。119は鉢の口縁部、文様は82に近い、V群。
- S X 139 (120) 口縁部に平行沈線を施す平口縁深鉢、IV群。
- S X 222 (121) 頸部に文様帯をもつ壺。文様は3条の沈線による曲線化したクランク状文、III群。
- S X 250 (122~125) 122はV群の台付深鉢の波頂部の装飾部である。123は口縁部が内側に屈曲する小型の浅鉢、IV群。124は注口土器の注口部。125は口縁部に沈線が1条施文される鉢。
- S X 253 (126・127) 126はV群の深鉢、沈線とそれに沿う刺突からなる文様。127は波状文が施される鉢、V群。
- S X 286 (128) 口縁部が内側に屈曲する粗製の鉢。

S X587 (129・130) 129は体部に平行沈線を施文する波状口縁深鉢、IV群。130は無文で口縁部直下がくびれ、段を有する浅鉢、台が付く器形と考えられる。

S X646 (131) 224や225の器形に近い、口縁部が強く外反する波状口縁深鉢、IV群。口縁部が短く、体部がやや丸みを帯びており、IV群でも古い部類であろう。

B 旧河道S G21出土の土器

旧河道S G21の土器も本来は遺構出土の土器として前節に含めるべきであろうが、この遺構からは特に多くの土器を報告するため、新たに節を起こした。

I群 中期中葉 (第56～63図)

出土した縄文時代中期の土器は、大木8 a式土器が中心である。特徴として、口縁部にS字状や橋状の立体的な突起が付され、文様は、口縁部に、縦位の縄の側面圧痕、小波状の隆帯、刻目がしばしば用いられ、体部には沈線や無調整の隆帯・隆沈線により、曲折文や渦巻文などが施される。器種は、深鉢と浅鉢がある。以下に、器種・器形別に内容を述べる。

大木8 a式土器

深鉢 (第56図132～第62図150) 132～140は、体部が外反気味か直線的に立ち上がり、口縁部が内湾気味に開く深鉢である。132は、口縁部に4単位のS字状突起が付き、体部に隆沈線の曲折文と渦巻文を組み合わせた文様が施される。133・137も同様の文様構成と思われる。134は、口縁上部に橋状の突起が付き、突起上に連続して刻目が入る。縦位の連続した縄の側面圧痕も施される。136も類似した文様構成をとる。口縁部にS字状突起を5つ配置し、突起の1つは大型になる。体部には、3本1単位の沈線により曲折文を施す。135は小型の深鉢で、口縁部にS字状突起が付き、体部に2単位の曲折文が大きく展開する。138・139・140は、口縁部に大型の突起が無く、縦位に縄の側面圧痕が連続して施される。138の体部には、3本1単位の沈線により、曲折文や懸垂文が施される。140は、縦の橋状の突起が4単位付く。

141～145は、体部が膨らみ頸部に屈曲し、口縁部が内湾気味に開く深鉢である。141は小型の深鉢で、口縁部に隆帯を貼り付けて加飾した突起がある。体部に3本沈線による懸垂文が施される。145も同様の器形と思われ、体部に沈線の文様がある。142は、口縁部に4単位の突起が付き、突起の外面には縦に橋状の突起が付く。内面には、隆帯の渦巻文がある。口縁上部には連続した刻目を施し、その下に、LR縄文を施文後、縦のLRの側面圧痕を加える。体部には沈線による懸垂文がある。143は、口縁部にS字状突起が1つ付される。口唇部に連続して刻目が入る。144は大型の深鉢で、口縁部に隆帯貼り付けの渦巻文が3単位展開する。隆帯上に沿って、押圧縄文が施される。

146～148は、体部に膨らみをもち、口縁部がキャリパー形になる深鉢である。146は小型の深鉢で、口縁部に隆帯の波状文を配する。隆帯の両脇に沿って縄の側面圧痕が施される。147は、隆沈線文により渦巻文状の文様が施される。頸部との境に隆帯を貼り付け、その上に連続して指頭圧痕状の刺突文が施される。148は、口縁部に縦のS字状文と曲折文を組み合わせた文様を規則的に配する。

150は、体部が膨らみ口縁部がすぼまる深鉢である。口縁部は無文で、稜状の隆帯貼り付けの下に、LR縄文が縦位に回転施文される。時期的に大木8 a式よりも下る可能性がある。

浅鉢 (第62図151～第63図157) 151・152・156は、口縁部がキャリパー形になる。151は、口

縁部にS字状の突起と橋状の突起が付く。連続して縦位の縄の側面圧痕が施される。体部は無文である。152の口縁部には、隆沈線文による渦巻文が施される。156の口縁部には、渦巻文と、半截竹管による連続した刺突文が施される。

153～155・157は、体部から口縁部にかけて直線的に開く器形である。153・154は同一個体である。波状口縁となり、波頂部にS字状の突起が付く。口唇部に連続して角押文が施され、体部に3本沈線の渦巻文がある。155は、口縁部に連続した刺突文を施す。体部は無文で、内外面にミガキが施される。157は楕円形を呈する浅鉢で、口縁部に波状の隆帯を貼り付け、その中に4単位のS字状の突起を配する。

南境1式土器 II群 堀之内1式に併行する土器群 (第64図158～165)

深鉢 (158～162・164・165) 口縁部に1条の凹線と体部に複数条からなる弧状や楕円形の沈線を施す土器群。160は口縁部に刺突が行われる。161は口縁部に段をもつ器形で、頸部を無文としている。164は肥厚する口唇部に沈線を施す。地文は撚糸文Rのほか縄文も用いられる。

鉢 (163) 深鉢と同じく口縁部に凹線と、体部に多条沈線による楕円形文をもつ。

南境2式土器 III群 堀之内2式に併行する土器群 (第64図166～第69図222)

深鉢 (166～212) 口縁部を欠損する資料以外では、166と212以外すべて波状口縁である。単位は4から6単位のものがある。体部は膨らみをもち、頸部がくびれ口縁部が外反する器形が多い。208はくびれをもち口縁部が内湾する。209～212は直線的な立ち上がりを有する。

文様は多種多様であるが、基本的に3条の沈線により施文される。また、II群土器のように文様が縦位に展開するのではなく、横位に展開する。176～180・197・207は波頂部が小突起状になり、突起部分を巡るリング状の沈線が施される。これらはIV群土器に多く見られる特徴の一つであり、III群の中でも新しい部類にはいる。また、沈線と沈線の接点に刺突が加えられる土器が多いが、192と193のようにほぼ同じ器形・文様の土器でも刺突が行われるものも行われないものがある。199は体部下半の資料であり、III群かIV群か判然としないが、内面に漆と見られるものが付着してるので図示した。

浅鉢 (213・214) 213は3単位の環状の突起が付く。口縁部内面に沈線、突起部分の内面には同心円文が施される。地文はなく、外面も無文である。214は内外面ともに無文、耳状の突起が付く。

壺 (215～222) 215～218は小型で頸部の細い壺。180の深鉢などと同様の3条の沈線を基本とする入組文が施される。219～222は大型の壺、文様はやはり深鉢と同様である。

宝ヶ峯1式土器 IV群 加曾利B1式に併行する土器群 (第70図223～第77図306)

深鉢 (223～276) 2種類の系統が見られる。223～266まではIII群の深鉢の系統を継ぐが、267～276は加曾利B1式の深鉢に類似する土器群である。

223～266の土器はIII群に比べ口縁部の屈曲が強く、屈曲部の内面には明確な稜が見られる。また、文様もIII群が3条の沈線を基本とするのに対し、2条で施文されるものが多くなる。しかし、230・235・239・240などの体部文様は、多条の沈線を用い、2ないし3条で表される縄文帯と同様の文様構成を示している。

口縁部の文様では連続刺突を多段に施文するものや、多条沈線を施文するものなどがある。また、その両者を同時に施文する243などの土器もある。やはり波状口縁が多く単位数は3単

位か6単位が多くを占める。253～266は3単位の波状口縁が多い。波頂部の内面にも沈線が施文されるものや、小突起状になるものもある。

267～276は加曾利B 1式に類似する深鉢である。267は耳状の突起をもち、IV群でも古い部類に相当する。いずれも平行沈線を口縁部、あるいは体部にもつものである。269・270のようにやや発達した装飾をもつものも出現する。273～275は口縁部が無文で体部に平行沈線が施されるものである。276は内面にも平行沈線が施される。

鉢 (277～280) 器形はそれぞれだが、文様は平行沈線を施す。280はボール形の鉢。

浅鉢 (281～290) 289・290以外は内面に文様をもつ浅鉢である。281～284・289は口縁部が内側に屈曲する。内面の文様は連続刺突文と平行沈線で構成されるか、あるいはそのどちらかのみである。281は4単位波状口縁で、内面の平行沈線間を刻目で充填している。289は外面の口縁部に縄文を施すのみである。281・282には補修孔が開く。290は外面の口縁部に平行沈線を施文する浅鉢、3単位波状口縁である。

壺 (291～301) 大型 (291～295・297・301) と小型 (296・298～300) のものがある。文様は深鉢と同様のもので、2条の沈線で施文される。295の文様は333に近く、V群の可能性が。296の上下に噛み合う弧線文はV群の98などに見られる文様であり、IV群でも新しい部類に入る。298～300は文様では時期判別できないが、III群の壺に比べて、IV群の壺は最大径をもつ部分が下りてくる傾向があるため本群に含めた。

片口土器 (302～304) 口縁部の波頂部の一端が片口となる。ほかの波頂部は小突起が付く。文様は多条沈線と、沈線間に刺突を充填する構成である。303は片口部、304は頸部以下の資料だが、器形からここに含める。

注口土器 (305・306) 加曾利B 1式に見られる注口土器の突起部 (305) と口縁部 (306)。

V群 加曾利B 2式に併行する土器群 (第78図307～第81図362)

宝ヶ峯2式土器

深鉢 (307～347) 4種類の器形に大別できる。307・308はIII群の深鉢の系統を継ぐ。器形は異なるが98や500などのV群の深鉢と同様に頸部に無文帯をもつ。307は5単位、308は6単位の波状口縁である。

309～318は同じくIII群の深鉢に連続するものだが、中でもIV群の253～266の鋭利で内面にも沈線を施文し小突起状になる波頂部をもつ土器群が、もっとも近い。旧河道S G 21からは破片資料のみだが、98や500がこれらの典型である。

319～337は十腰内2式b類の台付深鉢として知られる土器に類するものである。口縁部は3単位の波状口縁になることが多い。333は平口縁だが、504のように3単位の突起が付く可能性がある。また、幅広の波頂部にはさらに発達した装飾部が載ることがある (319～323)。文様は沈線文と連続刺突文で表されることが多く、体部のくびれ部分を境に上下2段に文様帯を構成する。326は内外面に漆が塗布されている。336・337は台部。

338～347は加曾利B 2式に類する土器。338・339は32と同様の土器である。339には赤色顔料が塗布されている。口縁部は無文で、体部に刻目を施した隆帯を付すものもある (344)。345・346のように体部に膨らみをもつ器形もこの段階で見られるようになる。341の平行沈線間には縄文が施されるが、一部縄文が不明瞭な部分に格子目状の細沈線を施している。縄文に擬しているのだろうか。

鉢 (348・349) 348は口縁部が内湾し、文様は連続する弧線文を施す。349は直線的に外傾する器形にS字文を施す。

壺 (350・351) 350は体部が球形を呈す。文様は308同様で、幅広の縄文帯と無文帯からなる。縄文は2段LRとRLの異種原体を充填し羽状とする。351は口縁部のみであるが、幅広の縄文帯をもつのでここに含めた。IV群の可能性もある。

注口土器 (352～356) 352の文様は半肉彫的手法による。355・356はこの時期に特徴的な壺形注口土器の底部で、356は非常に大きな注口土器になる。

台付浅鉢 (357) 3単位の波状口縁の浅鉢が載る、燭台形の土器。

台部・脚部 (358～362) いずれも本体部分是不明だが、台や脚が付くのはV群に見られる特徴であるため本群に含めた。358～360は小型の台部のみの資料、鉢か浅鉢が載ったのだろう。358には台部とわずかに残る体部に沈線が施文されている。360の台部にも沈線が施される。361・362は高坏の脚状の土器、中実である。

VI群 無文土器 (第82図363～第83図390)

文様をもたない土器を一括した。複数の時期の土器が混在している。器形からおおよその時期が判別できるだろうが、ここでは器種ごとに報告することとした。

深鉢 (363～373) 363～365はIII群の深鉢に見られる器形である。366は口縁部を折り返している。367～370はIV群の深鉢に近い器形。371～373はV群の深鉢に近い器形。373の外面には器面の調整に使用したと見られる工具の痕跡が条線文のように残る。

鉢 (374～381) 374・375は口縁部がわずかにくびれる。377の口唇部には刻目を施し、さらに短い隆線が付される。379は孔を境に左右で口縁部の高さが異なる。380は3単位波状口縁の鉢、波頂部に刻目が施される。V群の器形であろう。381はS T 3出土の8と同じ器形。

浅鉢 (382～384) 382はS X 587出土の130と同じ器形。台付浅鉢と考えられる。

壺 (385～390) 385は口縁部に沈線が1条施されるがほかは無文、386も同じ器形。口縁部のみだが、壺の口縁部と考えられる。

VII群 粗製土器 (第84図391～第91図440)

刷毛目状条線文

原則として地文のみを施文する土器を一括した。地文には縄文のほかに刷毛目状の条線文や網目状撚糸文などがある。無文土器と同様に器形からある程度分類は可能であろうが、ここでは器種ごとに報告する。

深鉢 (391～423・427～437・439・440) 391は撚糸文Rを地文とし、波頂部には刺突を施す。頸部がくびれる器形の深鉢には頸部のみ縄文を磨り消すものが多い。392・395・400・403・408・409・418・420はIII群の深鉢の器形に近い。393はさらに磨り消した部分の下端に縄の側面圧痕を施す。396・398・401・404にも縄の側面圧痕が見られる。398・399・401・402・407は口縁部を無文とする。407は網目状撚糸文を地文とする。410～412・421・422・428はIV群の深鉢の器形に近い。413～417は口縁部に小突起が付く。IV群あるいはV群に同様の器形が見られる。423・427・430は口縁部が内湾する器形。429・434は刷毛目状条線文を波状に施す。436はV群に見られる器形。437は波状口縁となる。439は小型で上半部を欠き、粗製土器ではない可能性がある。

鉢 (438) 地文のみ施される鉢。

壺 (424~426) いずれも地文のみ施す壺である。

Ⅷ群 そのほかの土器 (第91図441~447)

ミニチュア土器 (441~445) これまでの器形に含められない小型の土器および、手づくねによるつくりの粗い土器をここに含めた。441は内湾する器形、442は平面形が方形の皿状の土器、443はやや底部が高い。444・445は台部。

異形土器 (446・447) 双口をもつが、体部以下欠損しており、詳細は不明。

C 遺物包含層出土の土器

旧河道S G21出土の土器と同様に各群に分類した順で報告する。

Ⅱ群 堀之内1式に併行する土器群 (第92図448~458・第93図459)

南境1式土器

深鉢 (448~456・459) 448は口縁部の沈線と体部の複数条からなる弧状や楕円形の沈線の特徴とする。450・454は頸部にくびれをもち、無文とする。448と449は同一個体、454と455も同じく同一個体。459は口縁部を無文、体部を撚糸文Rとする。体部には弧状の沈線を縦位に施文する。

鉢 (457・458) 457は448などと同様の文様をもつ鉢。458は小型で、文様は448などを簡略化したもの。

Ⅲ群 堀之内2式に併行する土器群 (第93図460~463)

南境2式土器

460は小型の深鉢、文様は205に類似する。461は同じく深鉢の口縁部、174の口縁部と同様の文様。462は壺の口縁部から頸部の資料、2単位の小波状は221の口縁部に通じる。463はIV群の壺292などの文様に類似するが、頸部の沈線が3条であること、体部の沈線が2条であるが幅が狭いことからⅢ群とした。IV群の可能性もある。

Ⅳ群 加曾利B1式に併行する土器群 (第93図464~第97図499)

宝ヶ峯1式土器

深鉢 (464~487) いずれも加曾利B1式に類似する土器である。464~470は口縁部に平行沈線を施す波状口縁深鉢。474・485は同じく平口縁の深鉢。471~473・475~477・480・481は口縁部を無文とし、体部に平行沈線を施す。473は平行沈線間に連続刺突文を施す。478・479は装飾部をもつ。484は口縁部の無文帯の区画に刻目をもつ隆帯を付すIV群でも新しい様相をもつ。487は器形は471・472に近いが、外面全体に縄文を施し、口縁部付近に磨消縄文を施している。

浅鉢 (488) 直線的に外傾し立ち上がる器形。内面に平行沈線を施す。

壺 (489~499) 489~493は小型の壺。2条の沈線による縄文帯により文様を施す。

Ⅴ群 加曾利B2式に併行する土器群 (第97図500~第99図525)

宝ヶ峯2式土器

深鉢 (500~521) 500~502は309~318と同様にⅢ群の深鉢の系統にあり、かつ波頂部が発達した土器である。500は3単位の波状口縁で波頂部は内側に肥厚し、小突起状になる。頸部には無文帯をもつ。

503~508は十腰内2式b類の台付深鉢に類する土器群である。口縁部は3単位を基本とし、波状口縁と平口縁とがある。また、発達した装飾突起をもつのもこれらの土器の特徴である。文様は沈線と連続刺突を併用して行われ、体部のくびれ部分を境とし、上下2段に文様帯を配する。

509～521は加曾利B 2式に類する土器群である。509～512は発達した装飾突起をもつ土器である。体部には平行沈線を施文する。513・514は口縁部を無文とし、体部に幅広の縄文帯をもつ。515・516は体部に連続する弧線文を施す。517～519は条線文を施す土器。517は口縁部を無文、体部に縄文を施した隆帯を付し、以下に弧状の刷毛目状条線文を施す。

520・521は沈線間に連続刺突文を施す土器、521の縄文は2段R Lの原体を異方向に転がし羽状としている。

台付鉢・台付浅鉢 (523・522) 523は台付鉢、522は台付浅鉢。

宝ヶ峯型
注口土器

注口土器 (524・525) 524はいわゆる宝ヶ峯型注口土器で、半肉彫的手法でコ字状文を5単位配す。

VI群 無文土器 (第100図526～530)

526は平口縁の深鉢、無文土器に分類したが、破片下端部に沈線が見られる。口唇部には縄文。527は平口縁であろうが、一部突起状に伸びる。528・529は無文の鉢。530は壺。

VII群 粗製土器 (第100図531～535・第101図538)

531はIV群の深鉢に同様の器形である。口縁部を無文とする。532～534も口縁部が無文。533は無文部分の下部に縄の側面圧痕を施す。535・538は頸部にわずかにくびれをもつ器形、施文は縄文のみ。

VIII群 そのほかの土器 (第100図536・537 第101図539・540)

536は作りの粗いミニチュア土器の台部。537は底部のみでいずれにも分類できないためここに含めた。底部圧痕に網代痕と木葉痕の2種が認められる。木葉痕が後に付いたものと見られる。539・540は後期後半の土器で、刻目手法から瘤付土器第Ⅲ段階に位置付けられる。

D 出土地点不明の土器 (第101図541～548)

遺物観察表中で出土地点を「X O」としたものがこれらにあたる。調査中に出土地点を失った土器である。中でも報告に必要なものを図示する。

541・542がIV群の深鉢、542の口縁部には半截竹管状の工具で連続刺突文を3段施す。543はIV群の加曾利B 1式に類する深鉢の口縁部、平行沈線間に刺突を施文する。544は地文のみの粗製鉢。545は口縁部に8字状の隆線を付す浅鉢、IV群。546は503と同じ器形の台付深鉢の口縁部、波頂部の口唇部にS字文を施す、V群。547は口縁部に幅広の縄文帯を施文する鉢、V群。548はV群のやや大型の注口土器の体部、半肉彫的手法で曲線文様を施す。

2 土 偶 (第102図549～567)

549～551は頭部、首部に刺突を充填する。顔はV字に粘土を貼り付ける。目は刺突で表す。552～557・559～562が体部、主に刺突を施文するが、556・560は沈線も併せて施文している。乳房は粘土を貼り付けて表現し、腹部の膨らみも粘土の貼り付けにより表す。腹部の膨らみは簡略化されるが妊婦を表すものと考えられる。558は右腕部分、552などのように腕を下げず、水平近くまで上げている。563～567は脚部、やはり刺突を施す。563は足裏に円文とその中心に深い刺突を施す。567は小型だが、刻目により足指の表現もなされている。

やはり完形での出土はなくすべて破片資料である。552では首部をソケット状に差し込んで

接合していた様子が認められた。

3 耳飾・スタンプ状土製品・土錘・そのほかの土製品

耳飾（第102図568） 1点のみ出土した。内面外面とも凹面を呈し、無文、無孔である。

スタンプ状土製品（569） 1点のみ出土した。類例は宮城県河北町宝ヶ峯遺跡で多く見られる。スタンプ面には渦巻きを描く。文様自体は粗雑である。

土錘（570） 石錘は一定量出土しているが、土錘はこの1点のみである。中心に縦溝をもつ有溝土錘である。溝は両面に設けられるが、磨耗のため一部明瞭でない部分がある。

そのほかの土製品（571～573） 571はコーヒークップの把手状の土製品。どのような土器・土製品のものか不明である。572はやや扁平な球状を呈し中実である。573も中実の円錐状の土製品。どのような機能・用途を有したのか不明である。

4 円盤状土製品（第103図574～604）

土器片を打ち欠き、あるものは破面を磨り成形している。一部は方形に近いものもある。

574・575・601は地文が撚糸文Rの土器を利用したものである。さらに沈線も施されII群の土器であることが分かる。576は沈線と刺突が施される253などのIV群の深鉢の口縁部を利用したもの。577は503などのV群の深鉢を利用している。585・586は入組文が施される部分を、587は浅鉢を、599は木葉痕をもつ底部、600は網代痕をもつ底部を利用する。588の中央部には2ヵ所貼り付けた粘土が剥がれた痕跡がある。591・593・595・598・601は周囲を研磨調整している。ほかにも部分的に側面を研磨するものには578・585・587・594・599・604がある。

5 石器

石 鏃（第104図605～第106図728）

石鏃はその形態により、凹基無茎鏃・凹基有茎鏃・平基有茎鏃・凸基有茎鏃・尖基鏃・円基鏃（鈴木1995）に分類した。石材は珪質頁岩・黒曜石・玉髓・鉄石英・流紋岩などを利用する。

凹基無茎鏃（605～625） 基部に挟入があり、茎部をもたない石鏃である。605～616は基部の挟入が比較的小さいものである。605～607・611・613などの小型のものは裏面に剥離面を大きく残す。616は未製品の可能性がある。617～625は基部の挟入が大きく側縁が丸みをもつ。

凹基有茎鏃（626～642） 基部に挟入があり、茎部をもつもの。630・633・639・640は挟入部を整形する際に基部に十分な太さを残せなくなったものと考えられる。

平基有茎鏃（643～690） 基部が直線的で茎部があるもの。650・653・672は茎部が長く全長のほぼ半分を占める。689・690は刃部側縁が一方では内側に湾曲し、反対側では膨らみをもち身の部分が鏃形を呈す。いずれも白色の玉髓製であり加工も丁寧である。

凸基有茎鏃（691～709） 基部が突出し、茎部をもつもの。697・699・703は裏面に剥離面を大きく残す。696・698・699・700・706・707は基部が丸みをもち、木葉形を呈す。

尖基鏃（710～713） 基部が尖るもの。凸基有茎鏃のうちの基部の作り出しが明確ではないものも含まれると考えられる。

円基鏃（714～728） 基部が丸みを帯びるもの。714・715は木葉形の完形品であるが、ほかの

ものは形態もさまざまで器厚も大きく未製品の可能性がある。

尖頭器・有舌尖頭器（第107図729～739）

尖頭器（729～738） 729～737は形態は円基鏃に類似するものが多いが、大型であり、器厚も大きいので尖頭器として分類した。横長剥片を素材とし、両面加工を施すが、加工が両面とも全面に及ぶのは730と733のみである。738は大型で厚みのある尖頭器。細身で断面三角形を呈す。加工は両面とも全面に及ぶ。

有舌尖頭器（739） 1点のみ出土した。出土した性格不明遺構 S X 573は旧河道 S G 21の一部と考えられ、この有舌尖頭器も上流から流れ込んだものと考えられる。

石篋（第107図740）

同じく1点のみの出土である。短冊形で断面系は六角形を呈す。両側縁の表面・裏面とも加工が施される。刃部の加工は少ない。

搔器（第108図741～743）

741は矩形、742は両側縁が内側に湾曲する、743は台形を呈す搔器である。刃部および側縁の整形も急角度の加工による。

石匙（第108図744～第109図771）

主に縦長を呈する身部のどの部分につまみが設けられているかにより、横型・縦型・斜型の三つに分類した。石材はほとんどが珪質頁岩を利用している。

横型（744～749） 身部の長辺につまみが付くものを横型とした。身部は不整三角形を呈するものが多い。746のつまみ部分にはアスファルトの付着が認められる。

縦型（750～762） 身部の短辺につまみが付くものを縦型とした。先端部は尖らず直線的なものが多い。やはり身部の形態は不整長方形が主体的である。761・762はつまみ部分にアスファルトが付着する。

斜型（763～771） 横型と縦型の間形態として身部の角につまみをもつものを斜型とした。整形加工が全周に及び形態が整うものが主体である。763・766・768のつまみにはアスファルトが付着する。771はつまみを二つもつ特殊な石匙。

石錐（第110図772～第111図818）

分類は矢島國雄・前山精明による方法(矢島・前山1995)に従った。分類名もそれに習った。先端が摩滅するものが多いが、使用の痕跡をとどめないものもある。またA 1 a類については両先端が摩滅するものが主体的である。

A 1 a類（772～789） 全体の形状が棒状をなし、両端が尖り、円形・方形・菱形の断面形を呈すもの。尖基鏃・円基鏃との判別が困難な資料であるが、A 1 a類の多くが両端とも摩滅していることから石錐として分類した。788・789は器体中央部に張り出した関部を有する。

A 2類（790～792） 全体の形状が棒状をなし、錐部が一端のみに作られ、他端は鈍角をなすもの。器体全面に調整加工が施されるのを原則とする。3点を図示する。

B 1類（793～801） 明瞭なつまみ状の頭部をもち、錐部が長く、全面に調整加工が及ぶもの。793～797はT字形の精巧な石錐。799はつまみ部分が非常に小さい。800はつまみの両端が上方に屈曲する。801はT字形のつまみの上方がコブ状に隆起する。

B 2類（802～804） 明瞭なつまみ状の頭部をもち、錐部が長い、頭部に素材の形状をとど

アスファルトが
付着

両先端が摩滅

めるもの。802・803は錐部の調整はB1類と同様に精緻であるが、804は錐部・頭部とも作りが粗い。

C1類 (805・806) 調整加工の施された、明瞭なつまみ状の頭部をもち、錐部が著しく短いもの。805は表裏両面に、806は裏面に剥離面を大きく残す。

C2類 (807) 素材剥片の形状をそのまま残し、明瞭なつまみ状の頭部をもち、錐部が著しく短いもの。縦長剥片の末端部分に調整加工を施し錐部としている。

D1類 (808～812) 錐部がしだいに太くなり、頭部との区分が不明瞭なもので、両面、もしくは片面の全体が調整加工を施されるもの。812は尖頭器の転用品の可能性はある。

D2類 (813～814・816～818) 錐部がしだいに太くなり、頭部との区分が不明瞭なもので、錐部の両側縁に調整加工が施されるが、素材の形状をとどめるもの。5点とも素材剥片の先端部分を加工したものである。

E類 (815) 棒状あるいは長三角形の剥片の先端に微弱な調整加工を加えたもの。815は先端が細い剥片を利用している。

接合資料 (第112図819～826)

819+820 矩形の剥片が2点接合する。一方向から打点を後退しながら連続して剥離されている。820の末端の主要剥離面には連続する二次加工が施される。

821+822 同じく矩形の剥片が2点接合する。2点とも一方向からの打点を後退させながら連続して剥離した剥片であるが、821の背面には右方向からの剥離痕を有する。また821には打面調整が施される。

823+824 矩形の剥片が2点接合する。823は左方向からの剥離による剥片。

825+826 剥片右核かあるいは何らかの石器を製作する途上の資料である。826の表面に残る大きな剥離面は素材が剥片であることを示す。求心的な剥離を行う中で825が剥離されたが、825がおそらく意図した以上に大きく剥離されたために、その後の加工が施されなかったものと考えられる。

磨製石斧 (第113図827～第114図852)

827～829は両側縁が平行な短冊形のものである。いずれも刃部は弧状、上半部を欠損している。828はわずかに敲打痕が残る。刃部は破損後、再生されている。

刃部再生

830～841は基部へ向かい幅が小さくなる分銅形を呈し、断面形が扁平なものである。刃部はいずれも弧状を呈する。また、上半部・下半部の欠損、刃部・基部の破損はいずれも使用によるものである。830・834は基部欠損後、再加工、再研磨され基部を作り直している。

基部再生

842～845は分銅形で中央部が厚く断面形が楕円形を呈すものである。843は基部を破損後再研磨している。844には整形の際の敲打痕が残る。

846は両側縁に剥離痕を残す小型の磨製石斧、刃部は破損している。847～852も小型のもの。使用による欠損、刃こぼれも大型品と同様に認められる。

石錘 (第114図853～867)

853～855は円礫をそのまま利用したもの。中央部に横位にアスファルトの付着が認められ、巻いた糸を固定したものと考えられる。856～861は円礫の上下に切り込みを施した切目石錘と呼ばれるもの。858にはアスファルトが付着する。862は円礫の長軸に溝をもつ有溝石錘。

溝内にアスファルトが付着する。863～865は全面研磨による調整を施し長方形に整形された有溝石錘。断面も長方形を呈す。溝は短軸・長軸双方に十字形に施される。866・867もやはり全面研磨により整形されるが、卵形の形状を呈す有溝石錘。断面も楕円形である。866は長軸のみに溝をもち、867は十字形に溝をもつ。

浮子 (第115図868～871)

軽石を利用した浮子と考えられている石製品である。いずれも分銅形を呈す。868～870は上部に孔が開けられている。868の上部の凹部は本来は孔の部分で欠損したため凹部となった可能性がある。現状で孔として認められるものは再利用のため穿孔したものと考えられる。

砥石 (第115図872～876)

有溝砥石 ここで報告する砥石は有溝砥石と呼ばれるもので、石器や骨角器などの研磨に広く利用されたと考えられている。872は自然石を利用し、非常に細い砥面と考えられる線状痕を有するものである。873・875も自然石素材で、表裏両面を凹石あるいは有溝砥石として利用したものである。874は表面に2条の溝をもつ。形態は研磨による整形である。上面の弧状の凹部は欠損ではなく、砥面であり石棒などの大型磨製石器を研磨する際に用いたものと考えられる。876も表面に複数の溝をもつ。

磨石 (第115図877～第116図893)

877～884は円形の磨石。片面あるいは両面に明瞭な擦痕がある。周縁の敲打痕は堅果類の加工の際に生じたものであると考えられる。また、881などは周縁に一樣に敲打痕が見られるうえに、整った形態を示す。磨石でも敲打による整形を施した可能性がある。885～888は棒状の磨石で、断面形には円形・楕円形・長方形などがある。889は断面長方形で稜が顕著である。全面に明瞭な擦痕をもつ。890は断面台形で表裏面の擦痕は顕著、側面はやはり擦痕が見られるが顕著ではなく整形によるものと考えられる。891は大型で扁平な磨石、裏面のみ擦痕が見られる。892は小型で薄型の磨石、全面に赤色顔料が付着している。顔料の材料を磨り潰したものと考えられる。893は裁頭円柱形を呈す。上面を有溝砥石として利用した痕跡がある。側面に顕著な擦痕を有する。

凹石 (第116図894～第119図925)

894～909は両面あるいは片面に1ヵ所以上の凹部をもち、さらに磨石として利用され顕著な擦痕を有するものである。894～901は円形か楕円形を呈するもの。902～909は台形や方形、不整形を呈するものである。907の裏面には凹部が縦に連続する。910～925は凹部を持つが擦痕が認められないものと顕著でないものである。やはり複数の凹部をもつものが主体的である。また、凹部は縦に連続するものと、中央部に集中するものがある。918・919・920・921・924には有溝砥石として利用した痕跡もある。920・921・925には擦痕も認められるが顕著ではない。

石皿 (第119図926～第121図942)

926・927は長方形に整形され、皿部に縁をもつ石皿の破片資料である。926の表面は中央部が大きく凹む。裏面もやや凹む。928は台形で、縁を三方にもつ石皿、皿部に有溝砥石として利用した痕跡がある。929も縁をもち、中央部となる部分が大きく凹む。裏面には有溝砥石として利用した痕跡が認められる。930は下半部を欠損するが、両側縁には縁がある楕円形の石

皿。裏面には凹部をもつ。931・932は大型の三角形の石を利用した石皿。931の縁は一周するが、932の縁の一端は開いている。皿部に大きな凹みが2カ所見られる。

933～937は明確な縁をもたず、中央部に向かいなだらかに凹む石皿である。933の表面の中央部は凹み周囲が高くなるが、左下部だけはほかより低く作られている。937の裏面には凹部が、935・936の裏面には有溝砥石として利用した痕跡がある。

938～942は大型扁平な石を用いた特に凹みをもたない石皿である。ただし擦痕は明瞭である。擦痕のほかに敲打痕をもつものも多い。940・941は中央部がわずかに凹むものである。

線刻礫（第122図943）

磨石、凹石として併用されものに線刻が施される。縦の線刻を柱に、上部の斜方向の線刻を屋根に見立て掘立柱建物³⁾を表現した線刻と考えられる。

掘
立
柱
建
物
を
表
現

石刀（第122図944）

一側縁が内反りの刃となる。頭部と下半部を欠損する。

石剣（第122図945）

石剣の頭部部分である。両側縁に打ち欠きが施される。断面は凸レンズ状で両刃となる。

石棒（第122図946）

無頭石棒で、下半部を欠損する。全面研磨調整を受ける。

その他の石製品（第122図947・948）

947は卵形で石材は不明だが暗緑灰色の光沢を持つ石材を用いた石製品である。全面研磨による調整を受ける。948は安山岩製で楕円形の石製品、断面は長方形を呈す。やはり全面研磨による調整を受ける。

水晶（第122図949）

竪穴住居S T 3出土の水晶である。加工は施されていない。

球状自然石（第122図950～959）

球状を呈する自然石であるが、調査では多く出土している。前掲の水晶も含め、当時このような珍しい石を収集する行為があったという報告（児玉2002）があるため本書でも掲載した。一部には擦痕を有するものも見られるが顕著ではない。958・959はその中でもくびれ石と呼ばれるものである。

棒状自然礫（第123図960～964）

立石遺構S P 336・482に見られるように特に加工を施さない棒状自然礫を用いる立石遺構がある。960～964は擦痕や敲打痕が見られるが、このように石棒として利用された可能性があるものである。石棒としての明瞭な加工痕を持たないものであるが、このような棒状自然礫を石棒の可能性のあるものと指摘する論考（長田2000）もある。

VI 調査のまとめ

これまで山形県内において、かっぱ遺跡と同時期の遺跡の調査は少なかった。一方隣接する地域ではまとまった調査例があり、土器編年を始めとした研究も盛んに行われている。今回かっぱ遺跡の豊富な資料を得たことで、県内でも他地域の当該期遺跡との比較検討が十分可能となった。

県内初出

7棟確認された該期の掘立柱建物は県内では初出のものである。それぞれ柱穴は6基で、六角形に配される。S B 15・16・17はほぼ同じ方角を向き3棟並んで検出された。S B 1006も方角は同じだが、位置は約30m離れており、S G 21の対岸である。ほかの3棟はそれぞれ異なる方角を向く。柱穴より出土した遺物はⅢ・Ⅳ群の土器である。遺物が少ないので断定はできないが、堀之内2式と加曾利B 1式併行期、つまり後期前葉から中葉にかけて営まれたと考えられる。また、S B 1006・1008の柱穴がほかの掘立柱建物に比して明らかに規模が小さく、建物の規模が一通りではないことが分かった。S B 1006からは時期の分かる遺物は出土していないが、S B 1008からはⅢ群の土器が出土し、ほかの規模の大きい掘立柱建物ではⅣ群の土器が出土することから、時期的な差とも考えられるが、なお遺物が少ないので検討を要する。あるいは建物の性格の違いが現れている可能性もある。

竪穴住居では遺存状態の良好なS T 3・4が検出された。2基ともV群の土器を多く出土し、時期は加曾利B 2式併行期と考えて良いだろう。またS T 7でもV群の土器32が床面から出土しており、やはりS T 3・4と同時期と考えられる。ほかの住居では遺物の出土に恵まれず時期を判断するに至らなかった。

ほかにも壁柱穴のみ検出された竪穴住居が多数存在する。その範囲は、埋没したS G 21を含めて遺跡の中央一帯に広がる。掘立柱建物と重複するものも見られるが、S T 3・4・7は時期的に混在しないであろう。しかしこれら以外の竪穴住居については、時期的な判断ができないので、掘立柱建物と共時に存在した可能性も考えられる。

土坑は貯蔵穴と考えられる円形のもの調査区全域から数多く検出されたが、墓壙と考えられる土坑は検出されなかった。調査区外、特に南側の削平を受けて調査の対象とならなかった範囲に存在したのだろうか。それとも該期の村山市川口遺跡（阿部1990）で検出された“石組墓壙”に類する土坑が本来存在したとすれば、削平のため失われていたとも推定される。遺跡内からは人頭大の石が凹石・石皿として利用されたものを含め大量に出土しているが、配石遺構として認識できたのはわずか2基のみである。これらの石が遺跡内に持ち込まれた本来の要因の一つとして配石遺構の構築を想定するともできるだろう。

旧河道S G 21の東岸から一括で出土した中期の土器群に相当する遺構は検出されなかった。調査区の東側に広がることも予想されたが、調査の対象区域とならなかった。

本遺跡は西側の山裾から東側の鳥出川まで約160mという狭小な範囲内に形成された集落であり、当然集落の形態も地形に影響を受けたと考えられるため、環状集落のような広がりはなく、住居などは狭い範囲内に密集・重複して構築されている。

遺物では特に、縄文時代後期前葉・中葉に位置付けられている堀之内1・2式、加曽利B1・2式に併行する土器群が多く出土した。本報告ではそれぞれを東北地方の土器型式として南境1・2式、宝ヶ峯1・2式と呼称⁴⁾した。分類ではII・III・IV・V群が対応する。

II群の土器は出土量は少ないものの、土坑SK41から出土した50~52の良好な一括資料を得た。従来宮戸1b式として堀之内1式と併行関係（後藤1974）にあると考えられてきた土器群である。同じく最上町で調査された楯の裏遺跡でも出土している。ただし、楯の裏遺跡で出土した内面に格子目状に沈線を施文する深鉢は、かっぱ遺跡では出土しなかった。

内面に沈線を施す深鉢

III群の土器は堀之内2式に併行すると指摘（後藤1974）されている。東北地方北部の十腰内1式の一部と類似するもので部分的に併行関係にあるものと考えられる。

IV群の土器は加曽利B1式に併行するものとして、十腰内1式の一部、2式の一部に類似するものも含めた。

V群の土器は加曽利B2式に併行するものとして、十腰内2式b類に類似するものも含めた。出土した土器はこのように分類したが、これらについては同伴関係や層位的把握に不十分な状態での分類であり、なお検討を要する。

剥片石器の石材は、珪質頁岩が多いが、そのほかに黒曜石・玉髓・鉄石英・流紋岩など多様である。特に石鏃など小型の石器にはより加工の施しやすい黒曜石や玉髓が多く利用されている。珪質頁岩が豊富な地域にあってもこのように選択的に石材が利用された様子がうかがえる。また、磨石などの礫石器もコンテナで約100箱と大量に出土している。従来あまり指摘されなかったが、縁のない平らな石皿と断面形が丸くならない、平らな面をもつ板状や棒状をなす磨石も多く出土しており、縄文時代の石器組成に新たに加える必要がある。

調査例の少なさから、その研究の遅滞が指摘される山形県の縄文時代後期であったが、今回の調査により、豊富な資料を提供することができた。最後に、当地域の数少ない調査事例と比較してのことが、遺構の性格・規模・数量、遺物の数量・種類の豊富さなどから、かっぱ遺跡を向町盆地での拠点的な集落として位置付けたい。

註

- 1) 掘立柱建物の上部構造については諸説あり、果たして棟持柱の名称が適当か否か疑問が残るが、本報告では便宜上、妻側に張り出す2本の柱を「棟持柱」と呼称する。
- 2) これら南境1式および2式、宝ヶ峯1式および2式の型式名は小林圭一氏が提唱したものである。以下の文献による。『第14回縄文セミナー後期後半の再検討 - 記録集 -』縄文セミナーの会 2001年 143頁。この中で小林氏は南境式については保留としているが、最近やはり堀之内1・2式に対応させ、南境1・2式として型式を設定すべきとの指摘を受けた。
- 3) 武藤康弘氏の指摘による。
- 4) 註2参照。

引用文献

- | | | |
|-----------|------|--|
| 山野井 徹 | 1998 | 「表装地図質」『土地分類基本調査「鳴子・葉菜山」』山形県企画調整部土地対策課 |
| 鈴木道之助 | 1995 | 「石鏃」『縄文文化の研究 7 道具と技術』雄山閣 |
| 矢島國雄・前山精明 | 1995 | 「石鏃」『縄文文化の研究 7 道具と技術』雄山閣 |
| 児玉大成 | 2002 | 「くびれ石考 - 縄文人の好奇心をくすぐる自然石 -」『海と考古学とロマン 市川金丸先生古希記念 献呈論文集』 |
| 長田友也 | 2000 | 「石棒の製作遺跡」『季刊 考古学 第73号 特集 縄文時代研究の新動向』雄山閣 |
| 阿部明彦 | 1990 | 『川口遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財調査報告書第151集）山形県教育委員会 |
| 後藤勝彦 | 1974 | 「縄文後期宮戸1b式周辺の吟味 - 南境貝塚出土の土器をもととして」『東北の考古歴史論集』平重道先生還暦記念会 |
| 柴田徹 | 1991 | 「考古学のための岩石鑑定ミニ図鑑 - 王子ノ台遺跡出土石器をもとにした -」『東海大学校地内遺跡調査団報告2』東海大学校地内遺跡調査委員会 東海大学校地内遺跡調査団 |

表1 縄文土器観察表

※層位のFは覆土、Yは床面あるいは底面出土を表す。

器高の括弧は残存高を、口径・底径の括弧は図上復元による推計値である。単位はmm。

番号	分類	器形	出土遺構	層位	グリッド	器高	口径	底径	残存部位	地文	備考
1	Ⅶ群	深鉢	EL266		63-50	(50)		122	底部	不明	ST2の土器埋設炉
2	V群	深鉢	ST2	F1	63-51	(46)			口縁部		2段LR
3	Ⅳ群	深鉢	ST2	F1	64-50	(49)			口縁部～体部上半		2段LR
4	V群	深鉢	ST3	F	69-49	(135)			口縁部		2段LR
5	Ⅴ群	深鉢	ST3		68-48	(50)			口縁部		2段LR
6	Ⅳ群	深鉢	ST3	F	69-47	(110)	216		口縁部～体部上半		2段LR
7	V群	深鉢	ST3	F	68-48	(45)	(122)		口縁部		2段LR
8	Ⅵ群	鉢	ST3		69-48	71	149	59	口縁部～底部		
9	Ⅳ群	深鉢	ST3	F	69-48	(36)			頸部		2段LR
10	V群	注口土器	ST3		68-48	(43)			注口部		黒色
11	V群	注口土器	ST3		68-48	(43)	(68)		口縁部		
12	V群	壺	ST3		68-48	(160)	82		口縁部～頸部		2段LR
13	Ⅶ群	深鉢	ST3		69-48	180	(127)	64	完形		2段LR
14	Ⅶ群	深鉢	ST3		69-48	(147)	(186)		口縁部～体部下半		1段L
15	V群	深鉢	ST4	Y	58-42	(93)		61	体部下半		2段LR
16	V群	鉢	ST4	Y	58-42	67	(98)	(42)	口縁部～底部		
17	V群	深鉢	SP430		59-43	(55)			口縁部		2段LR
18	Ⅳ群	鉢	SP290		57-42	(58)			口縁部～体部上半		2段LR
19	V群	浅鉢	ST4	F1	58-44	140	(250)	98	口縁部～底部		2段LR
20	V群	鉢	ST4	F2	57-42	(45)			口縁部		2段LR
21	V群	深鉢	ST4	F1	58-44	(94)			口縁部		2段LR
22	V群	注口土器	ST4	F2	58-45	86	25	33	完形		2段LR
23	V群	壺	ST4		57-44	(93)		40	体部～底部		2段LR
24	V群	深鉢	ST4	F1	51-44	(53)			口縁部～体部上半		2段LR
25	V群	注口土器	ST4	F1	57-44	(28)			体部		
26	Ⅵ群	鉢	ST4	F2	58-45	48	72	34	完形		
27	Ⅵ群	浅鉢	ST4	F2	59-43	36	(62)	(30)	口縁部～底部		
28	Ⅶ群	深鉢	ST4	F2	58-44	(44)			口縁部		R一右巻き
29	Ⅶ群	深鉢	ST4	F2	58-45	180	143	76	完形		2段LR
30	Ⅳ群	鉢	ST7		75-46	(91)	(145)	52	口縁部～底部		2段LR
31	Ⅳ群	浅鉢	ST7	F1	73-46	(70)			口縁部～体部下半		2段LR
32	V群	深鉢	ST7	Y	76-46	(269)	247	105	口縁部～底部		2段LR
33	Ⅳ群	深鉢	ST19	F1	72-58	(25)			口縁部		2段LR
34	V群	深鉢	ST1004		82-30	(68)			口縁部～体部上半		2段LR
35	Ⅳ群	深鉢	ST1004		82-30	(47)			口縁部		2段LR
36	Ⅳ群	浅鉢	ST1004		82-30	(63)			口縁部～体部上半		
37	Ⅶ群	深鉢	EU27		86-34	(111)		142	底部		2段LR
38	Ⅶ群	深鉢	EU509		82-46	(251)		115	体部～底部		2段LR
39	Ⅳ群	壺	SP203		70-49	(89)		52	体部～底部		2段LR
40	Ⅳ群	深鉢	SP112		75-52	(43)			口縁部		2段LR
41	Ⅳ群	注口土器	SP199		72-74	(50)			注口部		SB17の柱穴
42	Ⅳ群	深鉢	SP561		73-37	(47)			口縁部		2段LR
43	Ⅲ群	深鉢	SP619	F	89-39	(51)			頸部～体部上半		2段LR
44	Ⅳ群	浅鉢	SK40	F1	76-60	(34)			口縁部		ほか破片あり、黒色
45	V群	深鉢	SK64		78-53	(83)		51	台部		2段LR
46	V群	深鉢	SK64		78-53	(93)			口縁部～体部下半		2段LR
47	Ⅶ群	深鉢	SK63		77-51	(197)			口縁部～体部下半		2段LR
48	V群	深鉢	SP482		64-49	(272)	(370)		口縁部～体部下半		2段LR
49	Ⅳ群	深鉢	SX25		60-43	(43)			口縁部		不明
50	Ⅱ群	深鉢	SK41		79-58	(75)			口縁部		外面煤付着
51	Ⅱ群	深鉢	SK41		75-58	(70)			口縁部		R一右巻き
52	Ⅱ群	深鉢	SK41		79-58	(369)	(292)		口縁部～体部下半		R一右巻き
53	Ⅶ群	深鉢	SK69		72-59	(96)	100		口縁部～体部下半		2段LR
54	V群	壺	SK69	F	72-59	(38)			口縁部		2段LR
55	V群	深鉢	SK230		73-46	(208)	351		口縁部～体部下半		2段LR
56	V群	深鉢	SK230		73-46	(43)			口縁部		2段LR
57	V群	深鉢	SK230		73-47	(72)		39	台部		2段LR
58	Ⅶ群	深鉢	SK232		93-42	(102)	(168)		口縁部～体部下半		2段LR
59	Ⅶ群	深鉢	SK232	F	93-41	(56)			口縁部～頸部		2段LR
60	Ⅶ群	深鉢	SK232	F	93-41	87	96	38	口縁部～底部		2段LR
61	V群	深鉢	SK233	F1	90-43	(52)			口縁部		
62	Ⅱ群	深鉢	SK247	F2	84-34	(27)			口縁部～体部上半		2段LR
63	Ⅶ群	壺	SK251		85-35	(220)	130	70	口縁部～体部上半		2段LR
64	V群	深鉢	SK252		87-34	(201)	(340)		口縁部～体部下半		2段LR
65	Ⅳ群	浅鉢	SK258	F1	81-34	(26)			口縁部		
66	V群	注口土器	SK271		59-51	(45)			底部		半肉彫的手法
67	Ⅳ群	深鉢	SK271		59-51	(84)			口縁部～体部上半		2段LR
68	V群	深鉢	SK308		60-45	(85)			口縁部		2段LR
69	Ⅳ群	深鉢	SK308		60-45	(250)			口縁部～体部下半		2段LR
70	V群	深鉢	SK361		66-47	(73)			口縁部		2段LR
71	V群	壺	SK416	Y	78-47	(48)	107		口縁部		2段LR
72	Ⅳ群	深鉢	SK416		78-47	(45)			口縁部		2段LR
73	V群	壺	SK426	F1	64-44	(142)		60	体部～底部		2段LR
74	Ⅶ群	深鉢	SK488		80-32	(36)			口縁部		
75	Ⅲ群	壺	SK502		73-32	(117)			体部上半		2段LR

番号	分類	器形	出土遺構	層位	グリッド	器高	口径	底径	残存部位	地文	備考
76	IV群	深鉢	SK 511		74-29	(132)	(284)		口縁部～体部下半	2段LR	
77	VII群	深鉢	SK 511		74-29	(50)			口縁部	2段LR	
78	VII群	深鉢	SK 511		74-29	(49)			口縁部	2段RL	
79	V群	壺	SK 516		82-32	(84)	(146)		口縁部	2段LR	
80	V群	深鉢	SK 614	F	70-27	(80)			口縁部～体部上半	2段RL	
81	IV群	深鉢	SK 614	F	70-27	(72)			口縁部	2段RL	補修孔2カ所、外面煤付着
82	V群	深鉢	SK 614	F	70-27	(90)	(284)		口縁部～体部上半	2段RL	
83	V群	深鉢	SK 614		70-27	(155)			口縁部～体部下半	2段LR	
84	V群	深鉢	SK 614	F	70-27	111	(120)	(58)	口縁部～底部		
85	VII群	深鉢	SK 627		74-32	(90)			口縁部～頸部	2段LR	
86	VI群	鉢	SP 156	F 1	73-51	(68)			口縁部～体部上半		
87	II群	深鉢	SP 217		51-62	(46)			口縁部		
88	VII群	深鉢	SP 174		77-51	(202)			口縁部～体部下半	2段LR	
89	VII群	深鉢	SP 144		71-47	(345)	(314)		口縁部～体部下半	2段LR	
90	IV群	深鉢	SP 219		54-55	(48)			口縁部～体部上半	2段RL	
91	V群	深鉢	SP 256	F 1	84-44	(63)		25	台部	2段LR	台径39mm
92	IV群	壺	SP 268		60-46	(50)	(88)		口縁部		
93	IV群	深鉢	SP 320		74-37	(66)			口縁部～体部上半	不明	
94	IV群	深鉢	SP 372		58-48	(54)			口縁部	2段LR	
95	V群	台部	SP 402		69-45	(34)		52	台部		黒色、台径は67mm
96	V群	深鉢	SP 434		59-42	(97)			口縁部		
97	IV群	深鉢	SP 438		76-46	(51)			口縁部	2段LR	
98	V群	深鉢	SP 221		57-53	(200)	(278)		口縁部～体部下半	2段LR	補修孔2カ所
99	VII群	深鉢	SP 221	F 1	57-53	(56)			口縁部	2段LR	
100	V群	台部	SP 441		75-42	(71)		22	台部		台径50mm
101	III群	深鉢	SP 462		78-41	(70)	(76)		口縁部～体部下半	2段LR	
102	V群	注口土器	SP 498		75-33	(41)			口縁部	2段LR	壺か注口土器の口縁部
103	IV群	深鉢	SP 542		78-34	(69)			口縁部	2段LR	
104	V群	深鉢	SP 557		76-34	(56)			口縁部	2段LR	
105	V群	台部	SP 650		78-43	(81)		33	台部	2段LR	強く被熱、台径72mm
106	III群	深鉢	SP 656	F 2	78-43	(143)			口縁部～体部下半	2段RL	
107	IV群	深鉢	SX 11		78-42	(106)			口縁部～体部下半	2段LR	外面剥離
108	IV群	深鉢	SX 11		70-42	(65)			口縁部	2段RL	外面剥離
109	IV群	深鉢	SX 11		80-42	(45)			口縁部		
110	VI群	深鉢	SX 11		80-42	(60)			口縁部～体部上半		
111	IV群	片口土器	SX 11		80-42	(20)			注口部		
112	IV群	壺	SX 11		80-42	(76)			頸部～体部	2段RL	
113	V群	深鉢	SX 24		67-50	(149)		90	体部～底部	2段LR	
114	IV群	壺	SX 62	F	80-53	(111)		43	体部～底部	2段LR	黒色
115	IV群	深鉢	SX 65	F	78-52	(50)			口縁部～体部下半		
116	IV群	深鉢	SX 65	F	78-51	(66)			口縁部	2段LR	
117	IV群	深鉢	SX 70	F	72-63	(31)			口縁部	2段LR	
118	V群	深鉢	SX 70	F	72-62	(95)		57	台部		外面剥離、台径80mm
119	V群	鉢	SX 70		73-63	(47)			口縁部	2段LR	
120	IV群	深鉢	SX 139	F 1	69-51	(190)	(275)		口縁部～体部下半	2段LR	
121	III群	壺	SX 222		52-50	(75)			頸部～体部上半	2段LR	
122	V群	深鉢	SX 250		82-35	(104)			口縁部	2段LR	
123	IV群	浅鉢	SX 250		82-36	(25)			口縁部	2段RL	
124	IV群	注口土器	SX 250		82-36	(33)			注口部		
125	IV群	鉢	SX 250		82-36	(97)	(182)	60	口縁部～底部	2段LR	
126	V群	深鉢	SX 253	F 2	88-36	(96)			口縁部～体部上半	2段RL	
127	V群	鉢	SX 253		88-36	(44)			口縁部～体部上半	2段LR	
128	VII群	鉢	SX 286		65-53	(67)			口縁部～体部上半	2段LR	
129	IV群	深鉢	SX 587		80-45	(203)			口縁部～体部	2段RL	
130	VI群	浅鉢	SX 587		80-45	(46)	195		口縁部～体部下半		
131	IV群	深鉢	SX 646		89-34	(210)			口縁部～体部下半	不明	
132	I群	深鉢	SG 21		78-36	(338)	340		口縁部～体部下半	2段LR	
133	I群	深鉢	SG 21	F 1	73-30	(265)			口縁部～体部上半	2段LR	
134	I群	深鉢	SG 21	F 2	73-29	(192)			口縁部～体部上半	2段LR	
135	I群	深鉢	SG 21		78-35	190	108		口縁部～体部下半	2段LR	
136	I群	深鉢	SG 21	F 2	73-29	298	246	148	口縁部～底部	2段LR	
137	I群	深鉢	SG 21	F 1	73-30	(129)			口縁部	2段LR	
138	I群	深鉢	SG 21	F 2	74-30	249	160	(104)	口縁部～底部	2段LR	
139	I群	深鉢	SG 21	F 1	74-30	(224)	(278)		口縁部～体部上半	2段LR	
140	I群	深鉢	SG 21	F 1	73-30	(224)	(320)		口縁部～体部下半	2段LR	
141	I群	深鉢	SG 21	F 2	74-30	164	122	78	口縁部～底部	2段LR	
142	I群	深鉢	SG 21	F 2	72-29	(203)	212		口縁部～体部下半	2段LR	
143	I群	深鉢	SG 21	F 1	74-30	272	210	100	口縁部～底部	2段LR	
144	I群	深鉢	SG 21	F 1	74-30	467	304	142	完形	2段LR	
145	I群	深鉢	SP 542		78-34	(23)			口縁部	不明	
146	I群	深鉢	SG 21	F 1	75-34	(73)	(178)		口縁部～頸部	2段LR	
147	I群	深鉢	SG 21	F 1	74-30	(94)			口縁部	不明	
148	I群	深鉢	SG 21	F 2	74-30	428	286		口縁部～体部下半	2段LR	
149	I群	深鉢	SG 21	F 2	72-29	(400)		128	頸部～底部	2段LR	
150	I群	深鉢	SG 21	F 1	70-27	(57)			口縁部		
151	I群	浅鉢	SG 21	F 2	82-43	(174)	(420)		口縁部～体部下半	2段LR	
152	I群	浅鉢	SG 21	F 1	82-44	(65)			口縁部～体部上半		
153	I群	浅鉢	SG 21	F 2	73-29	172	(345)	(105)	口縁部～底部	2段LR	154と同一個体
154	I群	浅鉢	SG 21	F 2	73-30	(73)			口縁部	2段LR	153と同一個体

遺物観察表

番号	分類	器形	出土遺構	層位	グリッド	器高	口径	底径	残存部位	地文	備考
155	I群	浅鉢	SG21	F2	73-36	(56)			口縁部～体部上半		
156	I群	浅鉢	SG21	F2	73-30	(100)			口縁部～体部上半	2段LR	
157	I群	浅鉢	SG21	F2	73-29	141	(352)	(106)	口縁部～底部		
158	II群	深鉢	SG21	F2	80-42	(72)			口縁部	R-右巻き	
159	II群	深鉢	SG21	F2	76-46	(38)			体部上半	擦系文	
160	II群	深鉢	SG21	F1	87-49	(30)			口縁部		
161	II群	深鉢	SG21	F1	70-34	(52)			口縁部～頸部		
162	II群	深鉢	SG21	F1	74-43	(74)			口縁部～体部上半	2段LR	
163	II群	鉢	SG21	F2	52-62	(64)			口縁部～体部上半	不明	
164	II群	深鉢	SG21	F1	69-32	(51)			口縁部	R-右巻き	
165	II群	深鉢	SG21	F1	69-32	(53)			口縁部		
166	III群	深鉢	SG21	F1	76-34	(49)			口縁部	2段LR	
167	III群	深鉢	SG21	F2	73-44	(100)			口縁部～体部上半	2段LR	
168	III群	深鉢	SG21	F1	72-41	(107)			口縁部～体部上半	2段LR	
169	III群	深鉢	SG21	F2	73-34	(139)			口縁部～体部上半	2段LR	
170	III群	深鉢	SG21	F1	71-34	(142)			口縁部～体部下半	2段LR	ほか破片多数
171	III群	深鉢	SG21	F1	71-33	(51)			口縁部	2段LR	
172	III群	深鉢	SG21	F1	75-36	(110)	(184)		口縁部～体部上半	2段LR	
173	III群	深鉢	SG21	F1	73-43	(150)	247		口縁部～体部上半	2段LR	
174	III群	深鉢	SG21	F1	83-46	(95)			口縁部～体部上半	2段LR	
175	III群	深鉢	SG21	F	73-39	(131)			口縁部～体部下半	2段LR	
176	III群	深鉢	SG21	F2	70-34	(70)	(134)		口縁部～体部上半	2段LR	
177	III群	深鉢	SG21	F2	67-32	(73)			口縁部～体部上半	2段LR	
178	III群	深鉢	SG21	F1	74-32	(67)			口縁部～体部上半	2段LR	
179	III群	深鉢	SG21	F1	70-33	(48)			口縁部～体部上半	2段LR	
180	III群	深鉢	SG21	F2	73-40	(128)			口縁部～体部下半	2段LR	
181	III群	深鉢	SG21	F2	76-44	(139)	(172)		口縁部～体部下半	2段LR	
182	III群	深鉢	SG21	F2	68-31	(70)			頸部～体部		
183	III群	深鉢	SG21	F1	73-41	(90)			口縁部～体部上半	2段LR	
184	III群	深鉢	SG21	F1	73-40	(189)			口縁部～体部上半	2段LR	
185	III群	深鉢	SG21	F1	70-33	(218)			口縁部～体部下半	2段LR	
186	III群	深鉢	SG21	F1	71-33	334	246	130	完形	2段LR	
187	III群	深鉢	SG21	F2	71-34	(194)		94	体部～底部	2段LR	
188	III群	深鉢	SG21	F2	74-42	(195)			口縁部～体部上半	2段LR	
189	III群	深鉢	SG21	F2	79-41	(75)			口縁部	2段LR	
190	III群	深鉢	SG21	F2	81-48	(108)	(190)		口縁部～体部下半	2段LR	ほか破片多数
191	III群	深鉢	SG21	F1	73-39	(120)	(294)		口縁部～体部上半	2段LR	
192	III群	深鉢	SG21	F2	81-38	(305)	320		口縁部～体部下半	2段LR	内外面剥離
193	III群	深鉢	SG21	F3	69-30	(296)	(285)		口縁部～体部下半	2段LR	
194	III群	深鉢	SG21	F	79-42	106	135	57	口縁部～底部	2段LR	漆塗布
195	III群	深鉢	SG21	F2	76-44	(70)			体部	2段LR	
196	III群	深鉢	SG21	F2	78-46	(46)	(95)		口縁部～体部上半	2段LR	
197	III群	深鉢	SG21	F1	73-33	(91)			口縁部～体部下半	2段LR	
198	III群	深鉢	SG21	F1	68-33	(92)			口縁部～体部上半	2段LR	
199	III群	深鉢	SG21	F3	74-45	(101)		98	体部下半	2段LR	漆付着
200	III群	深鉢	SG21	F1	68-33	(227)	(264)		口縁部～体部下半	2段LR	
201	III群	深鉢	SG21	F1	74-44	(112)			口縁部～体部上半	2段LR	
202	III群	深鉢	SG21	F1	74-44	(102)			口縁部～体部上半	2段LR	
203	III群	深鉢	SG21	F	73-39	(105)			口縁部～体部上半	2段LR	
204	III群	深鉢	SG21	F2	74-39	(93)			口縁部	2段LR	
205	III群	深鉢	SG21	F2	73-40	(147)			口縁部～体部上半	2段LR	
206	III群	深鉢	SG21	F1	73-42	(51)			口縁部	2段LR	
207	III群	深鉢	SG21	F1	82-48	(166)			口縁部～体部下半	2段LR	
208	III群	深鉢	SG21	F2	76-41	(97)			口縁部～体部上半	2段LR	
209	III群	深鉢	SG21	F1	75-45	68	80	35	完形	2段LR	
210	III群	深鉢	SG21	F2	74-32	(59)			口縁部～体部上半	2段LR	
211	III群	深鉢	SG21	F1	73-39	(81)			口縁部～体部下半	2段LR	
212	III群	深鉢	SG21	F1	77-46	(111)			口縁部	2段LR	
213	III群	浅鉢	SG21	F2	74-42	149	326	112	口縁部～底部		
214	III群	浅鉢	SG21	F1	71-33	(42)			口縁部		
215	III群	壺	SG21	F2	81-41	(64)	(78)		口縁部～頸部	2段LR	
216	III群	壺	SG21	F1	80-48	(80)		34	頸部～底部		外面摩滅
217	III群	壺	SG21	F1	75-45	133	57	40	完形	2段LR	
218	III群	壺	SG21	F2	80-43	(47)			体部上半	2段LR	
219	III群	壺	SG21	F1	78-39	(50)	(130)		口縁部～頸部		
220	III群	壺	SG21	F1	79-39	(150)			体部	2段LR	
221	III群	壺	SG21	F1	73-41	(155)	112		口縁部～体部上半	2段LR	
222	III群	壺	SG21	F2	75-40	(82)	151		口縁部～頸部	2段LR	
223	IV群	深鉢	SG21	F2	74-42	(239)			体部	2段LR	
224	IV群	深鉢	SG21	F1	73-40	(194)	236		口縁部～体部下半	2段LR	外面被熱
225	IV群	深鉢	SG21	F1	79-40	(174)	197		口縁部～体部下半	2段LR	
226	IV群	深鉢	SG21	F	75-37	(188)	277		口縁部～体部下半	2段LR	
227	IV群	深鉢	SG21	F1	75-40	(233)	366		口縁部～体部下半	2段LR	外面剥離
228	IV群	深鉢	SG21	F2	74-43	(75)	(86)	(36)	口縁部～底部	2段LR	
229	IV群	深鉢	SG21	F	75-43	(105)	(182)		口縁部～体部下半	2段LR	
230	IV群	深鉢	SG21	F1	79-40	(178)		74	体部～底部	2段LR	
231	IV群	深鉢	SG21	F1	78-45	(66)	(232)		口縁部～体部上半	2段LR	
232	IV群	深鉢	SG21	F2	76-38	(132)			頸部～体部上半	2段LR	
233	IV群	深鉢	SG21	F1	77-42	(144)	(237)		口縁部～体部下半	2段LR	

番号	分類	器形	出土遺構	層位	グリッド	器高	口径	底径	残存部位	地文	備考
234	IV群	深鉢	SG 21	F 1	77-44	(185)	(205)		口縁部～体部下半	2段LR	
235	IV群	深鉢	SG 21	F 1	79-40		231 263	90	完形	2段LR	
236	IV群	深鉢	SG 21	F 2	77-39	(94)	(130)		口縁部～体部下半	2段RL	
237	IV群	深鉢	SG 21	F 2	74-40	(53)			口縁部	2段LR	
238	IV群	深鉢	SG 21	F 1	75-34	(46)			口縁部	2段LR	
239	IV群	深鉢	SG 21	F 2	77-39	(102)	(280)		口縁部～体部上半	2段LR	
240	IV群	深鉢	SG 21	F 1	74-40	(239)			口縁部～体部下半	2段RL	
241	IV群	深鉢	SG 21	F 1	75-38	(180)	237		口縁部～体部下半	2段RL	
242	IV群	深鉢	SG 21	F 2	75-42	(86)			口縁部～体部上半	2段LR	
243	IV群	深鉢	SG 21	F 2	77-39	(50)			口縁部	2段LR	
244	IV群	深鉢	SG 21	F 2	74-40	(44)			口縁部	2段RL	
245	IV群	深鉢	SG 21	F 2	77-39	(51)			口縁部	2段LR	
246	IV群	深鉢	SG 21	F 1	78-38	(116)			口縁部～体部上半	2段RL	
247	IV群	深鉢	SG 21	F 1	78-43	(76)			口縁部～体部上半	2段LR	
248	IV群	深鉢	SG 21	F 2	75-38	(89)			口縁部～頸部	2段RL	
249	IV群	深鉢	SG 21	F 1	80-40	(83)			口縁部～体部	2段LR	
250	IV群	深鉢	SG 21		78-38	(104)			頸部～体部上半	2段RL	内外面剥離
251	IV群	深鉢	SG 21	F 2	76-44	(57)			頸部	2段LR	外面煤付着
252	IV群	深鉢	SG 21	F 2	83-39	(38)			口縁部～頸部	1段L	
253	IV群	深鉢	SG 21	F 1	79-40	(72)			口縁部～体部上半	2段RL	
254	IV群	深鉢	SG 21	F	81-40	(48)			口縁部	不明	
255	IV群	深鉢	SG 21		76-38	(66)			口縁部～体部上半	2段RL	
256	IV群	深鉢	SG 21	F 1	75-38	118	(140)	42	口縁部～底部	2段LR	
257	IV群	深鉢	SG 21	F 1	77-39	(53)			口縁部～体部上半	2段LR	
258	IV群	深鉢	SG 21	F 1	78-43	(24)			口縁部	不明	
259	IV群	深鉢	SG 21	F 1	-	(37)			口縁部	2段LR	
260	IV群	深鉢	SG 21	F 1	77-43	(28)			口縁部		
261	IV群	深鉢	SG 21	F 1	78-37	(38)			口縁部	2段RL	
262	IV群	深鉢	SG 21	F 1	74-44	(34)			口縁部	2段LR	
263	IV群	深鉢	SG 21	F 1	78-36	(34)			口縁部		
264	IV群	深鉢	SG 21	F 1	79-39	(60)	(164)		口縁部	2段RL	
265	IV群	深鉢	SG 21	F 2	74-40	(51)			口縁部	2段LR	
266	IV群	深鉢	SG 21	F 1	75-40	(72)	(235)		口縁部	2段RL	
267	IV群	深鉢	SG 21		78-45	(92)			口縁部～体部上半	2段LR	
268	IV群	深鉢	SG 21	F 1	76-41	(71)			口縁部	2段LR	
269	IV群	深鉢	SG 21	F 1	78-38	(93)			口縁部	2段LR	
270	IV群	深鉢	SG 21	F 1	84-46	(61)			口縁部	2段LR	
271	IV群	深鉢	SG 21	F 1	76-36	(37)			口縁部	2段RL	
272	IV群	深鉢	SG 21	F 2	74-39	(41)			口縁部	不明	
273	IV群	深鉢	SG 21	F 1	74-41	(63)			口縁部	不明	
274	IV群	深鉢	SG 21	F 1	80-45	(324)			口縁部～体部下半	2段LR	
275	IV群	深鉢	SG 21	F 1	76-36	(82)			口縁部	2段LR	
276	IV群	深鉢	SG 21	F 1	79-42	(42)			体部	2段LR	
277	IV群	鉢	SG 21	F 1	96-42	70	(146)	42	口縁部～底部	2段LR	
278	IV群	鉢	SG 21	F 1	75-39	(92)	(240)	75	口縁部～底部	2段LR	
279	IV群	鉢	SG 21	F 1	77-41	(44)			体部上半	2段LR	
280	IV群	鉢	SG 21	F 1	76-41	(37)			口縁部～体部上半		
281	IV群	浅鉢	SG 21	F 1	81-39	(148)	(344)		口縁部～体部下半		
282	IV群	浅鉢	SG 21	F 1	77-37	(60)			口縁部～体部上半		補修孔1カ所
283	IV群	浅鉢	SG 21	F 1	79-38	(113)			口縁部～体部下半		外面煤付着
284	IV群	浅鉢	SG 21	F 1	80-46	(74)			口縁部～体部上半		
285	IV群	浅鉢	SG 21	F 1	76-46	(32)			口縁部		
286	IV群	浅鉢	SG 21	F 2	73-43	(37)			口縁部		
287	IV群	浅鉢	SG 21	F 1	78-45	(40)			口縁部		
288	IV群	浅鉢	SG 21	F 2	78-38	(23)			口縁部		
289	IV群	浅鉢	SG 21	F 3	70-27	(99)	(295)		口縁部～体部下半	2段LR	
290	IV群	浅鉢	SG 21	F 2	76-43	80	(178)	60	口縁部～底部	2段LR	
291	IV群	壺	SG 21	F 1	79-39	(127)	(114.5)		口縁部～体部下半	2段LR	
292	IV群	壺	SG 21	F 1	75-38	(110)			頸部～体部上半	2段RL	
293	IV群	壺	SG 21	F 3	59-49	(170)		95	体部～底部	2段LR	
294	IV群	壺	SG 21	F 1	75-35	(135)		76	体部～底部	2段LR	
295	IV群	壺	SG 21	F 2	70-27	(69)			体部	2段LR	
296	IV群	壺	SG 21		80-41	(103)		47	体部～底部	2段LR	
297	IV群	壺	SG 21	F 1	81-39	(132)			体部	2段LR	
298	IV群	壺	SG 21	F 1	77-42	(124)		44	頸部～底部	2段LR	外面剥離
299	IV群	壺	SG 21	F 2	75-39	(55)			体部上半	2段LR	
300	IV群	壺	SG 21	F 2	78-44	(79)			体部	2段LR	
301	IV群	壺	SG 21	F 1	81-39	(38)			口縁部～頸部	2段LR	
302	IV群	片口土器	SG 21	F 1	74-41	(188)	110		口縁部～体部下半	2段LR	黒色
303	IV群	片口土器	SG 21	F 1	73-33	(25)			口縁部	2段LR	
304	IV群	片口土器	SG 21	F 1	74-43	(104)		65	頸部～底部	2段LR	外面剥離
305	IV群	注口土器	SG 21	F 1	79-38	(46)			口縁部		
306	IV群	注口土器	SG 21	F	80-39	(27)			口縁部		
307	V群	深鉢	SG 21	F 1	80-41	(106)	(260)		口縁部～体部上半	2段LR	
308	V群	深鉢	SG 21	F 1	77-40	(189)	(246)		口縁部～体部下半	2段LR	強く被熱
309	V群	深鉢	SG 21	F 1	78-39	(77)			口縁部	2段LR	
310	V群	深鉢	SG 21	F	83-47	(93)			口縁部	2段LR	補修孔1カ所
311	V群	深鉢	SG 21	F 1	79-41	(37)			口縁部	不明	外面剥離
312	V群	深鉢	SG 21	F 1	75-40	(54)			口縁部	2段LR	

遺物観察表

番号	分類	器形	出土遺構	層位	グリッド	器高	口径	底径	残存部位	地文	備考
313	V群	深鉢	SG21		84-48	(38)			口縁部	2段LR	
314	V群	深鉢	SG21	F1	80-44	(53)			口縁部	2段LR	
315	V群	深鉢	SG21		80-45	(47)			口縁部	2段LR	
316	V群	深鉢	SG21	F1	77-41	(45)			口縁部	2段LR	
317	V群	深鉢	SG21	F1	73-41	(51)			口縁部	不明	内外面剥離
318	V群	深鉢	SG21	F1	79-37	(53)			口縁部	2段RL	
319	V群	深鉢	SG21	F2	58-43	(126)			口縁部	不明	
320	V群	深鉢	SG21	F1	81-48	(75)			口縁部	2段LR	
321	V群	深鉢	SG21	F1	74-42	(92)			口縁部	不明	外面剥離
322	V群	深鉢	SG21	F	85-48	(42)			口縁部		
323	V群	深鉢	SG21	F1	86-46	(55)			口縁部	不明	
324	V群	深鉢	SG21	F1	74-42	(68)			口縁部	2段LR	
325	V群	深鉢	SG21	F3	70-27	(120)			口縁部	2段LR	
326	V群	深鉢	SG21	F1	69-33	(68)			口縁部～頸部	2段LR	
327	V群	深鉢	SG21	F	83-47	(71)			口縁部	2段LR	
328	V群	深鉢	SG21	F2	76-41	(55)			口縁部	2段LR	
329	V群	深鉢	SG21	F1	81-42	(45)			口縁部	2段LR	
330	V群	深鉢	SG21	F1	73-31	(50)			口縁部	2段LR	
331	V群	深鉢	SG21	F2	70-27	(78)			口縁部	不明	
332	V群	深鉢	SG21	F1	82-45	(94)			口縁部	2段LR	補修孔1カ所
333	V群	深鉢	SG21	F2	82-44	(121)			口縁部～体部下半	2段LR	
334	V群	深鉢	SG21	F1	84-47	(160)			体部	2段LR	
335	V群	深鉢	SG21	F1	76-38	(78)			体部下半	2段LR	
336	V群	深鉢	SG21	F1	75-41	(78)			台部	2段LR	
337	V群	深鉢	SG21	F3	73-46	(60)			台部		
338	V群	深鉢	SG21	F2	80-45	(100)	306		口縁部～体部上半	不明	
339	V群	深鉢	SG21	F1	74-42	(61)			口縁部	2段LR	赤色顔料
340	V群	深鉢	SG21	F1	75-37	(34)			口縁部	2段RL	
341	V群	深鉢	SG21	F1	74-40	(48)			体部上半	2段LR	
342	V群	深鉢	SG21	F1	73-41	(115)	(165)		口縁部～体部上半	2段LR	
343	V群	深鉢	SG21	F2	75-41	(36)			口縁部		
344	V群	深鉢	SG21	F2	75-42	(57)			口縁部～体部上半	2段LR	
345	V群	深鉢	SG21	F1	74-44	(67)			頸部～体部上半	2段LR	
346	V群	深鉢	SG21	F1	80-45	(59)			体部下半	2段RL	
347	V群	深鉢	SG21	F3	70-27	(61)			口縁部～体部下半	2段LR	外面摩滅
348	V群	鉢	SG21	F1	77-38	(45)			口縁部	2段LR	
349	V群	鉢	SG21	F1	70-31	(57)			口縁部～体部上半	2段LR	
350	V群	壺	SG21	F2	76-36	(125)	32		体部～底部	2段LR・RL	矢羽状網文
351	V群	壺	SG21	F3	75-40	(47)			口縁部	2段LR	内外面赤色顔料付着
352	V群	注口土器	SG21	F	78-39	(54)			注口部		半肉彫的手法
353	V群	注口土器	SG21		21-42	(62)			注口部	2段RL	
354	V群	注口土器	SG21		78-45	(89)			口縁部～体部上半		
355	V群	注口土器	SG21	F1	82-45	(23)		40	底部		
356	V群	注口土器	SG21	F2		(48)		80	底部		
357	V群	台付浅鉢	SG21	F	73-32	95	77		完形		台径67mm、燭台形土器
358	V群	台部	SG21		80-43	(47)		23	台部	2段LR	
359	V群	台部	SG21	F	73-45	(37)		32	台部		黒色、台径57mm
360	V群	台部	SG21	F1	78-45	(31)		20	台部		台径50mm
361	V群	脚部	SG21	F2	75-42	(75)			台部		
362	V群	脚部	SG21	F1	76-36	(66)			台部		
363	VI群	深鉢	SG21	F2	71-33	349	294	134	完形		
364	VI群	深鉢	SG21	F1	76-42	(147)			口縁部～底部		ほか破片多数
365	VI群	深鉢	SG21	F1	78-39	(214)			口縁部～体部下半		
366	VI群	深鉢	SG21		70-28	(45)			口縁部		
367	VI群	深鉢	SG21	F1	78-40	(65)			口縁部～体部上半		
368	VI群	深鉢	SG21	F1	79-42	(38)			口縁部～体部上半		
369	VI群	深鉢	SG21	F2	78-40	(67)			口縁部～体部上半		黒色
370	VI群	深鉢	SG21	F1	74-43	(36)			口縁部		
371	VI群	深鉢	SG21	F1	69-48	(53)	(134)		口縁部		
372	VI群	深鉢	SG21	F1	76-38	101	(90)	50	口縁部～底部		
373	VI群	深鉢	SG21	F1	79-37	(237)			口縁部～体部下半		
374	VI群	鉢	SG21	F1	68-33	(106)	(203)		口縁部～体部下半		
375	VI群	鉢	SG21	F1	74-39	51	81	(32)	口縁部～底部		
376	VI群	鉢	SG21	F2	74-30	(57)			口縁部～底部		
377	VI群	鉢	SG21	F1	80-40	(71)			口縁部～体部上半		
378	VI群	鉢	SG21	F1	78-37	(57)			口縁部		
379	VI群	鉢	SG21	F1	78-38	(37)			口縁部～体部下半		
380	VI群	鉢	SG21	F1	75-40	61	(103)	36	完形		
381	VI群	鉢	SG21	F3	76-36	(55)	132		口縁部～体部下半		
382	VI群	浅鉢	SG21	F1	76-40	(39)	178		口縁部～体部下半		
383	VI群	浅鉢	SG21	F1	82-37	(42)		32	体部～底部		
384	VI群	浅鉢	SG21	F1	81-39	(51)		(40)	体部～底部		
385	VI群	壺	SG21	F1	70-33	(85)	(196)		口縁部		黒色
386	VI群	壺	SG21	F1	76-39	(88)	(177)		口縁部		
387	VI群	壺	SG21	F1	78-39	(135)		70	体部～底部		
388	VI群	壺	SG21	F1	75-41	(45)			頸部～体部上半		外面剥離
389	VI群	壺	SG21	F1	76-42	(64)		53	口縁部～底部		
390	VI群	壺	SG21	F2	76-38	76	52	28	完形		
391	VII群	深鉢	SG21	F	78-46	(43)			口縁部	R-右巻き	

遺物観察表

番号	分類	器形	出土遺構	層位	グリッド	器高	口径	底径	残存部位	地文	備考
471	IV群	深鉢		遺物包含層	67-49	(250)			口縁部～体部下半	2段LR	
472	IV群	深鉢		遺物包含層	57-44	(218)	325		口縁部～体部下半	2段LR	
473	IV群	深鉢		遺物包含層	66-48	(43)			口縁部	2段LR	
474	IV群	深鉢		遺物包含層	58-47	(55)			口縁部	2段LR	
475	IV群	深鉢		遺物包含層	66-49	(104)			口縁部～体部上半	2段LR	
476	IV群	深鉢		遺物包含層	58-43	(57)			口縁部～体部上半	2段LR	
477	IV群	深鉢		遺物包含層	60-45	(83)			口縁部～体部下半	2段LR	
478	IV群	深鉢		遺物包含層	62-50	(77)			口縁部	2段LR	
479	IV群	深鉢		遺物包含層	58-43	(83)			口縁部	不明	外面剥離
480	IV群	深鉢		遺物包含層	61-49	(228)	(296)	(94)	口縁部～底部	2段LR	
481	IV群	深鉢		遺物包含層	58-46	(115)			口縁部～体部上半	2段LR	
482	IV群	深鉢		遺物包含層	58-47	(170)			口縁部～体部下半	2段LR	
483	IV群	深鉢		遺物包含層	62-50	133	145	54	完形	2段LR	
484	IV群	深鉢		遺物包含層	57-44	(213)			口縁部～体部下半	2段LR	
485	IV群	深鉢		遺物包含層	57-47	(46)			口縁部～体部上半	2段LR	
486	IV群	深鉢		遺物包含層	57-47	(46)			口縁部	2段LR	
487	IV群	深鉢		遺物包含層	57-49	(184)	376		口縁部～体部上半	2段LR	
488	IV群	浅鉢		旧耕土	56-54	(60)			口縁部		
489	IV群	壺		旧耕土	58-44	(70)		45	体部～底部	1段L	
490	IV群	壺		旧耕土	60-47	(42)	96		口縁部		黒色
491	IV群	壺		旧耕土	53-55	(91)		43	体部～底部	2段LR	
492	IV群	壺		遺物包含層	85-32	(95)			体部	2段LR	被熱し外面剥離
493	IV群	壺		旧耕土	56-55	(35)		45	体部下半～底部	2段RL	内面漆付着
494	IV群	壺		旧耕土	51-54	(242)			頸部～体部	2段LR	
495	IV群	壺		遺物包含層	57-45	(73)	(158)		口縁部～頸部	2段LR	
496	IV群	壺		旧耕土	61-45	(99)			体部上半	2段RL	
497	IV群	壺		遺物包含層	57-43	280			頸部～体部	2段LR	
498	IV群	壺		遺物包含層	61-48	(101)	(201)		口縁部～体部下半	2段LR	
499	IV群	壺		遺物包含層	58-46	(124)	(225)		口縁部～体部上半	1段R	
500	V群	深鉢		遺物包含層	72-56	289	240	76	完形	2段LR	
501	V群	深鉢		遺物包含層	56-55	(56)			口縁部	2段LR	
502	V群	深鉢		遺物包含層	77-52	(61)			口縁部	2段LR	
503	V群	深鉢		遺物包含層	57-55	(273)	(216)		口縁部～体部下半	2段LR	
504	V群	深鉢		遺物包含層	61-47	203	225		口縁部～体部下半	2段LR	
505	V群	深鉢		遺物包含層	61-49	(76)			口縁部～体部下半	2段RL	
506	V群	深鉢		遺物包含層	54-54	(145)			口縁部	不明	
507	V群	深鉢		遺物包含層	58-49	(66)			口縁部		
508	V群	深鉢		遺物包含層	56-45	(90)			口縁部	2段RL	
509	V群	深鉢		遺物包含層	58-50	(86)			口縁部		
510	V群	深鉢		遺物包含層	58-47	(133)			口縁部		
511	V群	深鉢		遺物包含層	57-44	(116)			口縁部	2段LR	
512	V群	深鉢		遺物包含層	64-49	(60)			口縁部		
513	V群	深鉢		遺物包含層	66-47	(71)			口縁部	2段LR	
514	V群	深鉢		遺物包含層	63-50	104	98	48	完形	2段LR	黒色
515	V群	深鉢		遺物包含層	65-48	(70)			体部	2段LR	
516	V群	深鉢		遺物包含層	67-49	(279)			口縁部～体部下半	2段LR	
517	V群	深鉢		遺物包含層	57-48	(82)			口縁部	2段LR	漆塗布
518	V群	深鉢		遺物包含層	63-48	(46)			口縁部		
519	V群	深鉢		遺物包含層	59-45	(46)			口縁部	刷毛目状条線文	
520	V群	深鉢		遺物包含層	64-48	(53)			口縁部		
521	V群	深鉢		旧耕土	49-59	(67)			頸部	2段RL	
522	V群	台付浅鉢		遺物包含層	57-45	(40)	(144)	(132)	口縁部～底部	2段LR	
523	V群	台付鉢		旧耕土	56-53	(38)		(64)	体部下～台部	2段LR	
524	V群	注口土器		遺物包含層	58-48	75	(68)	30	口縁部～底部		黒色、半肉彫的手法
525	V群	注口土器		遺物包含層	59-45	(41)			注口部		
526	VI群	深鉢		旧耕土	53-53	(90)			口縁部	2段LR	
527	VI群	深鉢		遺物包含層	67-49	(55)			口縁部～体部上半		
528	VI群	鉢		遺物包含層	59-50	106	(160)	(58)	口縁部～底部		内外面赤色顔料付着
529	VI群	鉢		遺物包含層	81-37	(48)			口縁部～体部上半		
530	VI群	壺		遺物包含層	57-47	(82)		54	体部～底部		
531	VII群	深鉢		遺物包含層	58-46	(118)			口縁部～体部上半	2段LR	
532	VII群	深鉢		遺物包含層	62-48	(188)			口縁部～体部上半	1段L	
533	VII群	深鉢		旧耕土	56-55	(69)			口縁部～体部下半	2段LR	
534	VII群	深鉢		遺物包含層	58-49	(46)			口縁部～体部上半	2段LR	
535	VII群	深鉢		遺物包含層	57-44	155	149	58	完形	2段RL	
536	VIII群	ミニチュア土器		遺物包含層	54-54	(38)		31	台部		台径50mm
537	VIII群	底部		遺物包含層	58-44	(32)		114	底部	2段LR	網代痕と木葉痕
538	VIII群	深鉢		遺物包含層	57-55	(255)	(397)		口縁部～体部下半	2段LR	
539	VIII群	深鉢		遺物包含層	66-46	(28)			口縁部		瘤付土器第Ⅲ段階
540	VIII群	深鉢		旧耕土	65-47	(68)			体部上半	2段LR	瘤付土器第Ⅲ段階
541	IV群	深鉢	X 0			(56)			口縁部	2段LR	
542	IV群	深鉢	X 0			(33)			口縁部	2段LR	
543	IV群	深鉢	X 0			(31)			口縁部	不明	
544	VII群	鉢	X 0			(40)			口縁部～体部上半	1段L	
545	IV群	浅鉢	X 0			(44)			口縁部	2段LR	
546	V群	深鉢	X 0			(61)			口縁部	2段LR	
547	V群	鉢	X 0			(51)			口縁部～体部上半	2段LR	
548	V群	注口土器	X 0			(37)			体部上半		半肉彫的手法

表2 土偶・耳飾・スタンプ状土製品・土錘・そのほかの土製品・円盤状土製品観察表

※層位のFは覆土、Yは床面あるいは底面出土を表す。

長さ・幅・厚さの括弧は残存値を表す。

番号	種類	出土遺構	層位	グリッド	長さ	幅	厚さ	備考
549	土偶	SG21	F1	70-31	(73)			頭部
550	土偶	SG21	F2	69-32	(53)			頭部、アスファルト付着
551	土偶	SG21		83-38	(62)			頭部
552	土偶	SG21	F1	75-45	(61)			胴上半
553	土偶	SG21	F	75-42	(73)			胴部
554	土偶	X0		-	(46)			胴上半
555	土偶		遺物包含層	57-48	(46)			左胸部
556	土偶	SX250		83-35	(52)			胴上半
557	土偶	SG21	F	78-45	(133)			胴部
558	土偶	SG21	F1	72-40	(32)			右腕
559	土偶	SG21	F2	77-41	(72)			腰部
560	土偶	SG21	F	80-42	(51)			腰部
561	土偶	SG21	F1	82-43	(45)			腰部
562	土偶	SK560		72-37	(63)			腰部
563	土偶	SG21	F1	82-45	(56)			脚部
564	土偶	SG21	F1	78-45	(48)			脚部
565	土偶	SG21	F2	74-39	(46)			右脚
566	土偶	SG21		-	(40)			右脚
567	土偶	SG21	F1	72-31	(20)			右脚
568	耳飾	SG21	F2	74-23	11		15	無文・無孔
569	スタンプ状土製品	SG21	F1	74-40	(20)		38	把手部分欠損
570	土錘	SG21	F1	78-43	42	23	14	有溝土錘
571	土製品	SG21	F1	76-36	(51)		(11)	把手形
572	土製品	SG21	F2	77-36	33	27	22	球状・中実
573	土製品	SP334		73-50	70	48		円錐状・中実
574	円盤状土製品	SG21	F1	72-40	36	38	9	燃系文R
575	円盤状土製品	SG21	F1	68-32	41	44	8	燃系文R
576	円盤状土製品	SG21	F1	80-46	31	26	7	一部研磨
577	円盤状土製品		遺物包含層	57-42	42	43	8	2段LR
578	円盤状土製品		遺物包含層	66-46	30	28	8	一部研磨
579	円盤状土製品		遺物包含層	61-50	32	32	6	2段LR
580	円盤状土製品		遺物包含層	80-43	33	33	7	2段RL
581	円盤状土製品	SG21	F	73-44	58	56	12	1段L
582	円盤状土製品	SG21	F1	81-38	55	52	9	2段RL
583	円盤状土製品	SG21	F	86-51	60	56	12	2段LR
584	円盤状土製品	SG21	F1	80-38	59	63	14	2段LR
585	円盤状土製品	SG21	F2	76-36	36	37	8	一部研磨
586	円盤状土製品	SG21	F2	73-35	47	44	12	
587	円盤状土製品		遺物包含層	63-44	39	38	10	一部研磨
588	円盤状土製品	SG21		68-32	57	64	16	粘土貼付痕あり
589	円盤状土製品	SP268		60-46	38	43	11	縄の側面圧痕・2段LR
590	円盤状土製品	SG21	F1	75-38	36	36	8	2段LR
591	円盤状土製品	SG21	F1	76-45	35	32	8	周囲研磨・2段LR
592	円盤状土製品	SG21	F	78-40	31	32	10	2段LR
593	円盤状土製品	SG21	F1	78-43	46	47	8	周囲研磨・2段LR
594	円盤状土製品	SG21	F1	71-31	55	56	9	一部研磨・2段RL
595	円盤状土製品	SG21	F1	82-38	51	55	8	周囲研磨・2段LR
596	円盤状土製品	SK47		78-54	53	50	10	2段LR
597	円盤状土製品	SG21		-	26	27	7	2段LR
598	円盤状土製品	SG21	F1	76-44	38	35	7	周囲研磨・2段LR
599	円盤状土製品	X0		-	31	39	12	一部研磨・底部木葉痕
600	円盤状土製品	SG21		84-48	45	44	9	底部網代痕
601	円盤状土製品	SG21	F1	75-35	42	41	9	周囲研磨・燃系文R
602	円盤状土製品	SG21		71-41	28	27	8	
603	円盤状土製品	SG21		75-38	38	36	9	
604	円盤状土製品	SG21		81-38	38	39	8	一部研磨

表3 石器観察表

※層位のFは覆土、Yは床面あるいは底面を表す。長さ・幅・厚さの単位はmm、重量はg。石材鑑定は筆者が行った（柴田1991）。

番号	器種	分類	出土遺構	層位	グリッド	長さ	幅	厚さ	重量	石材	備考
605	石鏃	凹基無茎	ST 4	F2	58-45	17	16	4	0.74	珩質貞岩	
606	石鏃	凹基無茎	SG 21	F1	80-41	14	11	2	0.27	珩質貞岩	
607	石鏃	凹基無茎	SX 587		80-45	18	14	4	0.59	流紋岩	
608	石鏃	凹基無茎	SG 21	F1	74-43	15	11	3	0.33	黒曜石	両脚部欠損
609	石鏃	凹基無茎	SG 21	F2	76-37	19	14	4	0.75	玉髓	
610	石鏃	凹基無茎	SX 70	F	63-63	17	12	5	0.58	流紋岩	先端部欠損
611	石鏃	凹基無茎	SG 21	F1	76-43	15	10	4	0.32	流紋岩	
612	石鏃	凹基無茎		遺物包含層	63-48	20	12	4	0.50	黒曜石	
613	石鏃	凹基無茎	ST 2		63-50	21	11	5	0.57	流紋岩	
614	石鏃	凹基無茎	SK 564		86-35	24	14	4	0.94	玉髓	
615	石鏃	凹基無茎	SG 21		82-39	26	15	5	0.93	流紋岩	
616	石鏃	凹基無茎	SG 21	F1	77-35	27	21	6	2.27	珩質貞岩	
617	石鏃	凹基無茎	SG 21	F1	76-38	25	13	4	0.88	玉髓	
618	石鏃	凹基無茎	SG 21	F1	79-39	16	13	4	0.53	玉髓	
619	石鏃	凹基無茎	SG 21	F1	78-41	19	13	4	0.50	流紋岩	ガジリ
620	石鏃	凹基無茎	SG 21	F1	80-45	20	13	3	0.46	玉髓	
621	石鏃	凹基無茎	SX 11		80-42	17	12	3	0.25	玉髓	左脚部欠損
622	石鏃	凹基無茎	SG 21		79-42	20	14	2	0.34	玉髓	両脚部欠損
623	石鏃	凹基無茎	SG 21	F1	75-40	23	14	3	0.52	玉髓	左脚部欠損
624	石鏃	凹基無茎	SX 11		80-42	24	13	3	0.37	玉髓	左脚部欠損
625	石鏃	凹基無茎	SG 21		75-39	27	13	3	0.56	鉄石英	左脚部欠損
626	石鏃	凹基有茎	SG 21	F1	76-44	15	11	4	0.33	玉髓	
627	石鏃	凹基有茎	SG 21	F1	68-39	15	10	3	0.29	玉髓	茎部欠損
628	石鏃	凹基有茎	SG 21	F1	74-44	15	10	3	0.25	玉髓	
629	石鏃	凹基有茎	SG 21	F1	78-40	13	12	4	0.35	玉髓	先端部、茎部欠損
630	石鏃	凹基有茎	SG 21	F2	77-42	17	10	4	0.46	珩質貞岩	
631	石鏃	凹基有茎	SG 21	F2	77-42	16	12	2	0.35	玉髓	先端部、茎部欠損
632	石鏃	凹基有茎	SG 21	F1	78-39	19	11	4	0.44	珩質貞岩	
633	石鏃	凹基有茎	SG 21	F3	70-27	15	12	4	0.44	玉髓	
634	石鏃	凹基有茎	SG 21		73-43	20	12	4	0.59	黒曜石	左脚部欠損
635	石鏃	凹基有茎	SG 21	F1	78-38	18	12	4	0.64	玉髓	茎部欠損
636	石鏃	凹基有茎	SG 21	F2	78-42	18	11	4	0.49	鉄石英	茎部欠損
637	石鏃	凹基有茎	SG 21	F1	76-40	18	12	3	0.48	玉髓	茎部欠損
638	石鏃	凹基有茎	SG 21	F2	74-43	24	12	5	0.81	玉髓	
639	石鏃	凹基有茎	SG 21	F1	78-41	19	14	4	0.74	珩質貞岩	先端部欠損
640	石鏃	凹基有茎	ST 7		77-45	25	14	4	0.68	玉髓	
641	石鏃	凹基有茎	ST 4	F2	51-44	21	15	5	1.15	玉髓	左脚部欠損
642	石鏃	凹基有茎		遺物包含層	60-45	23	18	5	1.52	珩質貞岩	
643	石鏃	平基有茎	SG 21		73-30	11	9	3	0.20	黒曜石	
644	石鏃	平基有茎	SG 21		82-38	13	10	3	0.19	黒曜石	
645	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	81-39	14	10	4	0.39	流紋岩	
646	石鏃	平基有茎	ST 4	F2	58-44	16	11	3	0.35	玉髓	
647	石鏃	平基有茎	SG 21	F2	82-46	15	10	4	0.32	黒曜石	
648	石鏃	平基有茎	SG 21	F2	76-44	16	10	3	0.35	流紋岩	
649	石鏃	平基有茎	SG 21	F2	77-40	18	10	4	0.51	流紋岩	
650	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	74-33	21	11	4	0.47	玉髓	
651	石鏃	平基有茎	SX 587		80-45	16	13	3	0.34	鉄石英	先端部欠損
652	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	82-45	17	14	4	0.54	流紋岩	先端部欠損
653	石鏃	平基有茎	SG 21		69-33	21	11	4	0.63	黒曜石	
654	石鏃	平基有茎	X 0		-	18	14	4	0.57	黒曜石	先端部欠損
655	石鏃	平基有茎	SX 62		80-54	18	13	4	0.32	流紋岩	
656	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	78-40	17	12	3	0.34	玉髓	
657	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	79-38	19	12	3	0.36	玉髓	
658	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	76-43	17	12	3	0.44	玉髓	アスファルト付着
659	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	78-41	21	11	4	0.55	流紋岩	
660	石鏃	平基有茎	SG 21	F2	77-41	21	11	4	0.56	玉髓	
661	石鏃	平基有茎	SG 21	F2	81-39	23	15	5	0.92	玉髓	
662	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	72-32	18	10	3	0.40	玉髓	茎部欠損
663	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	78-42	19	13	5	0.69	鉄石英	
664	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	81-39	19	15	5	0.97	玉髓	
665	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	70-34	21	13	4	0.66	鉄石英	
666	石鏃	平基有茎	SG 21		69-32	15	13	3	0.42	玉髓	先端部欠損
667	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	80-38	23	11	5	0.61	珩質貞岩	アスファルト付着
668	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	82-46	18	14	3	0.48	珩質貞岩	茎部、右脚部欠損
669	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	82-38	23	15	7	1.63	黒曜石	
670	石鏃	平基有茎	SX 11		80-42	22	11	5	0.84	珩質貞岩	
671	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	78-36	21	10	3	0.33	流紋岩	
672	石鏃	平基有茎	X 0		-	27	13	4	0.74	珩質貞岩	
673	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	69-32	24	12	4	0.54	黒曜石	左脚部欠損
674	石鏃	平基有茎	SG 21		77-40	25	13	4	0.74	珩質貞岩	
675	石鏃	平基有茎	SG 21	F2	79-40	21	12	4	0.67	流紋岩	茎部欠損、アスファルト付着
676	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	72-31	25	14	5	0.70	黒曜石	
677	石鏃	平基有茎		遺物包含層	59-43	24	14	5	1.22	珩質貞岩	
678	石鏃	平基有茎	SK 533		71-35	22	13	6	1.12	流紋岩	茎部欠損
679	石鏃	平基有茎	SK 304		62-45	23	16	4	0.76	玉髓	
680	石鏃	平基有茎	SG 21	F1	77-44	25	12	4	0.61	珩質貞岩	

番号	器種	分類	出土遺構	層位	グリッド	長さ	幅	厚さ	重量	石材	備考
681	石鎌	平基有茎	SG21	F1	74-41	23	12	3	0.44	流紋岩	
682	石鎌	平基有茎	SG21	F2	67-32	17	14	3	0.59	珩質頁岩	アスファルト附着、先端部・茎部欠損
683	石鎌	平基有茎	X0			19	16	4	0.73	玉髓	先端部欠損
684	石鎌	平基有茎	SG21	F1	78-38	19	15	3	0.63	玉髓	先端部欠損
685	石鎌	平基有茎	ST7		75-45	22	16	4	0.81	珩質頁岩	左脚部、茎部欠損
686	石鎌	平基有茎	ST3		68-49	27	14	4	0.78	珩質頁岩	
687	石鎌	平基有茎	X0			23	12	5	1.31	珩質頁岩	
688	石鎌	平基有茎	SP405		76-54	25	15	6	1.30	黒曜石	
689	石鎌	平基有茎	ST4	F	58-44	32	21	9	4.56	玉髓	
690	石鎌	平基有茎	SG21	F1	76-43	31	22	7	3.58	玉髓	
691	石鎌	凸基有茎		遺物包含層	51-44	19	11	3	0.46	珩質頁岩	
692	石鎌	凸基有茎	ST9		59-51	20	12	5	1.00	流紋岩	
693	石鎌	凸基有茎	SG21	F1	69-33	20	16	4	0.91	黒曜石	
694	石鎌	凸基有茎	X0			19	13	4	0.63	玉髓	
695	石鎌	凸基有茎		遺物包含層	81-53	21	11	5	0.70	珩質頁岩	
696	石鎌	凸基有茎		遺物包含層	67-49	22	12	3	0.46	流紋岩	
697	石鎌	凸基有茎	ST4	F1	58-44	20	14	4	0.85	珩質頁岩	
698	石鎌	凸基有茎	X0			22	13	4	0.79	玉髓	
699	石鎌	凸基有茎	X0			22	13	4	0.71	流紋岩	
700	石鎌	凸基有茎		遺物包含層	64-50	23	12	3	0.56	玉髓	右脚部欠損
701	石鎌	凸基有茎	SK 232		90-43	22	13	3	0.72	流紋岩	
702	石鎌	凸基有茎	SG21	F1	77-41	24	16	5	1.16	珩質頁岩	
703	石鎌	凸基有茎	SG21	F3	70-27	24	13	5	1.22	流紋岩	
704	石鎌	凸基有茎	SG21	F2	72-31	30	15	7	2.32	珩質頁岩	
705	石鎌	凸基有茎		遺物包含層	58-42	27	18	7	2.65	珩質頁岩	
706	石鎌	凸基有茎	SP268		60-46	26	14	4	0.88	黒曜石	
707	石鎌	凸基有茎	SG21	F	75-40	26	15	3	1.02	珩質頁岩	茎部欠損
708	石鎌	凸基有茎	SG21	F1	77-39	32	16	4	1.47	珩質頁岩	
709	石鎌	凸基有茎		遺物包含層	58-49	33	17	5	1.73	流紋岩	
710	石鎌	尖基	SG21	F2	72-41	15	7	4	0.45	黒曜石	
711	石鎌	尖基	SG21	F1	70-33	26	10	5	0.88	玉髓	
712	石鎌	尖基	SG21	F1		25	12	4	0.69	珩質頁岩	
713	石鎌	尖基	SX 286		65-53	27	9	4	0.85	玉髓	
714	石鎌	凹基	SG21	F3	70-27	19	12	4	0.68	玉髓	
715	石鎌	凹基	SG21		78-43	22	13	4	0.80	黒曜石	
716	石鎌	凹基	SG21	F1	77-46	21	18	6	1.99	石英	
717	石鎌	凹基	SP221		57-53	22	17	8	2.14	黒曜石	
718	石鎌	凹基	SG21	F3	70-27	25	19	7	2.80	石英	
719	石鎌	凹基	SG21	F2	80-40	24	16	9	2.64	玉髓	
720	石鎌	凹基	SG21	F1	75-38	24	14	5	1.49	珩質頁岩	
721	石鎌	凹基	ST4	F2	58-43	22	14	4	1.15	玉髓	
722	石鎌	凹基	ST3		69-48	24	17	7	2.31	珩質頁岩	
723	石鎌	凹基	SG21	F1	82-45	24	17	4	1.70	玉髓	
724	石鎌	凹基	SG21	F1	78-39	25	15	6	2.05	珩質頁岩	
725	石鎌	凹基	ST4	F2	58-44	25	16	5	1.91	玉髓	
726	石鎌	凹基	SG21	F1	82-46	22	17	7	2.11	玉髓	
727	石鎌	凹基	SG21	F2	69-32	26	20	8	2.77	流紋岩	
728	石鎌	凹基	SG21	F1	66-30	28	19	7	3.20	流紋岩	
729	尖頭器		SG21	F1	81-40	30	24	10	5.40	鉄石英	
730	尖頭器		SX 11		80-42	30	23	11	7.67	鉄石英	
731	尖頭器		SX 70	F	72-63	34	25	8	6.21	流紋岩	
732	尖頭器			遺物包含層	77-36	36	28	9	7.38	珩質頁岩	
733	尖頭器		SK 614	F1	70-27	37	27	13	10.11	玉髓	
734	尖頭器		SG21	F1	80-48	44	29	13	13.11	玉髓	
735	尖頭器		SG21	F	79-31	44	33	14	15.15	珩質頁岩	
736	尖頭器		SG21	F2	79-43	30	26	9	5.82	珩質頁岩	
737	尖頭器		SG21		78-38	32	25	6	2.79	流紋岩	下部欠損
738	尖頭器		SG21	F	84-46	120	23	18	44.40	頁岩	
739	有舌尖頭器		SX 573	F	71-28	28	18	8	4.33	玉髓	上半部分欠損
740	石籠		SG21	F	79-36	88	37	20	53.60	頁岩	
741	搔器		SX 70	Y	73-63	56	70	17	66.10	珩質頁岩	
742	搔器		SP638		79-36	49	50	19	43.60	珩質頁岩	
743	搔器		SG21	F1	80-44	40	48	12	19.80	珩質頁岩	
744	石匙	横型	SG21	F	79-42	40	58	12	17.09	珩質頁岩	
745	石匙	横型	SG21	F1	78-56	47	52	13	17.13	珩質頁岩	
746	石匙	横型	SK 230		73-46	45	42	11	16.56	珩質頁岩	下部欠損、アスファルト附着
747	石匙	横型	SG21	F1	78-45	40	56	11	16.75	珩質頁岩	
748	石匙	横型	SX 70		72-62	37	55	8	11.74	流紋岩	
749	石匙	横型	SG21	F1	79-38	46	50	10	17.87	珩質頁岩	
750	石匙	縦型	SG21	F3	69-29	54	23	8	5.73	珩質頁岩	
751	石匙	縦型	SG21	F1	73-30	65	34	13	13.78	珩質頁岩	
752	石匙	縦型	SG21	F1	81-39	58	30	11	16.99	珩質頁岩	
753	石匙	縦型	ST4	F1	57-44	44	24	10	7.73	流紋岩	
754	石匙	縦型	SG21	F2	77-36	58	36	15	21.22	流紋岩	
755	石匙	縦型	SX 587		80-45	36	30	7	6.39	珩質頁岩	
756	石匙	縦型		旧耕土	59-46	48	38	13	17.63	珩質頁岩	
757	石匙	縦型	SK 614	F1	70-27	52	36	16	20.92	珩質頁岩	
758	石匙	縦型	SG21	F1	82-46	51	17	7	4.01	珩質頁岩	
759	石匙	縦型	SG21	F	81-39	52	9	8	2.93	玉髓	

遺物観察表

番号	器種	分類	出土遺構	層位	グリッド	長さ	幅	高さ	重量	石材	備考
760	石匙	縦型	SG21	F1	71-35	67	36	12	23.65	珩質真岩	
761	石匙	縦型	SG21	F1	70-34	73	36	14	17.65	珩質真岩	先端部欠損
762	石匙	縦型	SG21	F3	70-44	87	35	15	31.86	珩質真岩	
763	石匙	斜型	SG21	F1	76-39	55	40	10	15.87	珩質真岩	
764	石匙	斜型	SP60	F	80-57	57	23	12	9.62	流紋岩	
765	石匙	斜型	SG21	F1	77-39	48	42	10	12.76	珩質真岩	
766	石匙	斜型	X0	-	-	62	34	11	15.67	珩質真岩	
767	石匙	斜型	SG21	F1	75-38	58	41	17	23.85	流紋岩	
768	石匙	斜型	SG21	F1	70-34	70	38	17	29.84	珩質真岩	
769	石匙	斜型	SG21	F2	79-42	75	42	17	37.96	珩質真岩	
770	石匙	斜型	X0	-	-	62	63	12	29.83	珩質真岩	
771	石匙	斜型	SX587		80-45	54	46	11	19.61	珩質真岩	つまみが二つ
772	石錐	A1a	SG21	F2	69-33	24	5	3	0.34	玉髓	
773	石錐	A1a	ST3		68-48	21	6	5	0.54	玉髓	
774	石錐	A1a		遺物包含層	62-52	29	10	6	1.83	玉髓	
775	石錐	A1a	ST3		62-49	36	10	7	2.11	流紋岩	
776	石錐	A1a	SG21	F1	78-40	40	10	7	2.57	珩質真岩	
777	石錐	A1a	SG21	F2	80-45	42	8	7	2.33	珩質真岩	
778	石錐	A1a	X0	-	-	48	10	7	3.31	珩質真岩	
779	石錐	A1a	SX587		80-45	43	9	9	2.55	流紋岩	
780	石錐	A1a	SG21		75-31	48	10	6	2.90	珩質真岩	
781	石錐	A1a	SG21	F1	79-37	48	9	8	3.33	珩質真岩	
782	石錐	A1a	SG21		77-46	42	9	5	1.49	珩質真岩	
783	石錐	A1a	SG21	F1	77-42	49	15	8	6.15	珩質真岩	
784	石錐	A1a	X0	-	-	48	12	11	5.69	玉髓	
785	石錐	A1a		遺物包含層	64-48	51	13	7	4.53	珩質真岩	先端部欠損
786	石錐	A1a	SG21	F1	79-41	58	11	9	5.79	珩質真岩	
787	石錐	A1a	SG21	F1	76-43	57	10	8	3.81	珩質真岩	
788	石錐	A1a	SG21	F2	74-42	23	11	6	1.53	流紋岩	関部あり
789	石錐	A1a	SG21	F2	68-33	33	12	7	2.04	流紋岩	関部あり
790	石錐	A2	SG21	F2	75-36	27	13	10	2.74	玉髓	
791	石錐	A2	SG21	F2	69-30	31	10	9	2.34	玉髓	
792	石錐	A2	SX249		85-32	38	14	7	3.77	流紋岩	
793	石錐	B1	SG21	F1	76-38	30	18	4	1.00	玉髓	
794	石錐	B1	SG21	F2	76-38	41	16	6	1.56	珩質真岩	
795	石錐	B1	ST4	Y	58-42	44	18	6	2.22	玉髓	
796	石錐	B1	SG21	F2	73-41	41	13	4	1.08	流紋岩	
797	石錐	B1	SG21	F1	80-46	41	19	5	1.71	玉髓	先端部欠損
798	石錐	B1	SG21	F1	70-34	21	12	4	1.28	珩質真岩	先端部欠損
799	石錐	B1	SG21	F2	70-34	36	7	4	0.76	珩質真岩	
800	石錐	B1	SG21	F2	75-38	34	15	5	0.92	玉髓	
801	石錐	B1	EU509		81-46	42	22	5	1.62	珩質真岩	
802	石錐	B2		遺物包含層	61-44	36	24	9	5.17	珩質真岩	先端部欠損
803	石錐	B2	SP278	F	59-45	41	25	9	3.74	珩質真岩	
804	石錐	B2		遺物包含層	82-44	63	19	7	4.73	玉髓	
805	石錐	C1		遺物包含層	61-48	29	26	6	3.77	流紋岩	
806	石錐	C1	SG21	F1	69-33	21	18	5	1.78	珩質真岩	
807	石錐	C2	SK432		59-42	33	23	9	4.82	珩質真岩	
808	石錐	D1	SG21	F	75-40	33	12	7	2.09	玉髓	
809	石錐	D1	SX11		80-42	36	10	8	2.22	珩質真岩	
810	石錐	D1	SG21	F1	78-38	56	21	11	10.77	珩質真岩	先端部摩滅
811	石錐	D1		遺物包含層	57-48	60	22	12	14.70	珩質真岩	アスファルト付着
812	石錐	D1	SG21	F2	69-32	34	21	10	5.84	流紋岩	
813	石錐	D2	ST3		69-48	32	20	7	2.54	珩質真岩	
814	石錐	D2	SX11		80-42	24	20	9	2.59	流紋岩	
815	石錐	E	SK490		77-45	32	16	8	2.82	玉髓	
816	石錐	D2	SX11		80-42	42	17	10	4.41	珩質真岩	
817	石錐	D2	SG21	F2	77-46	63	55	21	34.57	珩質真岩	
818	石錐	D2		遺物包含層	77-45	84	35	18	39.66	珩質真岩	
819	剥片		ST1004	Y	82-31	32	31	8	4.50	珩質真岩	820と接合
820	剥片		ST1004	Y	82-31	30	35	9	7.50	珩質真岩	819と接合
819+820	接合資料		ST1004	Y	82-31	32	33	16	12.00	珩質真岩	2点接合
821	剥片		ST1004	Y	82-31	35	36	10	9.20	珩質真岩	822と接合
822	剥片		ST1004	Y	82-31	32	32	8	8.40	珩質真岩	821と接合
821+822	接合資料		ST1004	Y	82-31	35	36	17	17.60	珩質真岩	2点接合
823	剥片		ST1004	Y	82-31	28	32	18	8.58	珩質真岩	824と接合
824	剥片		ST1004	Y	82-31	36	39	13	14.20	珩質真岩	823と接合
823+824	接合資料		ST1004	Y	82-31	39	42	21	22.70	珩質真岩	2点接合
825	剥片		ST1004	Y	82-31	28	28	11	7.30	珩質真岩	826と接合
826	剥片		ST1004	Y	82-31	43	28	12	10.40	珩質真岩	825と接合
825+826	接合資料		ST1004	Y	82-31	45	30	16	17.70	珩質真岩	2点接合
827	磨製石斧	短冊形	SG21	F2	76-36	80	41	17		不明	基部欠損
828	磨製石斧	短冊形	SG21		72-39	98	50	30		緑泥片岩	基部欠損、刃部再生
829	磨製石斧	短冊形	X0	-	-	114	60	28		不明	基部欠損
830	磨製石斧	分銅形	SG21	F1	79-41	58	37	16		不明	基部欠損、基部再生
831	磨製石斧	分銅形	SG21	F2	72-34	99	51	19		不明	基部欠損
832	磨製石斧	分銅形	X0	-	-	32	29	16		緑泥片岩	刃部欠損
833	磨製石斧	分銅形	X0	-	-	108	46	23		不明	刃部・基部欠損
834	磨製石斧	分銅形	SG21	F	77-40	76	44	19		不明	基部欠損、基部再生

番号	器種	分類	出土遺構	層位	グリッド	長さ	幅	厚さ	重量	石材	備考
835	磨製石斧	分銅形		遺物包含層	73-58	58	39	23		不明	刃部欠損
836	磨製石斧	分銅形	SG21	F1	77-36	85	45	24		緑泥片岩	基部欠損
837	磨製石斧	分銅形		遺物包含層	72-36	63	37	17		不明	基部欠損
838	磨製石斧	分銅形	SG21	F2	77-38	64	40	20		緑泥片岩	基部欠損
839	磨製石斧	分銅形	SP350		83-35	61	46	14		不明	基部欠損
840	磨製石斧	分銅形	SX11		80-42	67	42	18		不明	基部欠損
841	磨製石斧	分銅形	SG21	F1	76-40	132	57	31		不明	基部・刃部欠損
842	磨製石斧	分銅形	SX70	F	72-63	83	43	24		不明	基部欠損
843	磨製石斧	分銅形	SG21	F1	71-31	88	45	23		不明	基部欠損、基部再生
844	磨製石斧	分銅形	SP61	F1	81-55	106	40	24		不明	刃部欠損
845	磨製石斧	分銅形	SX11	Y	81-43	116	48	29		不明	刃部欠損
846	磨製石斧	小型	SG21	F1	73-42	45	23	8		蛇紋岩	
847	磨製石斧	小型		遺物包含層	57-49	28	18	7		不明	基部欠損
848	磨製石斧	小型	ST3		76-46	25	22	8		緑泥片岩	基部欠損
849	磨製石斧	小型	SG21	F1	73-39	50	28	12		不明	刃部欠損
850	磨製石斧	小型	SG21	F1	77-55	57	32	11		不明	基部欠損
851	磨製石斧	小型	SG21	F1	75-39	47	27	10		不明	
852	磨製石斧	小型	SG21	F	85-48	75	25	12		緑泥片岩	
853	石錘		SG21	F1	78-36	40	32	14		不明	アスファルト付着
854	石錘		SG21	F1	69-34	51	34	16		不明	アスファルト付着
855	石錘		SG21	F1	70-34	56	37	14		不明	アスファルト付着
856	石錘		SG21	F1	68-31	45	33	18		不明	切目石錘
857	石錘		SG21	F1	74-43	45	29	13		不明	切目石錘
858	石錘			遺物包含層	56-52	47	26	14		不明	切目石錘、アスファルト付着
859	石錘		SG21	F2	74-43	40	27	18		不明	切目石錘
860	石錘		SG21	F2	69-32	57	42	14		不明	切目石錘
861	石錘		SG21	F2	75-31	43	38	18		不明	切目石錘
862	石錘			遺物包含層	61-51	47	35	16		不明	有溝石錘、アスファルト付着
863	石錘		SG21	F1	74-40	51	27	8		不明	有溝石錘
864	石錘		SX70	F	72-63	57	27	9		不明	有溝石錘
865	石錘			遺物包含層	73-58	63	26	9		不明	有溝石錘
866	石錘		SG21	F1	78-38	38	23	10		不明	有溝石錘
867	石錘		SG21	F1	78-42	41	22	15		不明	有溝石錘
868	浮子		SP527		79-33	58	33	15		軽石	有孔
869	浮子		SG21	F2	77-44	83	43	16		軽石	有孔
870	浮子			遺物包含層	82-30	88	47	17		軽石	有孔
871	浮子			遺物包含層	57-47	107	63	28		軽石	
872	砥石		SG21	F1	79-40	135	67	55		安山岩	下半部欠損
873	砥石		SP365		62-50	134	150	53		安山岩	凹石兼用
874	砥石		ST4	F2	59-43	104	80	35		安山岩	
875	砥石		SG21	F2	80-46	148	142	80		安山岩	凹石兼用
876	砥石			遺物包含層	64-43	267	162	108		安山岩	
877	磨石		SG21	F3	73-46	56	51	29		安山岩	敲打痕あり
878	磨石			遺物包含層	57-44	79	71	38		安山岩	敲打痕あり
879	磨石		SG21	F3	77-36	83	79	43		安山岩	
880	磨石		SX70	Y	72-62	68	58	39		安山岩	
881	磨石		SG21	F1	77-44	102	93	50		閃緑岩	敲打痕あり
882	磨石		ST2	Y	63-50	113	89	55		安山岩	敲打痕あり
883	磨石		SP108		74-52	115	93	69		安山岩	
884	磨石		SG21	F1	72-29	136	128	100		閃緑岩	
885	磨石		SG21	F1	68-31	118	41	30		安山岩	棒状磨石
886	磨石		SG21	F2	76-43	115	55	25		安山岩	棒状磨石
887	磨石		SG21	F2	75-37	218	64	48		安山岩	棒状磨石
888	磨石		SG21	F2	80-48	180	56	44		安山岩	角柱状磨石
889	磨石		ST1004	Y	82-29	99	79	46		安山岩	敲打痕あり
890	磨石		X0		-	99	77	52		安山岩	
891	磨石		SG21	F1	75-35	152	95	65		安山岩	
892	磨石		SG21	F	80-38	103	53	13		安山岩	赤色顔料付着
893	磨石		SG21	F1	78-42	126	128	143		安山岩	円柱状、有溝砥石兼用
894	凹石		SG21	F	78-38	90	73	52		安山岩	磨石兼用
895	凹石		SG21	F1	75-38	93	87	53		安山岩	磨石兼用、敲打痕あり
896	凹石		SG21	F1	76-40	109	91	85		安山岩	磨石兼用
897	凹石		SP479		60-47	108	95	64		安山岩	磨石兼用、敲打痕あり
898	凹石		SG21	F3	82-40	119	92	52		安山岩	磨石兼用
899	凹石		SG21	F	75-46	120	99	58		磨灰岩?	磨石兼用、敲打痕あり
900	凹石		SG21	F2	77-42	121	95	63		安山岩	磨石兼用
901	凹石		SG21	F1	80-48	120	86	48		安山岩	磨石兼用、敲打痕あり
902	凹石		SG21	F2	75-37	92	73	50		安山岩?	磨石兼用
903	凹石		SG21	F3	70-27	110	88	36		砂岩	磨石兼用、板状
904	凹石		SX28		57-48	128	59	37		安山岩	磨石兼用
905	凹石			遺物包含層	57-43	100	96	40		安山岩	磨石兼用
906	凹石		SG21	F1	76-48	158	119	53		安山岩	磨石兼用
907	凹石		SG21	F2	76-40	176	82	58		安山岩	磨石兼用
908	凹石		SG21	F2	71-34	121	73	28		安山岩	磨石兼用、板状
909	凹石		SG21	F	76-40	120	95	49		安山岩	磨石兼用
910	凹石		SG21	F1	76-35	115	72	37		安山岩	
911	凹石		SG21	F2	72-29	125	84	54		安山岩	
912	凹石		SG21	F1	80-38	123	63	46		安山岩	
913	凹石			遺物包含層	51-44	131	89	29		安山岩	

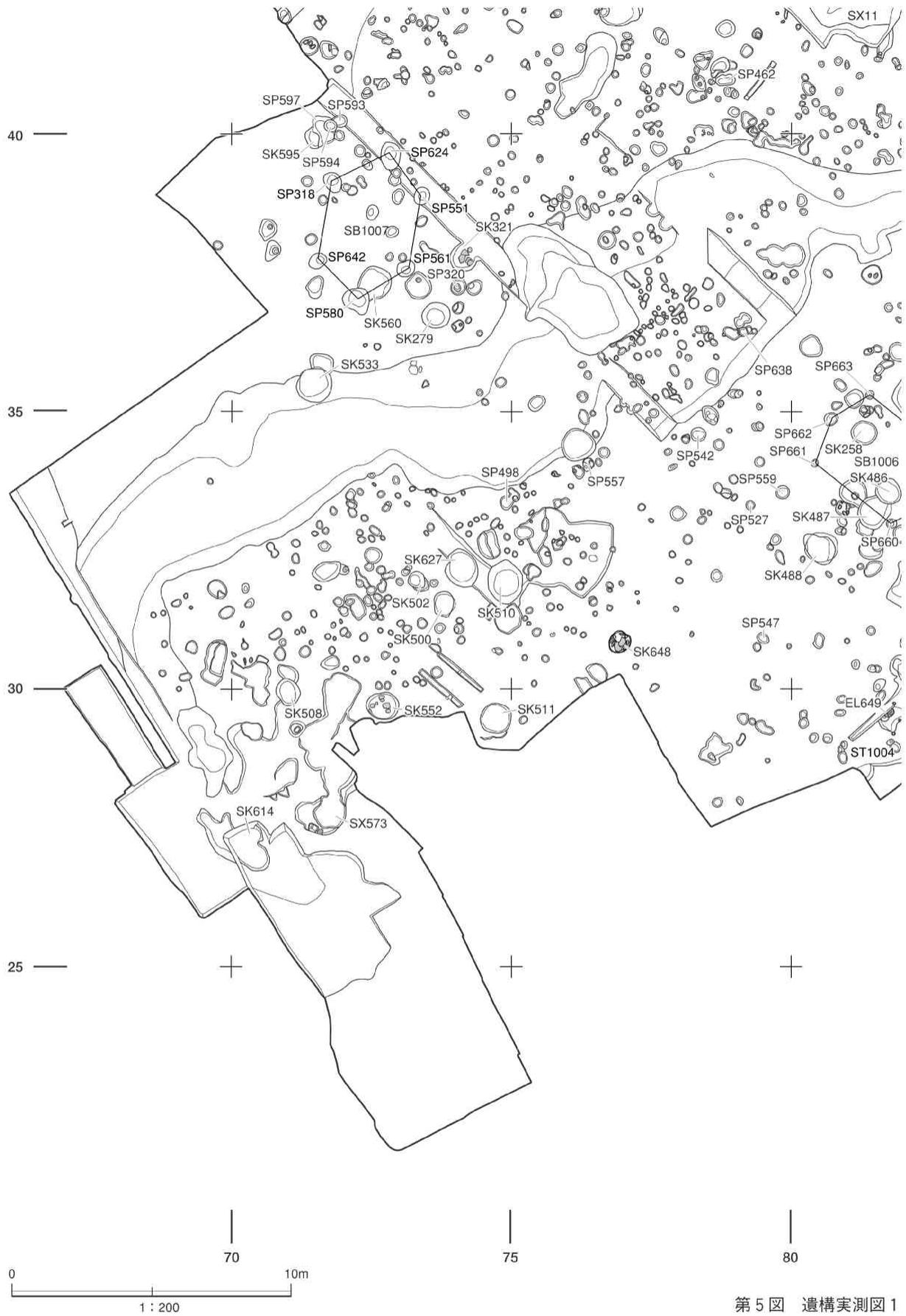
遺物観察表

番号	器種	分類	出土遺構	層位	グリッド	長さ	幅	厚さ	重量	石材	備考
914	凹石	SG21		F3	77-36	120	63	41		安山岩	
915	凹石	ST4		F1	58-44	211	108	35		安山岩	敲打痕あり
916	凹石	ST3		F	70-48	239	85	64		安山岩	
917	凹石	SG21		F1	76-42	284	116	97		安山岩	敲打痕あり
918	凹石	SG21		F2	75-37	101	118	88		安山岩	有溝砥石兼用
919	凹石	SK488			80-32	159	167	69		安山岩	有溝砥石兼用
920	凹石	SG21		F1	76-41	178	150	85		安山岩	有溝砥石兼用
921	凹石	SG21		F2	83-39	233	145	69		安山岩	有溝砥石兼用
922	凹石	SX28			58-50	235	143	90		安山岩	
923	凹石	SX25			60-43	308	173	97		安山岩	配石遺構に再利用
924	凹石	SG21		F1	74-43	345	210	151		安山岩	有溝砥石兼用
925	凹石	SG21		F1	75-43	292	189	122		安山岩	
926	石皿	ST4		F1	58-44	122	125	41		安山岩	縁あり
927	石皿	X0			-	112	94	78		砂岩	縁あり
928	石皿	SG21		F1	77-44	300	206	62		安山岩	縁あり
929	石皿	SG21		F2	77-41	247	107	40		安山岩	縁あり、有溝砥石兼用
930	石皿	SG21		F1	82-45	269	182	66		安山岩	縁あり
931	石皿	SG21		F1	72-41	423	377	151		安山岩	縁あり
932	石皿	SX253			88-36	450	377	116		安山岩	縁あり
933	石皿	ST4			57-44	335	175	56		安山岩	縁なし、凹石兼用
934	石皿	SG21		F1	75-45	72	113	45		閃緑岩	縁なし
935	石皿	SK245			83-37	119	121	35		安山岩	縁なし、有溝砥石兼用
936	石皿	SG21		F1	70-33	85	114	46		安山岩	縁なし、有溝砥石兼用
937	石皿	SP78			81-55	176	147	104		安山岩	縁なし、有溝砥石・凹石兼用
938	石皿	SP206			73-48	429	225	68		安山岩	皿部平坦
939	石皿	SG21		F2	78-38	498	382	110		安山岩	皿部平坦
940	石皿	SP199			73-54	300	215	70		安山岩	皿部平坦
941	石皿	ST3		F	68-47	346	287	90		安山岩	皿部平坦
942	石皿	SP193			76-62	565	287	267		安山岩	皿部平坦
943	線刻礫	SG21		F1	76-38	88	153	48		安山岩	磨石・凹石兼用
944	石刀	SG21		F1	83-46	96	25	12		粘板岩	
945	石剣	SG21		F1	80-47	90	27	13		粘板岩	
946	石棒			旧耕土	55-54	82	27	28		安山岩	
947	石製品	SG21		F1	57-48	39	20	9		不明	全面研磨調整
948	石製品	SX249		F2	84-32	42	26	9		安山岩	全面研磨整形
949	水晶	ST3			69-48	21	9	7		水晶	自然石
950	球状自然石	SG21		F1	79-39	21	20	20		安山岩	部分的に研磨
951	球状自然石	SG21		F1	77-37	26	28	23		安山岩	
952	球状自然石	SG21		F1	72-32	38	38	36		安山岩	部分的に研磨
953	球状自然石	SP547			79-30	32	31	30		安山岩	
954	球状自然石			旧耕土	53-57	30	30	26		安山岩	
955	球状自然石	SG21		F1	76-46	60	53	52		安山岩	部分的に研磨
956	球状自然石	SG21		F1	77-36	89	75	75		安山岩	全面研磨整形
957	球状自然石	SG21		F1	71-42	68	64	61		安山岩	
958	球状自然石	SP302			57-49	70	47	43		安山岩	くびれ石
959	球状自然石	SK304			62-45	71	39	39		安山岩	くびれ石
960	棒状自然礫	SG21		F3	70-27	215	70	75		安山岩	擦痕・敲打痕あり
961	棒状自然礫	SG21			69-28	271	60	50		安山岩	擦痕あり
962	棒状自然礫	SG21		F1	75-42	480	142	103		安山岩	擦痕・敲打痕あり
963	棒状自然礫	SX223			54-35	453	136	153		安山岩	
964	棒状自然礫	SG21		F	66-33	549	172	150		安山岩	擦痕・敲打痕あり



※これらを結合した図は付図に収録。

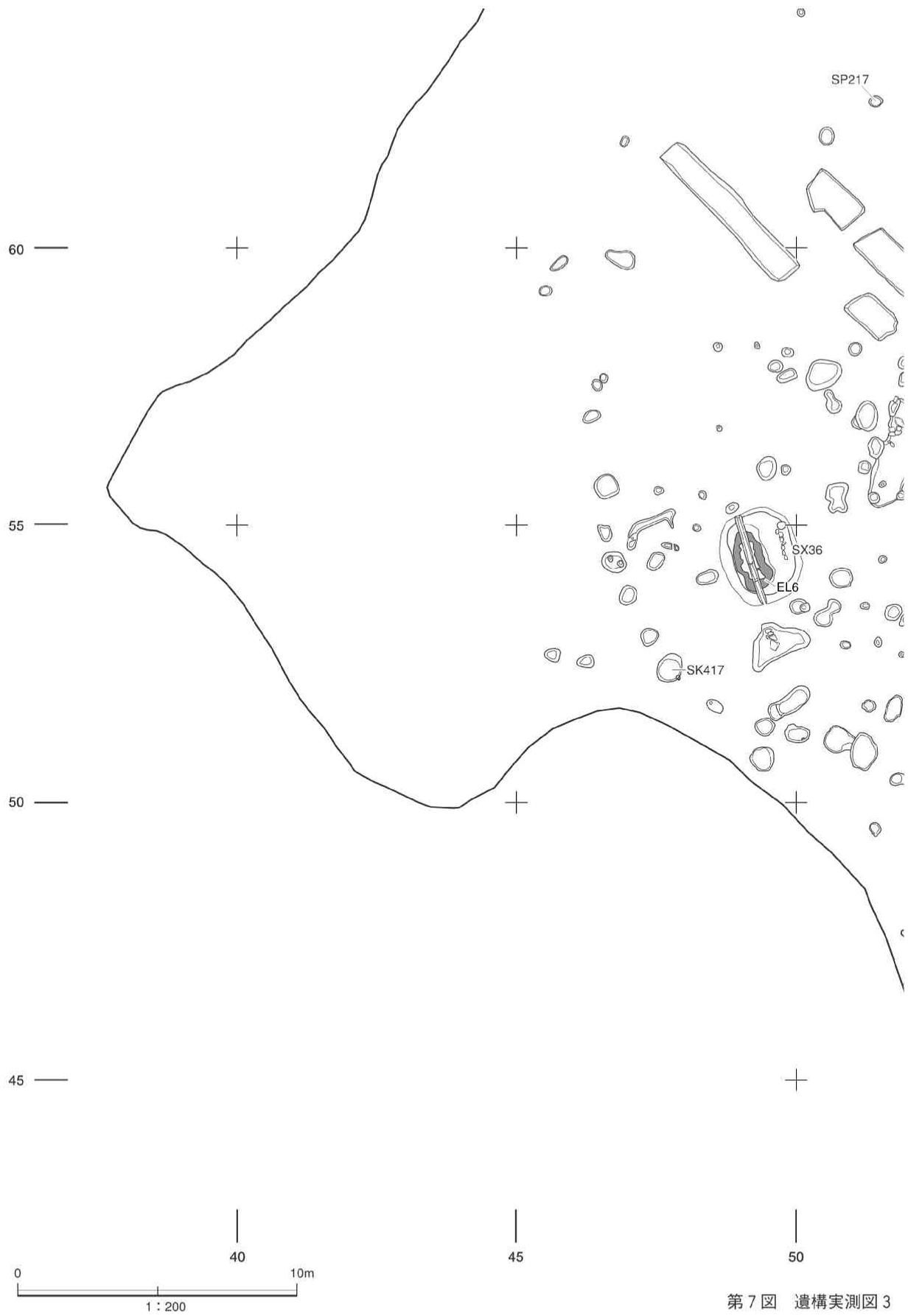
第4図 遺構実測図の割付図



第5図 遺構実測図1



第6図 遺構実測図2



第7図 遺構実測図3



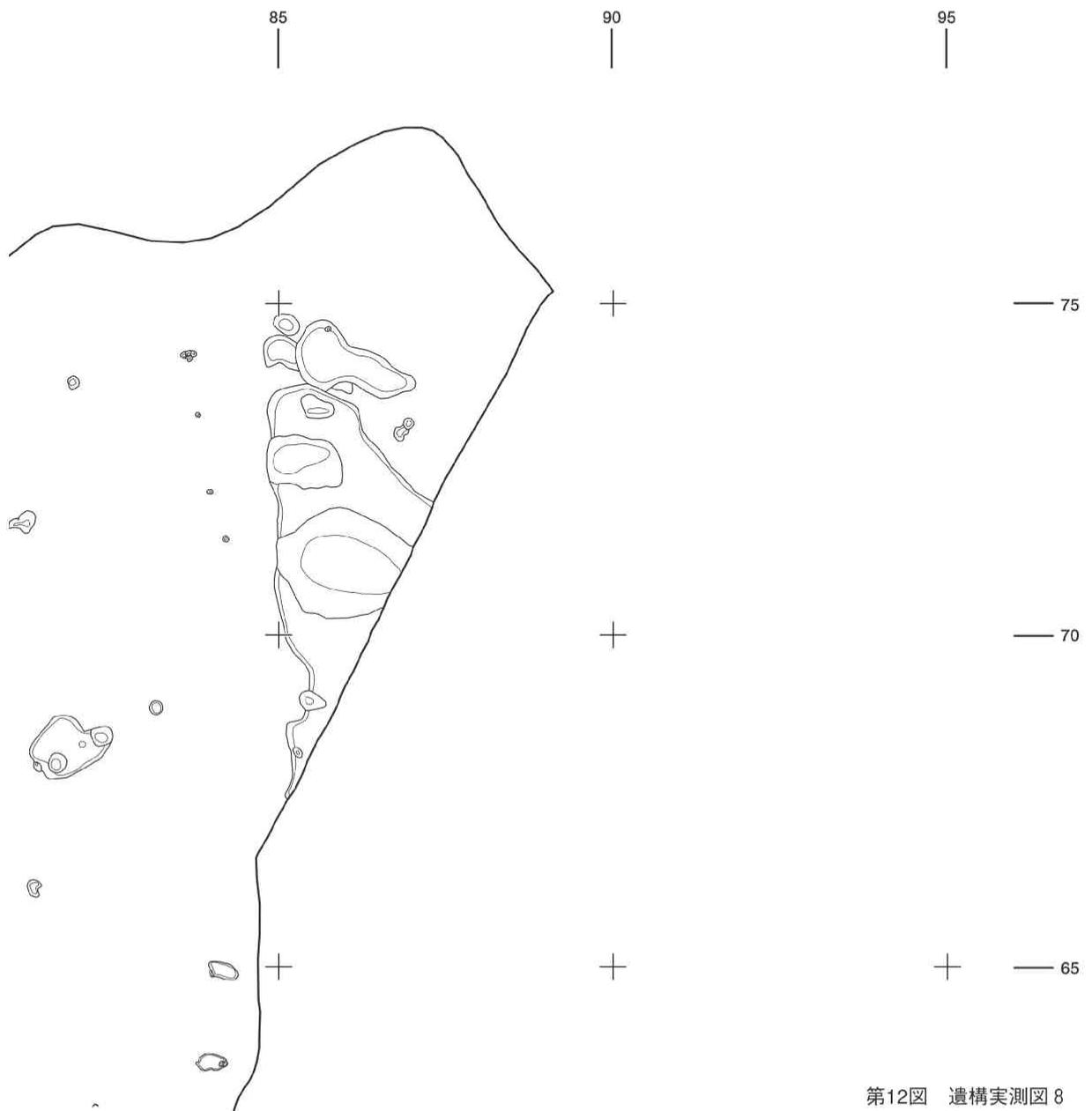
第 8 図 遺構実測図 4



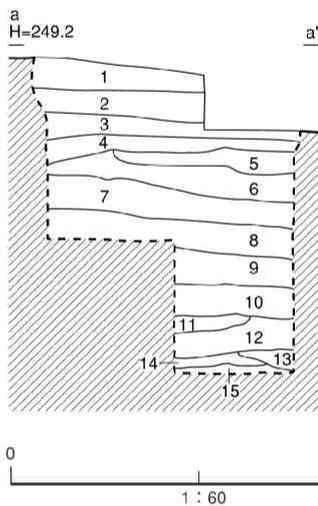
第10図 遺構実測図 6



第11図 遺構実測図 7



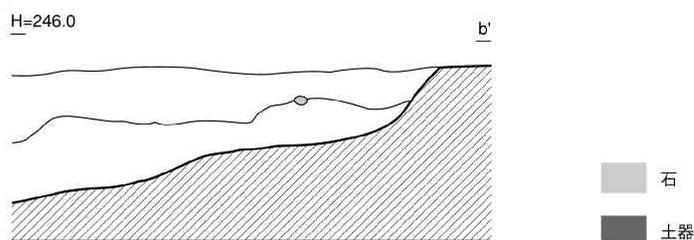
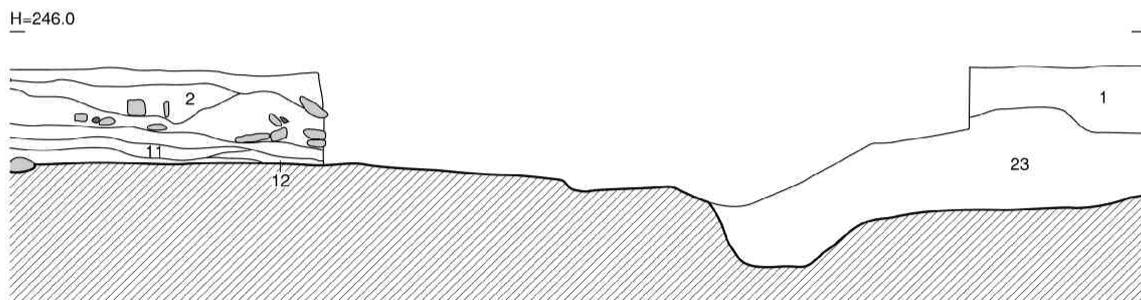
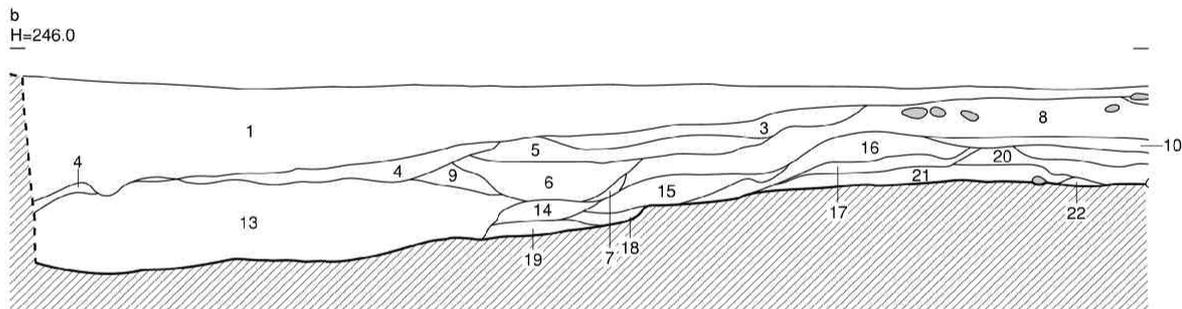
第12図 遺構実測図 8



基本層序 (a - a')

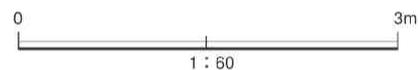
- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 10YR3/4暗褐色シルト | 風化礫を多く含む、10YR3/3暗褐色シルトを含む、以下地山 |
| 2. 10YR6/4にぶい黄橙色シルト | 風化礫を多く含む |
| 3. 10YR4/6褐色シルト | 風化礫、砂層を含む |
| 4. 10YR5/6黄褐色シルト | 風化礫を少し含む |
| 5. 10YR5/6黄褐色砂質土 | 風化礫を少し含む |
| 6. 10YR4/6褐色シルト | 風化礫を多く含む |
| 7. 10YR5/6黄褐色シルト | 風化礫を含む |
| 8. 10YR4/6褐色シルト | 風化礫を含む |
| 9. 10YR4/6褐色シルト | 風化礫を含む、しまり弱い |
| 10. 10YR4/4褐色シルト | 風化礫を含む |
| 11. 10YR4/6褐色シルト | 径3cm程度の風化礫を含む |
| 12. 10YR5/6黄褐色シルト | 風化礫を少し含む |
| 13. 10YR5/6黄褐色シルト | |
| 14. 10YR5/6黄褐色シルト | 風化礫を含む |
| 15. 10YR5/6黄褐色砂質土 | 風化礫を少し含む |

第13図 旧河道SG21基本層序

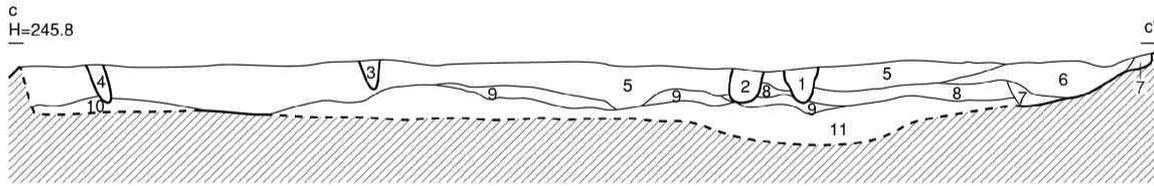


SG21 (b - b')

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 2.5Y6/4にぶい黄色シルト | 以下SG21の覆土 |
| 2. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、土器、礫を含む |
| 3. 10YR2/3黒褐色シルト | 1層土を含む |
| 4. 10YR4/2灰黄褐色シルト | 炭と1層土を含む |
| 5. 10YR2/1黒色シルト | |
| 6. 10YR2/2黒褐色シルト | 10YR4/4褐色シルトと炭を含む |
| 7. 10YR2/2黒褐色シルト | 10YR4/2灰黄褐色粘質土を含む |
| 8. 10YR2/2黒褐色シルト | 10YR5/4にぶい黄褐色シルトと炭、焼土、土器、礫を多く含む |
| 9. 10YR3/2黒褐色シルト | |
| 10. 10YR2/1黒色シルト | 10YR3/3暗褐色シルトを含む |
| 11. 10YR3/4暗褐色シルト | 10YR2/2黒褐色シルトを含む |
| 12. 10YR3/3暗褐色砂質土 | |
| 13. 10YR3/3暗褐色砂質土 | 砂層、径5cm以下の礫層を交互に含む |
| 14. 10YR2/2黒褐色シルト | 10YR4/3にぶい黄褐色シルトを含む |
| 15. 10YR4/4褐色砂層 | 径3cm以下の礫層を含む |
| 16. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭を含む |
| 17. 10YR3/4暗褐色シルト | 炭を含む |
| 18. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト | |
| 19. 10YR4/4褐色砂質土 | |
| 20. 10YR4/4褐色シルト | 10YR3/2黒褐色シルトを含む |
| 21. 10YR4/4褐色シルト | 炭を含む |
| 22. 10YR4/4褐色砂質土 | |
| 23. 10YR4/4褐色砂層 | 径10cm以下の礫層を交互に含む |

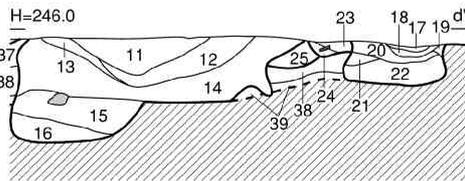
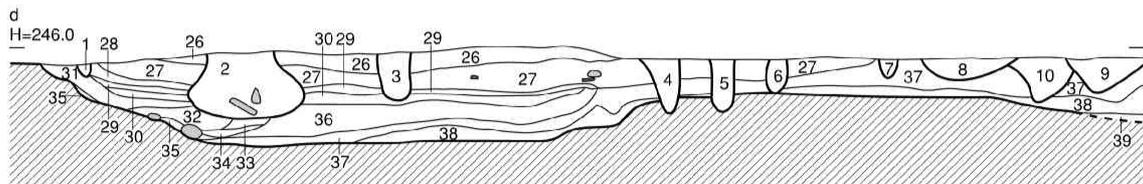


第14図 旧河道SG21断面図 b - b'



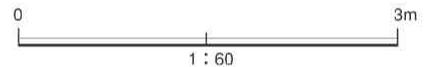
SG21 (c - c')

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 10YR2/2黒褐色シルト | ピット |
| 2. 10YR3/4暗褐色シルト | ピット |
| 3. 10YR2/3黒褐色シルト | ピット |
| 4. 10YR3/2黒褐色シルト | ピット |
| 5. 10YR4/4褐色シルト | 炭を含む、覆土 |
| 6. 10YR4/4褐色砂質土 | 炭、土器を含む |
| 7. 10YR4/3にぶい黄褐色砂質土 | 炭を含む |
| 8. 10YR4/3にぶい黄褐色砂質土 | 炭、砂層を含む |
| 9. 10YR6/6明黄褐色砂質土 | 炭、砂層を含む |
| 10. 10YR5/4にぶい黄褐色砂質土 | 炭を含む |
| 11. 10YR5/4にぶい黄褐色砂層 | 径10cm以下の礫層と砂層を交互に含む |

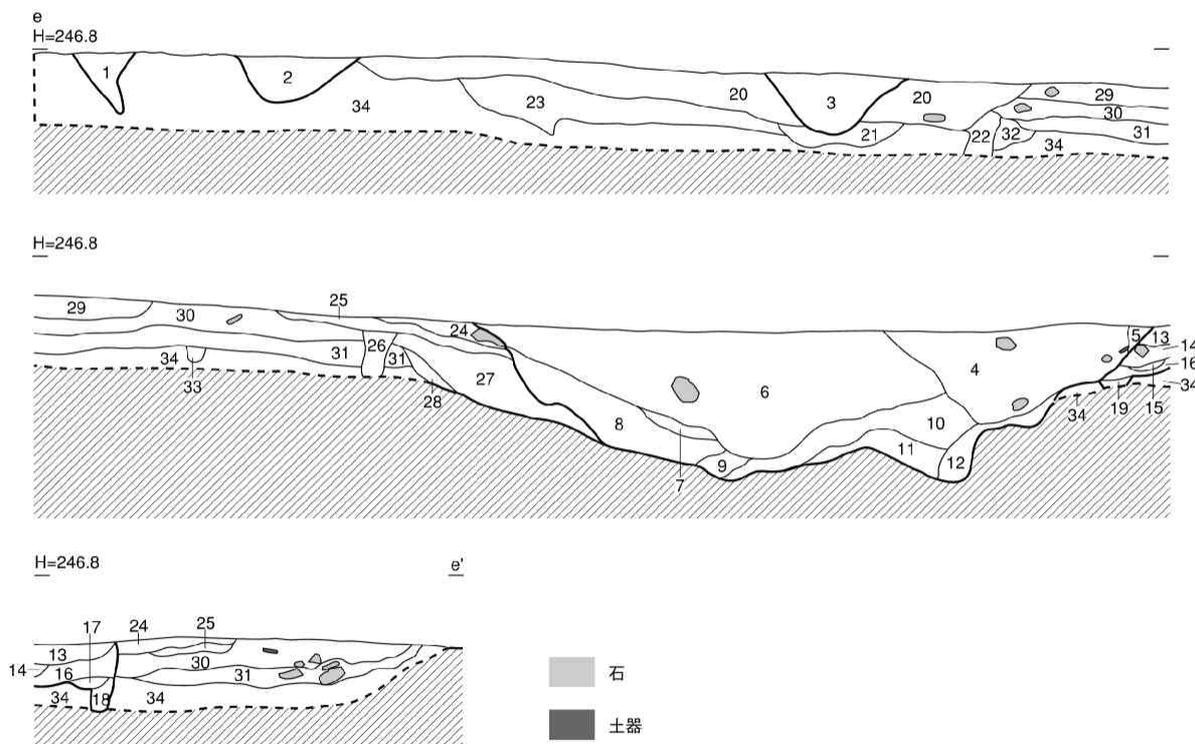


SG21 (d - d')

- | | | | |
|--------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 10YR2/3黒褐色シルト | ピット | 36. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭を少し含む |
| 2. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、礫を含む、土坑 (貯蔵穴) | 37. 10YR3/4暗褐色シルト | 10YR2/3黒褐色シルトと炭を少し含む |
| 3. 10YR2/1黒色シルト | ピット | 38. 10YR4/4褐色シルト | 炭を少し含む |
| 4. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む、ピット | 39. 10YR5/4にぶい黄褐色シルト | 地山 |
| 5. 10YR3/3暗褐色シルト | ピット | | |
| 6. 10YR2/3黒褐色シルト | ピット | | |
| 7. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む、ピット | | |
| 8. 10YR2/2黒褐色シルト | 10YR3/4暗褐色シルトを多く含む、ピット | | |
| 9. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む、ピット | | |
| 10. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む、ピット | | |
| 11. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土、炭、焼土を含む、11~16層土は倒木痕 | | |
| 12. 10YR3/2黒褐色シルト | 地山土を多く含む | | |
| 13. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を少し含む | | |
| 14. 10YR3/2黒褐色シルト | 地山土、炭、焼土を含む | | |
| 15. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、焼土を多く含む | | |
| 16. 10YR4/6褐色シルト | 10YR3/1黒褐色シルトを含む | | |
| 17. 10YR3/3暗褐色シルト | 17~22層土は土坑 (貯蔵穴) | | |
| 18. 10YR3/2黒褐色シルト | | | |
| 19. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を含む | | |
| 20. 10YR3/2黒褐色シルト | 炭を含む | | |
| 21. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を多く含む | | |
| 22. 10YR3/2黒褐色シルト | 地山土と炭を含む | | |
| 23. 10YR3/2黒褐色シルト | 23~24層土は土坑 | | |
| 24. 10YR3/3暗褐色シルト | | | |
| 25. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭を含む、土坑 | | |
| 26. 10YR3/2黒褐色シルト | 炭、土器を含む、26~38層土はSG21覆土 | | |
| 27. 10YR1.7/1黒色シルト | 炭、土器を含む | | |
| 28. 10YR3/3暗褐色シルト | 10YR1.7/1黒色シルトを含む | | |
| 29. 砂層10YR2/1黒色シルト | を少し含む、洪水層 | | |
| 30. 10YR1.7/1黒色シルト | | | |
| 31. 10YR3/4暗褐色シルト | 炭、焼土を含む | | |
| 32. 10YR2/2黒褐色シルト | | | |
| 33. 10YR2/3黒褐色シルト | | | |
| 34. 10YR3/3暗褐色シルト | 砂層を含む | | |
| 35. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む | | |

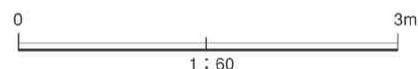


第15図 旧河道SG21断面図 c - c' ・ d - d'

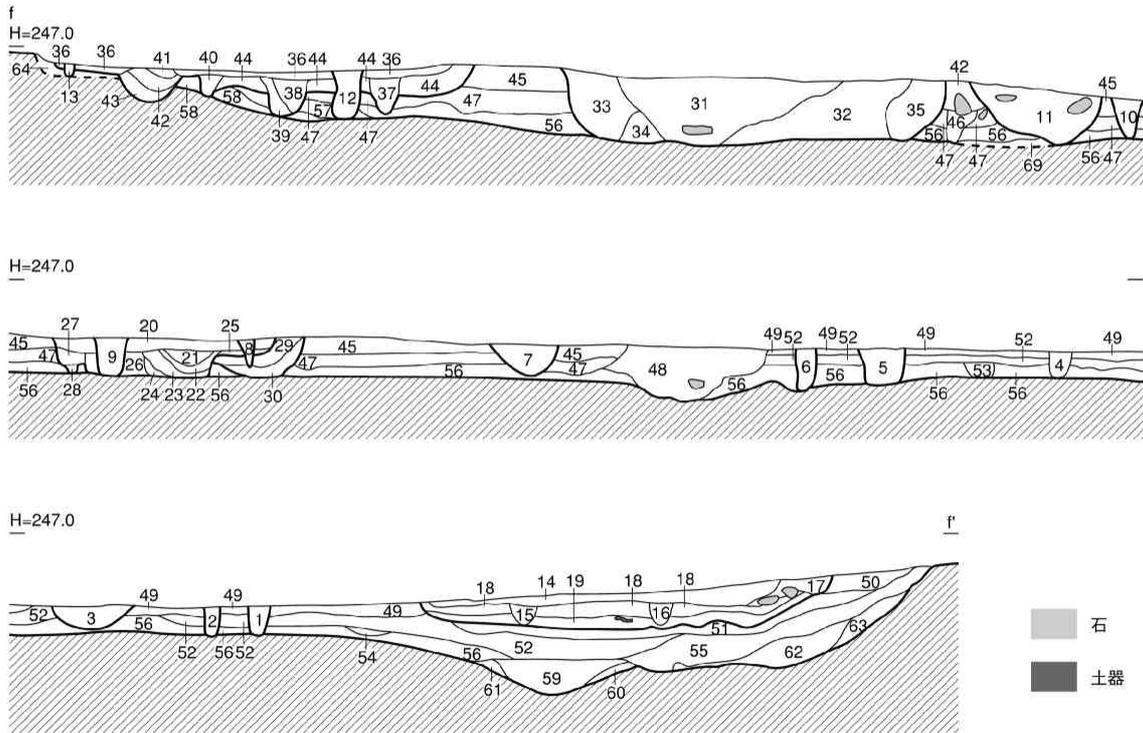


SG21 (e - e')

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭、焼土を含む、ピット |
| 2. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、焼土、地山土を含む、土坑 |
| 3. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む、土坑 |
| 4. 10YR2/2黒褐色シルト | 焼土、炭、土器を多く含む、4から12層土は倒木痕 |
| 5. 10YR2/2黒褐色シルト | |
| 6. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭、焼土、土器を多く含む |
| 7. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、焼土、地山土を含む |
| 8. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭を多く含む |
| 9. 10YR3/2黒褐色シルト | 炭を含む |
| 10. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭を含む |
| 11. 10YR2/1黒色シルト | 土器を含む |
| 12. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭、焼土、土器を多く含む |
| 13. 10YR2/2黒褐色シルト | 13~17層土は竪穴住居の覆土 |
| 14. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、焼土を含む |
| 15. 10YR2/2黒褐色シルト | 被熱 |
| 16. 10YR2/3黒褐色シルト | 焼土、炭を多く含む |
| 17. 10YR3/4暗褐色シルト | しまり強い |
| 18. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭、焼土を少し含む、柱穴 |
| 19. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む、柱穴 |
| 20. 10YR2/1黒色シルト | 炭、焼土を少し含む、22から33層土はSG21覆土 |
| 21. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 22. 10YR2/1黒色シルト | 炭、地山土を含む |
| 23. 10YR4/4褐色シルト | 10YR2/3黒褐色シルトを含む |
| 24. 10YR2/2黒褐色シルト | 礫を含む |
| 25. 10YR2/2黒褐色シルト | 10YR6/6明黄褐色シルトを多く含む |
| 26. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 27. 10YR2/1黒色シルト | 地山土を少し含む |
| 28. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 29. 10YR2/2黒褐色シルト | |
| 30. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 31. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 32. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 33. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 34. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山 |

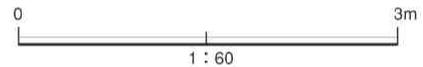


第16図 旧河道SG21断面図 e - e'

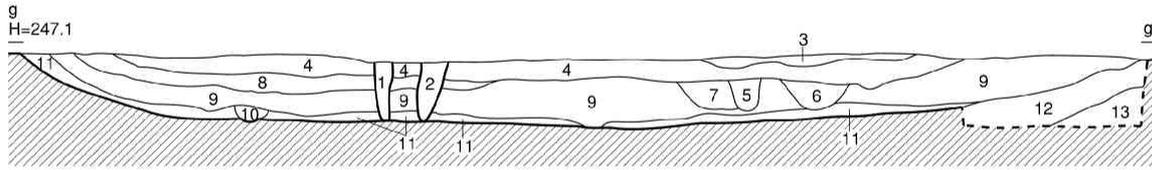


SG21 (f - f')

- | | | | |
|--------------------|------------------------------|--------------------|----------------------------------|
| 1. 10YR3/2黒褐色シルト | 1~10層土はピット | 33. 10YR1.7/1黒色シルト | 柱穴 |
| 2. 10YR3/2黒褐色シルト | | 34. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 3. 10YR3/3暗褐色シルト | | 35. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭を含む |
| 4. 10YR3/2黒褐色シルト | | 36. 10YR2/1黒色シルト | 地山上、炭、焼土を多く含む、
36~4層土は竪穴住居ST7 |
| 5. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む | 37. 10YR1.7/1黒色シルト | 柱穴 |
| 6. 10YR3/3暗褐色シルト | | 38. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、焼土を含む、38~39層土は柱穴 |
| 7. 10YR2/3黒褐色シルト | | 39. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 8. 10YR3/2黒褐色シルト | | 40. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を含む、柱穴 |
| 9. 10YR2/2黒褐色シルト | | 41. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を多く含む、41~43層土は柱穴 |
| 10. 10YR3/2黒褐色シルト | | 42. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭、焼土を含む |
| 11. 10YR1.7/1黒色シルト | 炭、焼土を含む、土坑 | 43. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を含む |
| 12. 10YR1.7/1黒色シルト | 地山土を含む、ピット | 44. 10YR3/2黒褐色シルト | 地山土、炭を含む、掘方 |
| 13. 10YR1.7/1黒色シルト | 地山土を含む、ピット | 45. 10YR1.7/1黒色シルト | 地山土、炭を少し含む、
45~63層土はSG21の覆土 |
| 14. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭、焼土を含む、14~19層土は竪穴住居 | 46. 10YR2/2黒褐色シルト | |
| 15. 10YR3/2黒褐色シルト | 柱穴 | 47. 10YR1.7/1黒色シルト | 炭を少し含む |
| 16. 10YR3/2黒褐色シルト | 柱穴 | 48. 10YR2/1黒色シルト | 炭、土器を多く含む、倒木痕 |
| 17. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭を含む、覆土 | 49. 10YR2/3黒褐色シルト | 10YR3/3暗褐色シルトを含む |
| 18. 10YR3/2黒褐色シルト | 10YR6/6明黄褐色シルト、
炭を多く含む、掘方 | 50. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 19. 10YR2/1黒色シルト | 炭を含む、掘方 | 51. 10YR2/2黒褐色シルト | 10YR1.7/1黒色シルトを含む |
| 20. 10YR2/1黒色シルト | 炭を含む、20~25層土は竪穴住居 | 52. 10YR2/1黒色シルト | 10YR3/2黒褐色シルトを含む |
| 21. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭を含む、21~24層土は地床炉 | 53. 10YR2/2黒褐色シルト | しまり弱い |
| 22. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、焼土を多く含む | 54. 10YR2/1黒色シルト | 地山土を多く含む |
| 23. 10YR2/1黒色シルト | 炭、焼土を含む | 55. 10YR1.7/1黒色シルト | 10YR3/3暗褐色シルト、炭を多く含む |
| 24. 10YR3/2黒褐色シルト | | 56. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 25. 10YR3/2黒褐色シルト | 10YR4/4褐色シルトを含む、掘方 | 57. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土、風化礫を含む |
| 26. 10YR3/3暗褐色シルト | 焼土を含む、土坑 | 58. 10YR4/6褐色シルト | 10YR2/2黒褐色シルトを含む |
| 27. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む、柱穴 | 59. 10YR3/2黒褐色シルト | |
| 28. 10YR3/2黒褐色シルト | 炭を含む、柱穴 | 60. 10YR3/2黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 29. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭を含む、土坑 | 61. 10YR4/4褐色砂質シルト | 縄文時代中期の土器を含む |
| 30. 10YR3/2黒褐色シルト | 土坑 | 62. 10YR3/2黒褐色シルト | 10YR2/1黒色シルトを含む |
| 31. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む、31~35層土は倒木痕 | 63. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を含む |
| 32. 10YR4/4褐色シルト | 10YR3/3暗褐色シルトを少し含む | 64. 10YR4/6褐色砂質シルト | 地山 |
| 33. 10YR1.7/1黒色シルト | | | |

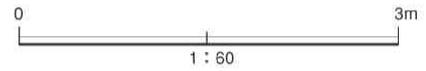


第17図 旧河道SG21断面 f - f'



SG21 (g - g')

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 10YR2/1黒色シルト | しまり弱い、ビット |
| 2. 10YR2/1黒色シルト | ビット |
| 3. 10YR2/2黒褐色シルト | しまり弱い土器片を含む、3～11層土はSG21の覆土 |
| 4. 10YR2/1黒色シルト | 炭、地山土を含む、3・4層土はF1 |
| 5. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 6. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 7. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 8. 10YR1.7/1黒色シルト | 地山土を少し含む、しまりやや弱い、8・9層土はF2 |
| 9. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭、地山土を少し含む、しまりやや弱い |
| 10. 10YR3/4暗褐色シルト | 10YR2/3黒褐色シルトを含む、10・11層土はF3 |
| 11. 10YR3/4暗褐色シルト | しまり弱い |
| 12. 10YR3/4暗褐色シルト | 小礫を含む、地山 |
| 13. 10YR7/6明黄褐色シルト | 地山 |



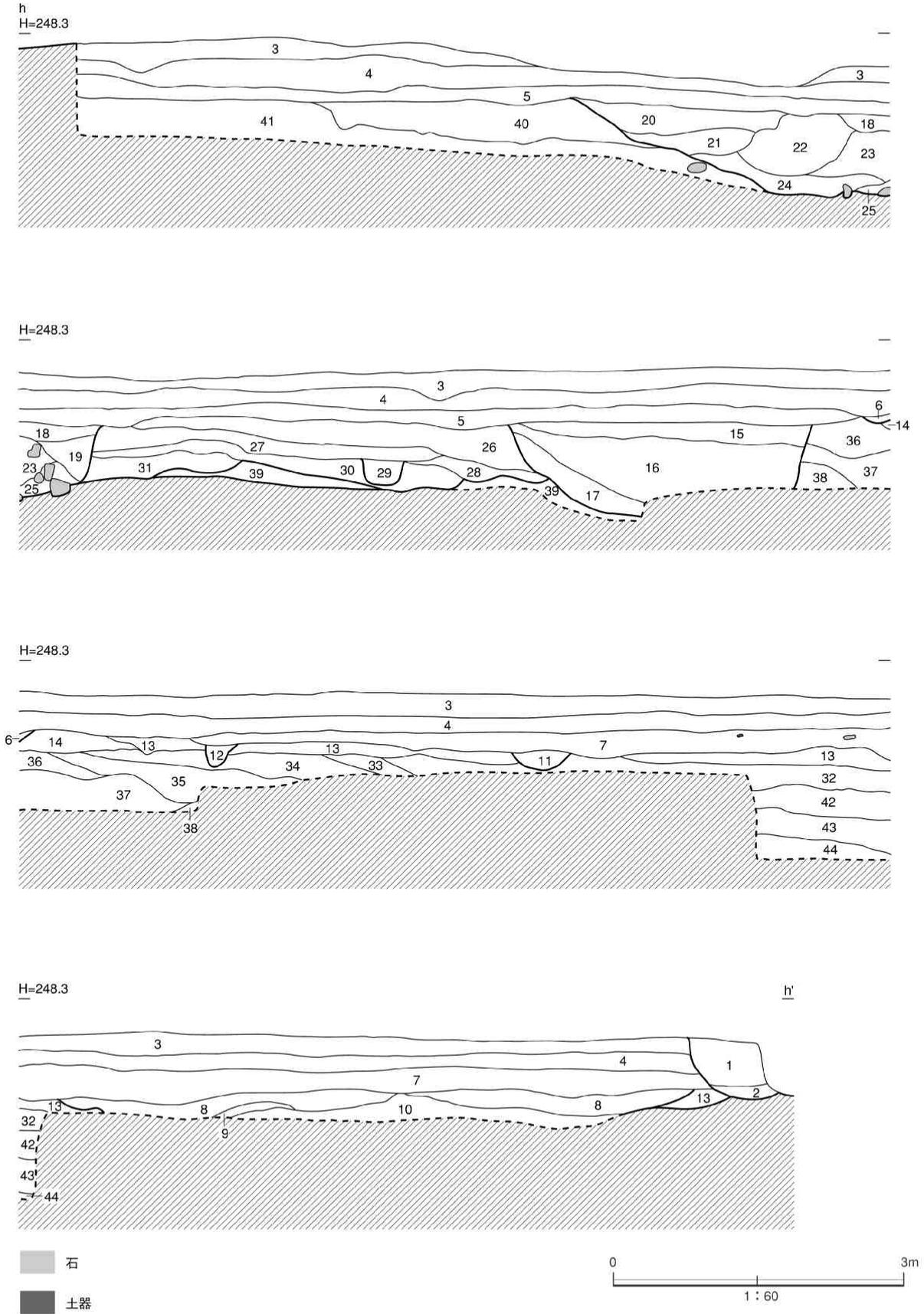
第18図 旧河道SG21断面 g - g'

旧河道SG21検出 (南から)



旧河道SG21作業状況 (西から)





第19図 旧河道S G21断面図 h - h'

SG21 (h - h')

1. 盛土
2. 旧耕土
3. 耕土
4. 10YR3/3暗褐色シルト
5. 10YR2/3黒褐色シルト
6. 10YR2/3黒褐色シルト
7. 10YR2/2黒褐色シルト
8. 10YR2/2黒褐色シルト
9. 10YR4/4褐色シルト
10. 10YR4/6褐色シルト
11. 10YR3/4暗褐色シルト
12. 10YR3/3暗褐色シルト
13. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト
14. 10YR2/3黒褐色シルト
15. 10YR2/2黒褐色シルト
16. 10YR4/6褐色シルト
17. 10YR2/2黒褐色シルト
18. 10YR4/6褐色シルト
19. 10YR2/1黒色シルト
20. 10YR2/2黒褐色シルト
21. 10YR2/1黒色シルト
22. 10YR1.7/1黒色シルト
23. 10YR4/4褐色シルト
24. 10YR2/2黒褐色シルト
25. 10YR3/3暗褐色シルト
26. 10YR1.7/1黒色シルト
27. 10YR2/1黒色シルト
28. 10YR2/2黒褐色シルト
29. 10YR3/3暗褐色シルト
30. 10YR2/2黒褐色シルト
31. 10YR2/3黒褐色シルト
32. 10YR3/4暗褐色シルト
33. 10YR4/6褐色シルト
34. 10YR4/6褐色シルト
35. 10YR5/6黄褐色シルト
36. 10YR2/3黒褐色シルト
37. 10YR3/3暗褐色砂層
38. 10YR4/6褐色シルト
39. 10YR4/6褐色シルト
40. 10YR4/6褐色シルト
41. 10YR5/6黄褐色粘土
42. 10YR6/6明黄褐色結質シルト
43. 10YR5/6黄褐色シルト
44. 10YR5/6黄褐色砂質土

旧耕土
 旧耕土
 小礫を含む、ピット
 炭、土器を含む、遺物包含層
 炭を含む、8~10層土は倒木痕
 8層土を含む
 8層土を含む
 炭、地山土を含む、ピット
 ピット
 地山土を多く含む、遺物包含層
 10YR4/6褐色シルト、小礫を含む、遺物包含層
 地山土を含む、15~17層土は倒木痕

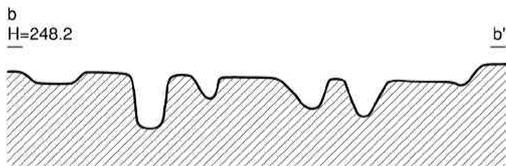
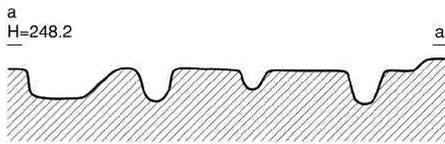
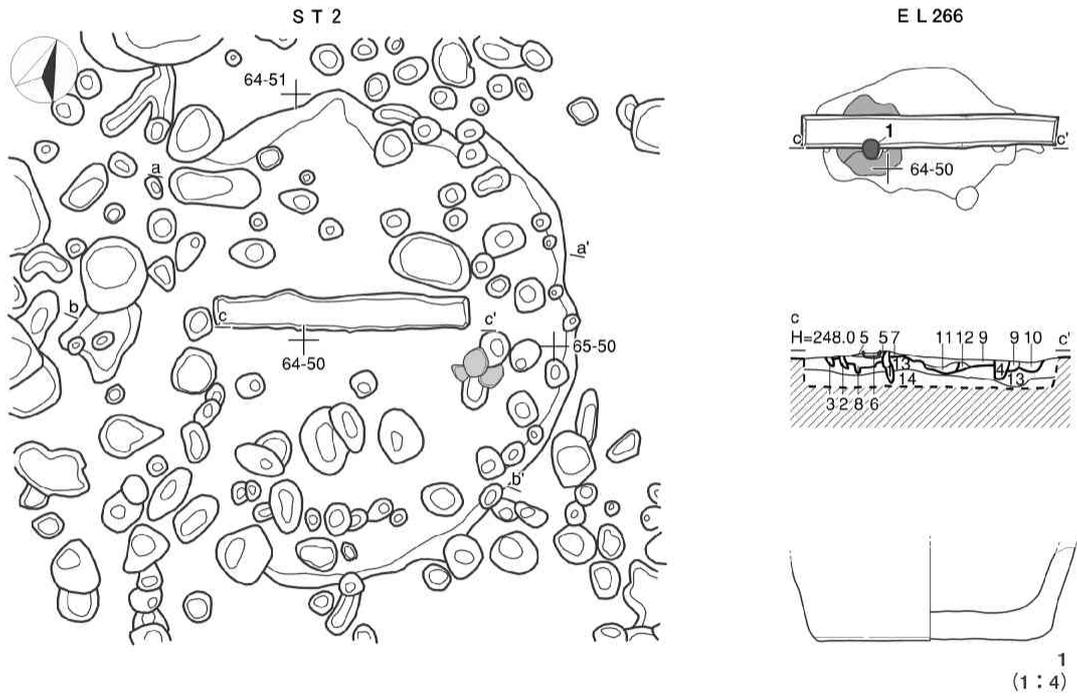
 18~25層土は倒木痕
 地山土を含む

 10YR3/1黒褐色シルト、地山土を含む
 地山土を多く含む
 10YR2/2黒褐色シルトを含む
 地山土を含む
 炭を含む
 炭を含む、26~31層土はSG21
 風化礫を含む
 地山土を多く含む
 ピット
 炭、地山土を含む
 地山土を多く含む
 10YR2/3黒褐色シルトを含む、32層以下は地山
 径5cm以下の礫を多く含む

 径5cm以下の礫を多く含む
 径5cm以下の礫を多く含む
 径5cm以下の礫を少し含む
 10YR2/3黒褐色シルト、炭を含む
 10YR3/3暗褐色シルト、小礫、炭を含む
 径5cm以下の礫を含む

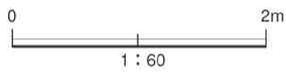
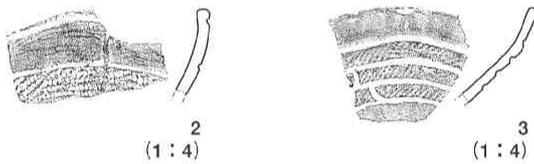


現地説明会

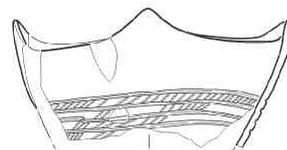
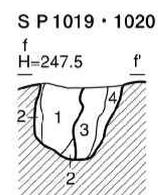
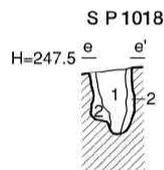
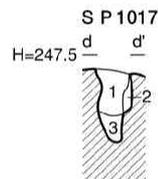
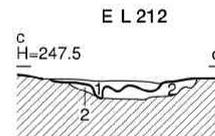
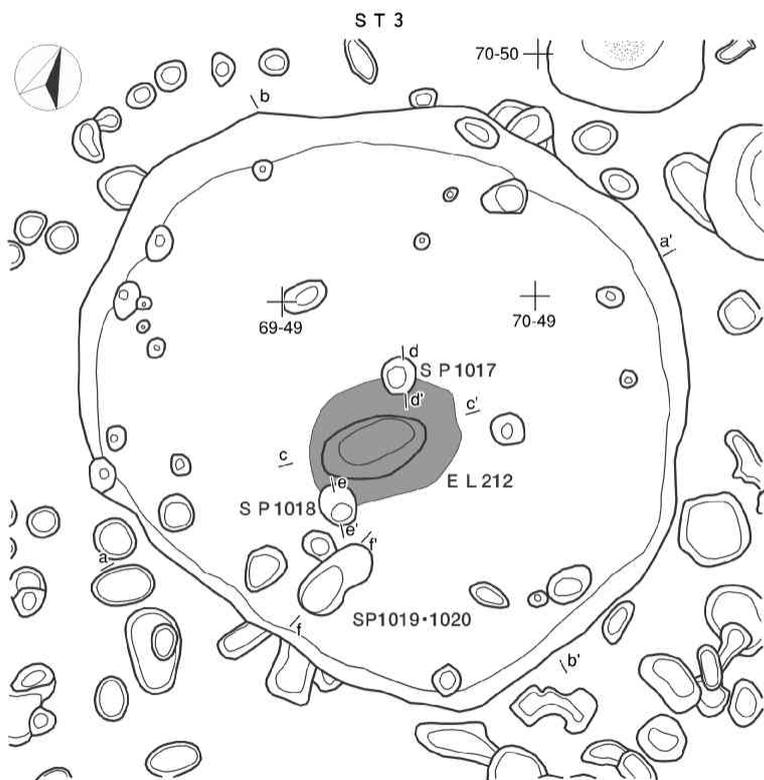


E L 266

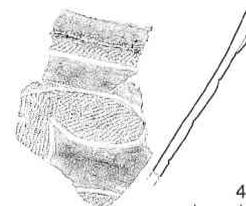
1. 10YR3/3暗褐色シルト ビット
2. 10YR3/3暗褐色シルト ビット
3. 10YR3/3暗褐色シルト ビット
4. 10YR3/3暗褐色シルト ビット
5. 10YR3/4暗褐色シルト 焼土を含む
6. 10YR4/6褐色シルト 土器内の覆土
7. 焼土 10YR3/3暗褐色シルトを含む
8. 焼土 13層土が焼けたもの
9. 10YR2/3黒褐色シルト しまり弱い、地山を含む
10. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む
11. 10YR3/3暗褐色シルト 焼土を多く含む
12. 焼土 13層土が焼けたもの
13. 地山 10YR2/3黒褐色シルトを含む
14. 地山 10YR5/4にぶい黄褐色砂質土、風化礫を少し含む



第20図 竪穴住居 S T 2



6
(1:6)



4
(1:6)



7
(1:6)

ST 3

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 10YR2/1黒色シルト | 地山土を少し含む、微砂層を含む、ピット |
| 2. 10YR2/1黒色シルト | 10YR2/2黒褐色シルトを含む、地山土を少し含む、以下覆土 |
| 3. 10YR2/1黒色シルト | 地山土を少し含む、10YR2/2黒褐色シルトを多く含む |
| 4. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む、しまり強い |
| 5. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 6. 10YR2/3黒褐色シルト | しまり弱い |
| 7. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を少し含む、しまり弱い |

EL 212

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 10YR2/3黒褐色シルト | 焼土を多く含む、地床炉の覆土 |
| 2. 地山 10YR2/3黒褐色シルトを少し含む、被熱 | |

SP 1017

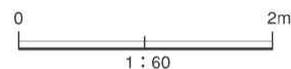
- | | |
|------------------|----|
| 1. 10YR2/3黒褐色シルト | 柱痕 |
| 2. 10YR3/4暗褐色シルト | 掘方 |
| 3. 地山土に炭を多く含む、掘方 | |

SP 1018

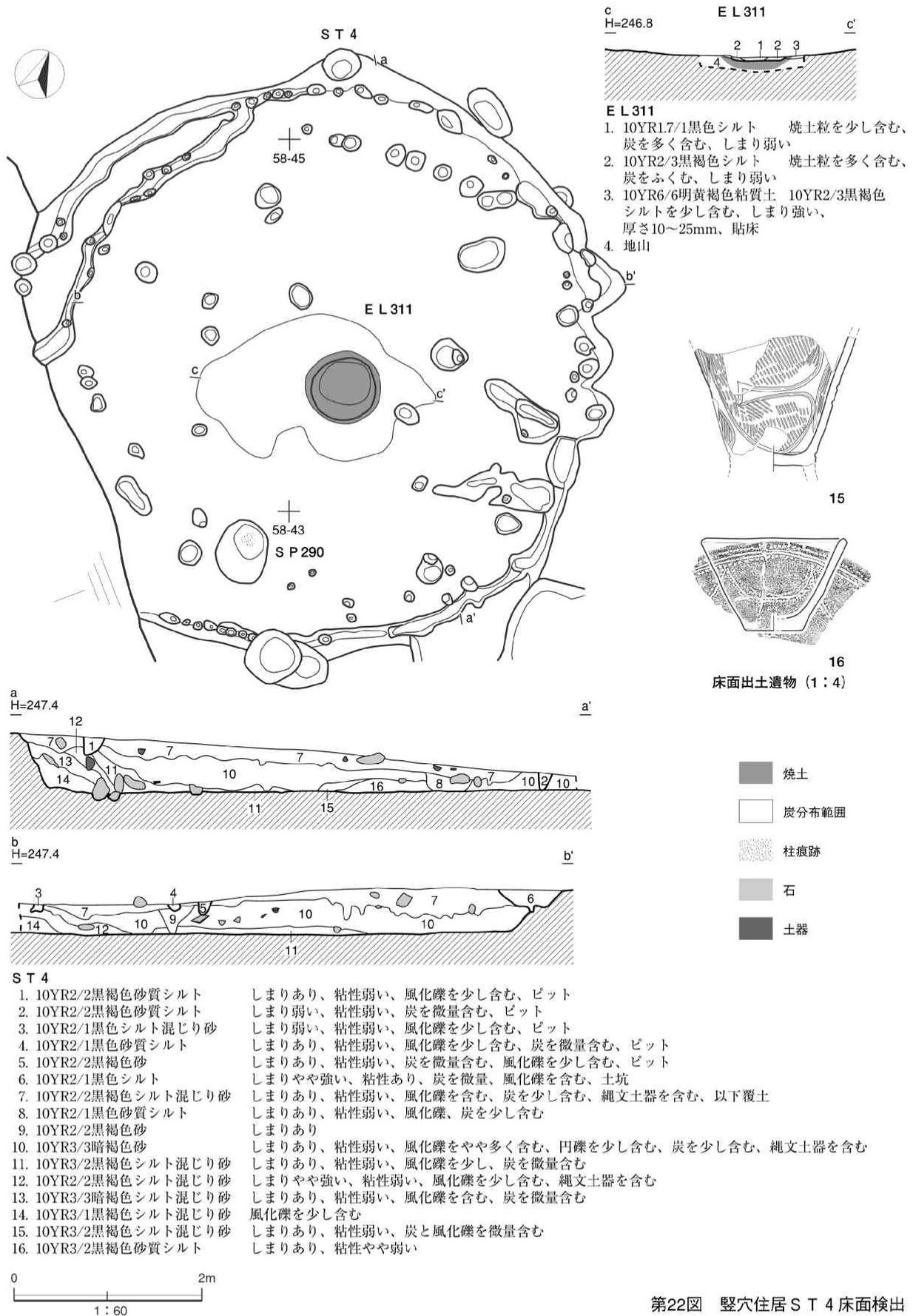
- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 10YR2/2黒褐色シルト | しまり弱い、柱痕 |
| 2. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を多く含む、掘方 |

SP 1019・1020

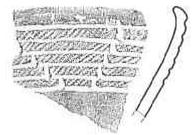
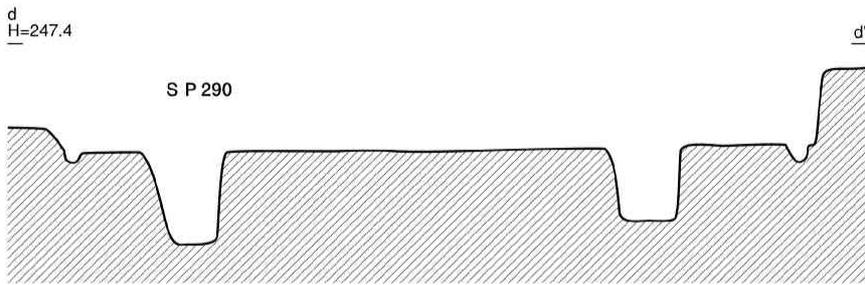
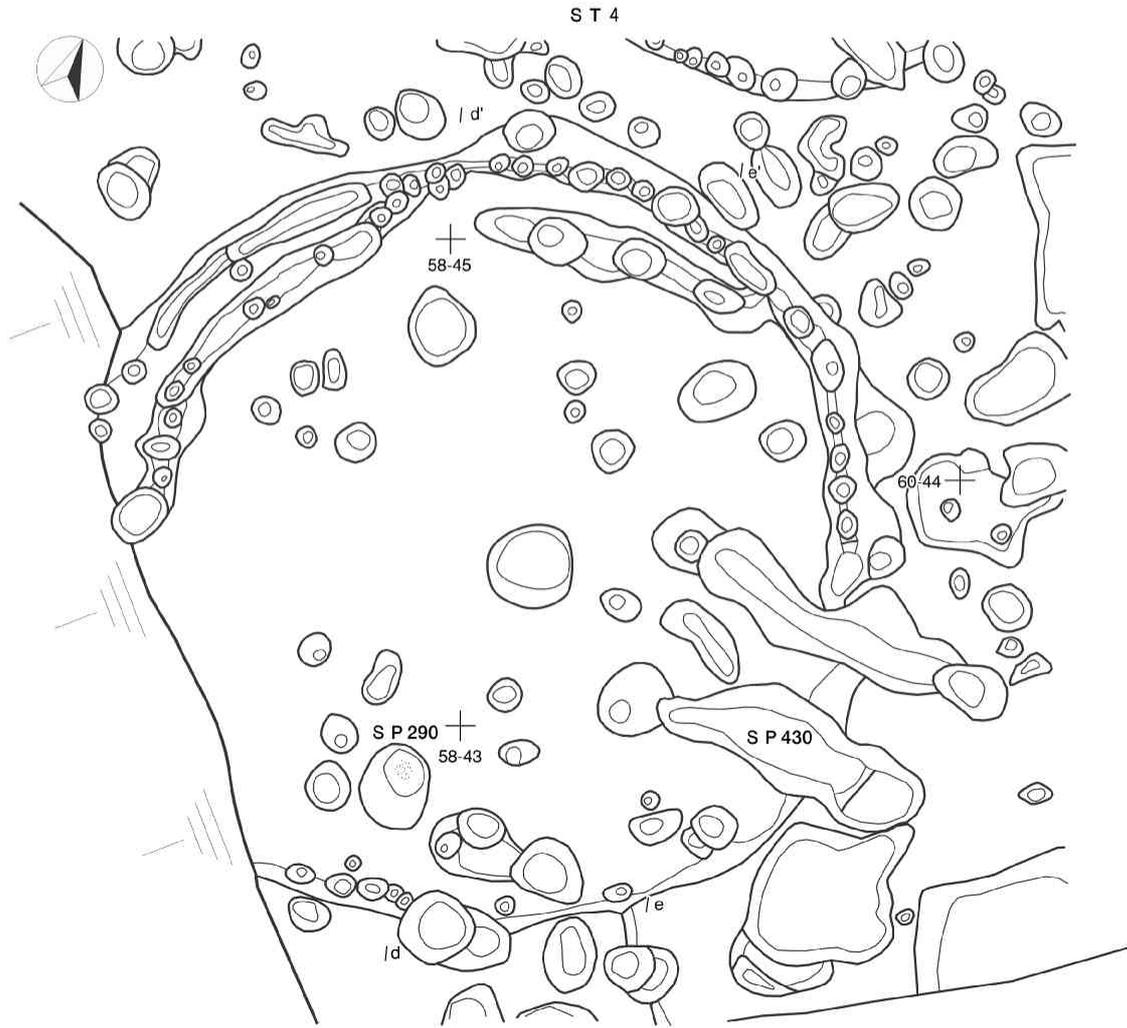
- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を少し含む、SP1019の柱痕 |
| 2. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を多く含む、SP1019の掘方 |
| 3. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む、SP1020の柱痕 |
| 4. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を多く含む、しまり弱い、SP1020の掘方 |



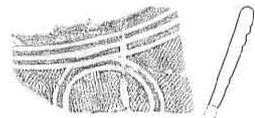
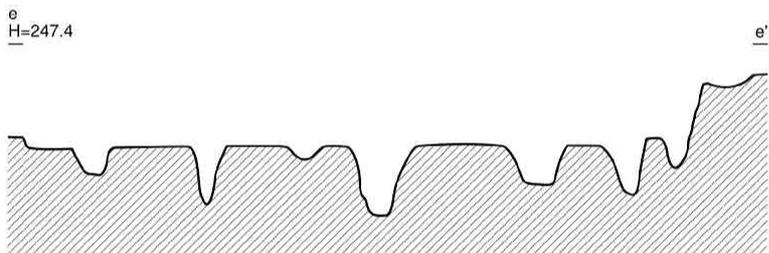
第21図 竪穴住居 ST 3



第22図 竪穴住居 S T 4 床面検出

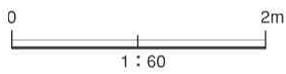


18
SP290出土遺物 (1:4)

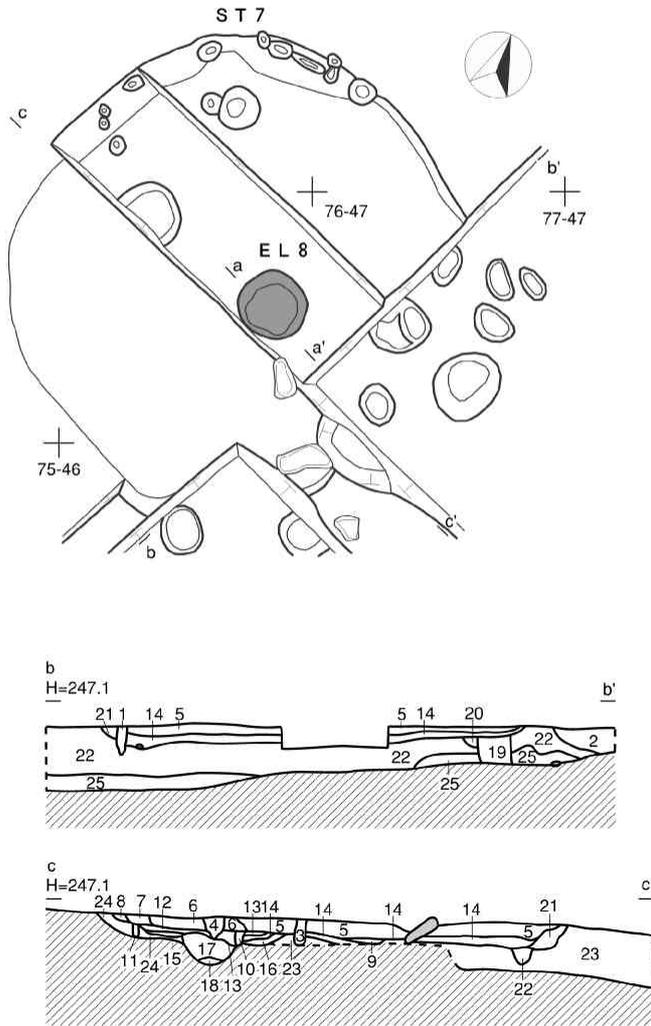


17
SP430出土遺物 (1:4)

柱痕跡

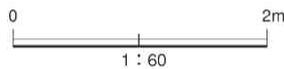
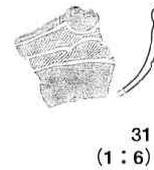
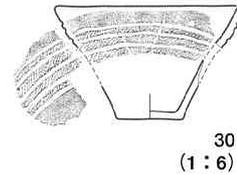
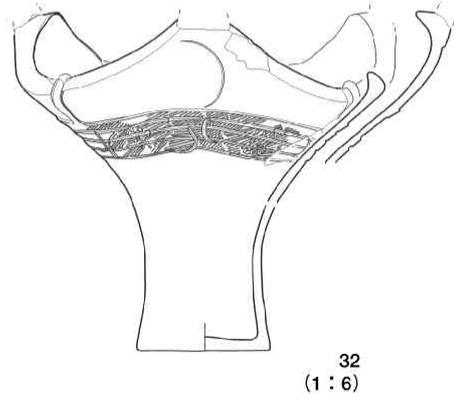


第23図 竪穴住居 S T 4 掘方完掘

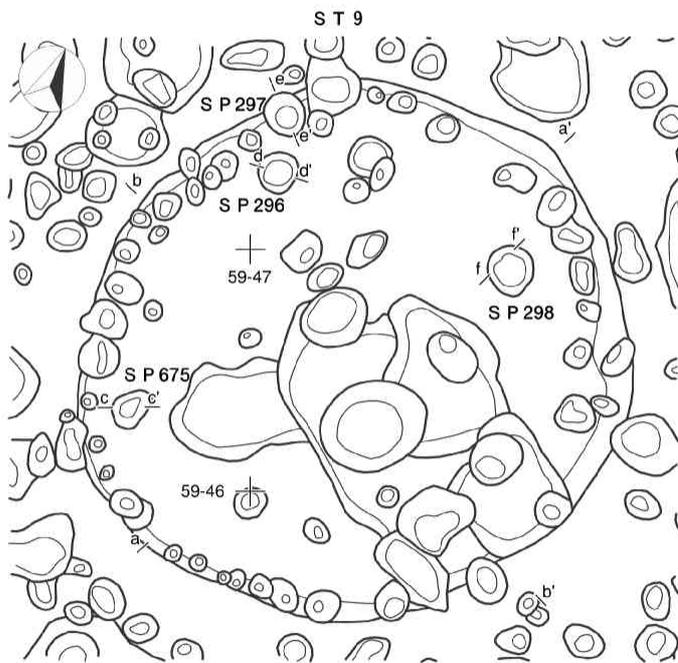


- ST 7**
- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 7.5YR1.7/1黒色シルト | しまり弱い、ピット |
| 2. 10YR3/4暗褐色シルト | 風化礫を少し含む、ピット |
| 3. 10YR3/2黒褐色シルト | ピット |
| 4. 10YR3/2黒褐色シルト | ピット |
| 5. 10YR4/4褐色シルト | 10YR3/3暗褐色シルト、炭、焼土を含む、覆土 |
| 6. 10YR3/2黒褐色シルト | 10YR5/6黄褐色シルト、炭を含む、覆土 |
| 7. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、焼土を含む、覆土 |
| 8. 10YR3/4暗褐色シルト | しまり弱い、覆土 |
| 9. 10YR4/4褐色シルト | 焼土を多く含む、地床炉 |
| 10. 10YR3/3暗褐色シルト | しまり弱い、ピット |
| 11. 10YR2/3黒褐色シルト | しまり弱い、柱穴 |
| 12. 10YR3/3暗褐色シルト | 10YR4/4褐色シルトを含む、掘方 |
| 13. 10YR4/6褐色シルト | 掘方 |
| 14. 10YR2/3黒褐色シルト | 10YR4/2灰黄褐色シルト、炭、焼土を含む、掘方 |
| 15. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を含む、掘方 |
| 16. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭、焼土を多く含む、掘方 |
| 17. 10YR2/1黒色シルト | 炭、焼土、地山土を含む、柱穴 |
| 18. 10YR2/1黒色シルト | 地山土を含む、柱穴 |
| 19. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を多く含む、柱穴 |
| 20. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を少し含む、柱穴 |
| 21. 10YR2/1黒色シルト | 炭、地山土を多く含む、掘方 |
| 22. 10YR1.7/1黒色シルト | 地山土を含む、柱穴 |
| 23. 10YR1.7/1黒色シルト | 炭、地山土を多く含む、SG21の覆土 |
| 24. 10YR4/6褐色砂質土 | 風化礫を含む、粘性なし、SG21の覆土 |
| 25. 10YR4/4褐色シルト | 10YR1.7/1黒色シルトを含む、風化礫を含む、地山 |

- E L 8**
- a H=247.1 a'
-
- E L 8**
1. 10YR4/4褐色シルト 強く被熱
 2. 10YR4/4褐色シルト 被熱



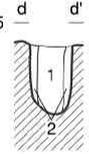
第24図 竪穴住居 ST 7



S P 675
H=247.8



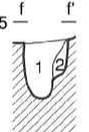
S P 296
H=247.5



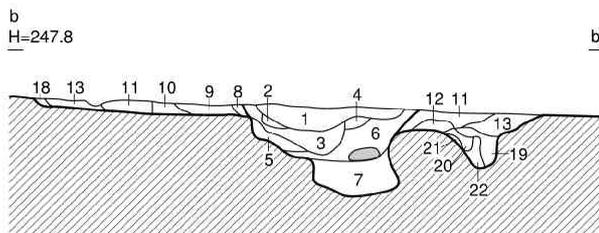
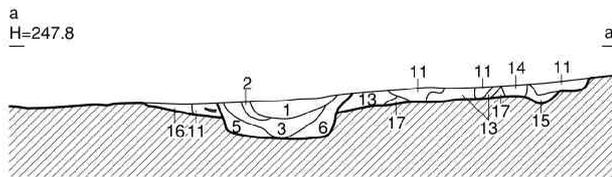
S P 297
H=247.6



S P 298
H=247.5

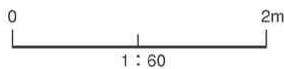


- S P 296**
1. 10YR2/2黒褐色シルト 柱痕
2. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を含む、掘方
- S P 297**
1. 10YR2/1黒色シルト 地山土を少し含む、柱痕
2. 10YR2/2黒褐色シルト 掘方
- S P 298**
1. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を少し含む、掘方
2. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を含む、掘方

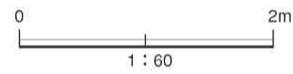
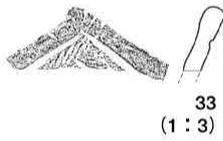
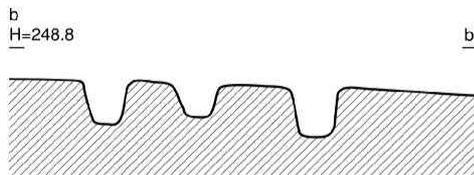
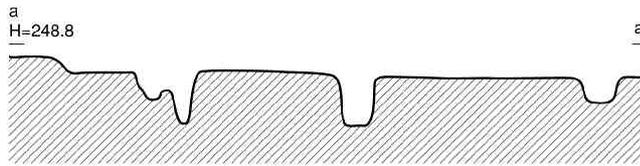
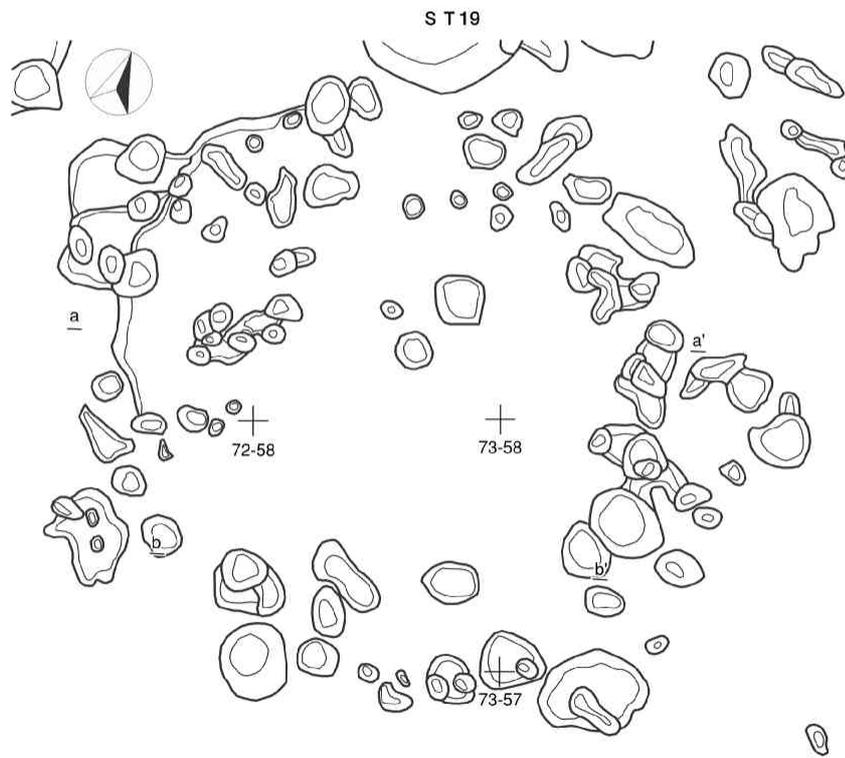


S T 9

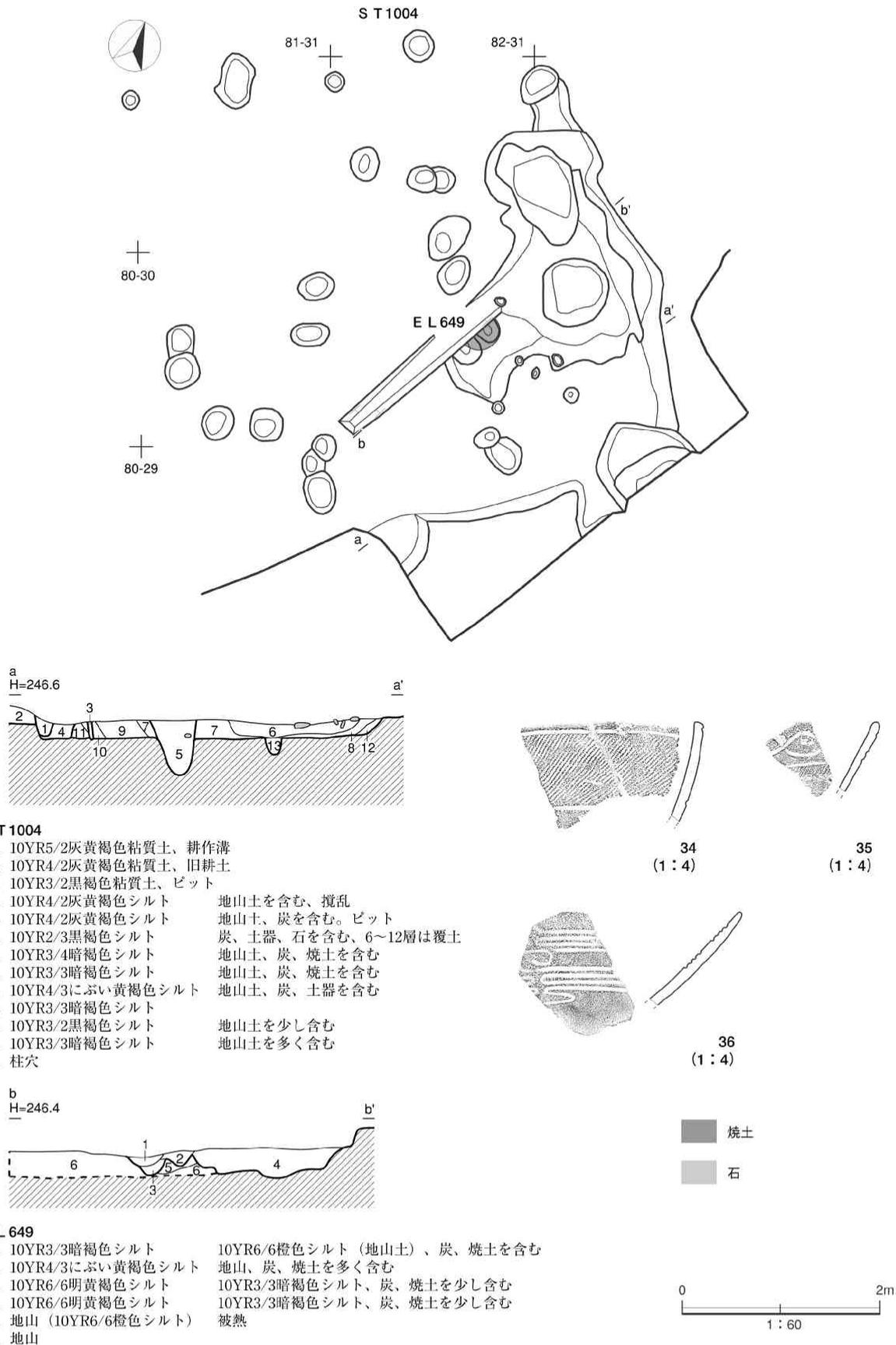
- | | |
|----------------------|--|
| 1. 10YR2/1黒色砂質シルト | しまり強い、粘性あり、風化礫を微量含む、1層から7層は土坑 |
| 2. 10YR2/2黒褐色シルト | しまり強い、粘性あり、風化礫を微量含む、酸化鉄を少し含む |
| 3. 10YR2/1黒色シルト | しまりやや強い、粘性あり、風化礫を少し含む、焼土を少し含む |
| 4. 10YR3/2黒褐色シルト | しまりやや強い、粘性あり、風化礫を少し含む |
| 5. 10YR2/1黒色シルト | しまり強い、粘性弱い、炭と風化礫を少し含む |
| 6. 10YR2/2黒褐色シルト混じり砂 | 炭を少しと風化礫をやや多く含む、酸化鉄を含む |
| 7. 10YR2/2黒褐色シルト | しまりあり、粘性あり、炭、風化礫を少し含む |
| 8. 10YR2/3黒褐色砂質シルト | しまりあり、粘性弱い、炭を微量、焼土塊を少し含む、8層から18層は覆土 |
| 9. 10YR4/4褐色砂質シルト | しまりやや強い、粘性弱い、炭を微量含む |
| 10. 10YR3/3暗褐色砂質シルト | しまりやや強い、粘性あり、風化礫を含む、ブロック状の堆積 |
| 11. 10YR2/1黒色砂質シルト | しまりあり、粘性あり、風化礫を含む、炭を微量含む |
| 12. 10YR2/2黒褐色砂質シルト | しまり強い、粘性弱い、風化礫を少し、炭を微量、暗褐色砂質シルトブロックを多く含む |
| 13. 10YR2/3黒褐色砂質シルト | しまりやや強い、粘性やや弱い、風化礫を含む、炭を少し含む |
| 14. 10YR2/1黒色砂質シルト | しまり強い、粘性弱い、炭を少し含む、風化礫、酸化鉄を含む |
| 15. 10YR2/2黒褐色砂質シルト | しまり極めて強い、粘性弱い、風化礫を多く含む |
| 16. 10YR2/1黒色砂質シルト | しまりやや強い、粘性弱い、炭を微量、風化礫を少し含む |
| 17. 10YR2/2黒褐色砂質シルト | しまりあり、粘性弱い、炭、風化礫を微量含む |
| 18. 10YR3/4暗褐色シルト | しまりあり、粘性弱い、風化礫を含む |
| 19. 10YR3/3暗褐色砂質シルト | しまり強い、粘性弱い、炭を微量、風化礫をやや多く含む、以下柱穴 |
| 20. 10YR3/3暗褐色砂質シルト | しまりあり、粘性弱い、炭を少し含む、風化礫を含む |
| 21. 10YR3/4暗褐色砂質シルト | しまりあり、粘性弱い、風化礫を少し含む |
| 22. 10YR2/2黒褐色砂質シルト | しまりやや強い、粘性弱い、炭と風化礫を微量含む |



第25図 竪穴住居 S T 9



第26図 竪穴住居 S T 19



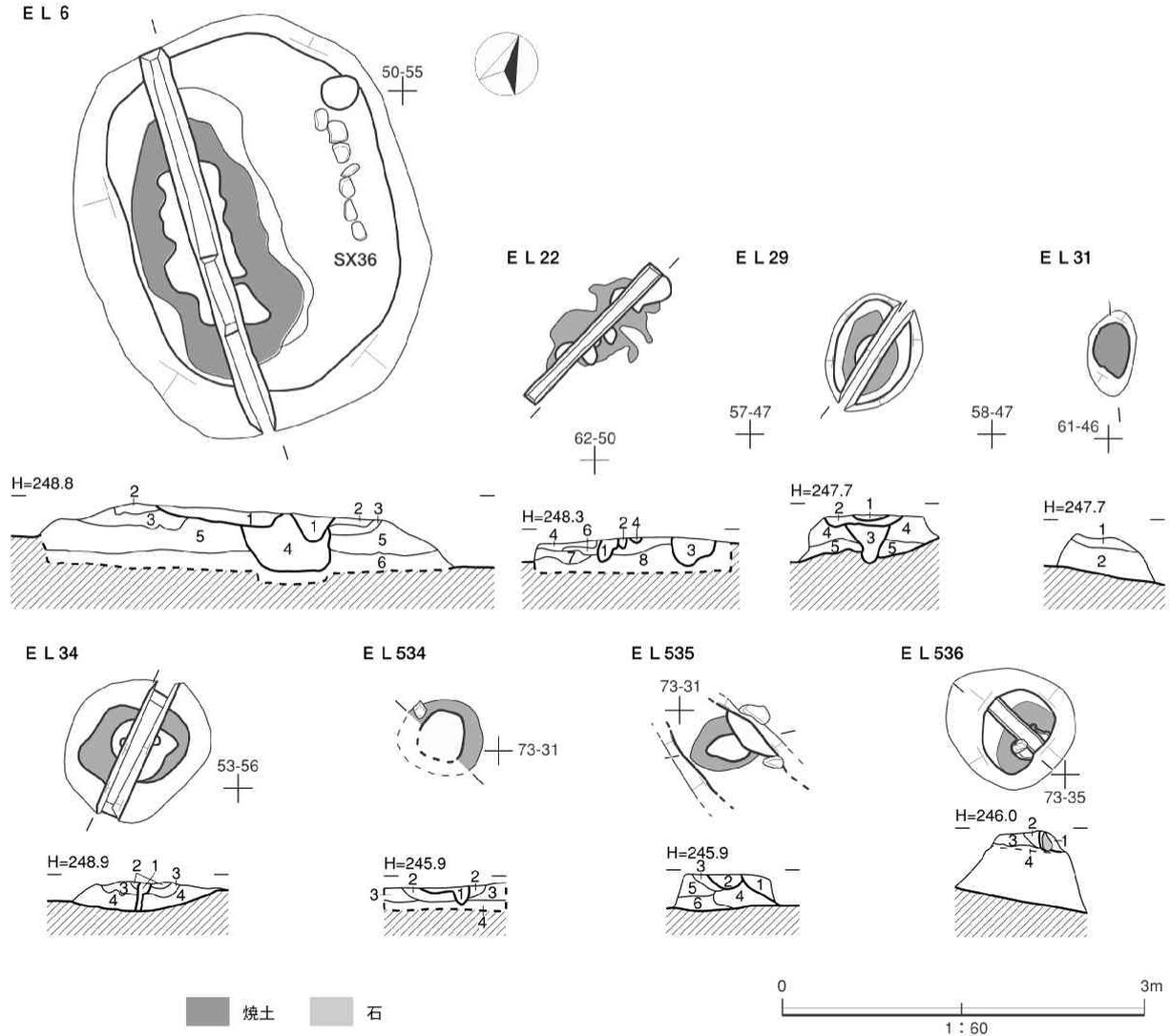
S T 1004

1. 10YR5/2灰黄褐色粘質土、耕作溝
2. 10YR4/2灰黄褐色粘質土、旧耕土
3. 10YR3/2黒褐色粘質土、ピット
4. 10YR4/2灰黄褐色シルト 地山土を含む、攪乱
5. 10YR4/2灰黄褐色シルト 地山土、炭を含む。ピット
6. 10YR2/3黒褐色シルト 炭、土器、石を含む、6~12層は覆土
7. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土、炭、焼土を含む
8. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土、炭、焼土を含む
9. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 地山土、炭、土器を含む
10. 10YR3/3暗褐色シルト
11. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を少し含む
12. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を多く含む
13. 柱穴

E L 649

1. 10YR6/3暗褐色シルト 10YR6/6橙色シルト (地山土)、炭、焼土を含む
2. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 地山、炭、焼土を多く含む
3. 10YR6/6明黄褐色シルト 10YR3/3暗褐色シルト、炭、焼土を少し含む
4. 10YR6/6明黄褐色シルト 10YR3/3暗褐色シルト、炭、焼土を少し含む
5. 地山 (10YR6/6橙色シルト) 被熱
6. 地山

第27図 竪穴住居 S T 1004



- E L 6**
- 1. 10YR3/3暗褐色シルト 焼土、炭を少し含む、覆土
 - 2. 10YR3/2黒褐色シルト 被熱
 - 3. 10YR3/2黒褐色シルト 焼土を多く、炭を少し含む
 - 4. 10YR2/3黒褐色シルト 焼土、炭を多く含む、ピット
 - 5. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土、焼土を少し含む、遺物包含層
 - 6. 10YR4/4褐色シルト 地山

- E L 22**
- 1. 10YR2/3黒褐色シルト ピット
 - 2. 10YR3/4暗褐色シルト ピット
 - 3. 10YR4/4褐色シルト 10YR2/3黒褐色シルトを含む、ピット
 - 4. 10YR2/3黒褐色シルト しまり弱い、焼土、炭を少し含む、ピット
 - 5. 10YR3/3暗褐色シルト 焼土を多く含む、覆土
 - 6. 10YR3/4暗褐色シルト 被熱、遺物包含層
 - 7. 10YR3/4暗褐色シルト 焼土、炭を少し含む、遺物包含層
 - 8. 地山 10YR3/3暗褐色シルトを含む

- E L 29**
- 1. 10YR2/2黒褐色シルト 焼土を含む、覆土
 - 2. 10YR2/3黒褐色シルト 焼土を多く含む、被熱
 - 3. 10YR3/4暗褐色シルト ピット
 - 4. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む、遺物包含層
 - 5. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を多く含む、遺物包含層

- E L 31**
- 1. 10YR3/4暗褐色シルト 被熱
 - 2. 10YR3/4暗褐色シルト 遺物包含層

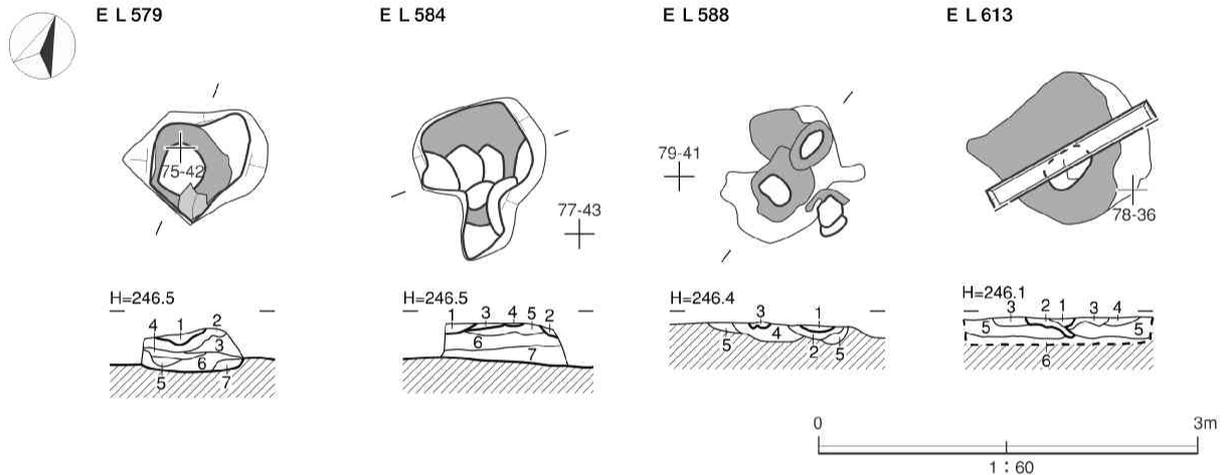
- E L 34**
- 1. 10YR2/3黒褐色シルト ピット
 - 2. 10YR2/3黒褐色シルト 焼土を多く含む、覆土
 - 3. 10YR3/3暗褐色シルト 焼土、炭を多く含む、被熱
 - 4. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を少し含む、遺物包含層

- E L 534**
- 1. 10YR2/2黒褐色シルト 炭、焼土を多く含む、覆土
 - 2. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土、炭を少し含む、被熱
 - 3. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土、炭を少し含む、遺物包含層
 - 4. 10YR4/4褐色シルト 炭を少し含む、地山

- E L 535**
- 1. 10YR2/1黒色シルト 炭、焼土を含む、土坑
 - 2. 10YR2/2黒褐色シルト 焼土、炭を多く含む、覆土
 - 3. 10YR3/2黒褐色シルト 被熱
 - 4. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を含む、遺物包含層
 - 5. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、遺物包含層
 - 6. 10YR3/4暗褐色シルト 地山

- E L 536**
- 1. 10YR2/2黒褐色シルト 焼土、炭を含む、覆土
 - 2. 10YR3/3暗褐色シルト 炭、焼土を少し含む、被熱
 - 3. 10YR3/3暗褐色シルト 炭、焼土を少し含む、遺物包含層
 - 4. 10YR2/3黒褐色シルト 遺物包含層

第28図 地床炉

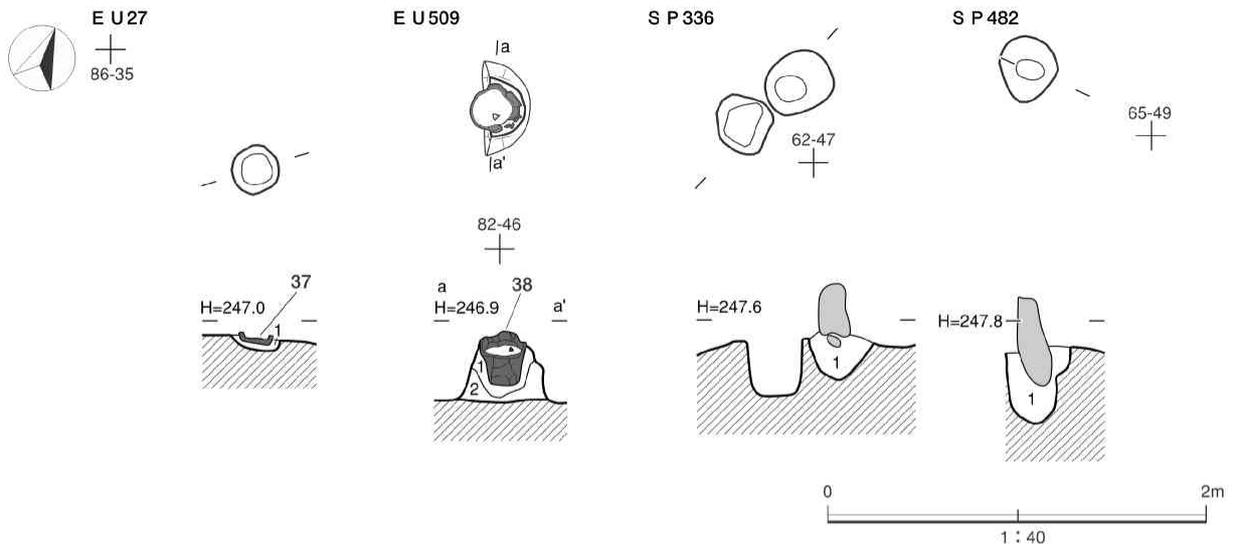


- E L 579**
- 1. 10YR2/3黒褐色シルト 焼土、炭を多く含む、覆土
 - 2. 10YR2/3黒褐色シルト 炭を含む、被熱
 - 3. 10YR2/1黒色シルト 炭、焼土、土器を含む
 - 4. 10YR3/4暗褐色シルト 10YR2/3黒褐色シルト、焼土を含む
 - 5. 10YR2/2黒褐色シルト 焼土を含む
 - 6. 10YR1.7/1黒色シルト 炭、焼土を少し含む、遺物包含層
 - 7. 10YR4/4褐色シルト 遺物包含層

- E L 584**
- 1. 10YR1.7/1黒色シルト ビット
 - 2. 10YR2/3黒褐色シルト 焼土を含む、ビット
 - 3. 10YR1.7/1黒色シルト 焼土、炭を多く含む、覆土
 - 4. 10YR2/2黒褐色シルト 焼土、炭を含む、覆土
 - 5. 10YR2/2黒褐色シルト 強く被熱
 - 6. 10YR2/2黒褐色シルト 遺物包含層
 - 7. 10YR3/4暗褐色シルト 遺物包含層

- E L 588**
- 1. 10YR3/4暗褐色シルト 焼土を多く含む、覆土
 - 2. 10YR3/4暗褐色シルト 被熱
 - 3. 10YR2/3黒褐色シルト 焼土、炭を含む、覆土
 - 4. 10YR3/4暗褐色シルト 強く被熱
 - 5. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、被熱

- E L 613**
- 1. 10YR3/2黒褐色シルト 炭、焼土を含む、覆土
 - 2. 10YR2/2黒褐色シルト 炭、焼土を多く含む、覆土
 - 3. 10YR3/3暗褐色シルト 強く被熱
 - 4. 10YR2/2黒褐色シルト 炭、焼土を多く含む
 - 5. 10YR3/3暗褐色シルト 10YR3/4暗褐色シルトを含む、遺物包含層
 - 6. 10YR4/4褐色シルト 遺物包含層



- E U 27**
- 1. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土 (10YR4/6褐色シルト) を含む

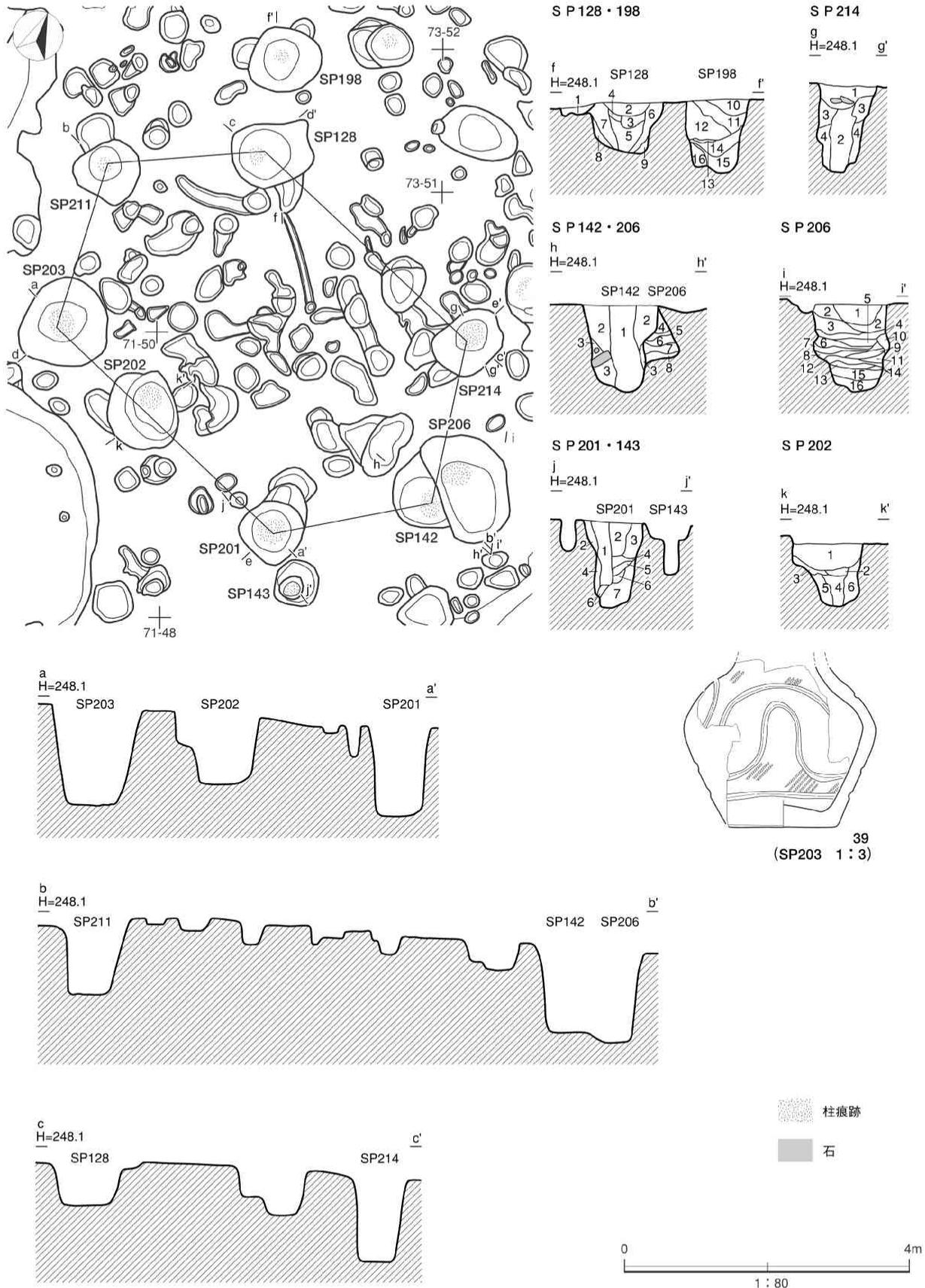
- E U 509**
- 1. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト
 - 2. 10YR2/3黒褐色シルト 炭、地山土を少し含む、しまりやや弱い

- S P 336**
- 1. 10YR3/4暗褐色シルト

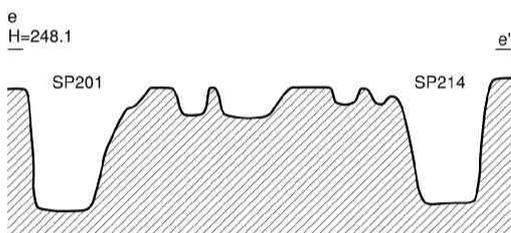
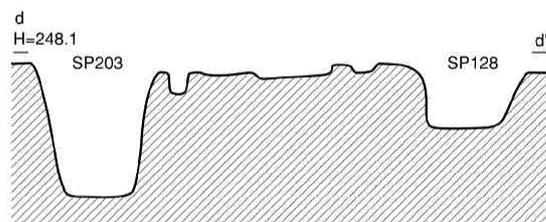
- S P 482**
- 1. 10YR3/2黒褐色シルト 炭、焼土を含む



第29図 地床炉 埋設土器遺構 立石遺構



第30図 掘立柱建物 S B 15



S P 128・198

1. 10YR3/4暗褐色砂質シルト ビット
2. 10YR3/2黒褐色シルト 2~9層土がSP128、2~5層土が柱痕
3. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を含む
4. 10YR3/4暗褐色シルト
5. 10YR3/2黒褐色シルト 炭を少し含む
6. 10YR3/3暗褐色シルト 6~9層土が掘方
7. 10YR3/4暗褐色シルト
8. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土をブロック状に含む
9. 10YR4/4褐色シルト
10. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 以下SP198の掘方
11. 10YR4/4褐色砂質シルト 礫を含む
12. 10YR3/3暗褐色シルト 下部に10YR4/4褐色シルトを含む
13. 10YR2/1黒色シルト
14. 10YR4/3にぶい黄褐色砂質シルト
15. 10YR3/1黒褐色シルト やや粘性あり
16. 地山土に10YR4/3にぶい黄褐色シルトを少し含む

S P 214

1. 10YR2/2黒褐色シルト しまり弱い、礫を含む、抜取
2. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を少し含む、しまり弱い、柱痕
3. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を含む、掘方
4. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を多く含む、掘方

S P 142・206

1. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む、しまり弱い、柱痕、1~3層土がSP142
2. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を含む、掘方
3. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を多く含む、掘方
4. 地山土に10YR3/3暗褐色シルトを少し含む、4~8層土はSP206の掘方
5. 地山土に10YR3/4暗褐色シルトを含む
6. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を少し含む
7. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を多く含む
8. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を少し含む

S P 201・143

1. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を少し含む、柱痕
2. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を多く含む、以下掘方、2~7層土はしまり強い
3. 地山土に10YR3/3暗褐色シルトを少し含む
4. 地山土に10YR3/3暗褐色シルトを含む
5. 地山土に10YR3/2黒褐色シルトを少し含む
6. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を少し含む
7. 地山土に10YR3/4暗褐色シルトを少し含む

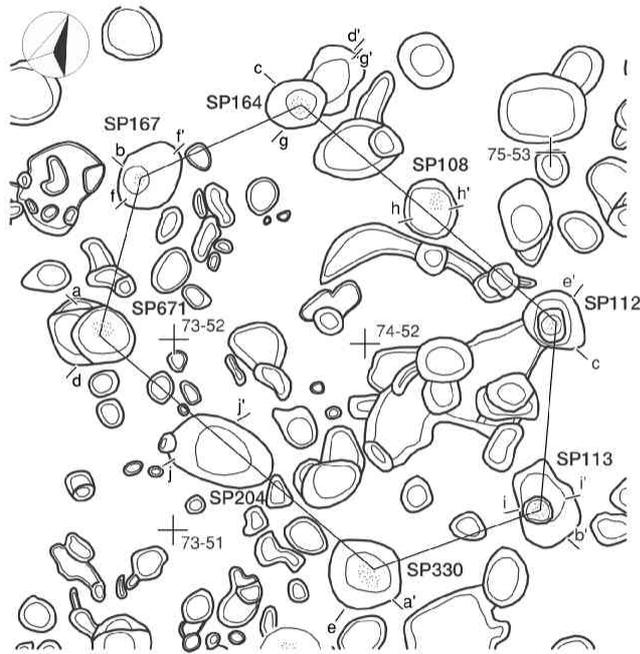
S P 202

1. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 抜取
2. 10YR3/3暗褐色砂質シルト 下部に4層土を含む、抜取
3. 10YR3/3暗褐色シルト 抜取
4. 10YR3/1黒褐色シルト 柱痕
5. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 地山土を多く含む、しまり弱い、掘方
6. 10YR4/4褐色シルト 地山土を含む、掘方

S P 206

1. 地山土に10YR2/3黒褐色シルトを少し含む、以下掘方
2. 地山土に10YR3/4暗褐色シルトを少し含む
3. 地山土に10YR3/3暗褐色シルトを少し含む
4. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を含む
5. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を含む
6. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を含む
7. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を多く含む
8. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を少し含む、焼土を含む
9. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を少し含む
10. 地山土に10YR3/3暗褐色シルトを含む
11. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を少し含む
12. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を多く含む
13. 地山土に10YR2/2黒褐色シルトを含む
14. 10YR2/1黒色シルト 地山土を含む
15. 地山土に10YR2/2黒褐色シルトを少し含む、しまり強い
16. 地山土に10YR2/1黒色シルトを少し含む、しまり強い

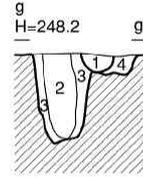
第31図 掘立柱建物 S B 15



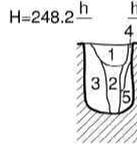
S P 167



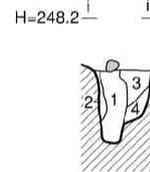
S P 164



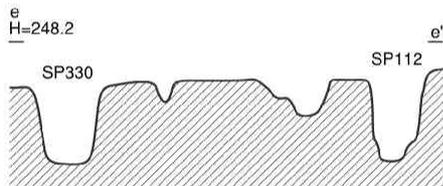
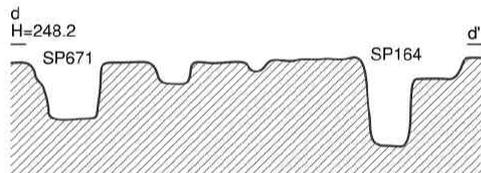
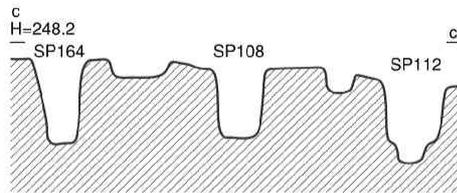
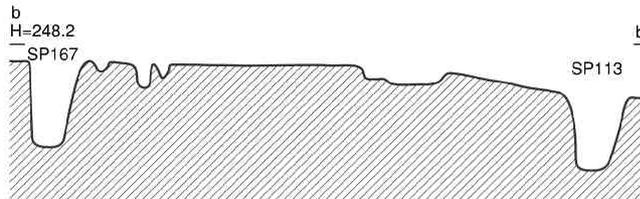
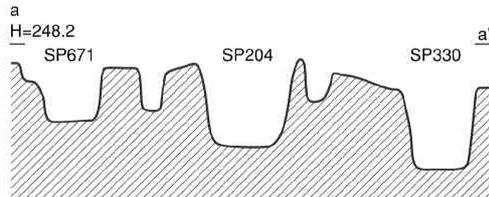
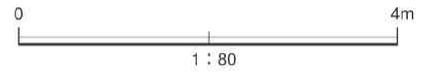
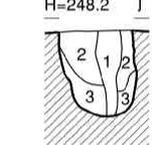
S P 108



S P 113



S P 204



S P 167

1. 10YR2/3黒褐色シルト 下部に地山土を粒状に含む、柱痕
2. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 掘方
3. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 地山土を粒状に含む、掘方

S P 164

1. 10YR3/3暗褐色砂質シルト 礫を含む、ピット
2. 10YR3/3暗褐色砂質シルト 地山土を含む、柱痕
3. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 地山土をブロック状に含む、掘方
4. 10YR4/4褐色砂質シルト ピット

S P 108

1. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を含む、柱痕
2. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、柱痕
3. 10YR3/3暗褐色砂質シルト 地山土を含む、掘方
4. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 掘方
5. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 下部に地山土を多く含む、掘方

S P 113

1. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、柱痕
2. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む、掘方
3. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土をブロック状に含む、掘方
4. 10YR4/4褐色シルト 掘方

S P 204

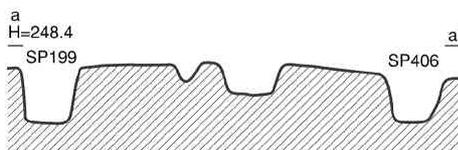
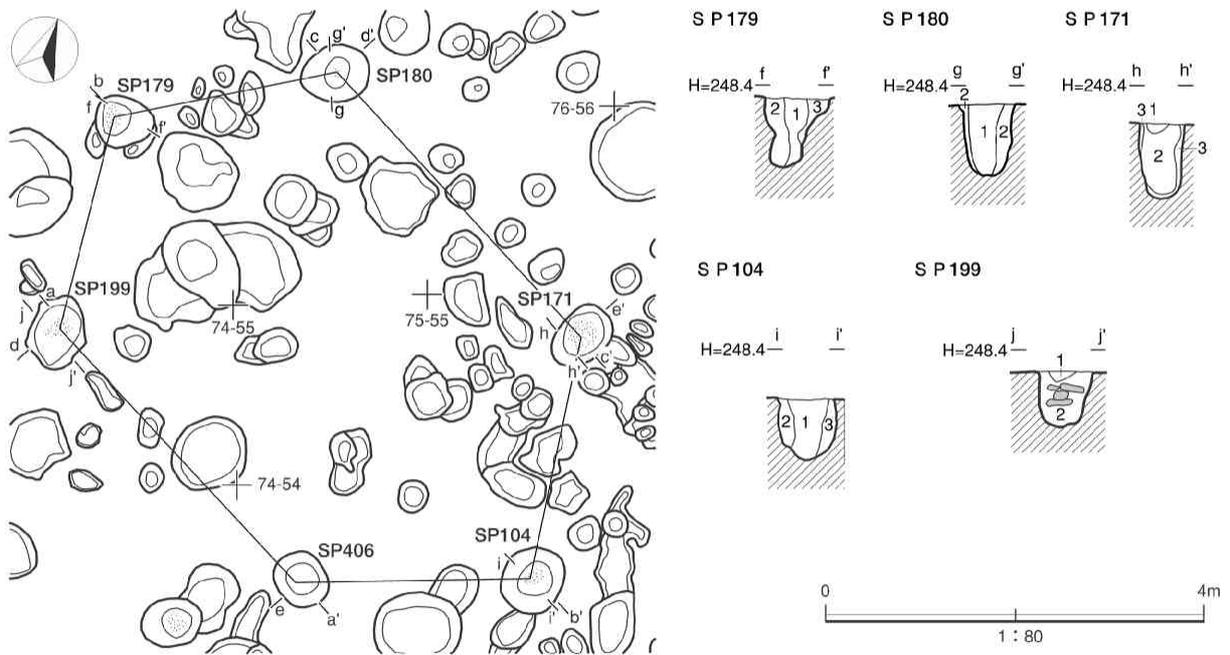
1. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を少し含む、柱痕
2. 地山土に10YR3/3暗褐色シルトを含む、掘方
3. 地山土に10YR4/3にぶい黄褐色シルトを少し含む、掘方

柱痕跡 石



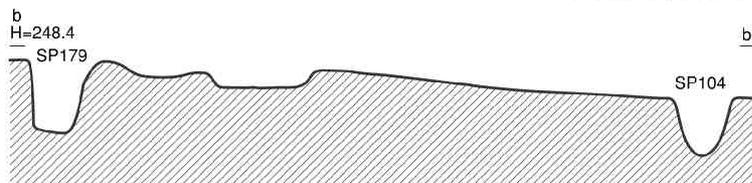
40
(SP112 1:3)

第32図 掘立柱建物S B 16



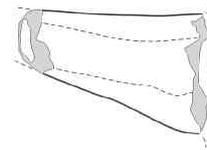
S P 179

- 1. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む、柱痕
- 2. 10YR4/4褐色砂質シルト 地山土を含む、掘方
- 3. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 掘方

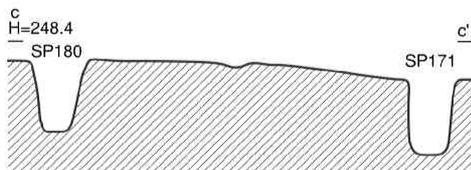


S P 180

- 1. 10YR3/2黒褐色砂質シルト 地土、炭を少し含む、柱痕
- 2. 10YR4/4褐色砂質シルト 掘方

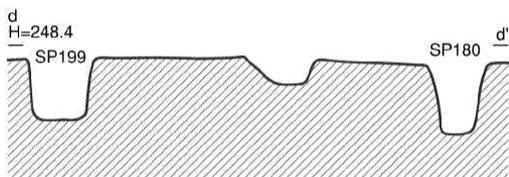


41
(SP199 1:3)



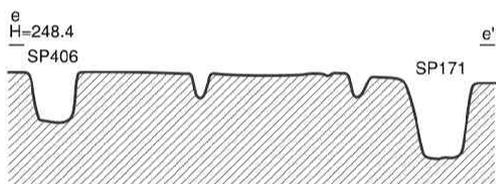
S P 171

- 1. 10YR3/2黒褐色シルト 柱痕
- 2. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土をブロック状に含む、炭を少し含む、柱痕
- 3. 地山土を多く含む、掘方



S P 104

- 1. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む、柱痕
- 2. 地山土を含む、掘方
- 3. 地山土を含む、掘方

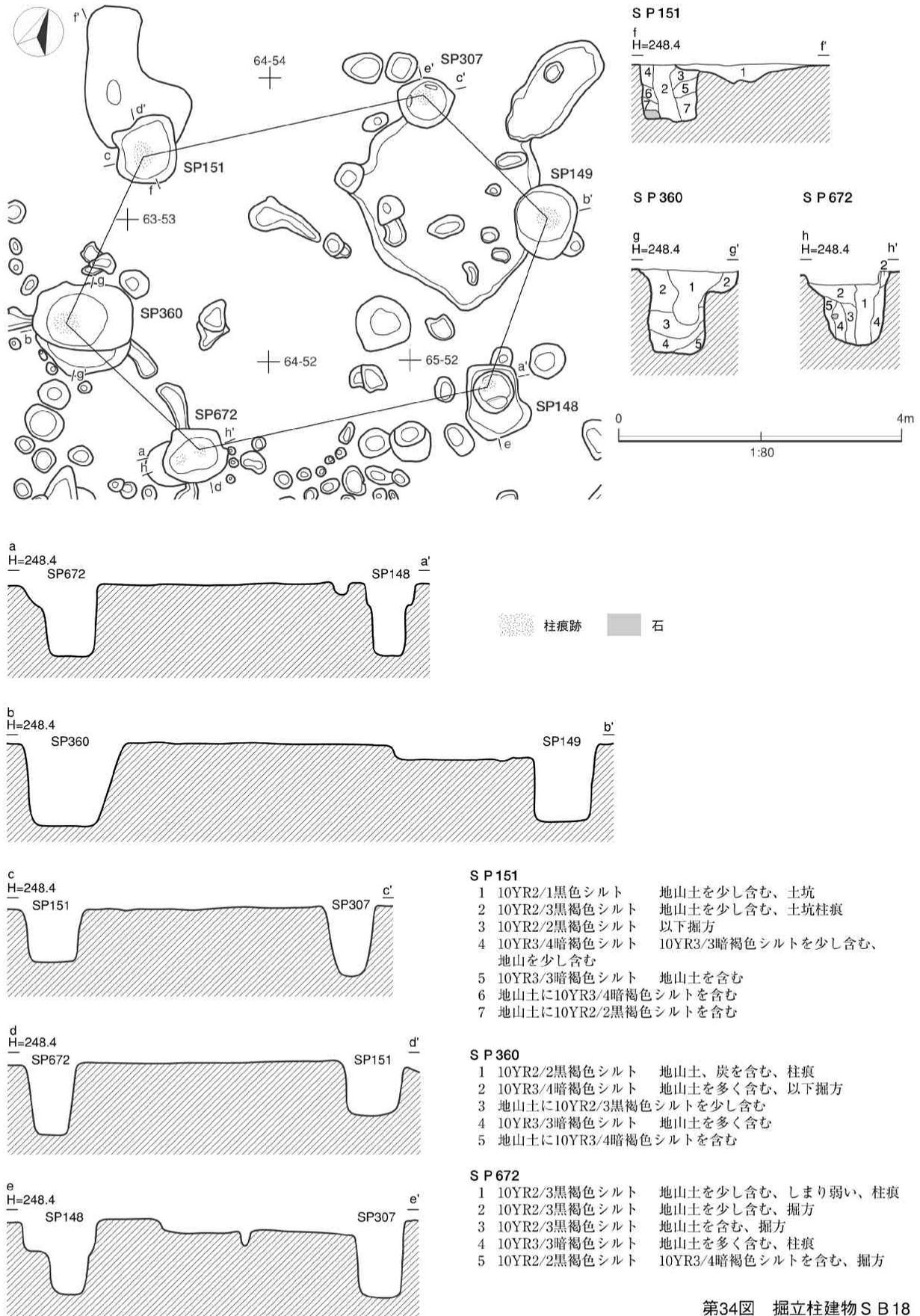


S P 199

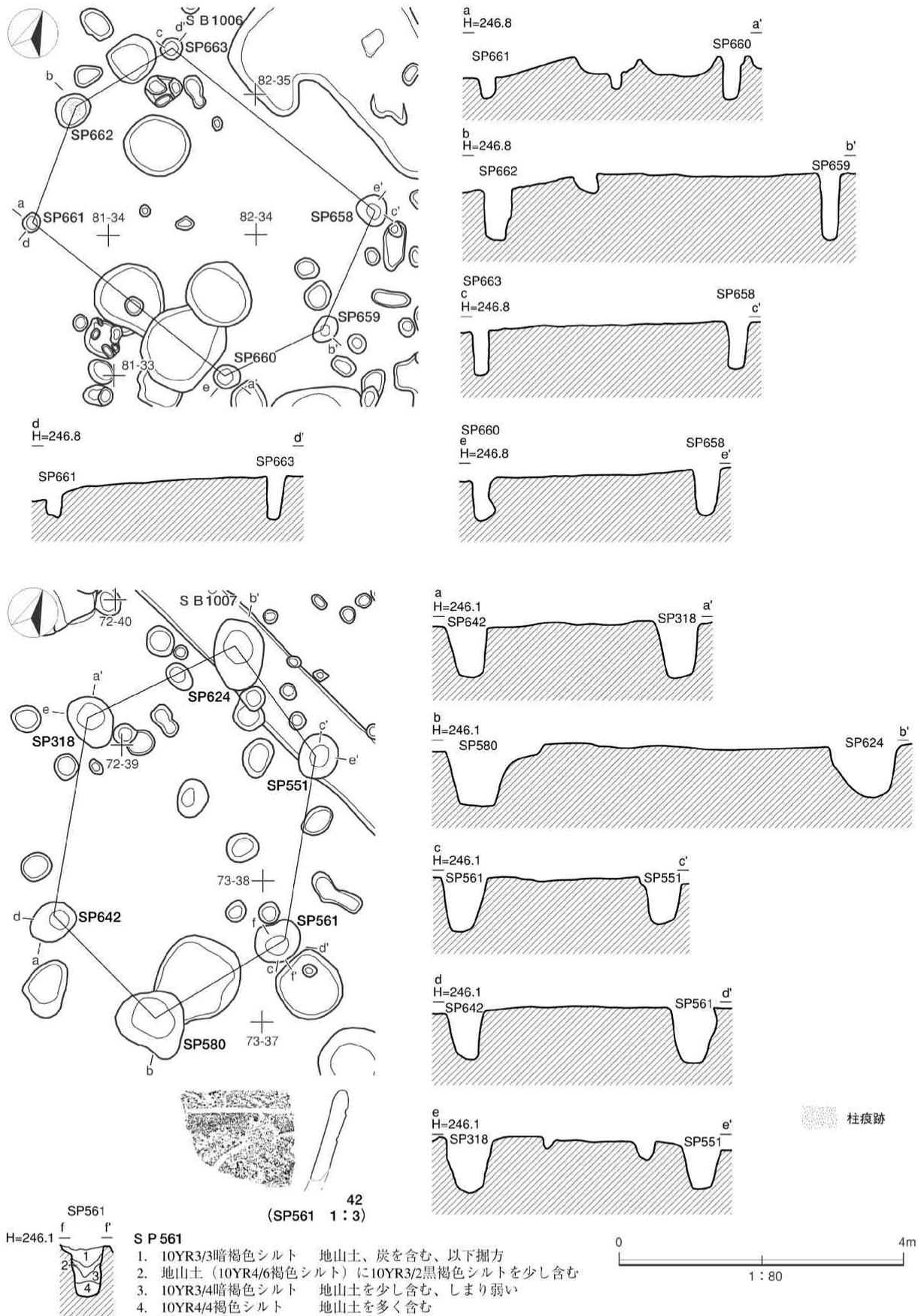
- 1. 10YR3/1黒褐色シルト 掘方
- 2. 10YR3/2黒褐色シルト 板状礫が4個出土、掘方



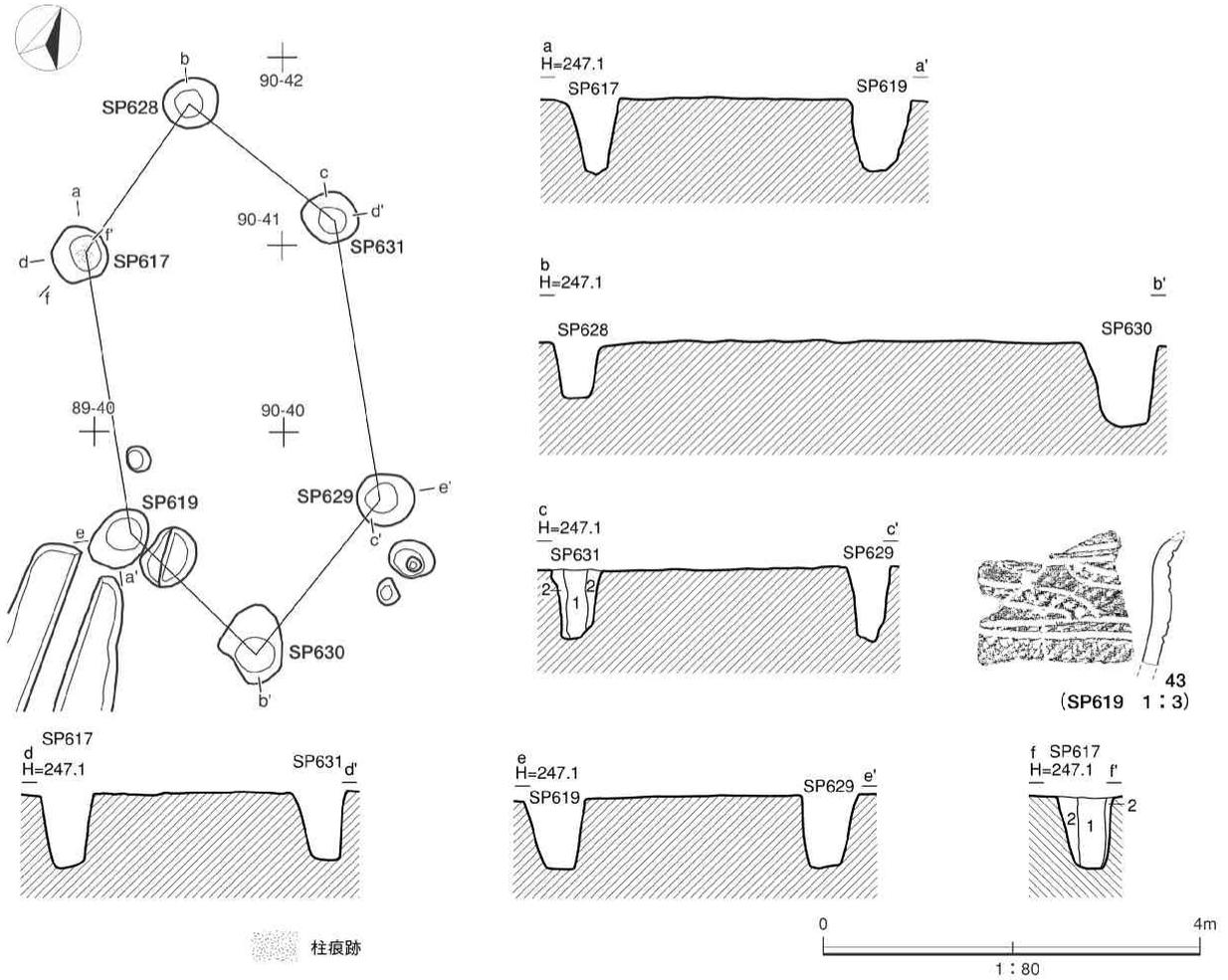
第33図 掘立柱建物 S B 17



第34図 掘立柱建物S B 18



第35図 掘立柱建物 S B 1006・1007



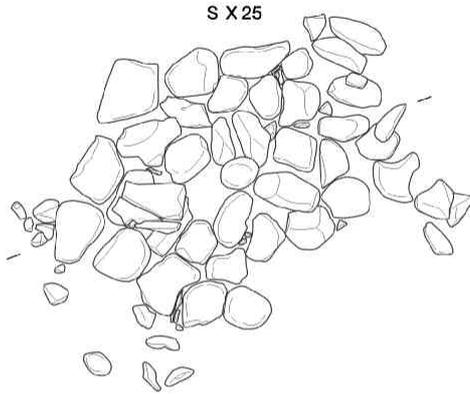
S P 631

1. 10YR4/4褐色シルト 10YR5/4にぶい黄褐色シルト（地山土）と炭を多く含む、しまり弱い、柱痕
2. 10YR4/6褐色シルト 地山土を多く含む、掘方

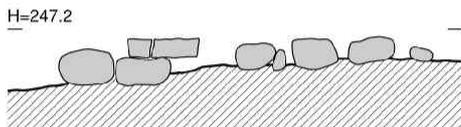
S P 617

1. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土、炭を含む、柱痕
2. 10YR4/4褐色シルト 10YR3/3暗褐色シルトを多く含む、掘方

第36図 掘立柱建物 S B 1008

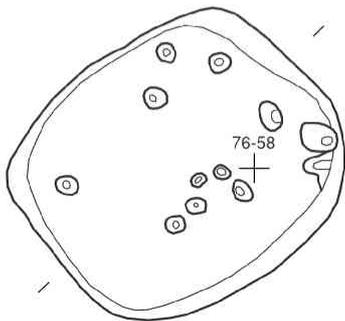
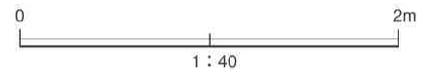


61-43
+

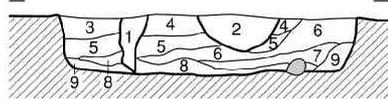


H=247.2

S K 39



H=248.5

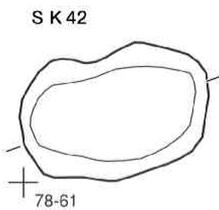


S K 39

1. 10YR2/3黒褐色シルト
2. 10YR3/3暗褐色シルト
3. 10YR2/3黒褐色シルト
4. 10YR2/3黒褐色シルト
5. 10YR2/3黒褐色シルト
6. 10YR2/2黒褐色シルト
7. 10YR3/3暗褐色シルト
8. 10YR2/2黒褐色シルト
9. 10YR2/3黒褐色シルト

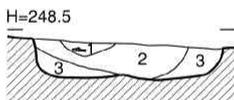
しまり弱い、ピット
風化礫を少し含む、土坑
以下覆土
10YR5/6黄褐色砂質土（地山土）を少し含む

しまり弱い
しまりあり、地山土を含む
しまり弱い



S K 42

78-61

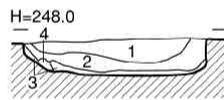


H=248.5

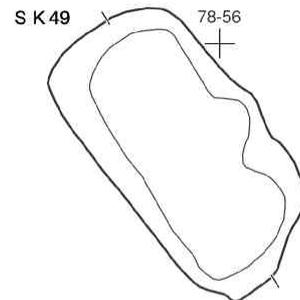


S K 47

79-54

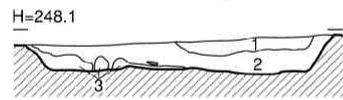


H=248.0

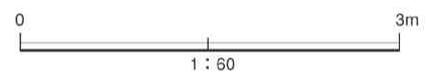


S K 49

78-56



H=248.1



S K 42

1. 10YR 3/3暗褐色シルト 地山土、土器を含む、以下覆土
2. 10YR 2/3黒褐色シルト 地山土を含む
3. 10YR 2/3黒褐色シルト 地山土を含む

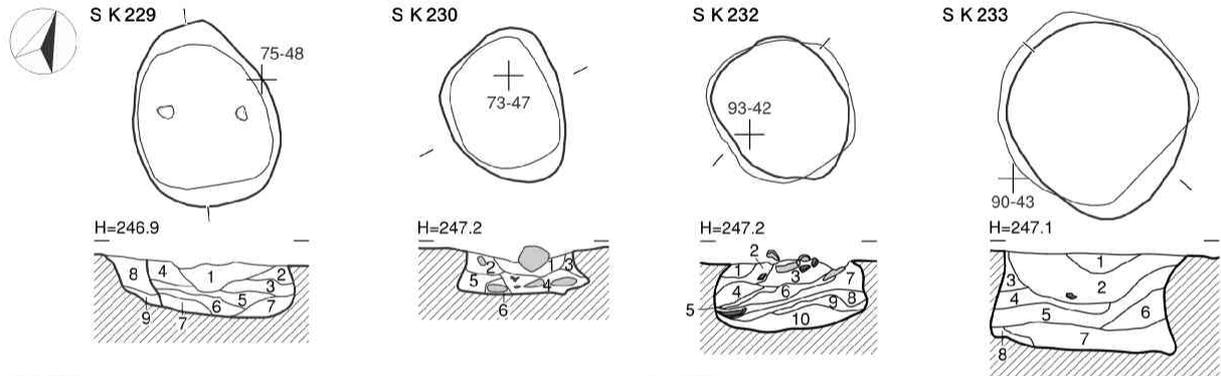
S K 47

1. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を含む、しまり弱い、以下覆土
2. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を含む
3. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を含む
4. 地山土に10YR2/2黒褐色シルトを少し含む

S K 49

1. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を含む、以下覆土
2. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を多く、10YR2/2黒褐色シルトを少し含む
3. 地山土に10YR2/2黒褐色シルトを含む

第37図 配石遺構 S X 25 土坑



S K 229

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土、炭を少し含む以下覆土 |
| 2. 10YR3/3暗褐色シルトを多く含む | 10YR5/6黄褐色シルト (地山土) |
| 3. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山、炭を含む |
| 4. 10YR2/3黒褐色シルト | |
| 5. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 6. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 7. 10YR3/4暗褐色シルト | 10YR3/3暗褐色シルトを少し含む |
| 8. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭、焼土を含む、8~9層土はビット |
| 9. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を含む |

S K 230

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 10YR2/2黒褐色シルト | 以下覆土 |
| 2. 10YR1.7/1黒色シルト | |
| 3. 10YR3/3暗褐色シルト | 10YR4/6褐色シルト (地山土) を含む |
| 4. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、礫を含む |
| 5. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 6. 10YR2/1黒色粘土 | |

S K 232

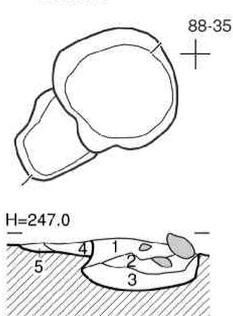
- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 10YR3/4暗褐色シルト | 炭を含む、以下覆土 |
| 2. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭を含む |
| 3. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭、焼土、土器を多く含む |
| 4. 10YR3/3暗褐色シルト | |
| 5. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 6. 10YR3/3暗褐色シルト | |
| 7. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を含む |
| 8. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 9. 10YR3/3暗褐色シルト | |
| 10. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を多く含む |

S K 233

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1. 10YR2/1黒色シルト | 地山土を含む、以下覆土 |
| 2. 10YR3/2黒褐色シルトを多く含む | 10YR4/6褐色シルト (地山土) |
| 3. 地山土に10YR2/2黒褐色シルトを少し含む、地山の崩落土 | |
| 4. 地山土に10YR3/3暗褐色シルトを少し含む、地山の崩落土 | |
| 5. 10YR 3/3暗褐色シルト | 地山土を含む |
| 6. 10YR 3/4暗褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 7. 地山土に10YR3/3暗褐色シルトを少し含む | |
| 8. 地山の崩落土 | |



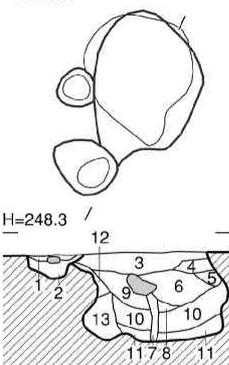
S K 252



S K 252

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 10YR 3/2黒褐色シルト | 炭、焼土、石を含む、1~3層土は覆土 |
| 2. 10YR 3/4暗褐色シルト | 炭、焼土、地山土を含む |
| 3. 10YR 4/6褐色シルト | 10YR2/3黒褐色シルトを含む、地山土を多く含む |
| 4. 10YR 3/3暗褐色シルト | 4・5層土はビット |
| 5. 10YR 3/2黒褐色シルト | 地山土を多く含む |

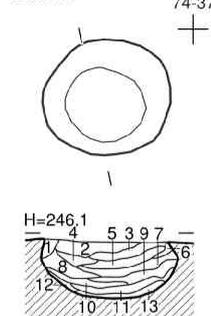
S K 271



S K 271

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 10YR2/2黒褐色シルト | 1~2層土はビット |
| 2. 10YR2/3黒褐色シルト | 10YR3/3暗褐色シルトを含む |
| 3. 10YR2/1黒色シルト | 地山土を少し含む、以下覆土 |
| 4. 10YR2/2黒褐色シルト | しまり弱い |
| 5. 10YR3/4暗褐色シルト | 10YR2/2黒褐色シルトを含む |
| 6. 10YR2/1黒色シルト | 炭を多く含む |
| 7. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 8. 地山土に10YR3/4暗褐色シルトを含む | |
| 9. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む、炭を多く含む |
| 10. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 11. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 12. 地山土に10YR2/3黒褐色シルトを少し含む | |
| 13. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を少し含む |

S K 279



S K 279

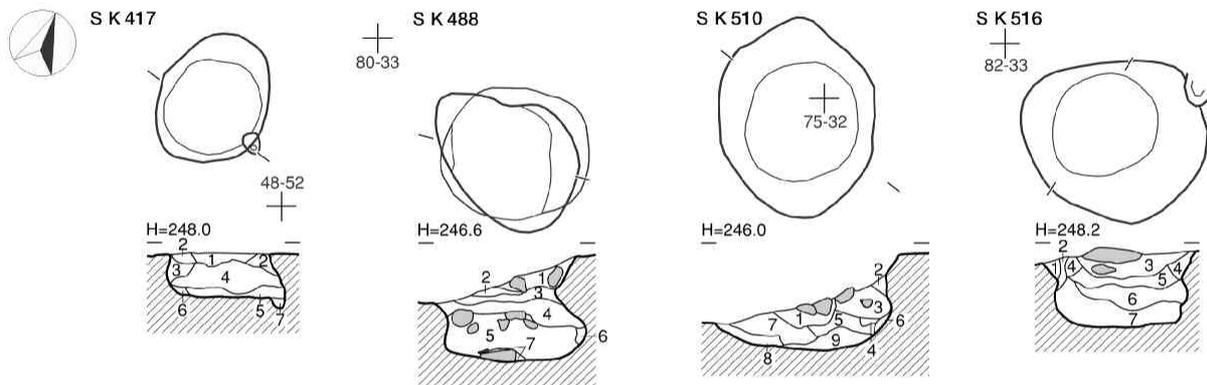
- | | |
|--|----------------------|
| 1. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土、炭を含む、以下覆土 |
| 2. 10YR3/4暗褐色シルト | 10YR2/2黒褐色シルト、地山土を含む |
| 3. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、焼土を含む |
| 4. 10YR2/3黒褐色シルト | 焼土を多く含む |
| 5. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭、焼土を多く含む |
| 6. 10YR4/4褐色シルト | 炭を含む |
| 7. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 8. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 9. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭、焼土を含む |
| 10. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭、焼土を含む |
| 11. 10YR3/3暗褐色シルト | 焼土を含む |
| 12. 地山土 (10YR4/6褐色シルト) に10YR3/2黒褐色シルトを少し含む | |
| 13. 10YR3/2黒褐色シルト | |

S K 416



S K 416

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 10YR2/3黒褐色シルト | 10YR4/6褐色シルトを多く含む、以下覆土 |
| 2. 10YR3/2黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 3. 10YR2/2黒褐色シルト | |
| 4. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭を含む |



SK417

1. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を少し含む、以下覆土
2. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を少し含む
3. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を多く含む
4. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を含む
5. 10YR2/3黒褐色シルト しまり弱い
6. 地山土に10YR2/3黒褐色シルトを少し含む
7. 10YR3/4暗褐色シルト

SK488

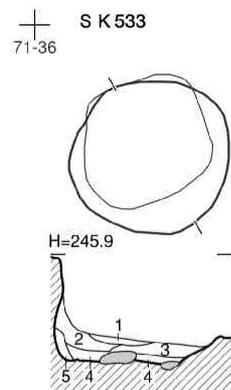
1. 10YR 2/3黒褐色シルト 炭を多く含む、以下覆土
2. 地山土に (10YR4/6褐色シルト) 10YR2/3黒褐色シルトを少し含む
3. 10YR 2/3黒褐色シルト 地山土を少し含む、炭、焼土を含む
4. 地山土に10YR3/3暗褐色シルト、炭を少し含む
5. 10YR 3/4暗褐色シルト 地山土に (10YR6/4にぶい黄褐色シルト) を多く含む
6. 10YR 2/3黒褐色シルト 炭、焼土、土器、石を多く含む
7. 10YR 6/4にぶい黄褐色シルト 10YR3/3暗褐色シルトを少し含む

SK510

1. 10YR2/1黒色シルト 炭、焼土を多く含む、以下覆土
2. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む、地山の崩落土
3. 10YR2/1黒色シルト 炭と地山土を含む
4. 10YR3/4暗褐色シルト 焼土を多く含む
5. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を多く含む
6. 10YR3/4暗褐色シルト 焼土を含む
7. 10YR1.7/1黒色シルト 地山土を少し含む
8. 地山土 (10YR4/6褐色シルト) に10YR3/4暗褐色シルトを含む
9. 10YR 2/2 黒褐色シルト 地山土を含む

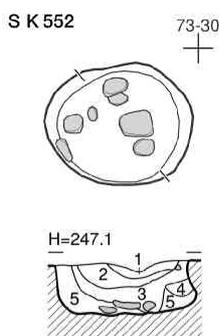
SK516

1. 10YR3/3暗褐色シルト 以下覆土
2. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 地山土を多く含む、地山の崩落土
3. 10YR2/3黒褐色シルト 礫を含む
4. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を多く含む
5. 10YR3/3暗褐色シルト 炭、焼土、地山土を含む
6. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土 (10YR6/6明黄褐色シルト) を多く含む
7. 地山土 (10YR6/6明黄褐色シルト) に10YR3/4暗褐色シルトを含む



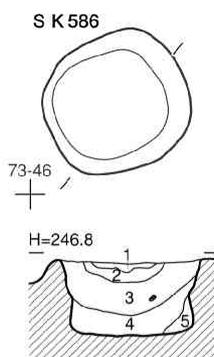
SK533

1. 10YR2/2黒褐色シルト 炭を多く含む、以下覆土
2. 10YR3/2黒褐色シルト 炭を多く含む
3. 10YR2/3黒褐色シルト 炭を多く含む
4. 10YR3/2黒褐色シルト 炭、焼土を含む
5. 10YR3/4暗褐色シルト 炭を含む



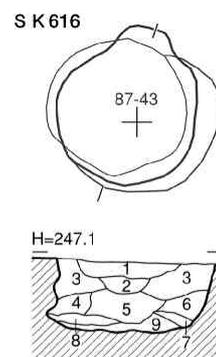
SK552

1. 10YR2/2黒褐色シルト 焼土、炭を多く含む、以下覆土
2. 10YR2/2黒褐色土 地山土 (10YR6/6明黄褐色シルト) を含む
3. 10YR2/1黒色シルト 地山土 (10YR6/6明黄褐色シルト) を含む
4. 10YR3/3暗褐色シルト 10YR2/1黒色シルトを少し含む
5. 10YR2/3黒褐色シルト 焼土、炭、礫を含む



SK586

1. 10YR1.7/1黒色シルト 焼土、炭を少し含む、以下覆土
2. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土 (10YR6/6明黄褐色シルト) を多く含む
3. 10YR2/1黒色シルト 炭を多く含む
4. 10YR2/2黒褐色シルト 炭、土器を含む
5. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土 (10YR4/6褐色シルト) を含む



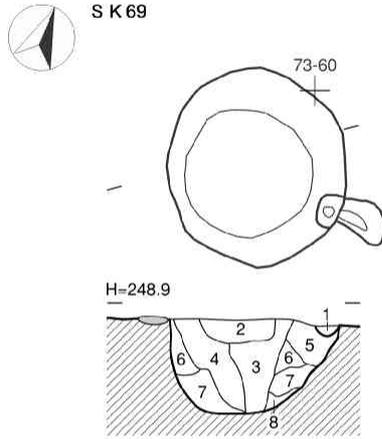
SK616

1. 10YR2/2黒褐色シルト 以下覆土
2. 10YR1.7/1黒色シルト
3. 10YR3/2 黒褐色シルト 地山土を多く含む、地山の崩落土
4. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を含む 地山の崩落土
5. 10YR2/2黒褐色シルト 炭、地山土を少し含む
6. 10YR4/6褐色シルト 10YR3/3暗褐色シルトを含む 地山の崩落土
7. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を多く含む、地山の崩落土
8. 地山土に10YR3/4暗褐色シルトを多く含む
9. 10YR 2/3黒褐色シルト 地山土を少し含む

石 土器



第39図 土坑

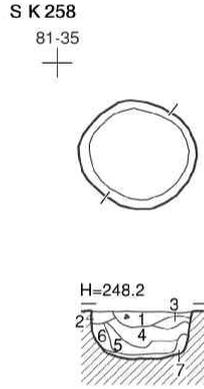


S K 69

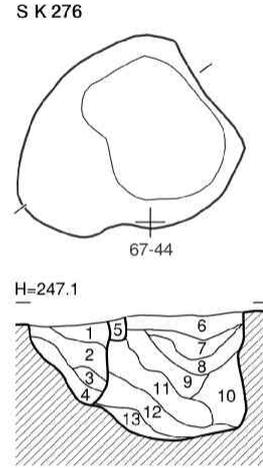
- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む、ピット |
| 2. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む、しまり弱い、以下覆土 |
| 3. 10YR2/2黒褐色シルト | 焼土を含む |
| 4. 10YR2/2黒褐色シルト | 焼土、炭を少し含む |
| 5. 地山土に10YR2/3黒褐色シルトを含む | |
| 6. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 7. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 8. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を少し含む |

S K 258

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土、炭を少し含む、以下覆土 |
| 2. 10YR2/3黒褐色シルト | |
| 3. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を含む、地山の崩落土 |
| 4. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土、炭、焼土を含む |
| 5. 10YR2/1黒色シルト | 炭を含む |
| 6. 10YR2/3黒褐色シルト | 10YR6/6明黄褐色シルト（地山土）を含む、地山の崩落土 |
| 7. 10YR3/2黒褐色シルト | 地山土を多く含む、地山の崩落土 |



S K 258

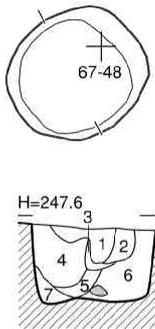


S K 276

S K 276

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 10YR2/1黒色シルト | 10YR3/3暗褐色シルトを含む |
| | 1～4層土はピット |
| 2. 10YR3/4暗褐色シルト | 10YR2/3黒褐色シルトを少し含む |
| 3. 地山土に10YR3/4暗褐色シルトを含む | |
| 4. 地山土に10YR3/4暗褐色シルトを少し含む | |
| 5. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を少し含む、ピット |
| 6. 10YR2/1黒色シルト | 以下覆土 |
| 7. 10YR3/4暗褐色シルト | 10YR2/1黒色シルトを含む |
| 8. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を含む |
| 9. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 10. 地山土に10YR3/2黒褐色シルトを少し含む | |
| 11. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 12. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を含む |
| 13. 地山土に10YR3/3暗褐色シルトを少し含む | |

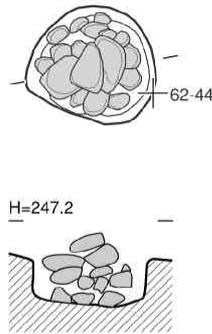
S K 361



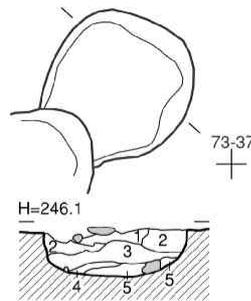
S K 361

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 10YR1.7/1黒色シルト | 以下覆土 |
| 2. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 3. 10YR3/1黒褐色シルト | |
| 4. 10YR2/1黒色シルト | 10YR2/3黒褐色シルトを含む |
| 5. 10YR2/3黒褐色砂質シルト | 炭を含む |
| 6. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭を含む |
| 7. 10YR4/4褐色シルト | 地山土 |

S K 424



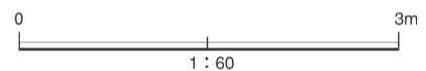
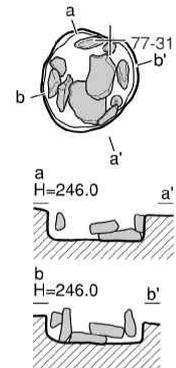
S K 560



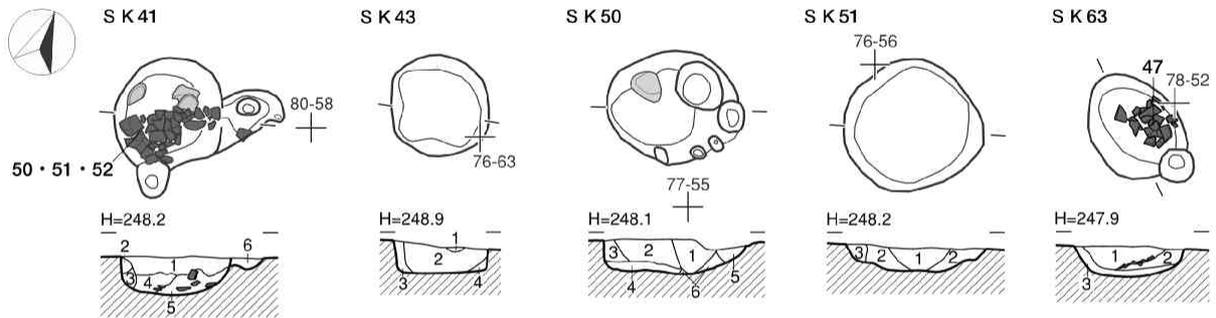
S K 560

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 10YR3/3暗褐色シルト | 10YR4/4褐色シルト（地山土）を含む、以下覆土 |
| 2. 地山土に10YR3/2黒褐色シルトを少し含む | |
| 3. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土、炭を少し含む |
| 4. 10YR3/4暗褐色シルト | 炭を含む、しまり弱い |
| 5. 10YR3/2黒褐色シルト | 炭を多く含む、しまり弱い |

S K 648



第40図 土坑



SK41

1. 10YR2/1黒色シルト 炭を多く含む以下覆土
2. 10YR3/1黒褐色シルト
3. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む
4. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土をブロック状に含む、土器を含む
5. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を帯状に多く含む、土器を含む
6. 10YR3/1黒褐色シルト 土器片を含む、ピット

SK43

1. 10YR3/2黒褐色砂質シルト 10YR4/4褐色砂質土を40%程度含む
以下覆土
2. 10YR3/1黒褐色シルト 地山土を20%程度含む
3. 10YR3/3暗褐色シルト
4. 10YR3/4暗褐色シルト

SK50

1. 10YR2/2黒褐色シルト 以下覆土
2. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む
3. 10YR3/4暗褐色シルト
4. 10YR3/2黒褐色シルト
5. 10YR3/2黒褐色シルト
6. 地山土に10YR3/2黒褐色シルトを少し含む

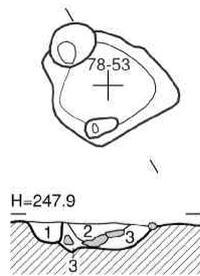
SK51

1. 10YR3/1黒褐色シルト 炭を少し含む、以下覆土
2. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土をブロック状に含む
3. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土をブロック状に多く含む

SK63

1. 10YR2/1黒色シルト 以下覆土
2. 10YR3/3暗褐色シルト
3. 10YR2/3黒褐色シルト

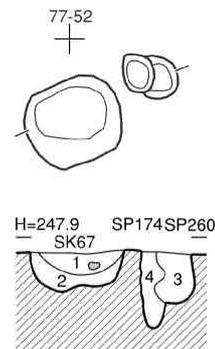
SK64



SK64

1. 10YR2/1黒色シルト ピット
2. 10YR2/1黒色シルト 以下覆土
3. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む

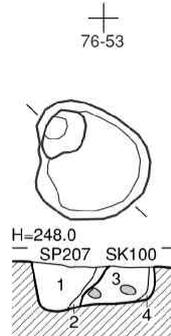
SK67・SP174・260



SK67・SP174・260

1. 10YR2/2黒褐色シルト 炭、礫を含む、1・2層土がSK64の覆土
2. 10YR2/3黒褐色シルト 下部に地山土を含む
3. 10YR3/1黒褐色シルト 礫を含む、SP260の覆土
4. 10YR4/4褐色シルト 帯状に10YR2/2黒褐色シルトを含む、SP174の覆土

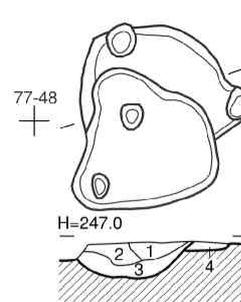
SK100・SP207



SK100・SP207

1. 10YR3/2黒褐色砂質シルト 1・2層土はSP207の覆土
2. 10YR4/4褐色砂質シルト
3. 10YR3/4暗褐色シルト 3・4層土はSK100の覆土
4. 10YR3/3暗褐色シルト

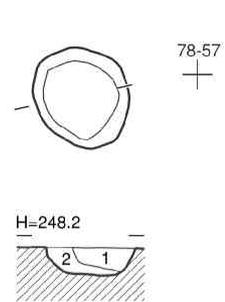
SK226



SK226

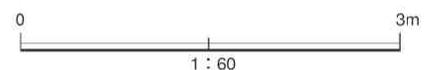
1. 10YR1.7/1黒色シルト 炭、地山土を含む、以下覆土
2. 10YR1.7/1黒色シルト
3. 10YR2/1黒色シルト 10YR4/6褐色シルト（地山土）を多く含む
4. 地山土に10YR4/2灰黄褐色シルトを含む、ピット

SK259

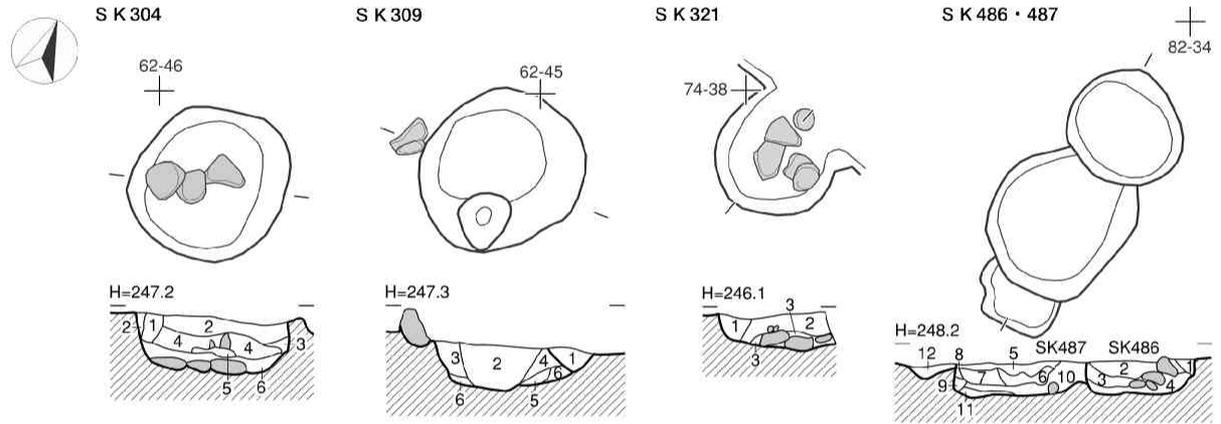


SK259

1. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、以下覆土
2. 10YR3/1黒褐色シルト 下部に炭を含む



第41図 土坑



S K 304

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 10YR3/2黒褐色シルト | 以下覆土 |
| 2. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 3. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山上を少し含む |
| 4. 地山土に10YR4/3にぶい黄褐色シルトを少し含む | |
| 5. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 6. 10YR1.7/1黒色シルト | 10YR2/2黒褐色シルトを含む |

S K 309

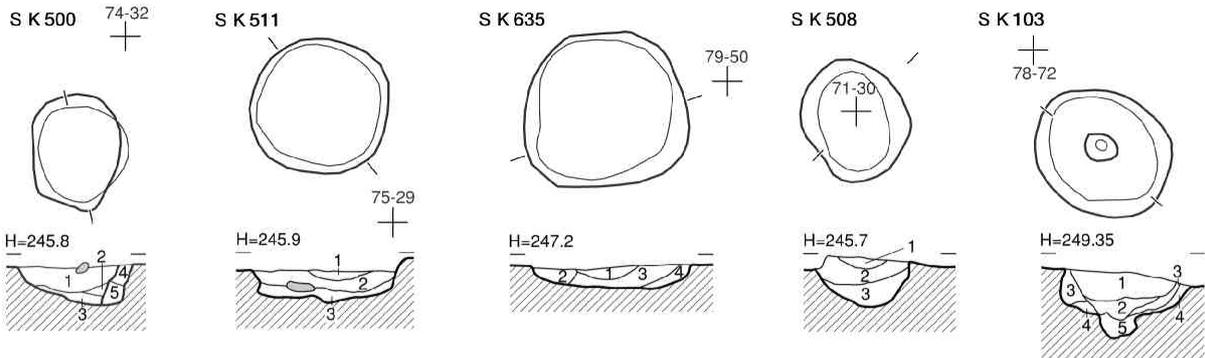
- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を少し含む、ピット |
| 2. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を少し含む、以下覆土 |
| 3. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山上を少し含む |
| 4. 10YR3/2黒褐色シルト | しまり弱い |
| 5. 10YR3/2黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 6. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を多く含む |

S K 321

- | | |
|---|-------------|
| 1. 10YR3/1黒褐色シルト | 地山土を含む、以下覆土 |
| 2. 地山土 (10YR4/4褐色シルト) に10YR3/2黒褐色シルトを含む | |
| 3. 10YR3/2黒褐色シルト | 礫を多く含む |

S K 486・487

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 10YR4/6褐色シルト | 地山の崩落土、1~4層土はSK486の覆土 |
| 2. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭、焼土を含む |
| 3. 10YR2/3黒褐色シルト | 炭を含む |
| 4. 地山土 (10YR4/6褐色シルト) に10YR3/3暗褐色シルトを含む | |
| 5. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭、焼土を含む、5~11層土はSK487の覆土 |
| 6. 地山土 (10YR4/6褐色シルト) に10YR3/4暗褐色シルトを含む | |
| 7. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土、炭を含む |
| 8. 10YR4/6褐色シルト | 地山の崩落土 |
| 9. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土、炭を含む |
| 10. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土、炭を含む |
| 11. 地山土 (10YR4/6褐色シルト) に10YR3/3暗褐色シルトを含む | |
| 12. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を含む、ピット |



S K 500

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 10YR2/2黒褐色シルト | 炭を多く含む、1~3層土は覆土 |
| 2. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山を少し含む |
| 3. 10YR3/3暗褐色シルト | 10YR2/3黒褐色シルトを含む |
| 4. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山を含む、4~5層土はピット |
| 5. 10YR3/4暗褐色シルト | 10YR3/3暗褐色シルトを含む |

S K 511

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を少し含む、以下覆土 |
| 2. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土 (10YR6/6明黄褐色シルト) を含む |
| 3. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭、焼土を含む |

S K 635

- | | |
|------------------|--|
| 1. 10Y 3/3暗褐色シルト | 地山土 (10YR5/6黄褐色シルト)、
焼土、炭を多く含む、以下覆土 |
| 2. 10YR4/4褐色シルト | 炭、焼土、地山土を含む |
| 3. 10YR3/3暗褐色シルト | 炭を含む |
| 4. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を少し含む |

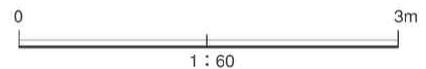
石

S K 508

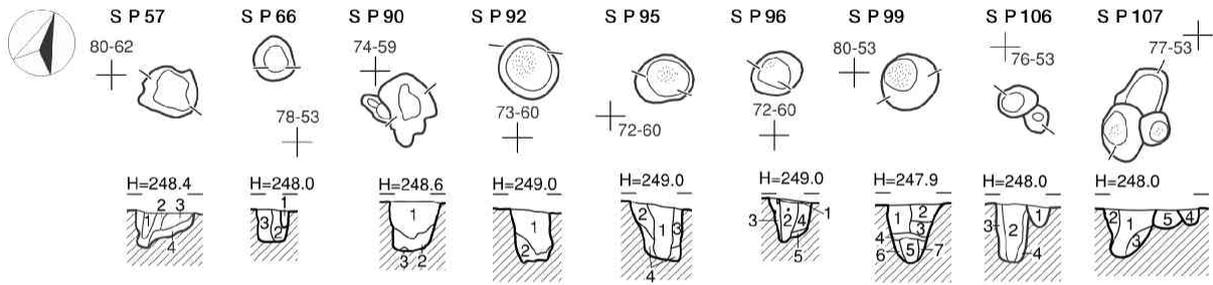
- | | |
|------------------|----------|
| 1. 10YR2/2黒褐色シルト | 以下覆土 |
| 2. 10YR3/2黒褐色シルト | 地山土を少し含む |
| 3. 10YR3/4暗褐色シルト | 地山土を少し含む |

S K 103

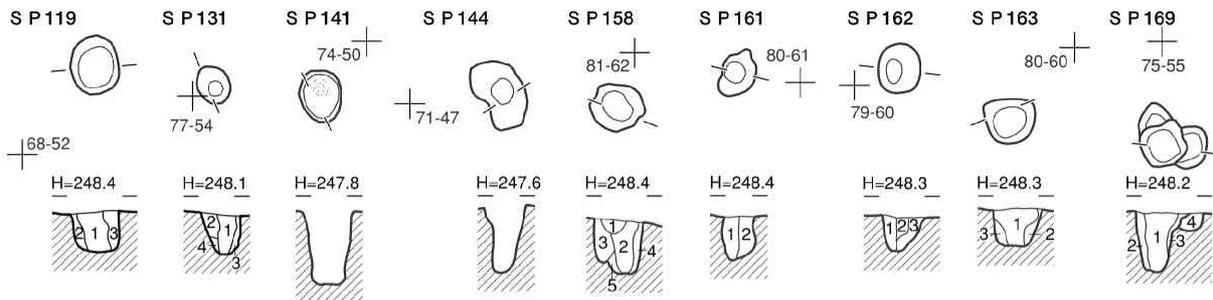
- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山上を少し含む、以下覆土 |
| 2. 10YR2/3黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 3. 10YR3/2黒褐色シルト | 地山土を含む |
| 4. 10YR3/3暗褐色シルト | 地山土を多く含む |
| 5. 10YR2/2黒褐色シルト | 地山土を多く含む、
逆茂木の掘方の可能性あり |



第42図 土抗

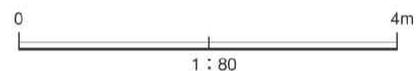


- S P 57**
 1. 10YR2/2黒褐色シルト 柱痕
 2. 地山土、以下掘方
 3. 10YR3/2黒褐色シルト 小礫を含む
 4. 10YR3/4暗褐色シルト 下部に地山土を含む
- S P 66**
 1. 10YR3/2黒褐色シルト ビット
 2. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を含む、柱痕
 3. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、掘方
- S P 90**
 1. 10YR3/1黒褐色シルト 地山土、炭を少し含む、以下掘方
 2. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 地山上を含む
 3. 地山土
- S P 92**
 1. 10YR3/2黒褐色シルト 礫を含む、以下掘方
 2. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を含む、礫を含む
- S P 95**
 1. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土をブロック状に含む、柱痕
 2. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土をブロック状に含む、以下掘方
 3. 10YR3/2黒褐色シルト
 4. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を含む
- S P 96**
 1. 10YR2/2黒褐色シルト 柱痕
 2. 10YR2/3黒褐色シルト 土器片を含む、以下掘方
 3. 10YR3/2黒褐色シルト
 4. 10YR3/2黒褐色シルト
 5. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む
- S P 99**
 1. 10YR2/2黒褐色シルト 1～4層土は掘方
 2. 10YR2/3黒褐色シルト
 3. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む
 4. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む
 5. 10YR3/1黒褐色シルト 炭を含む、柱痕
 6. 10YR3/2黒褐色粘質シルト 以下掘方
 7. 10YR3/4暗褐色シルト
- S P 106**
 1. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、ビット
 2. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を含む、柱痕
 3. 10YR3/3暗褐色砂質シルト 地山土を含む、以下掘方
 4. 10YR3/4暗褐色シルト
- S P 107**
 1. 10YR3/1黒褐色シルト 地山土を含む、炭を少し含む、柱痕
 2. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、掘方
 3. 10YR3/2黒褐色砂質シルト 地山土を含む、掘方
 4. 10YR3/4暗褐色砂質シルト ビット
 5. 10YR4/4褐色砂質シルト ビット

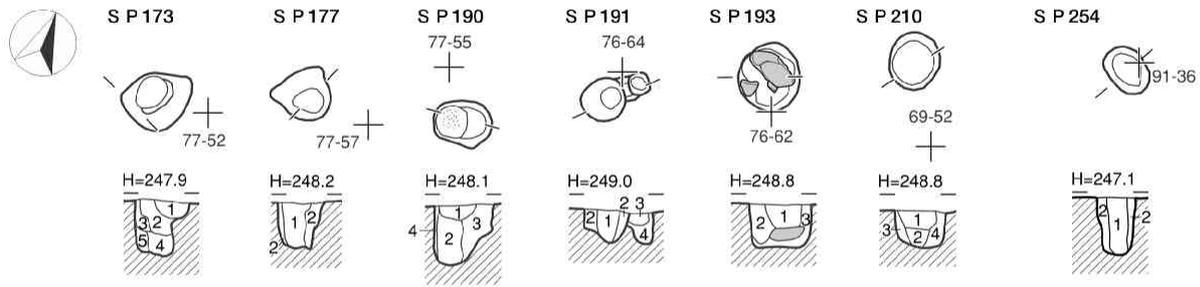


- S P 119**
 1. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、柱痕
 2. 10YR3/3暗褐色砂質シルト 以下掘方
 3. 10YR3/4暗褐色砂質シルト 10YR3/2黒褐色シルトを含む
- S P 131**
 1. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を帯状に含む、柱痕
 2. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を少し含む、以下掘方
 3. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を多く含む
 4. 地山土に10YR3/4暗褐色シルトを含む
- S P 158**
 1. 10YR3/1黒褐色シルト ビット
 2. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を多く含む、柱痕
 3. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を多く含む、以下掘方
 4. 10YR4/1褐色シルト
 5. 10YR3/3暗褐色砂質シルト
- S P 161**
 1. 10YR3/3暗褐色シルト 以下掘方
 2. 10YR3/4暗褐色シルト 礫を少し含む
- S P 162**
 1. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を含む、柱痕
 2. 10YR3/3暗褐色シルト しまり弱い、以下掘方
 3. 10YR4/4褐色砂質シルト 地山土を含む
- S P 163**
 1. 10YR2/2黒褐色シルト 地山を少し含む、柱痕
 2. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、以下掘方
 3. 10YR4/4褐色シルト 地山土を多く含む
- S P 169**
 1. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を含む、柱痕
 2. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、掘方
 3. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む、掘方
 4. 10YR3/3暗褐色シルト ビット

柱痕跡 石



第43図 柱穴



S P 173

1. 10YR3/2黒褐色シルト 以下掘方
2. 10YR2/3黒褐色シルト 焼土、炭を少し含む
3. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む
4. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む
5. 地山土

S P 177

1. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土、炭を含む、柱痕
2. 10YR3/4暗褐色シルト 地山土を含む、掘方

S P 190

1. 10YR3/3暗褐色シルト 柱痕
2. 10YR3/4暗褐色シルト 柱痕
3. 10YR4/4褐色砂質シルト 10YR3/4暗褐色シルトを斑状に多く含む、掘方
4. 地山土に10YR3/4暗褐色シルトを少し含む、掘方

S P 191

1. 10YR2/3黒褐色シルト 柱痕
2. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む、掘方
3. 10YR3/2黒褐色シルト ビット
4. 10YR3/3暗褐色砂質シルト ビット

S P 193

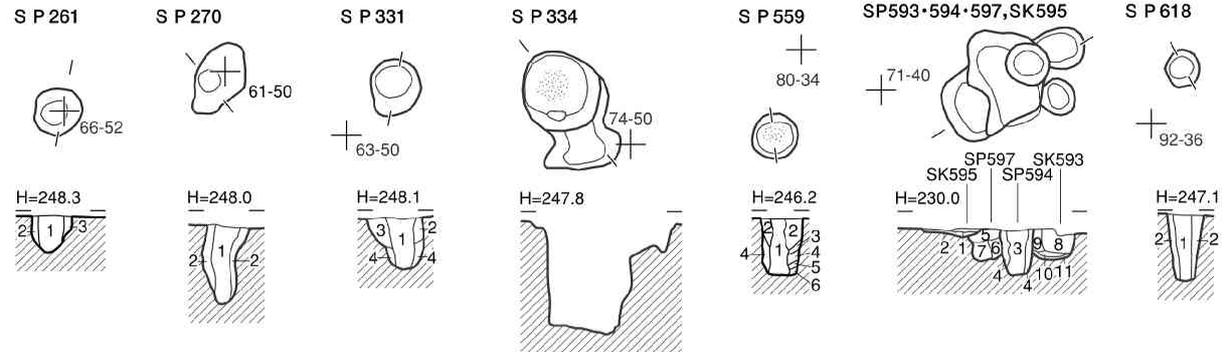
1. 10YR2/2黒褐色砂質シルト 地山上を少し含む、柱痕
2. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を少し含む、以下掘方
3. 10YR3/2黒褐色シルト

S P 210

1. 10YR3/2黒褐色シルト 地山土を少し含む、柱痕
2. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む、柱痕
3. 10YR3/4暗褐色シルト 以下掘方
4. 10YR4/4褐色砂質シルト 10YR3/3暗褐色シルトをブロック状に含む

S P 254

1. 10YR2/1黒色シルト 地山土、炭を含む、しまり弱い、柱痕
2. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土 (10YR6/6明黄褐色シルト) を含む、掘方



S P 261

1. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を含む、柱痕
2. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土をブロック状に含む、以下掘方
3. 7.5YR3/2黒褐色シルト 地山土を含む

S P 270

1. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を少し含む、柱痕
2. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を含む、掘方

S P 331

1. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を少し含む、柱痕
2. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を少し含む、以下掘方
3. 10YR2/2黒褐色シルト
4. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む

S P 559

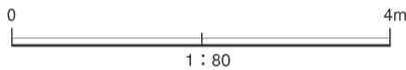
1. 10YR3/3暗褐色シルト 10YR5/4にぶい黄褐色シルト、10YR4/6褐色シルトを多く含む、柱痕
2. 10YR4/6褐色シルト 10YR6/6明黄褐色シルト、炭、焼土を含む、以下掘方
3. 地山土 (10YR6/6明黄褐色シルト) に10YR2/1黒色シルトを少し含む
4. 10YR4/6褐色シルト 10YR6/6明黄褐色シルトを少し含む
5. 10YR6/6明黄褐色シルト
6. 10YR4/6褐色シルト

S P 593・594・597・S K 595

1. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を含む、1~2層土はSK595の覆土
2. 地山土 (10YR6/6明黄褐色シルト) に10YR3/4暗褐色シルトを含む
3. 10YR2/3黒褐色シルト 地山土を多く含む、3~4層土はSP594、柱痕
4. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土を少し含む、掘方
5. 10YR2/2黒褐色シルト 炭、地山土を少し含む、5~7層土はSP597の覆土
6. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を含む
7. 10YR3/3暗褐色シルト 地山土を多く含む
8. 10YR3/3暗褐色シルト 炭、焼土、地山を少し含む、8~11層土はSP593、以下掘方
9. 地山土に10YR2/2黒褐色シルトを少し含む
10. 10YR6/3にぶい黄褐色シルト 炭を含む
11. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト 炭を含む

S P 618

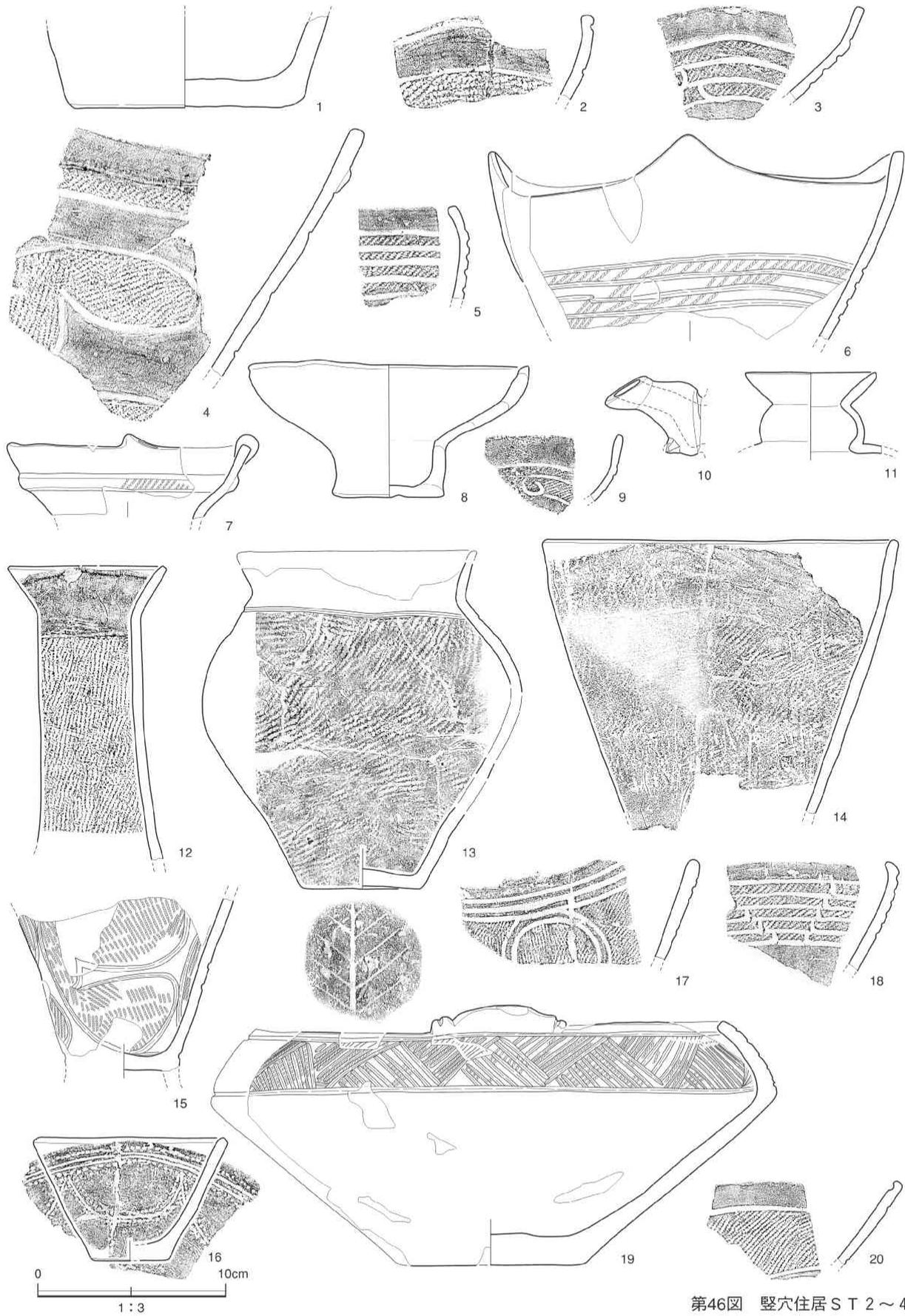
1. 10YR2/1黒色シルト 地山上、炭を含む、しまり弱い、柱痕
2. 10YR2/2黒褐色シルト 地山土 (10YR6/6明黄褐色シルト) を含む、掘方



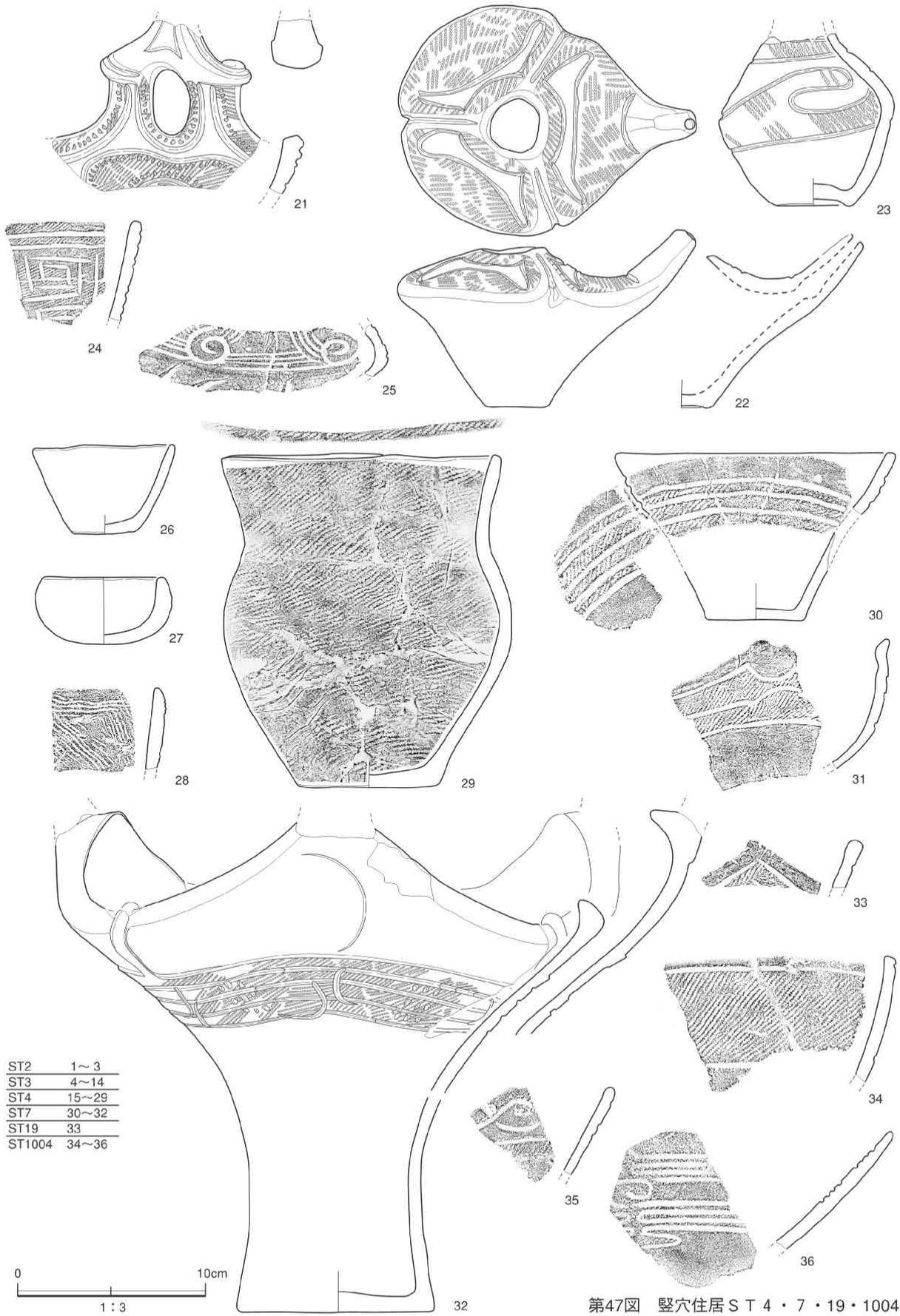
柱痕跡 石

I 群	<p>大木 8 a 式</p> <p>142 132 136 148</p>
II 群	<p>南境 1 式 (堀之内 1 式併行)</p> <p>50 51 52 448 459</p>
III 群	<p>南境 2 式 (堀之内 2 式併行)</p> <p>173 186 213 221</p>
IV 群	<p>宝ヶ峯 1 式 (加曾利 B 1 式併行)</p> <p>235 472 494 281 302</p>
V 群	<p>宝ヶ峯 2 式 (加曾利 B 2 式併行)</p> <p>308 500 503 32 524 19</p>
VI 群	<p>無文土器 (各型式を含む)</p>
VII 群	<p>粗製土器 (各型式を含む)</p>
VIII 群	<p>そのほかの縄文土器 (後期後葉の土器、手づくね土器、異形土器など)</p>

第45図 土器分類図 (1 : 10)

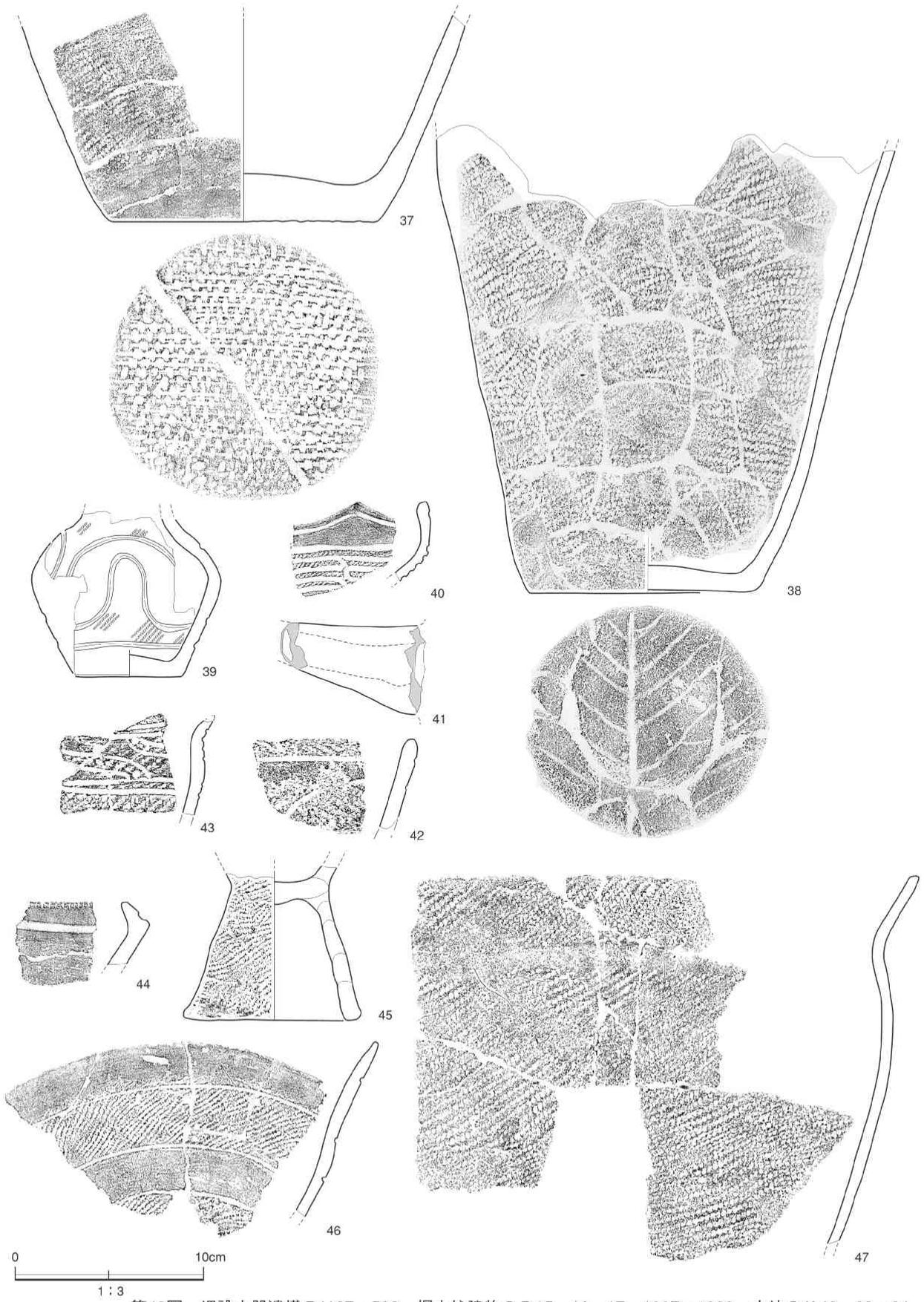


第46図 竪穴住居 S T 2 ~ 4

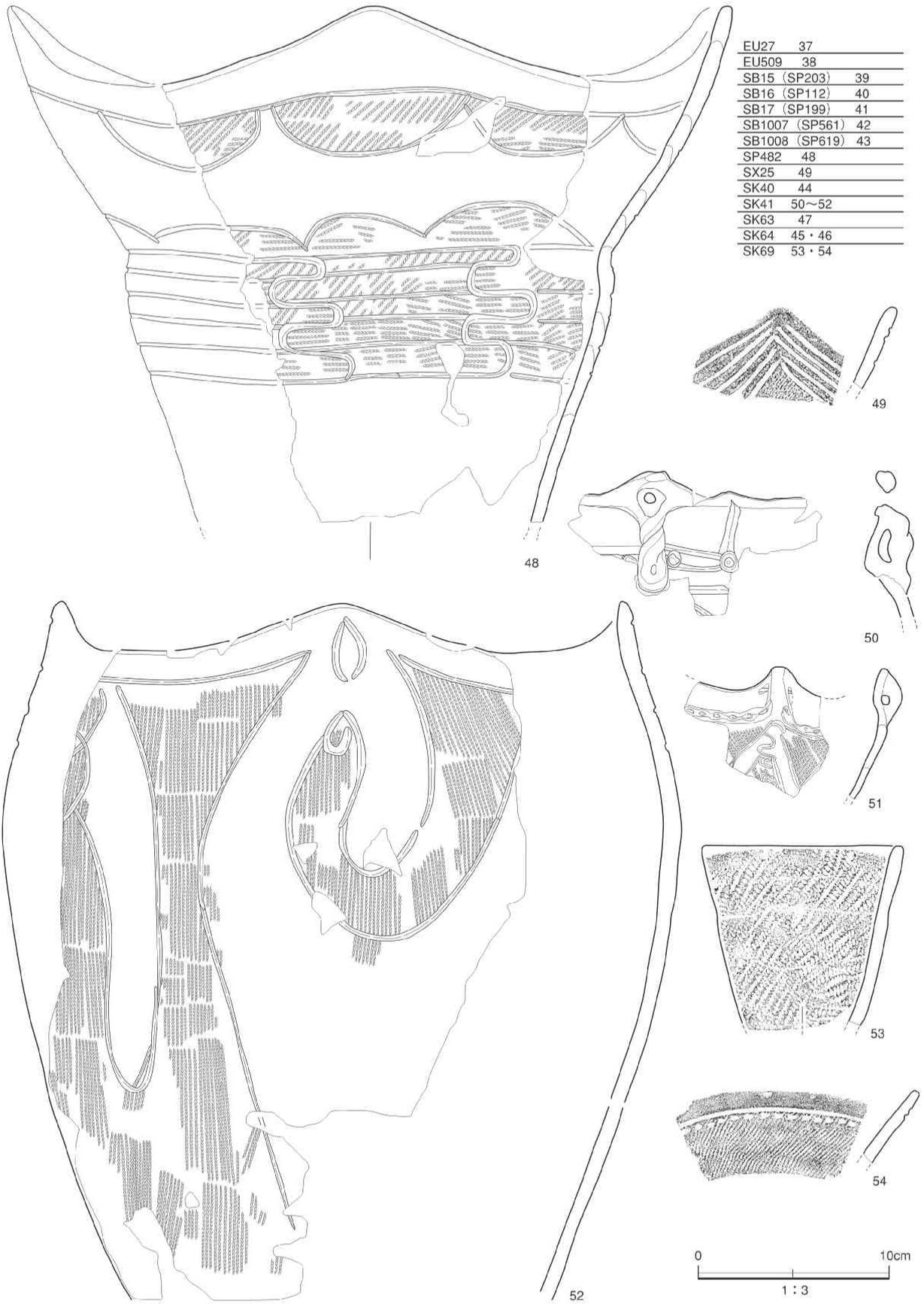


ST2	1~3
ST3	4~14
ST4	15~29
ST7	30~32
ST19	33
ST1004	34~36

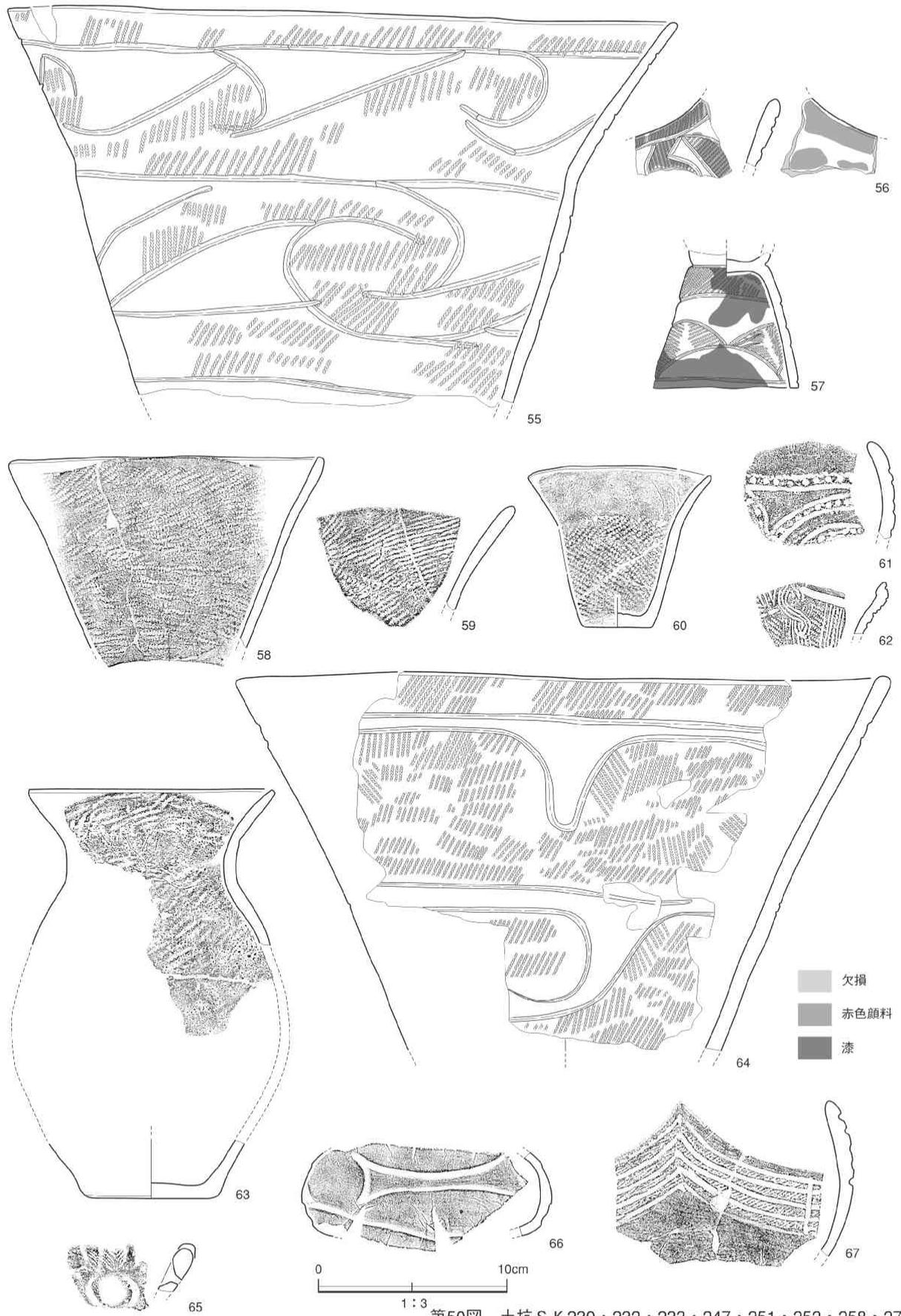
第47図 竪穴住居 S T 4・7・19・1004



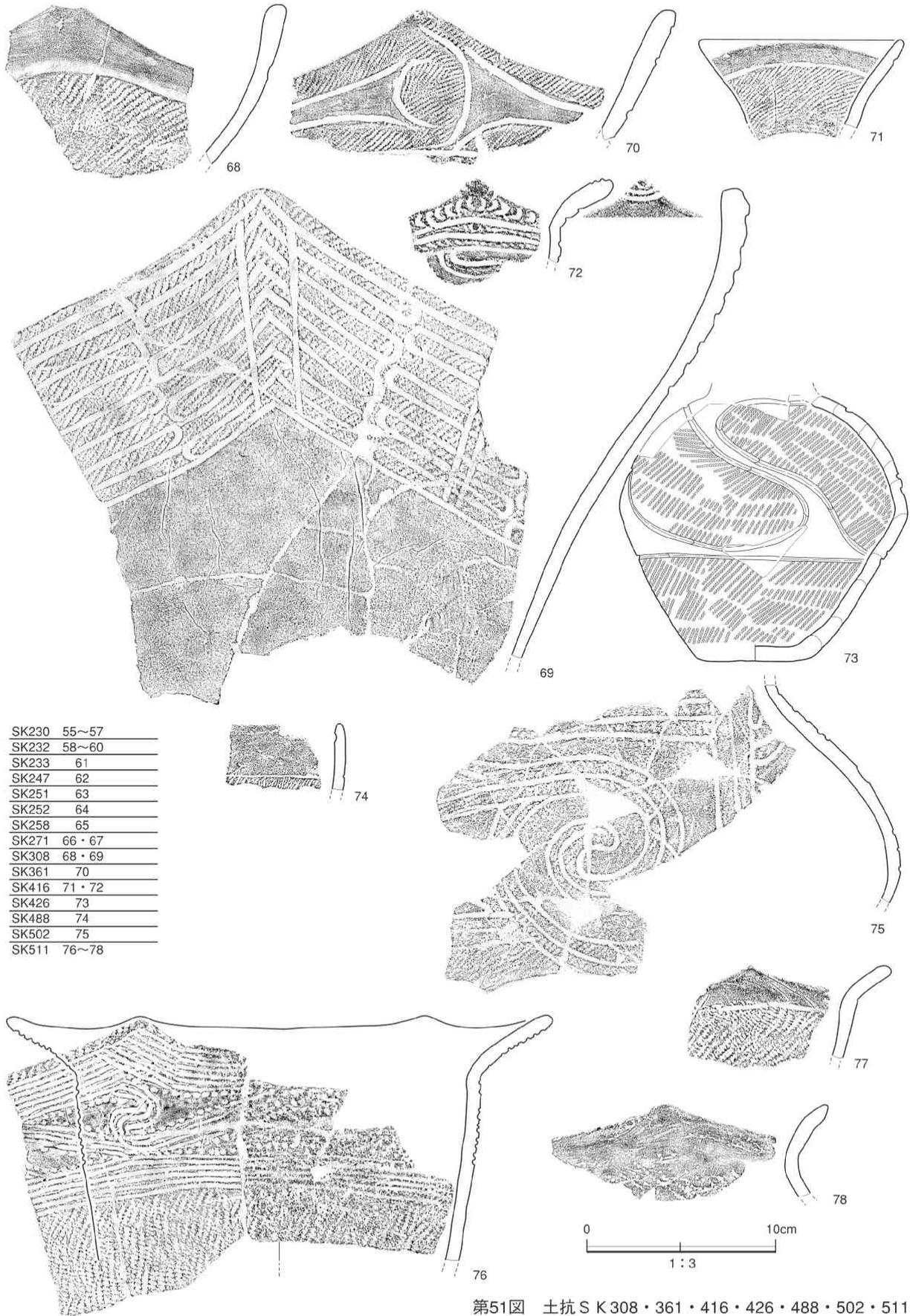
第48図 埋設土器遺構 E U27・509 掘立柱建物 S B15・16・17・1007・1008 土坑 S K40・63・64



第49図 立石遺構 S P 482 配石遺構 S X 25 土坑 S K 41・69

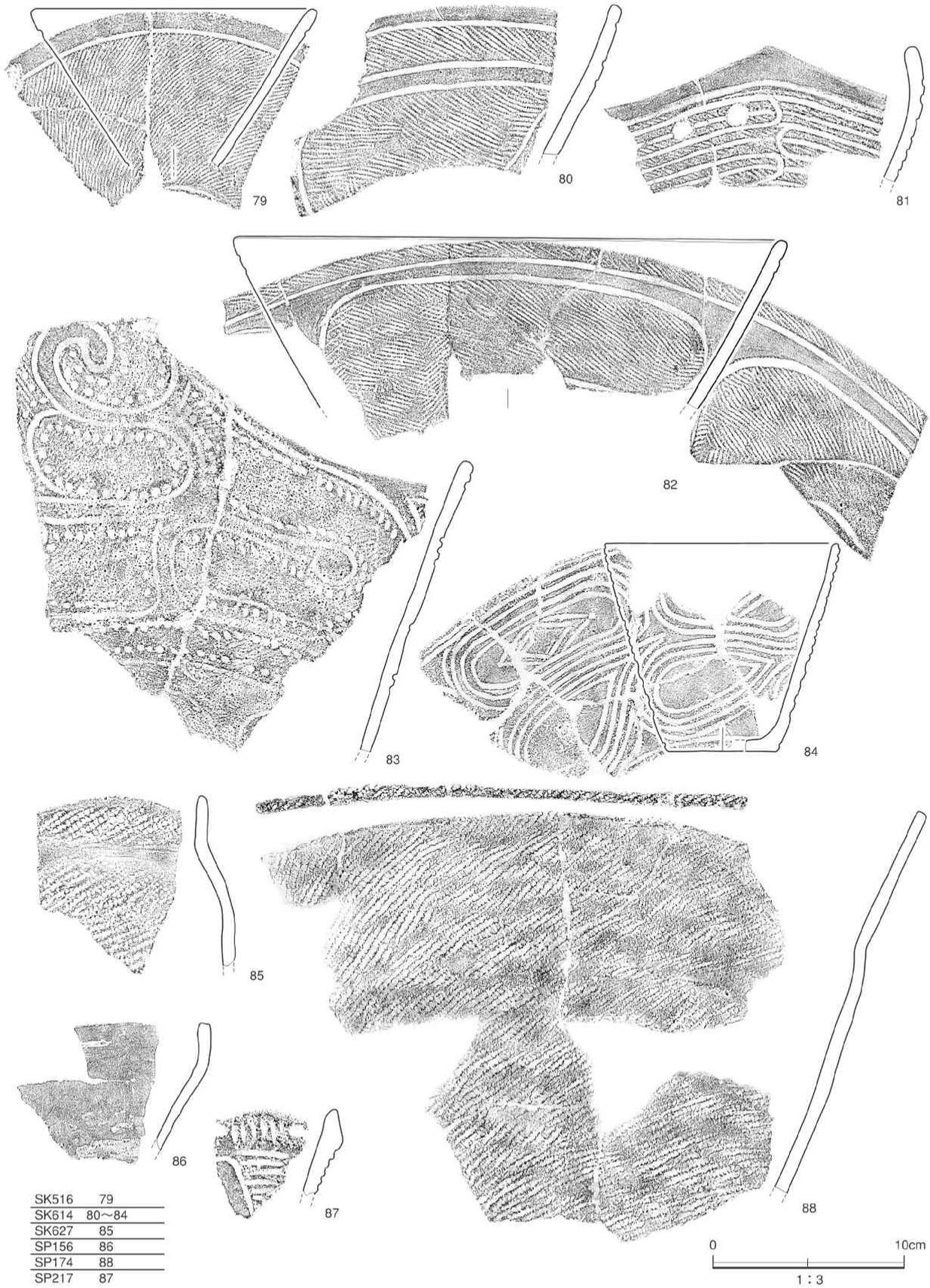


第50図 土抗 S K 230・232・233・247・251・252・258・271

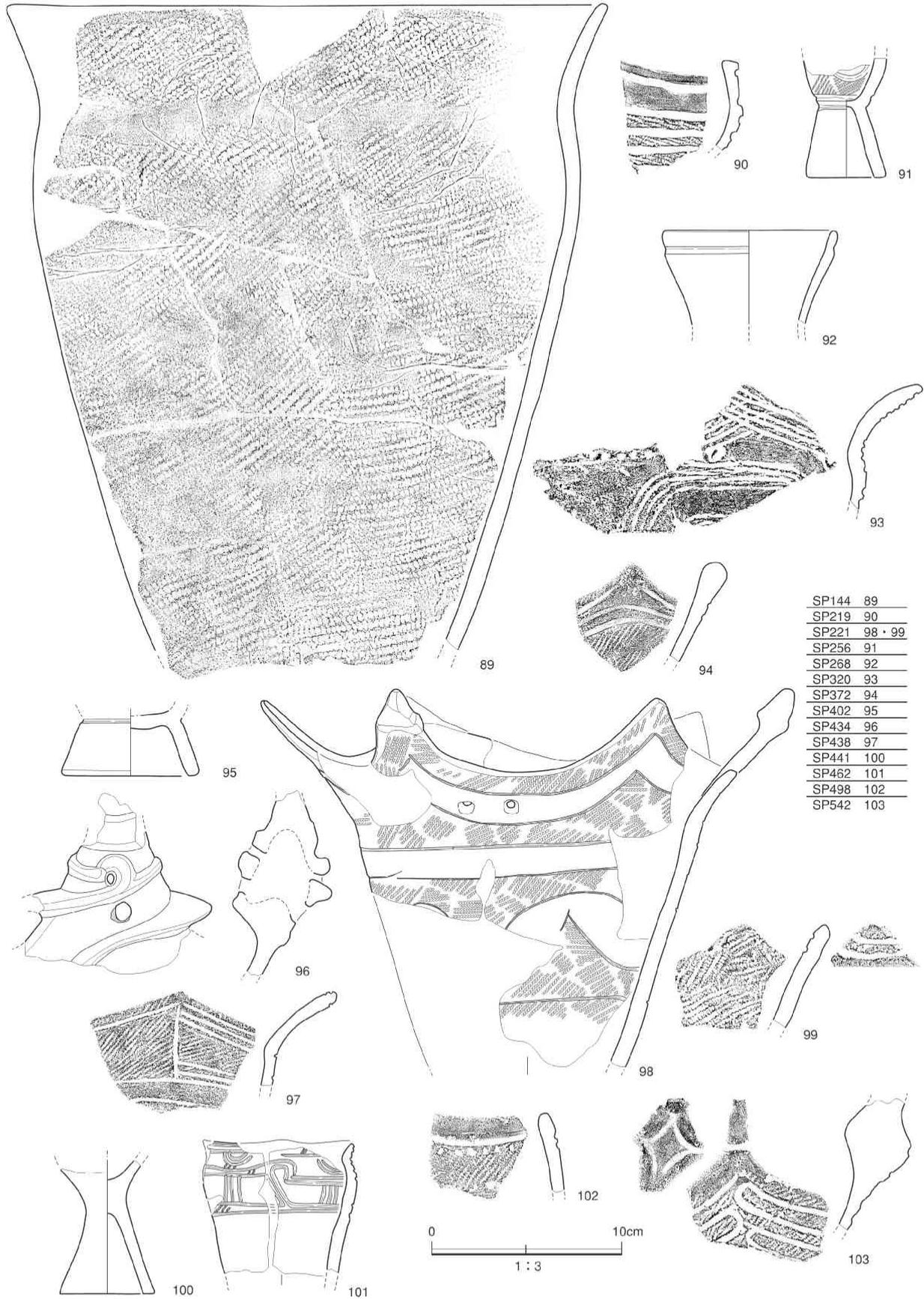


- SK230 55~57
- SK232 58~60
- SK233 61
- SK247 62
- SK251 63
- SK252 64
- SK258 65
- SK271 66・67
- SK308 68・69
- SK361 70
- SK416 71・72
- SK426 73
- SK488 74
- SK502 75
- SK511 76~78

第51図 土抗 S K 308・361・416・426・488・502・511

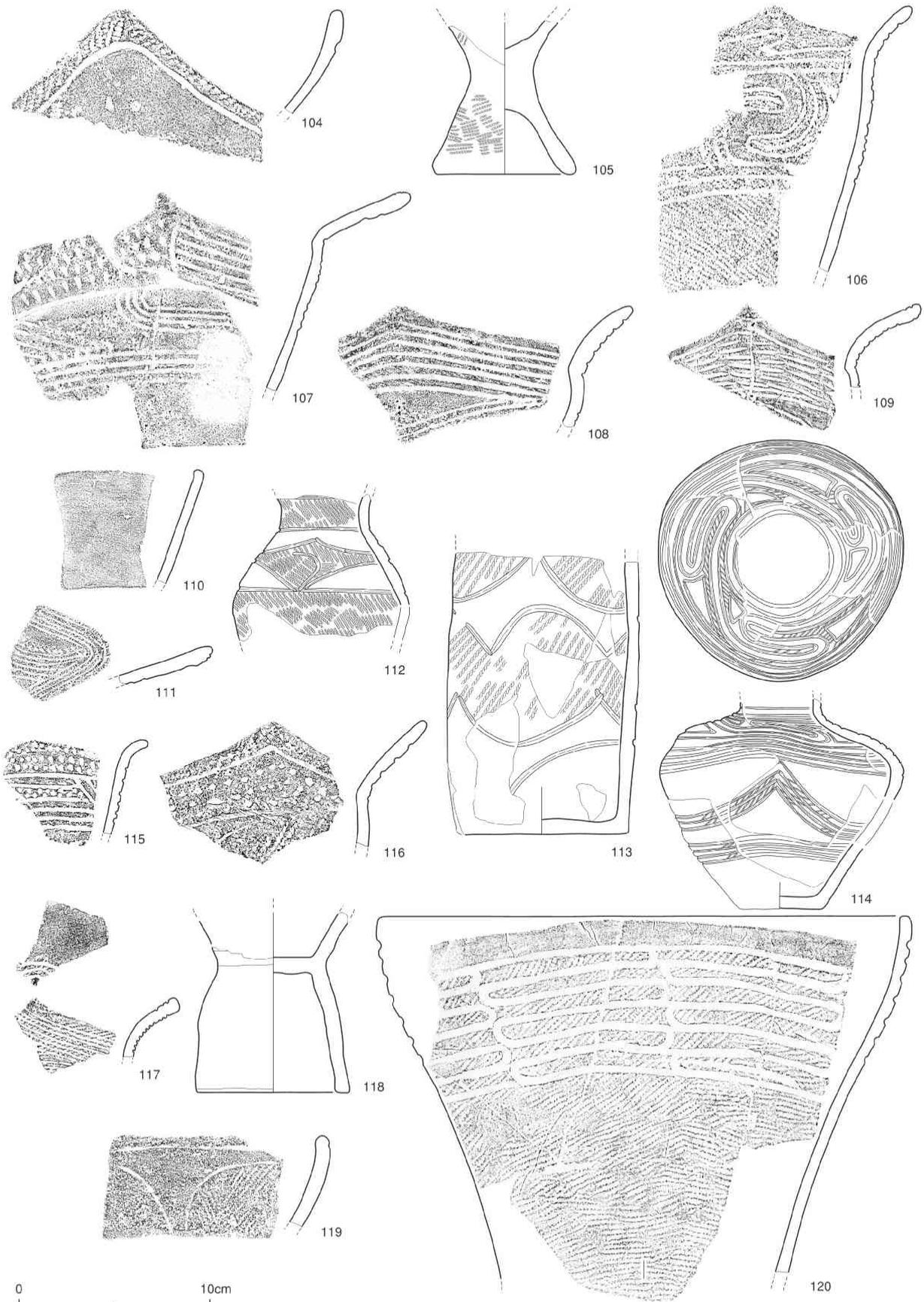


第52図 土抗 S K 516・614・627 ビット S P 156・174・217

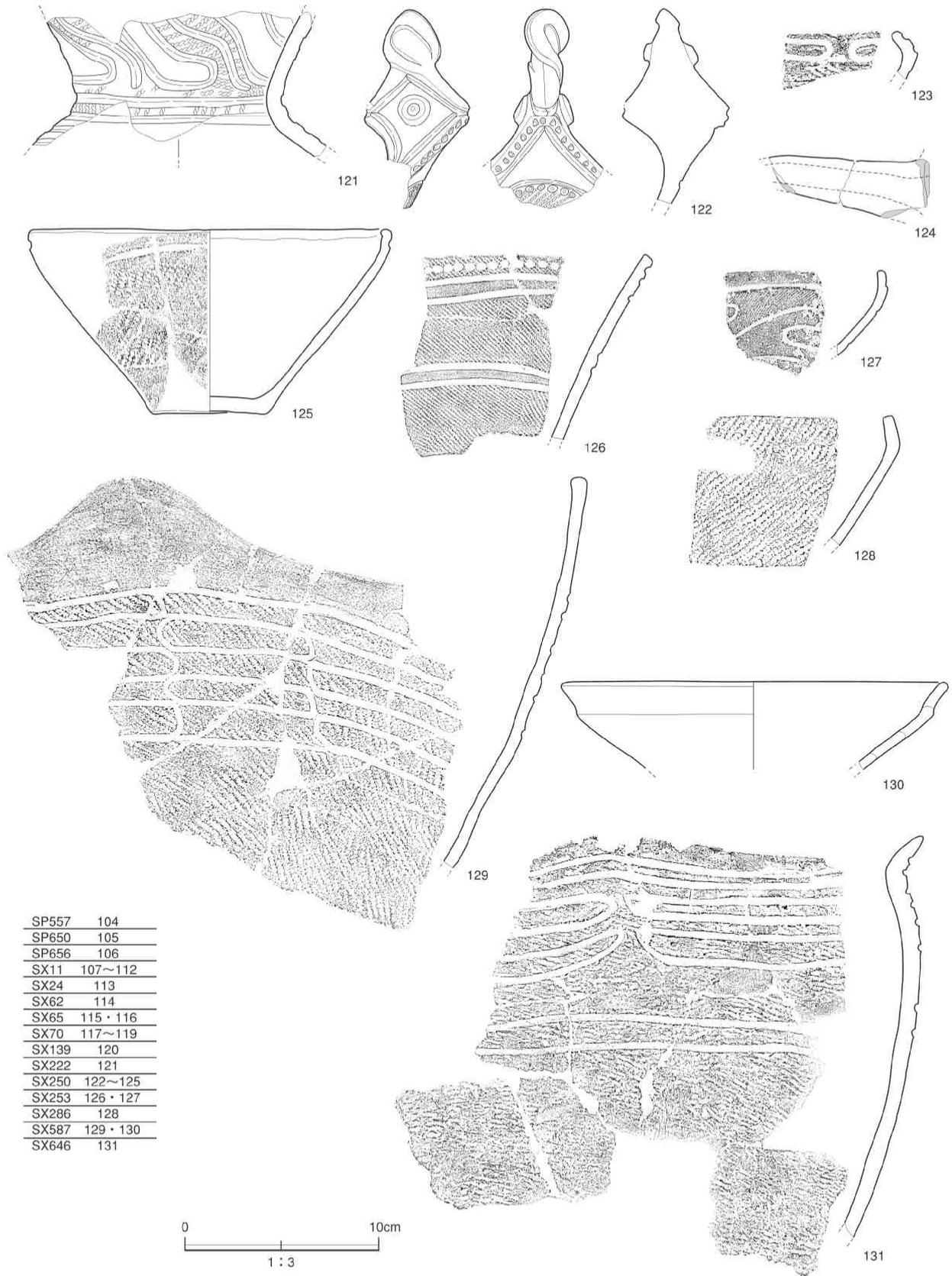


SP144	89
SP219	90
SP221	98・99
SP256	91
SP268	92
SP320	93
SP372	94
SP402	95
SP434	96
SP438	97
SP441	100
SP462	101
SP498	102
SP542	103

第53図 柱穴 S P 144 ビット S P 219・221・256・268・320・372・402・434・438・441・462・498・542



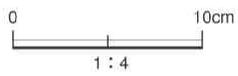
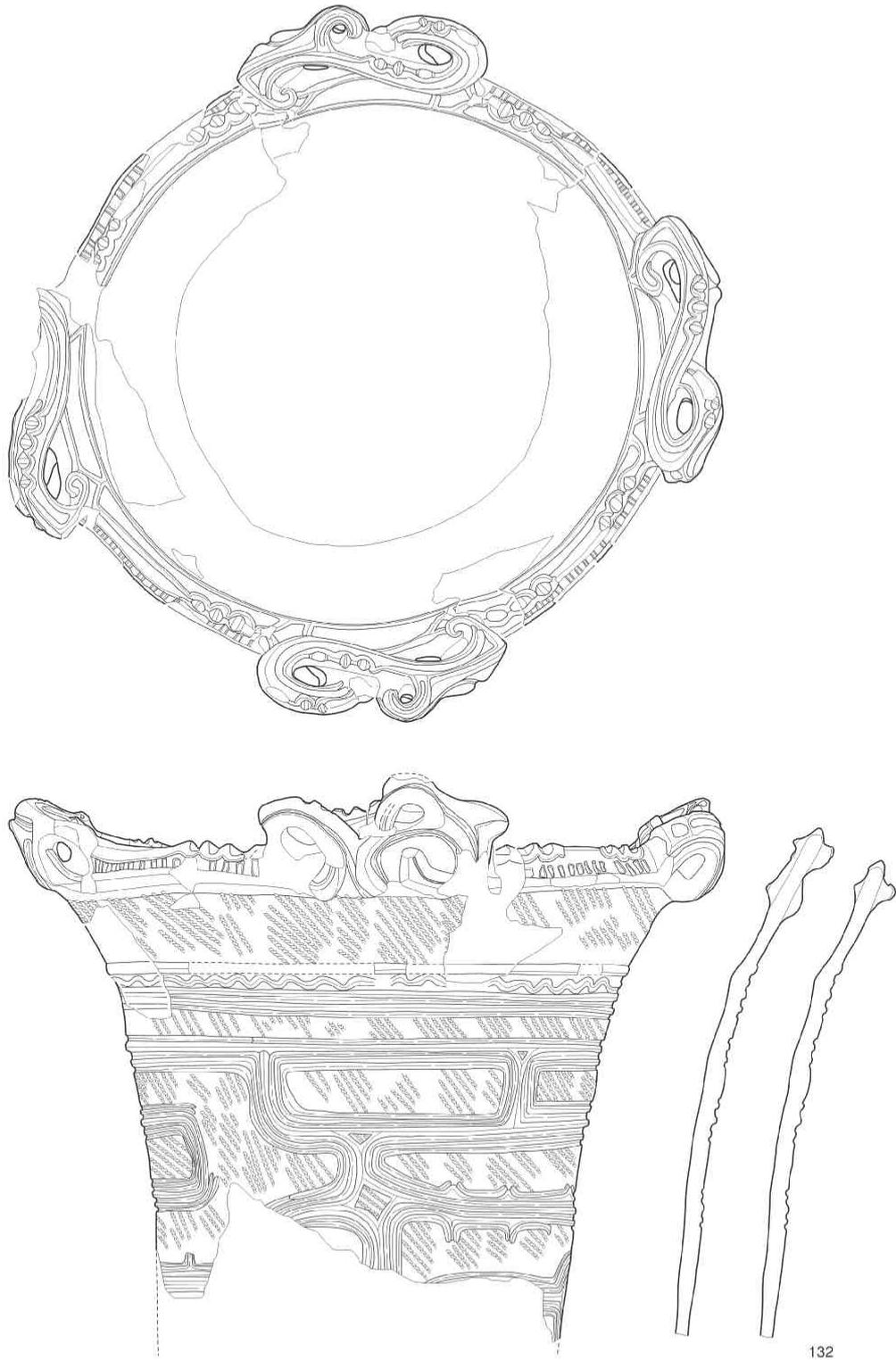
第54図 ピットS P 557・650・656 性格不明遺構S X 11・24・62・65・70・139



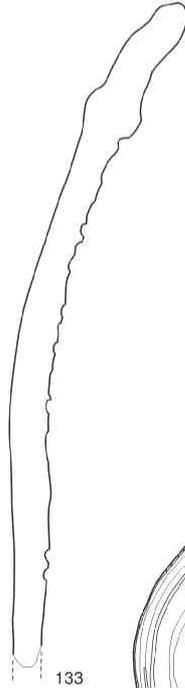
SP557	104
SP650	105
SP656	106
SX11	107~112
SX24	113
SX62	114
SX65	115・116
SX70	117~119
SX139	120
SX222	121
SX250	122~125
SX253	126・127
SX286	128
SX587	129・130
SX646	131

0 10cm
1:3

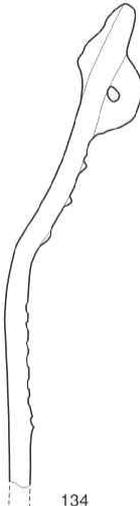
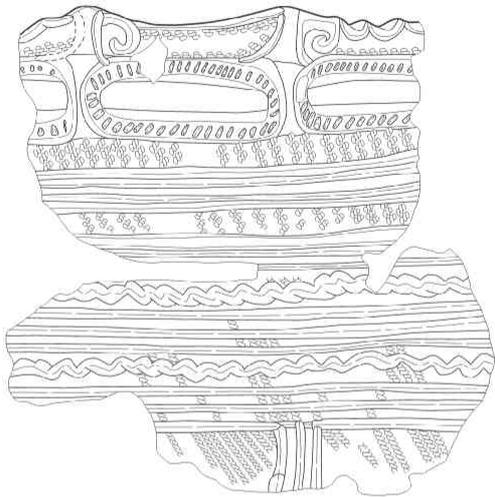
第55図 性格不明遺構 S X 222・250・253・286・587・646



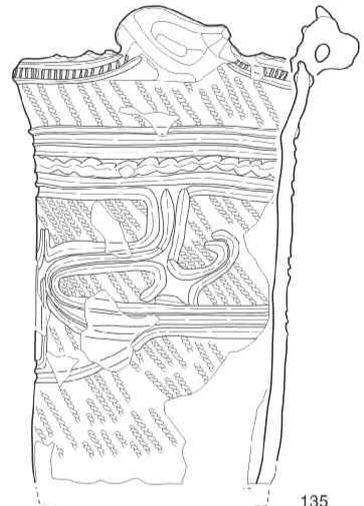
第56図 I群 旧河道S G21



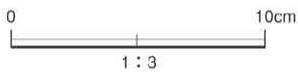
133



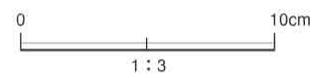
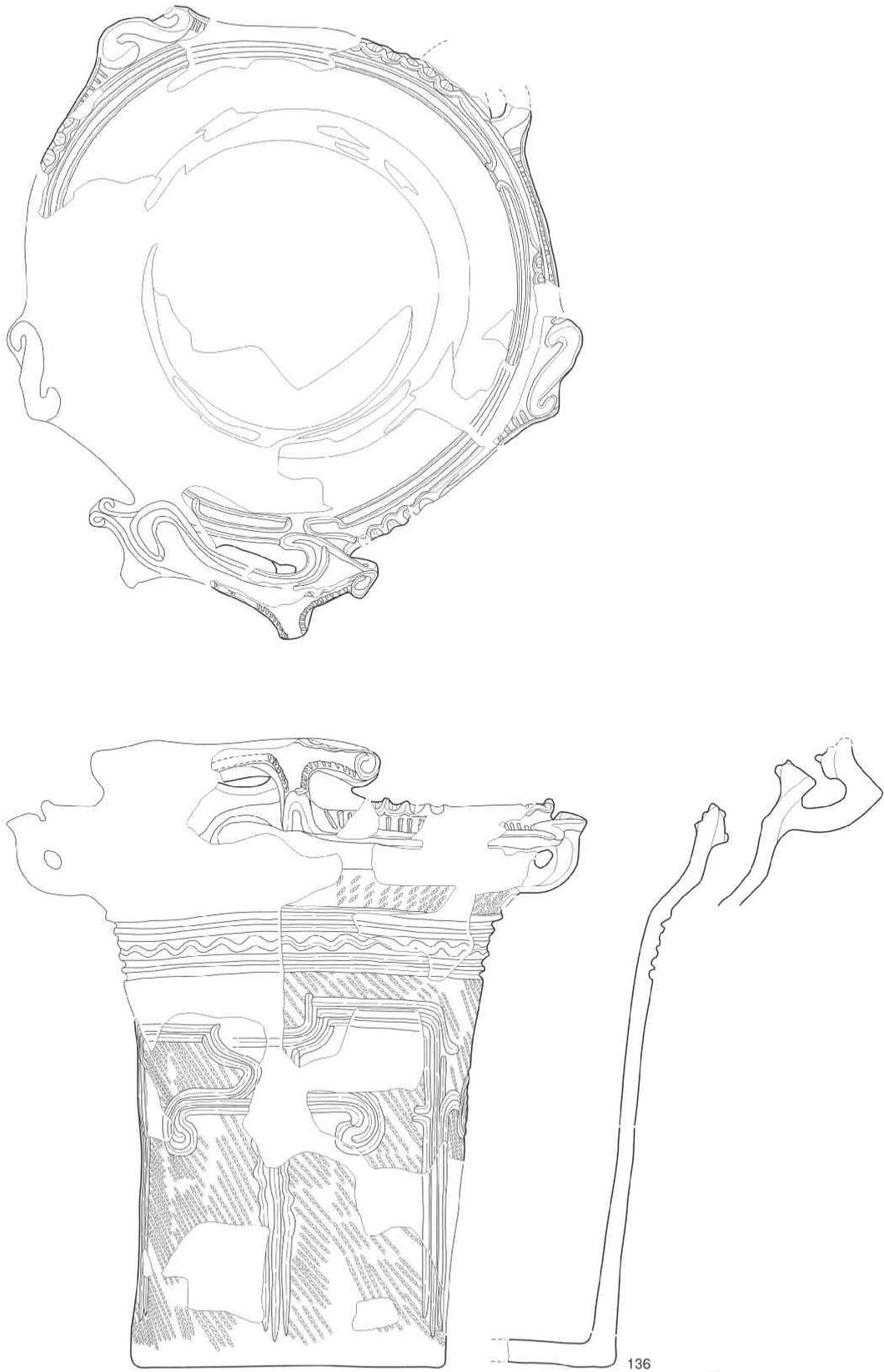
134



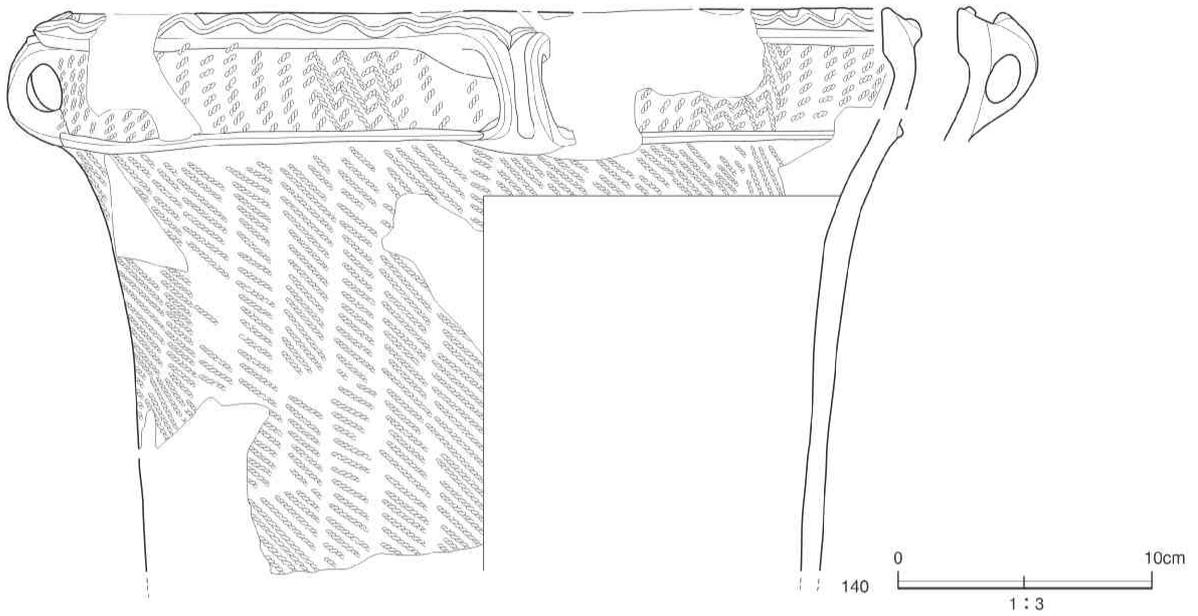
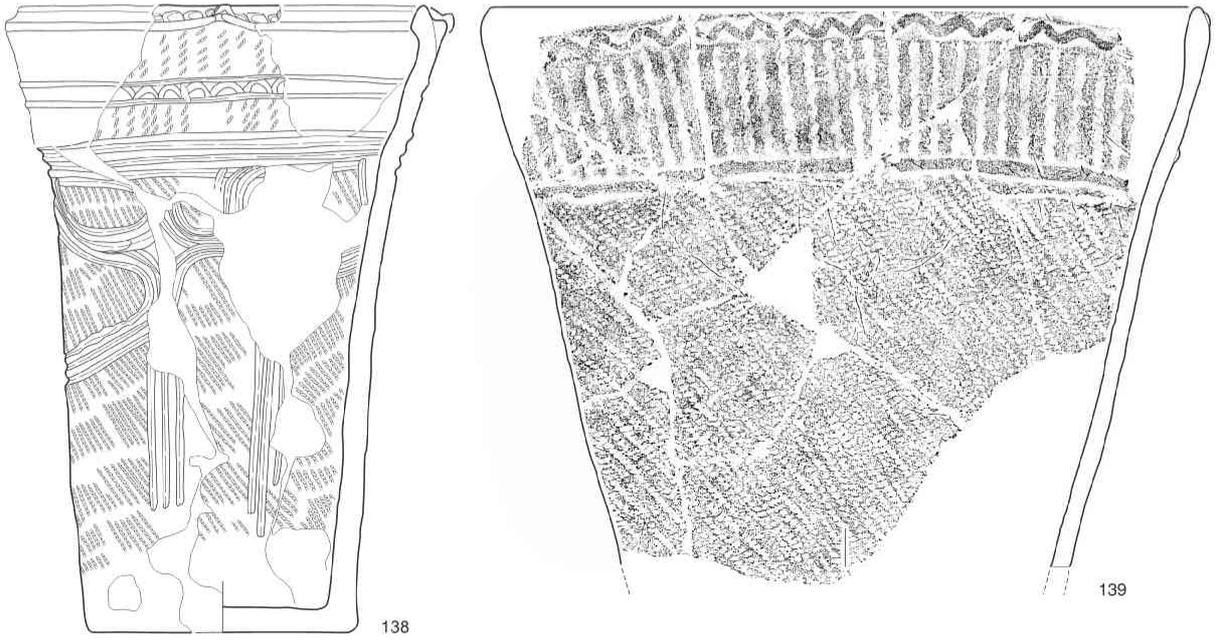
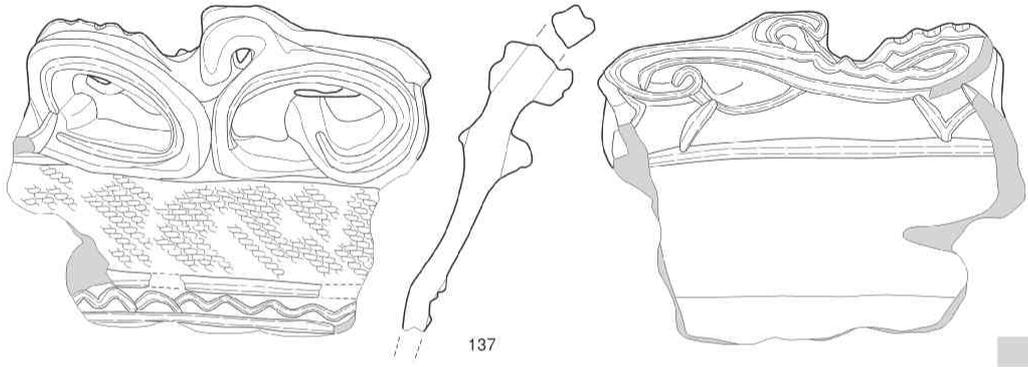
135



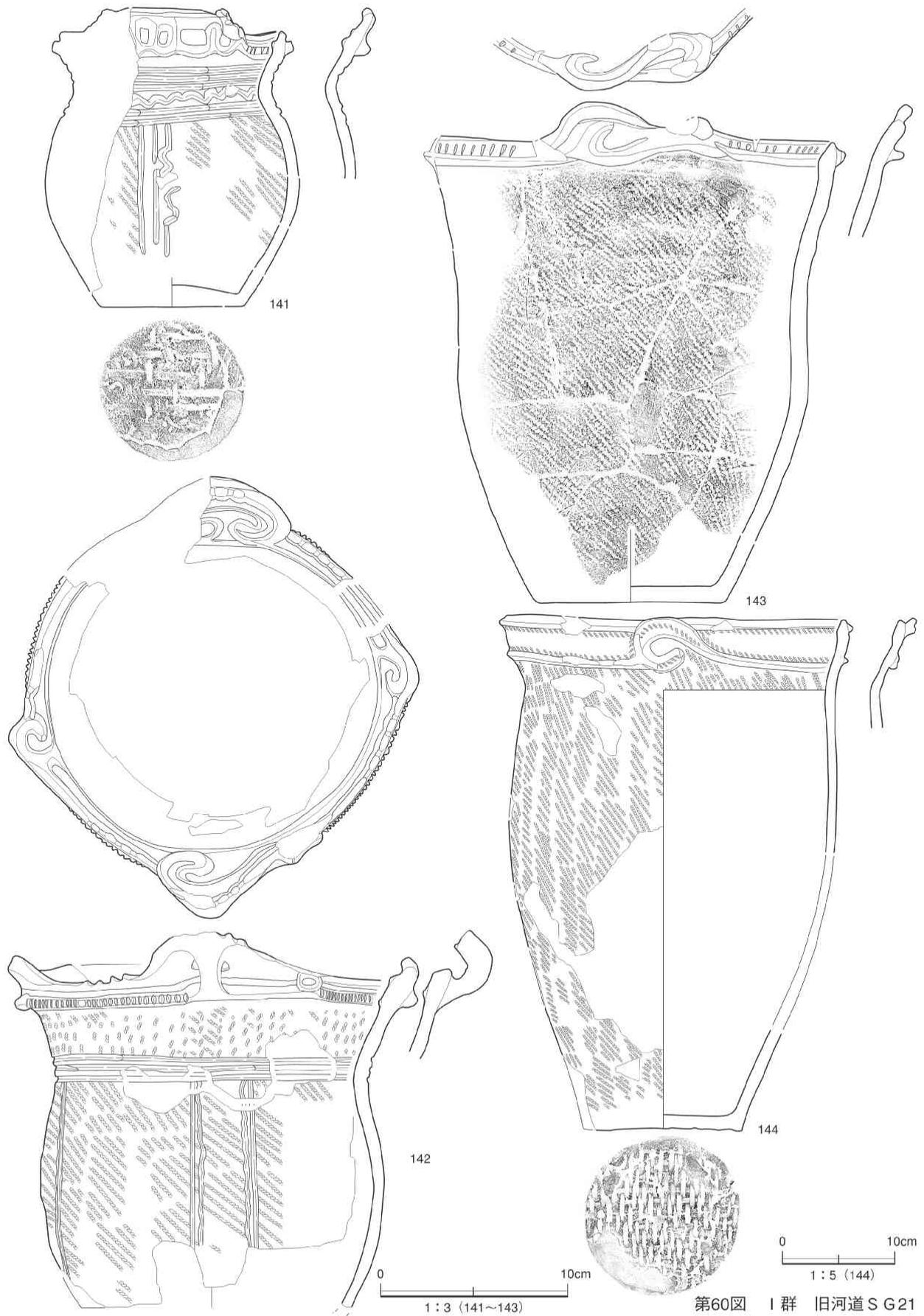
第57図 I群 旧河道SG21



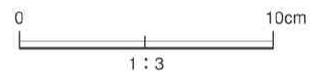
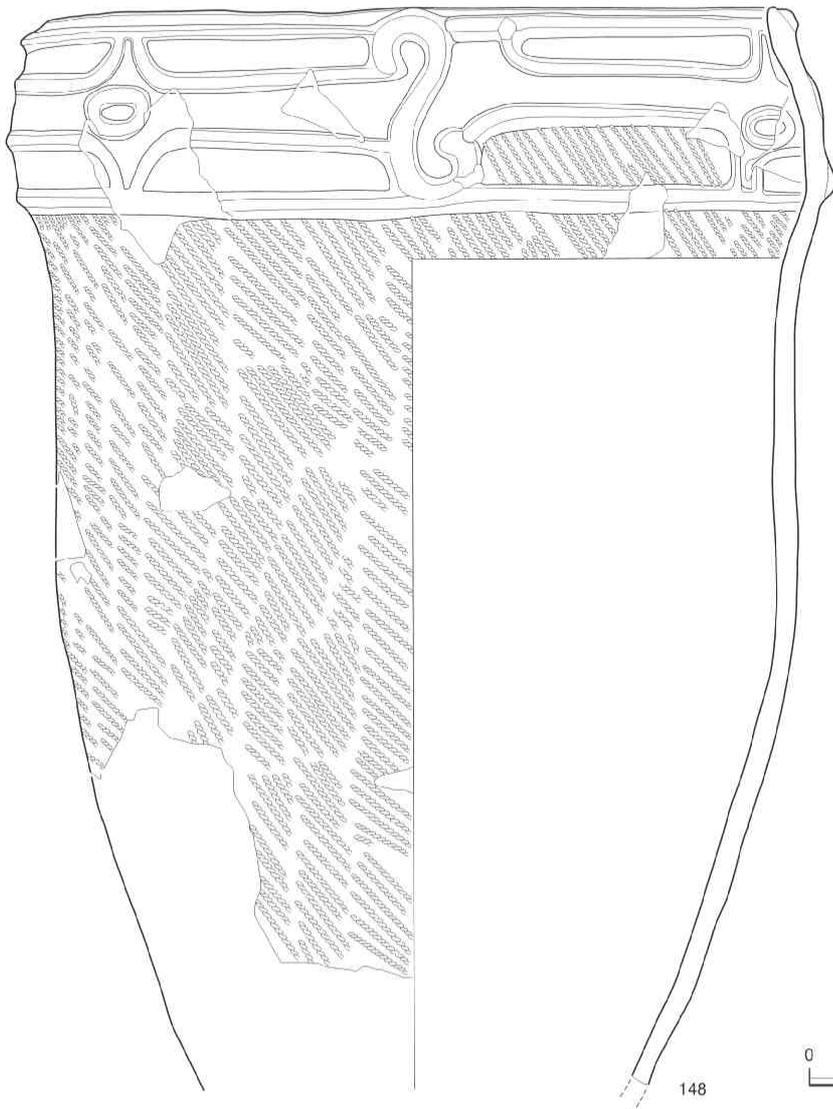
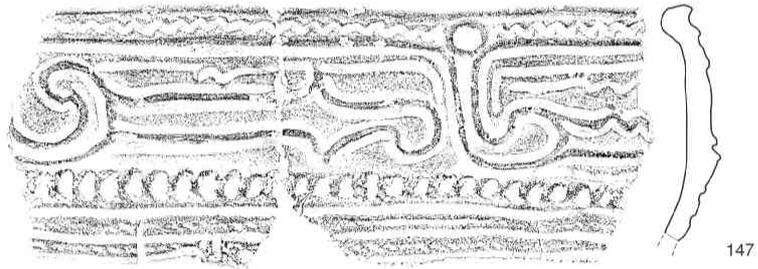
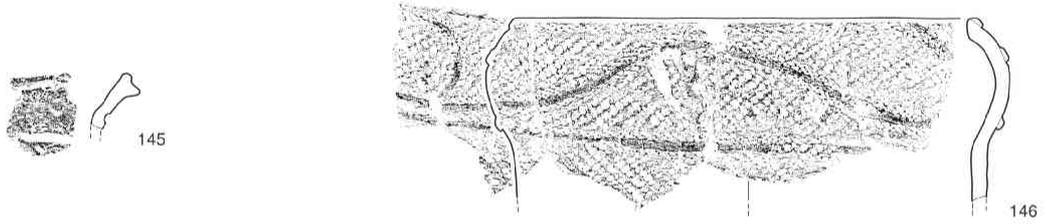
第58図 I群 旧河道 S G 21



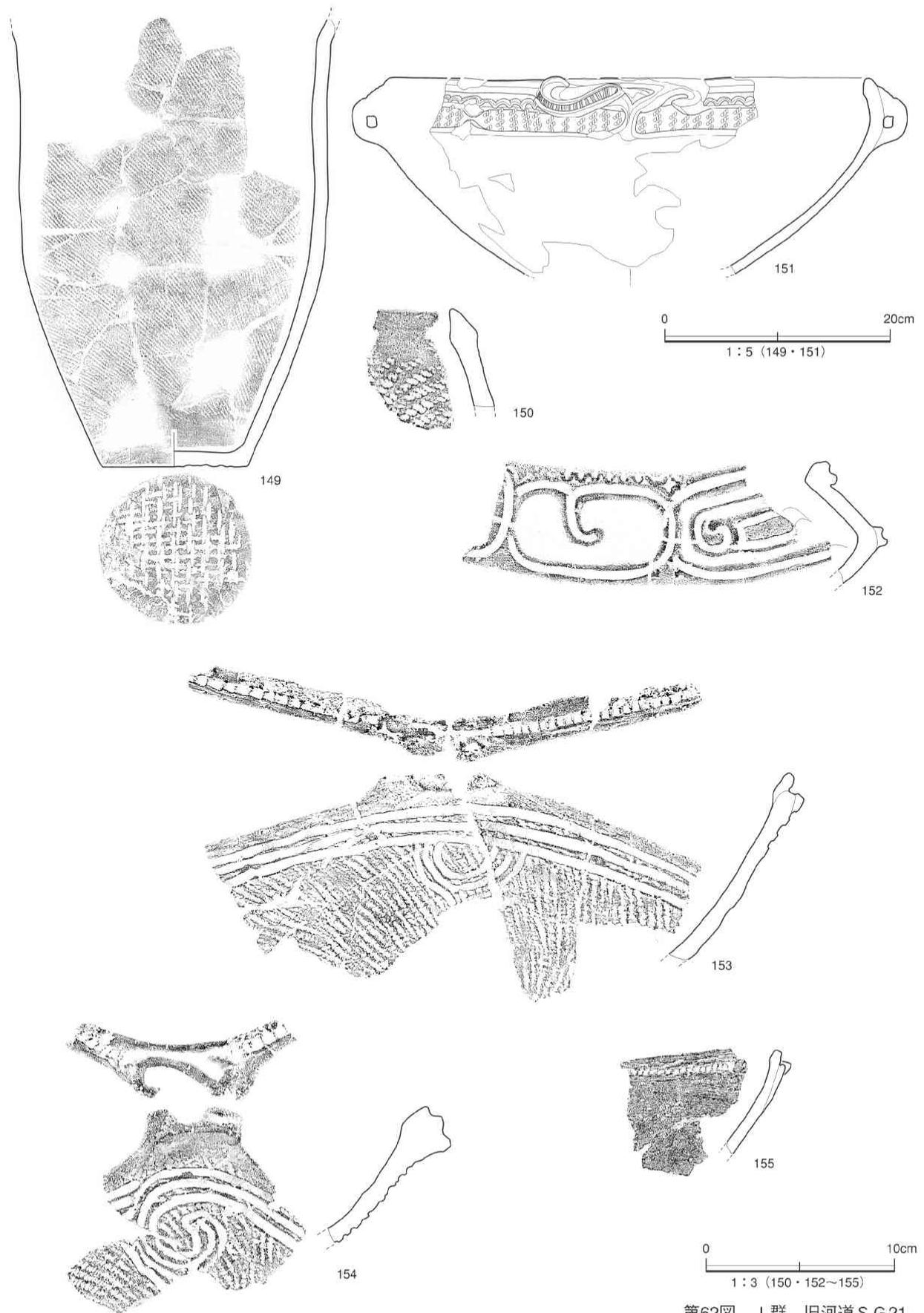
第59図 I群 旧河道S G 21



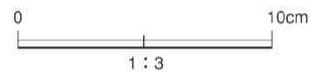
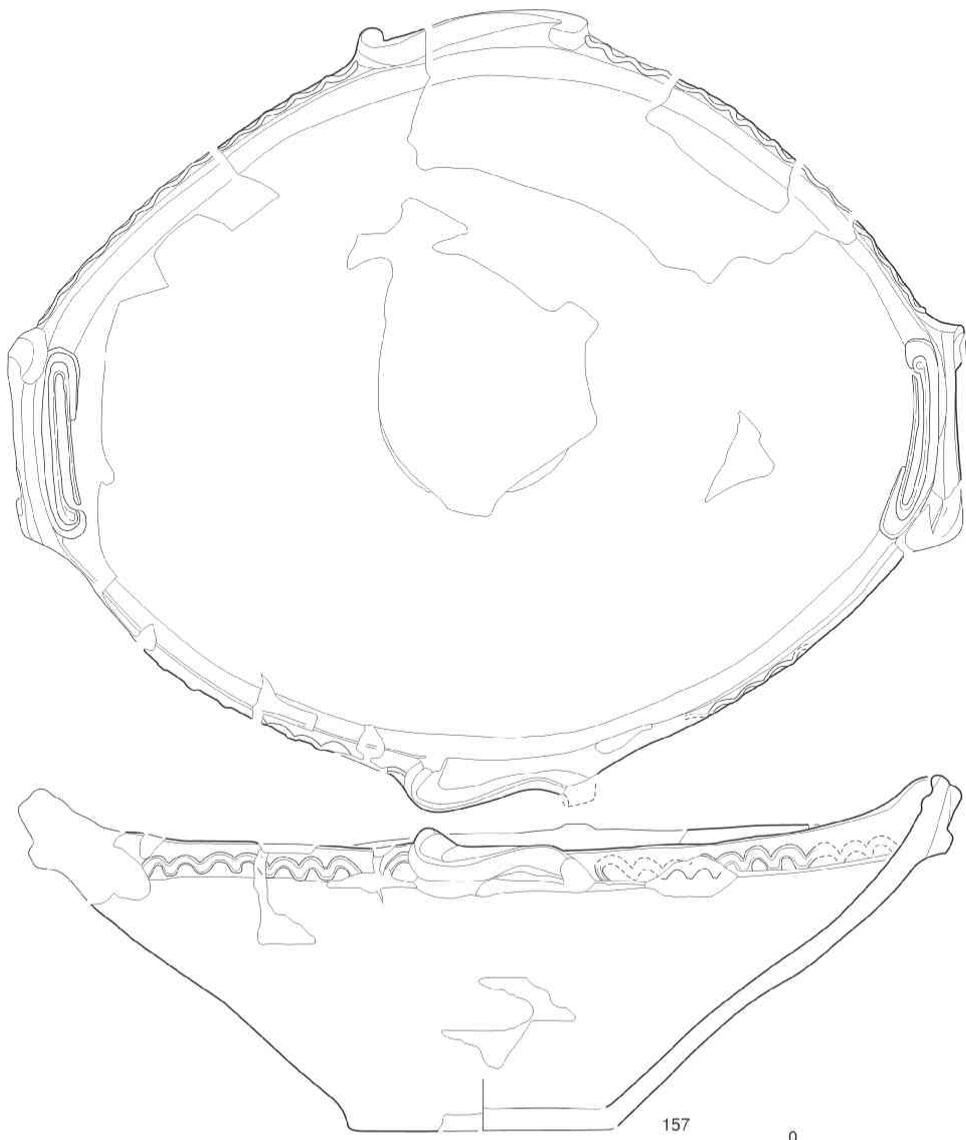
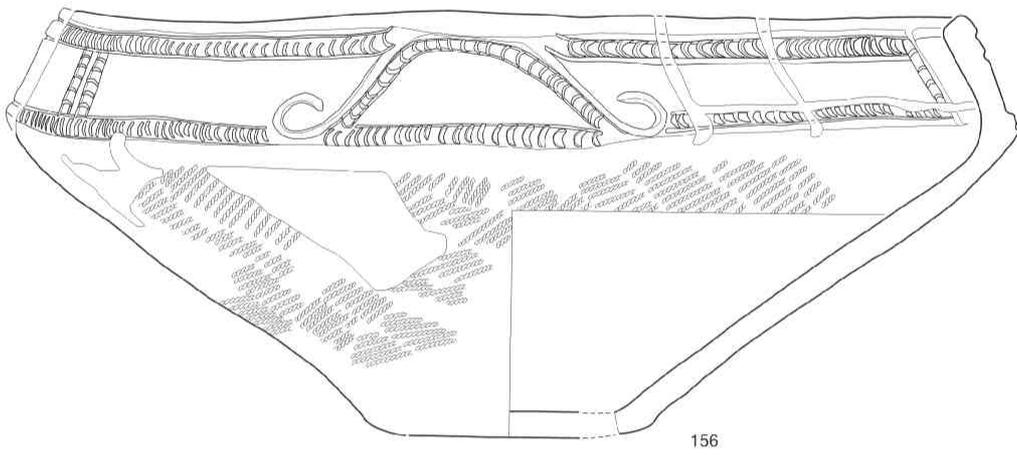
第60図 I群 旧河道S G21



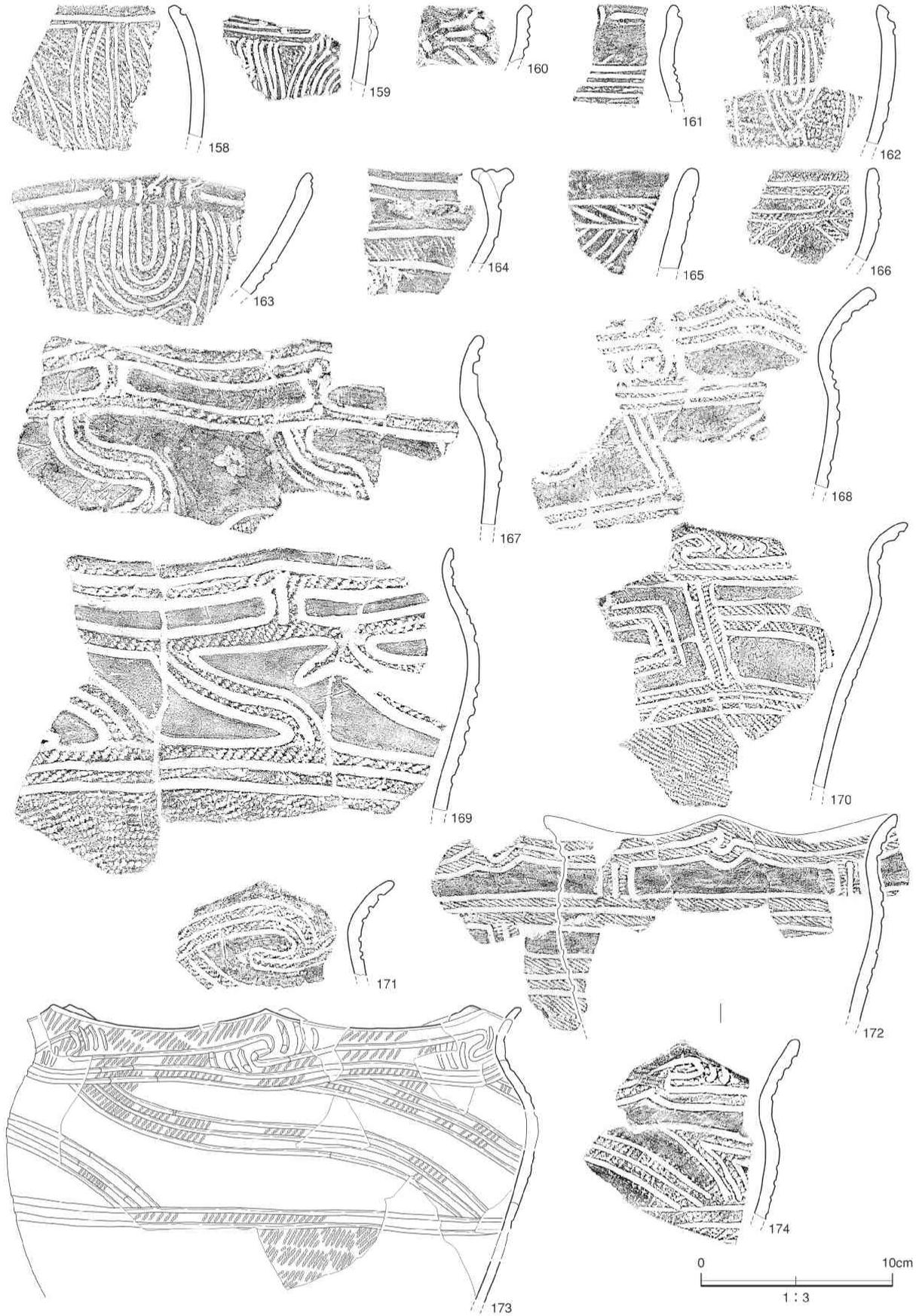
第61図 I群 旧河道SG21・ビットSP542



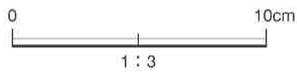
第62図 I群 旧河道SG21



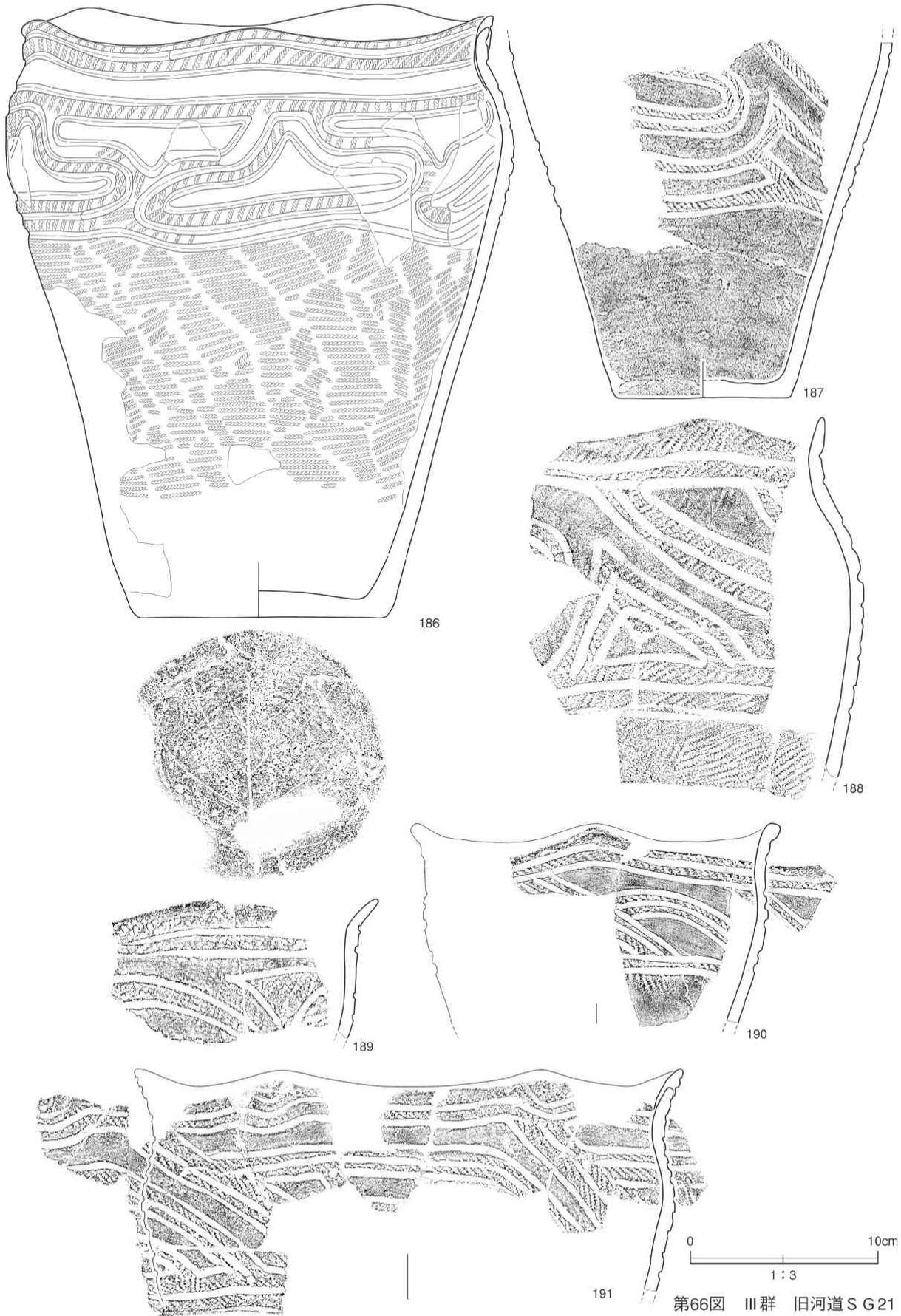
第63図 I群 旧河道S G21



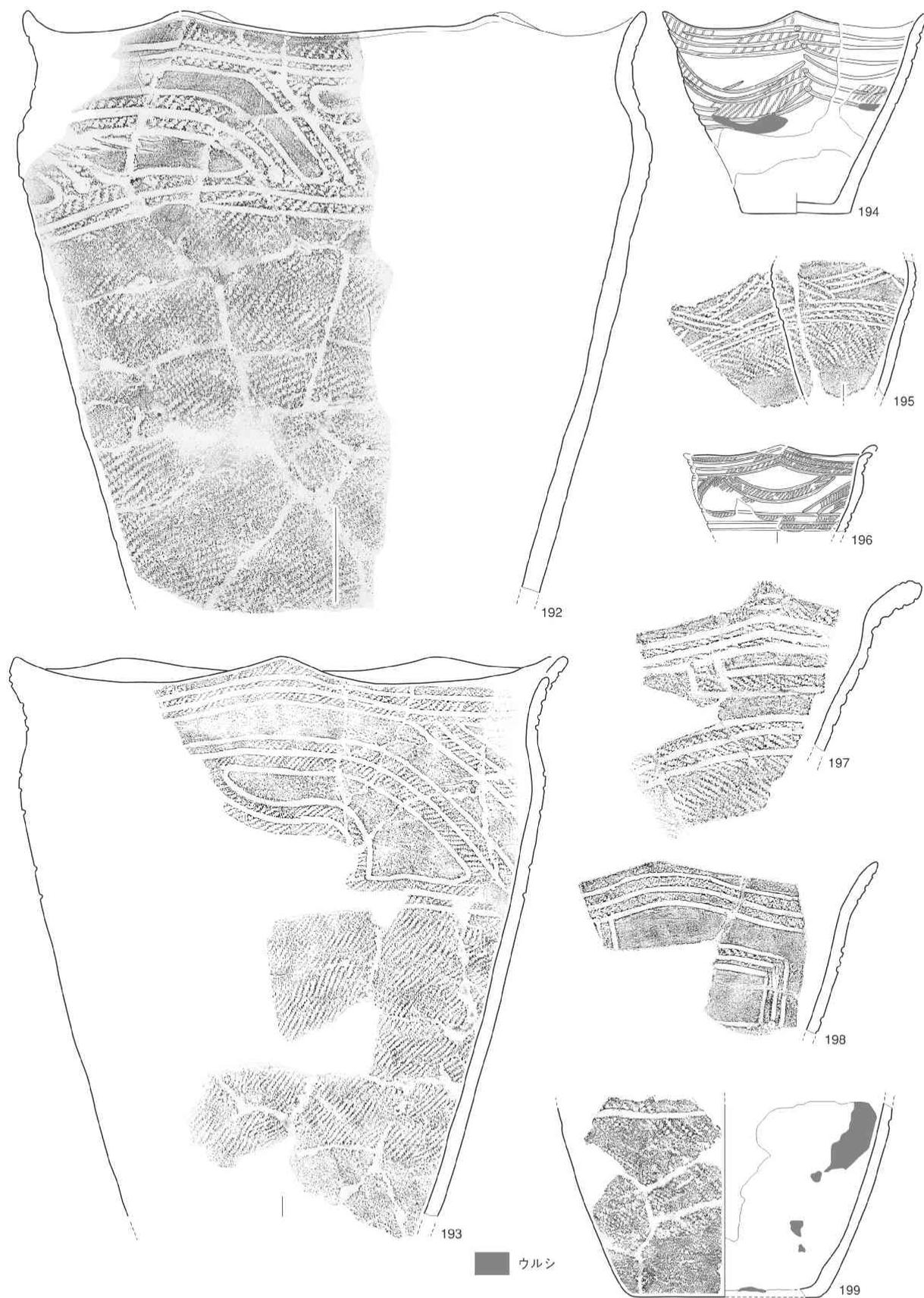
第64図 II・III群 旧河道SG21



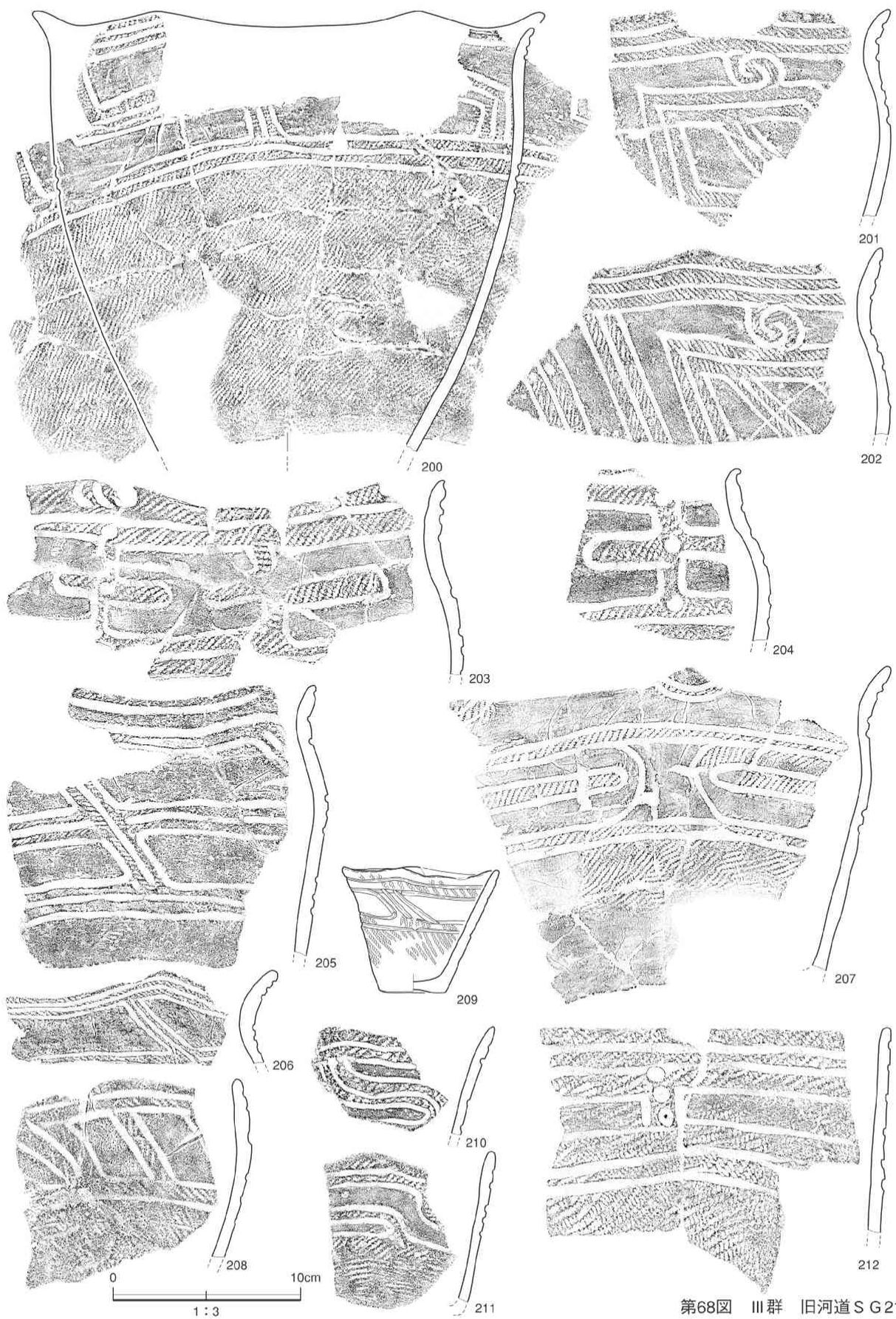
第65図 III群 旧河道SG21



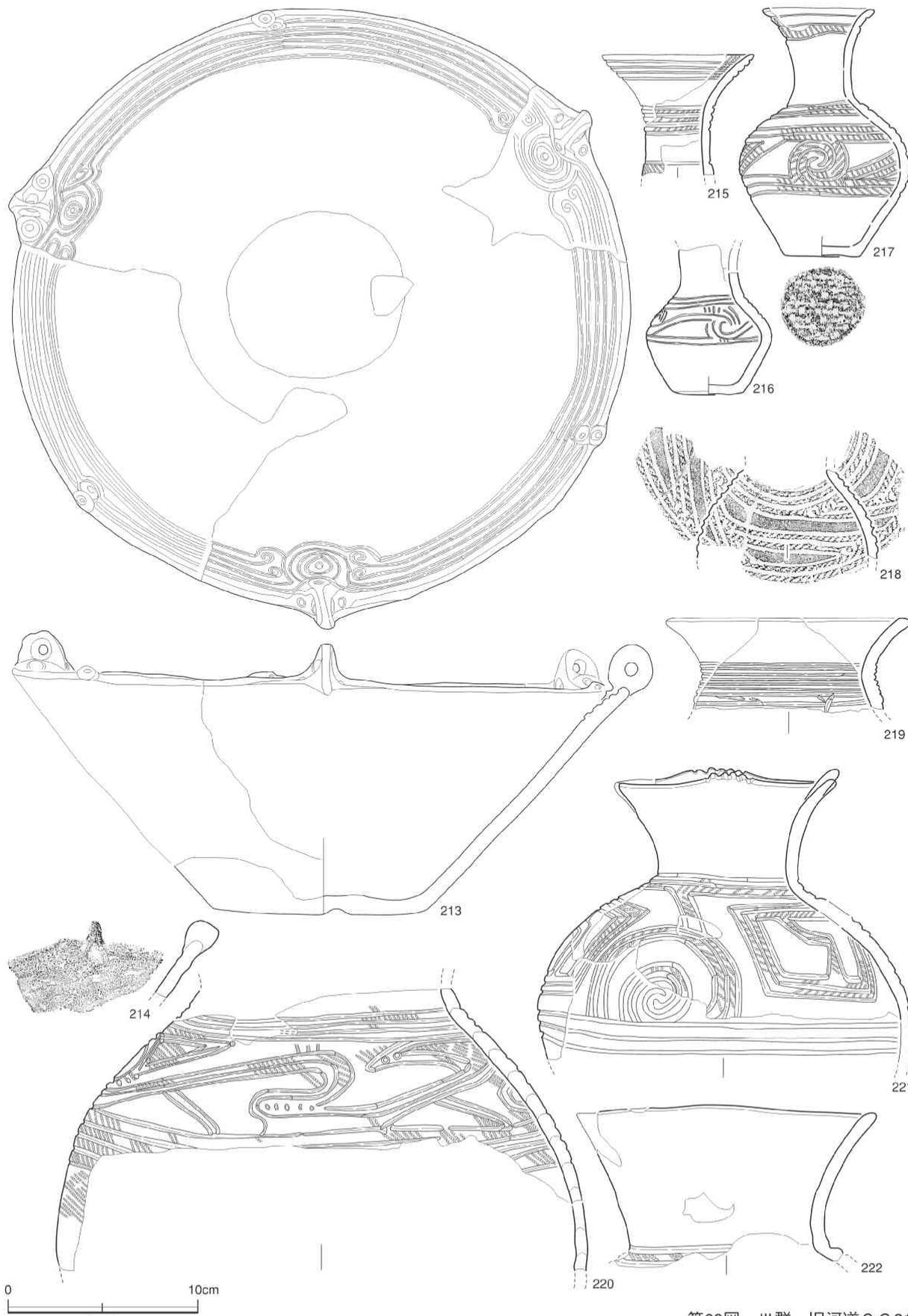
第66図 III群 旧河道 S G 21



第67図 III群 旧河道S G 21



第68図 III群 旧河道 S G 21



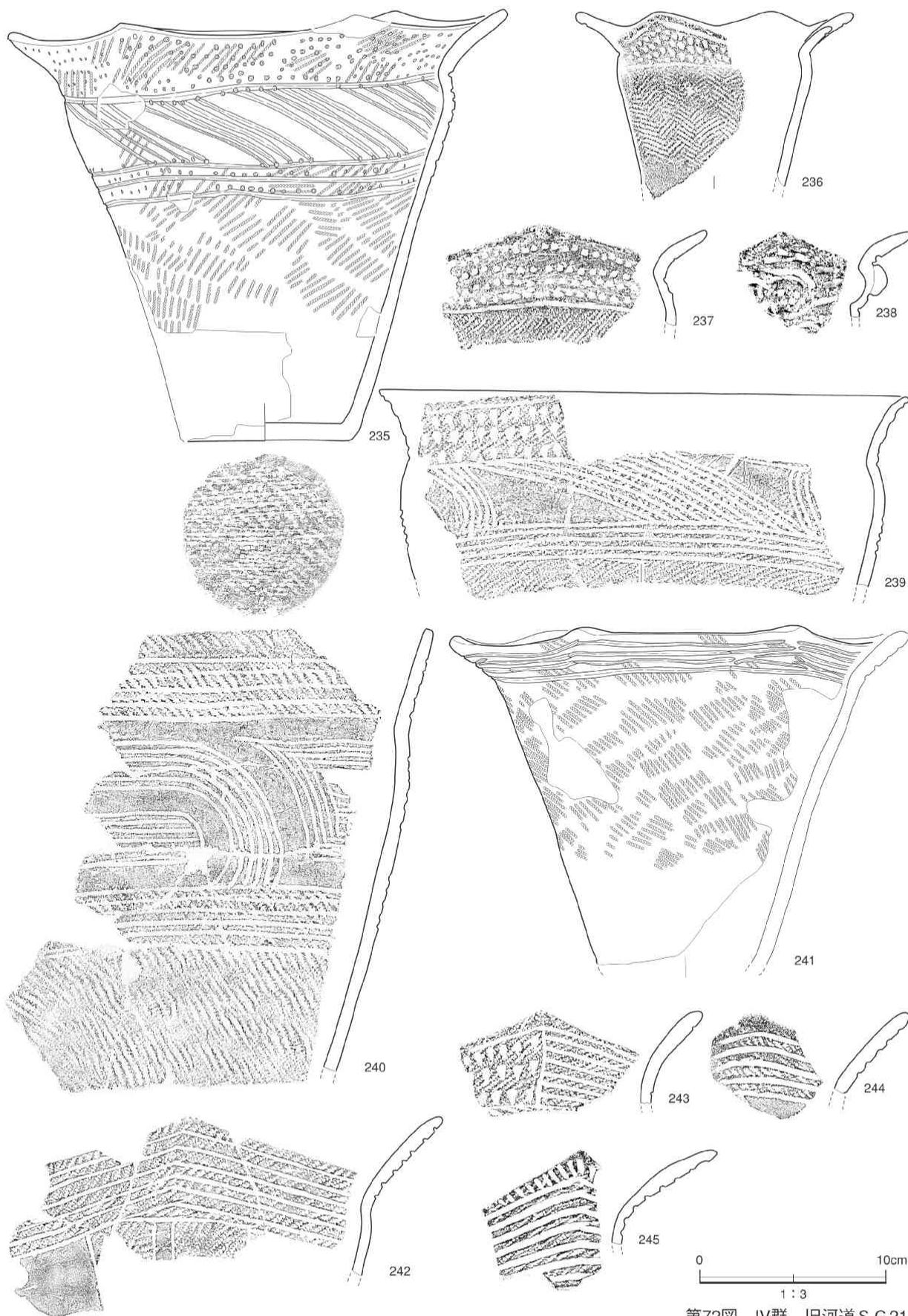
第69図 III群 旧河道 S G 21



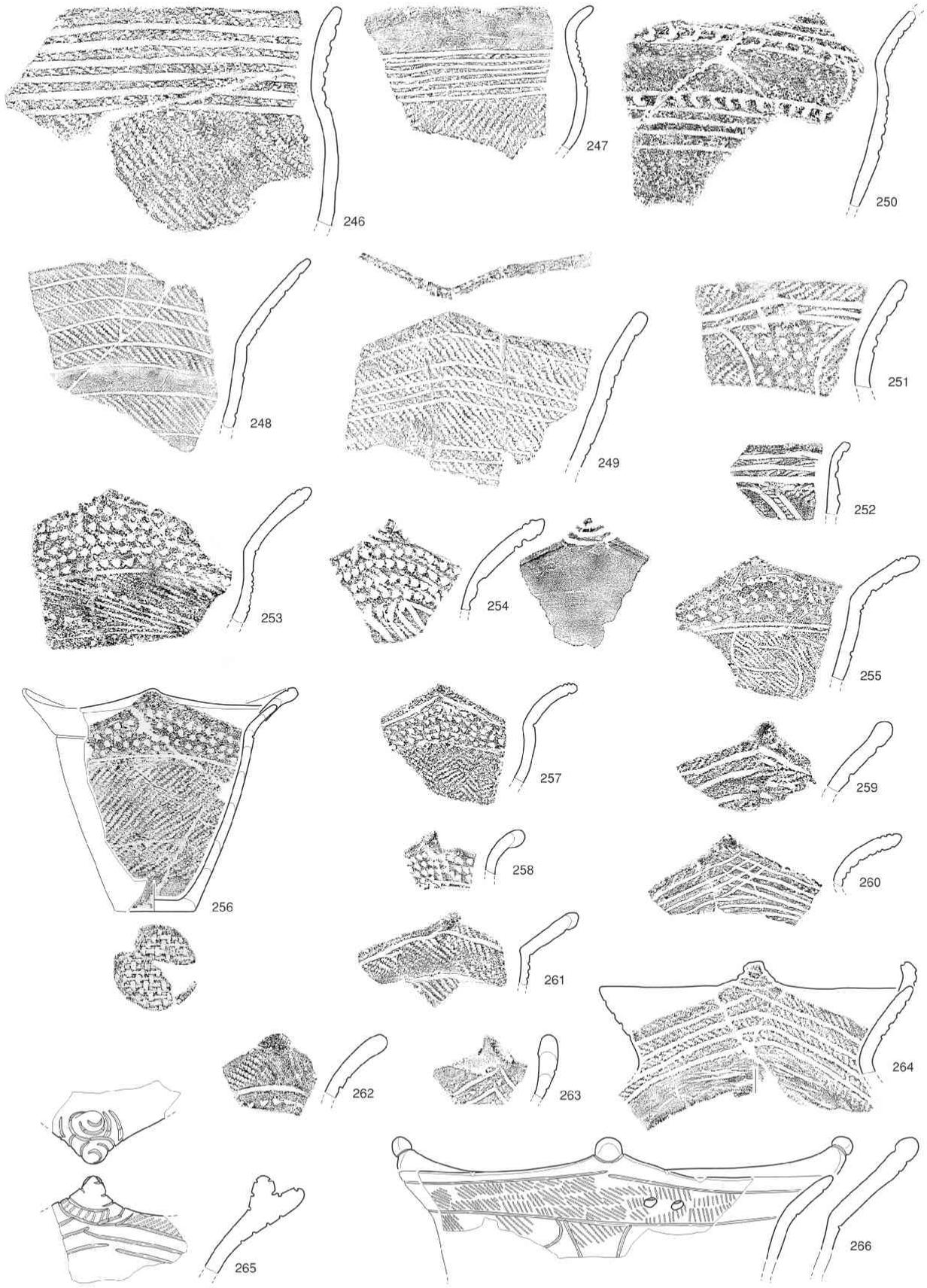
第70図 IV群 旧河道 S G 21



第71図 IV群 旧河道SG21



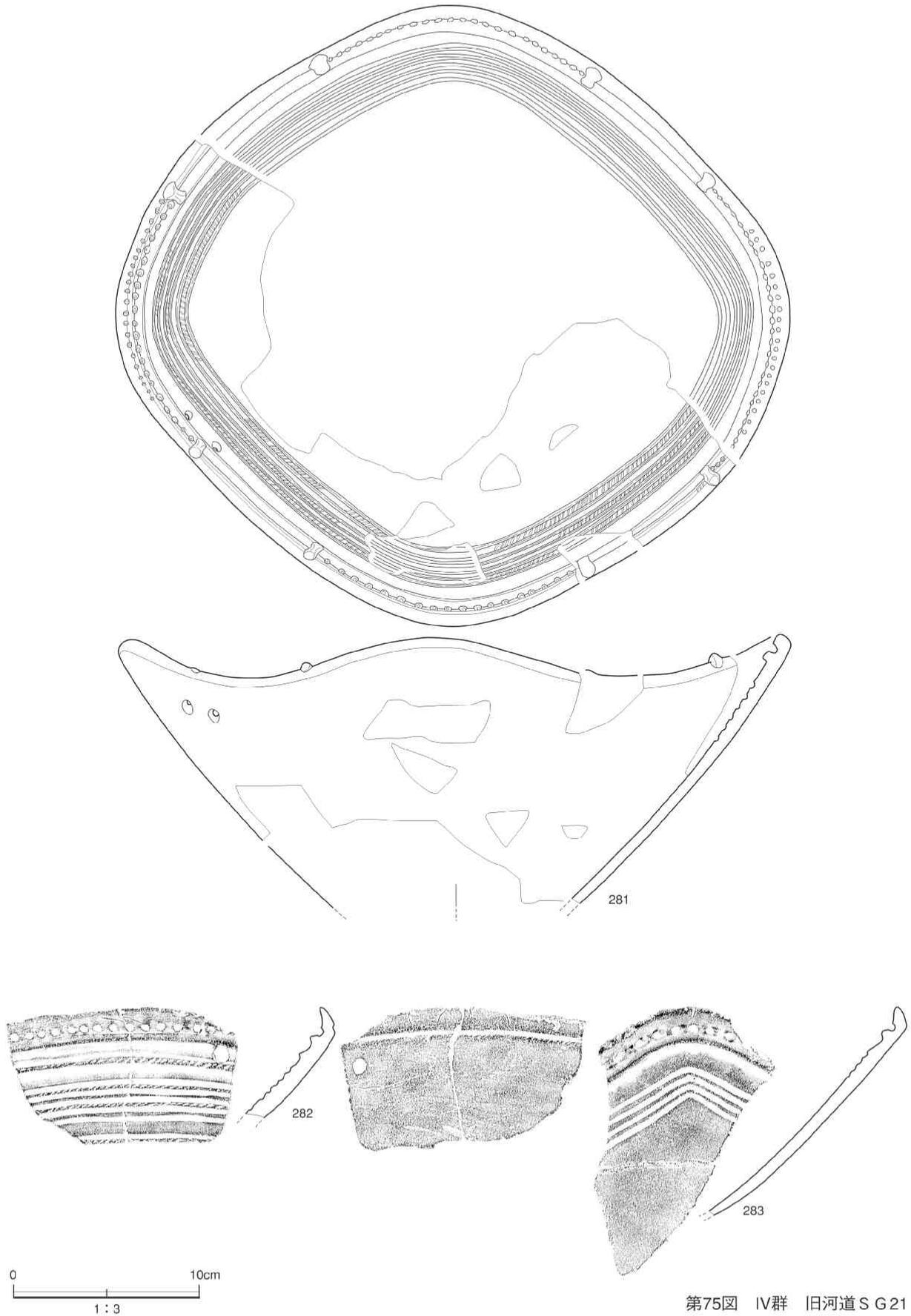
第72図 IV群 旧河道SG21



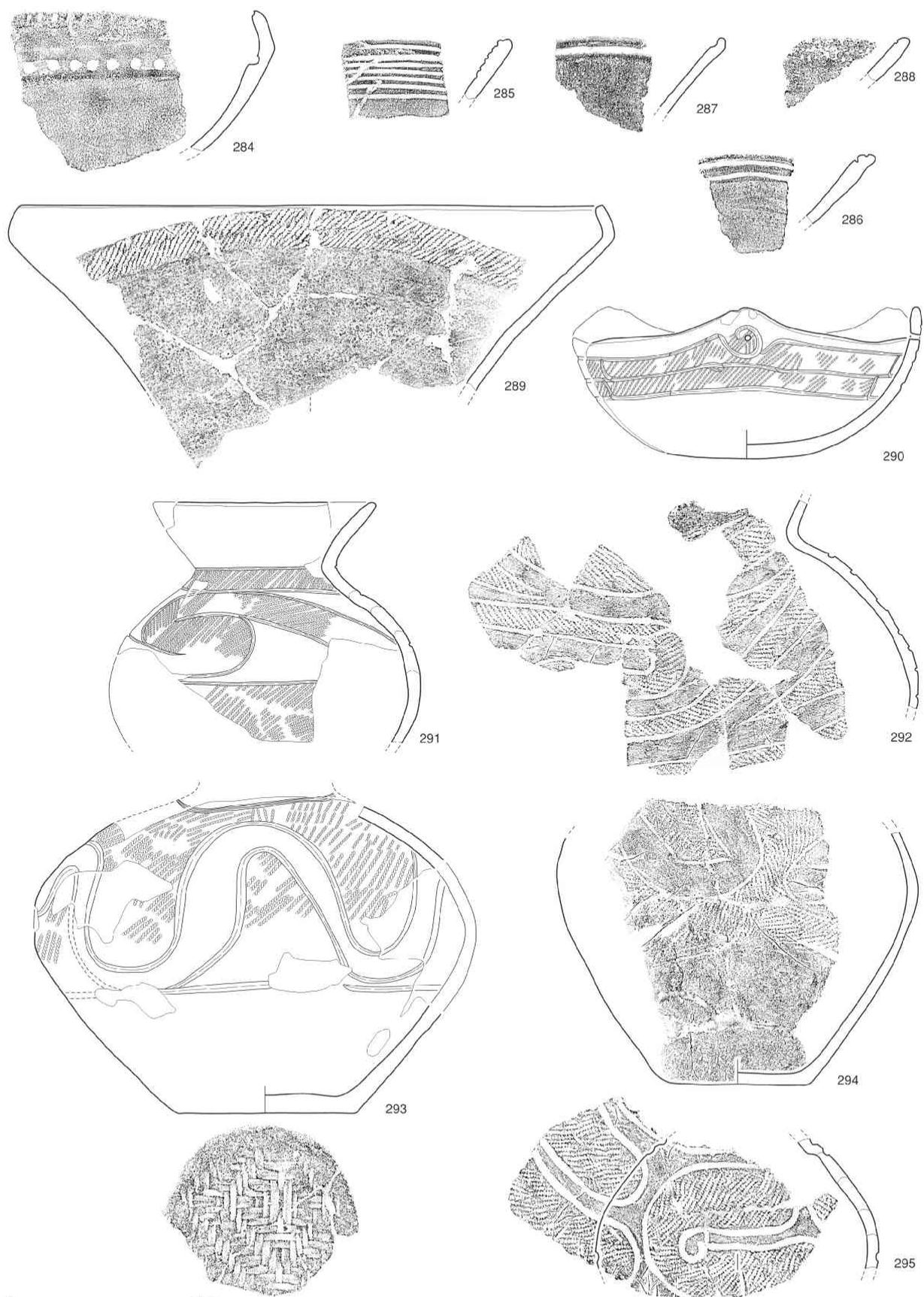
第73図 IV群 旧河道 S G 21



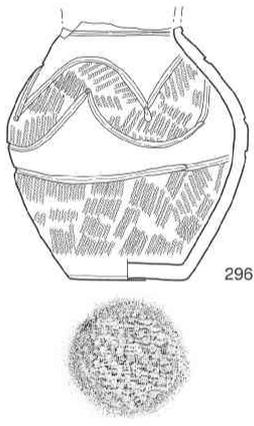
第74図 IV群 旧河道SG21



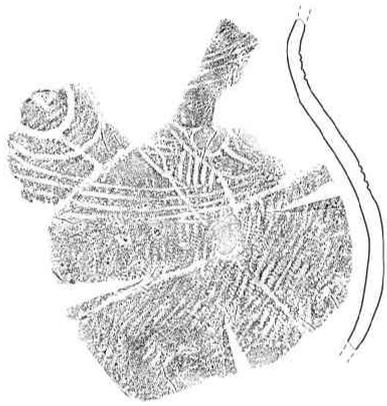
第75図 IV群 旧河道SG21



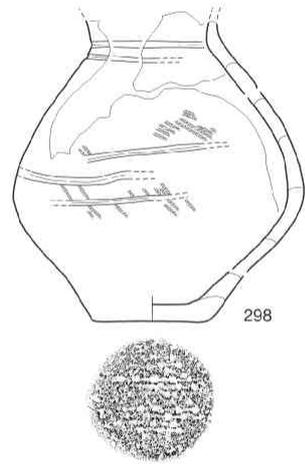
第76図 IV群 旧河道SG21



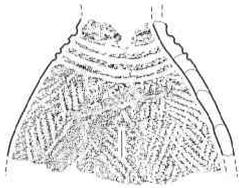
296



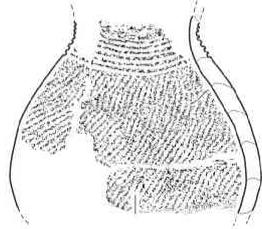
297



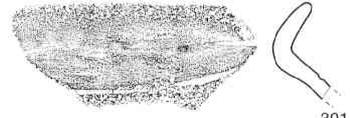
298



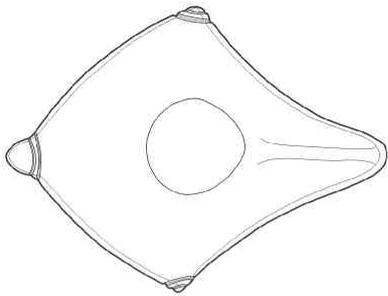
299



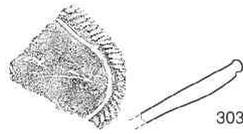
300



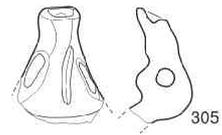
301



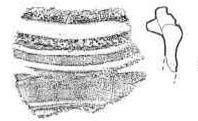
302



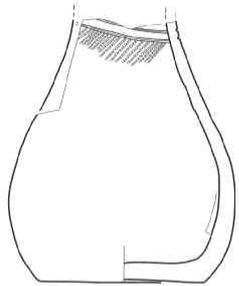
303



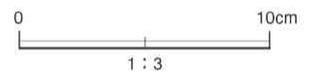
305



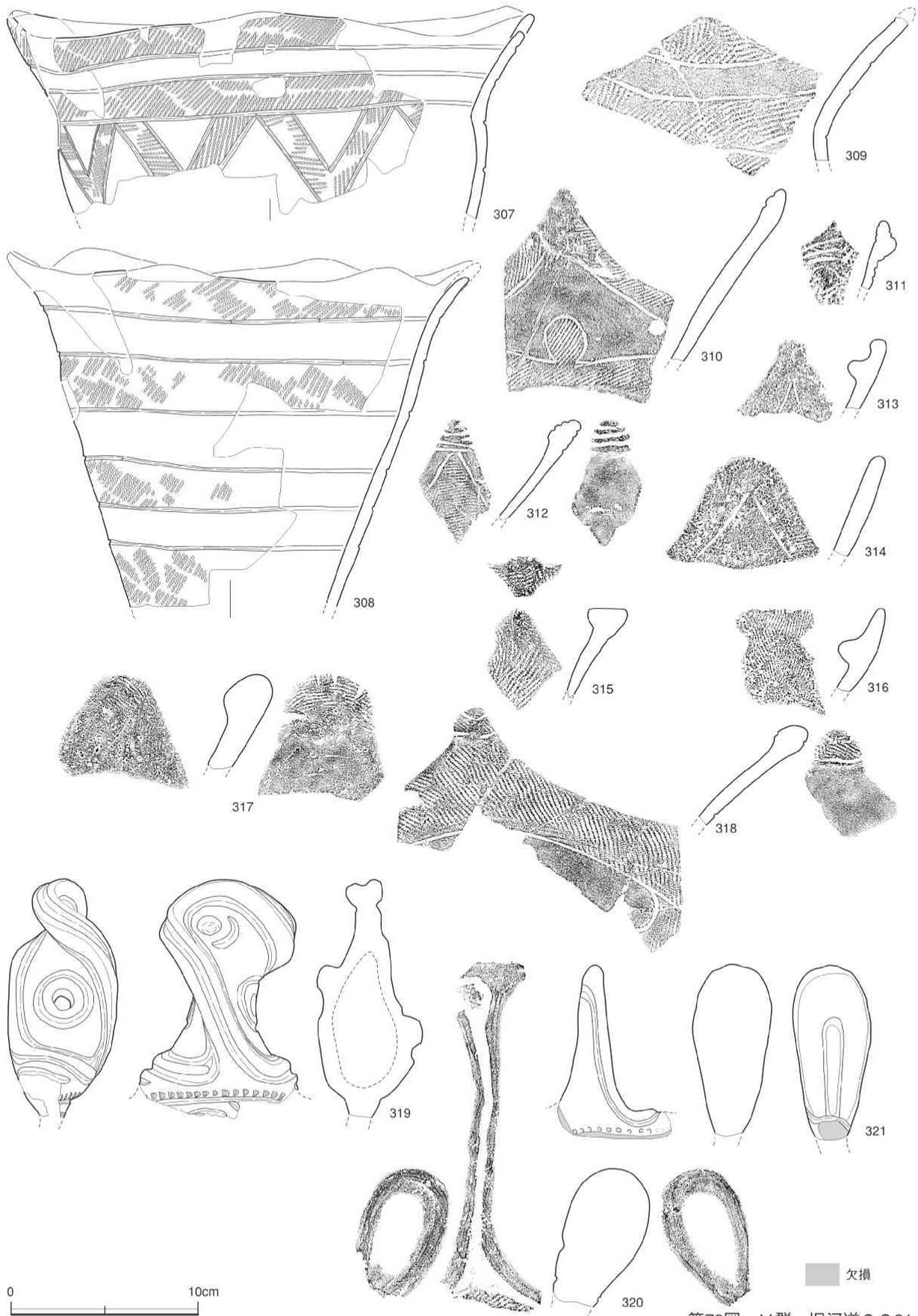
306



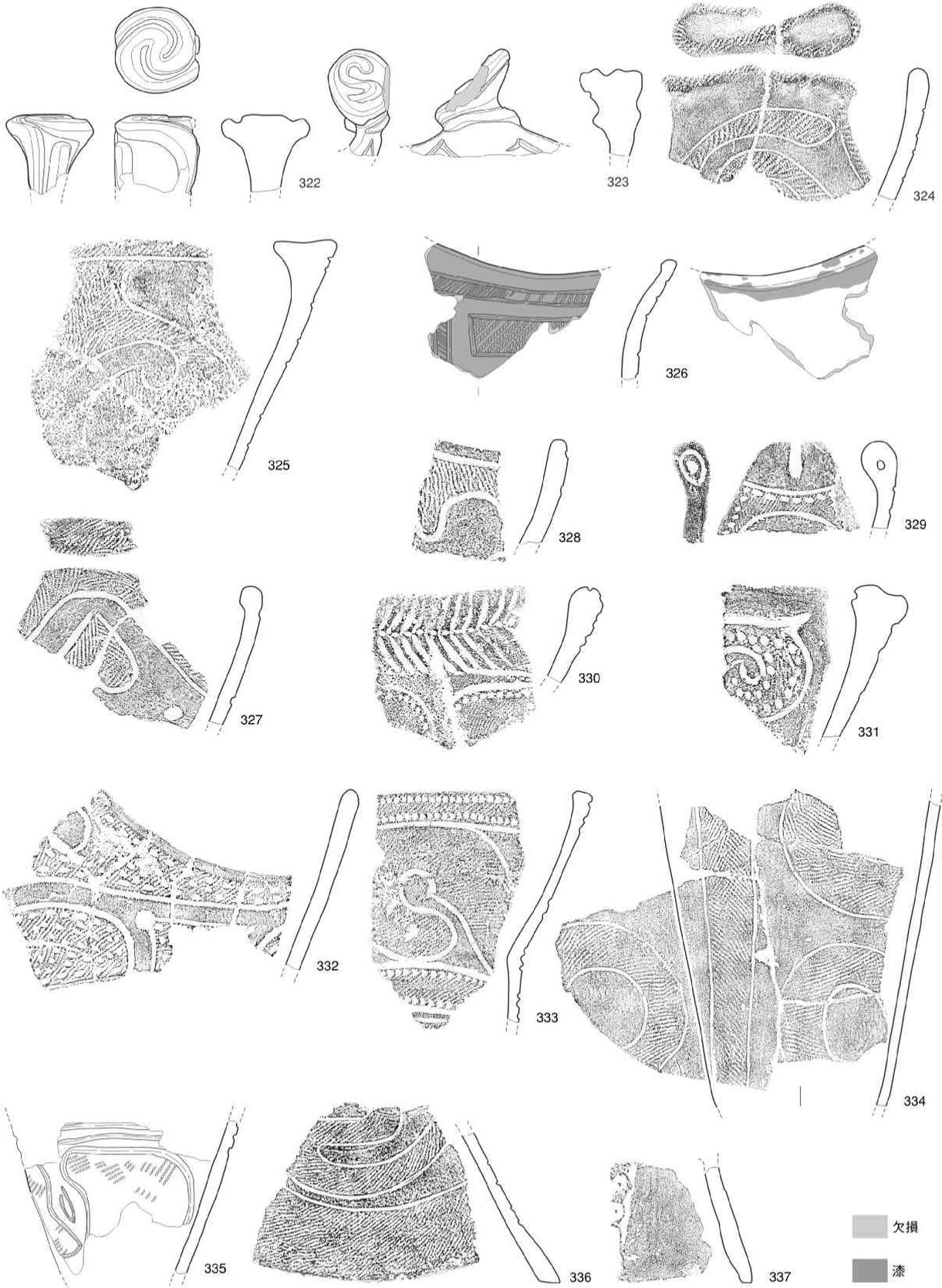
304



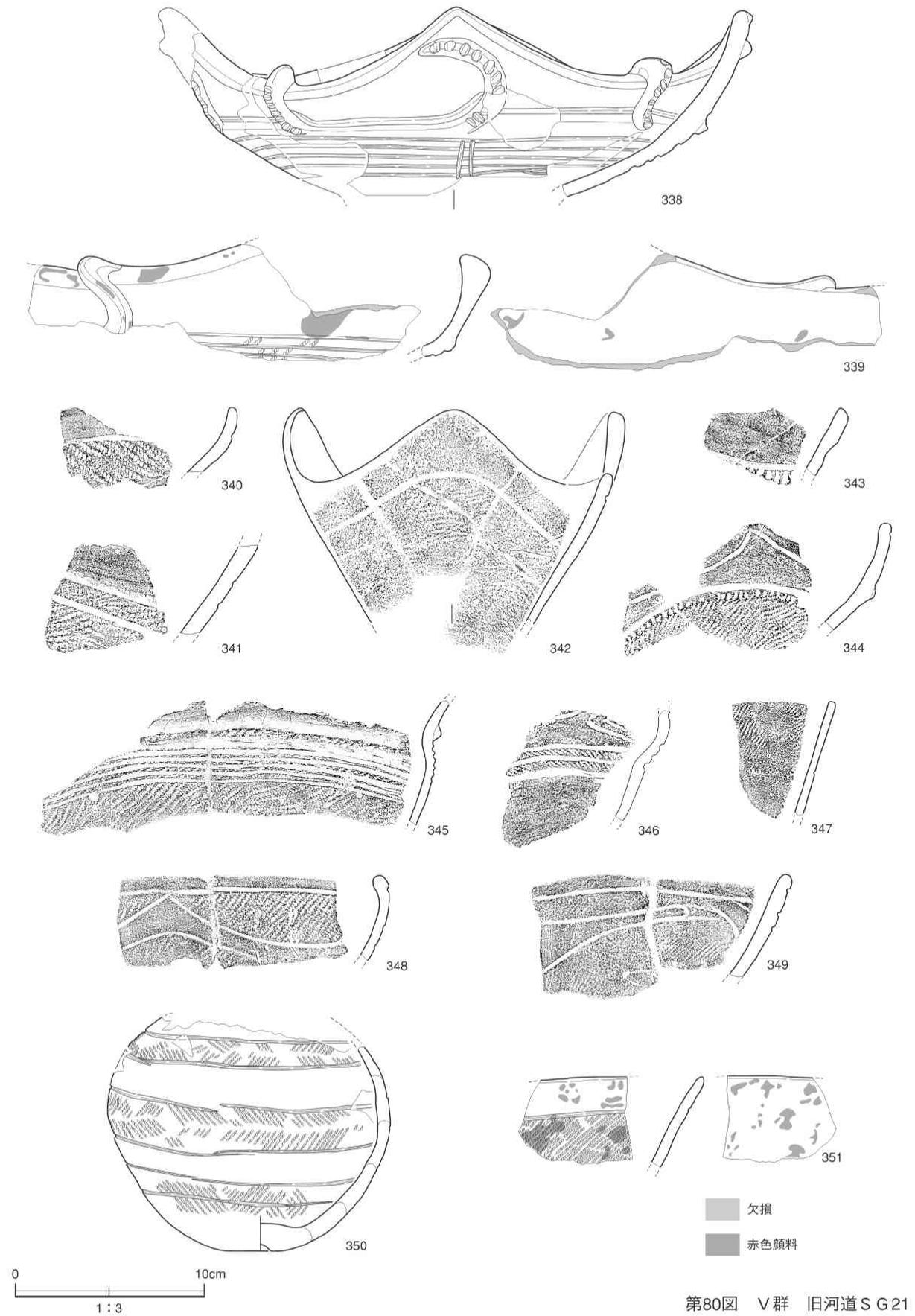
第77図 IV群 旧河道 S G 21

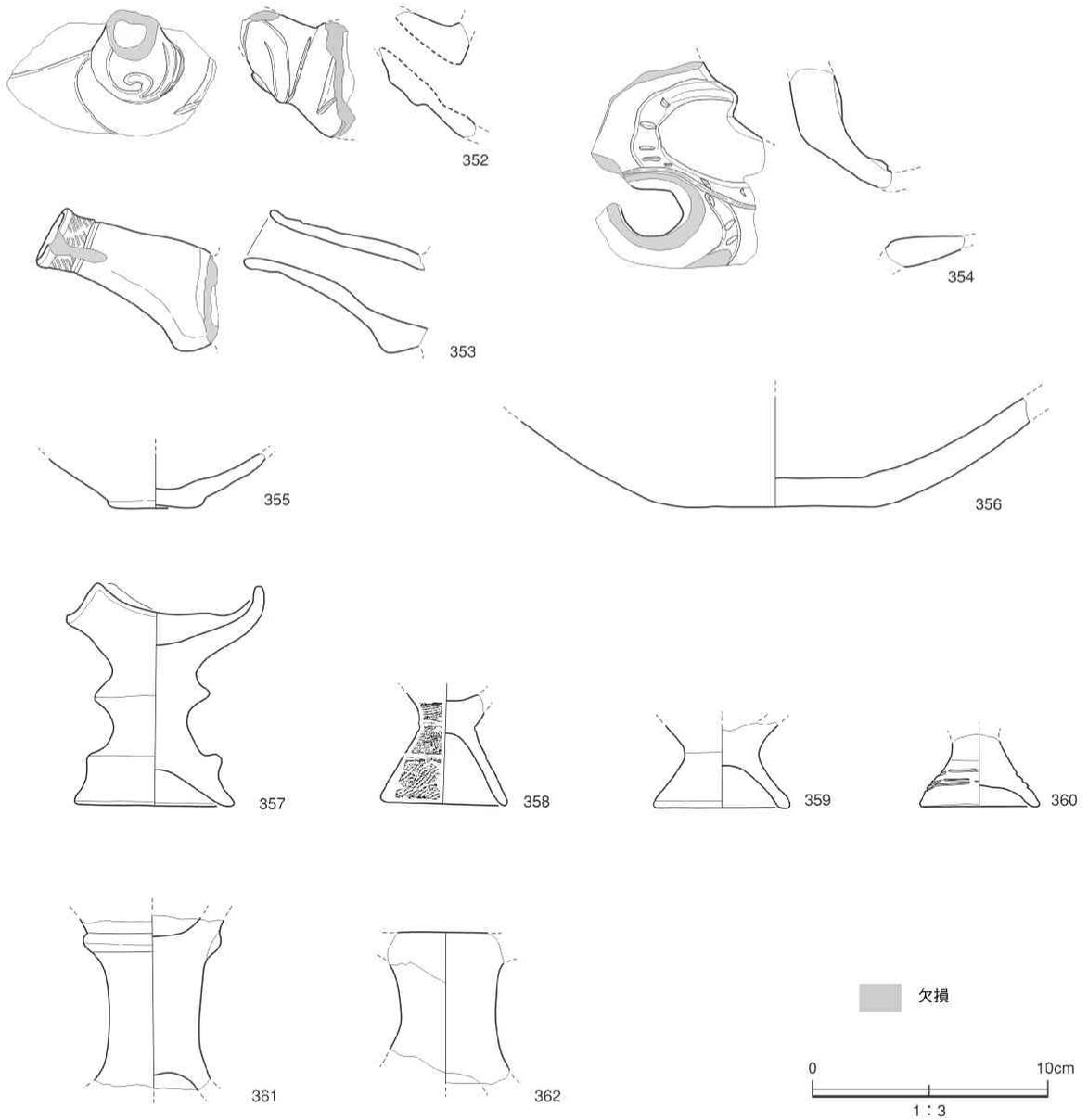


第78図 V群 旧河道 S G 21



第79図 V群 旧河道SG21

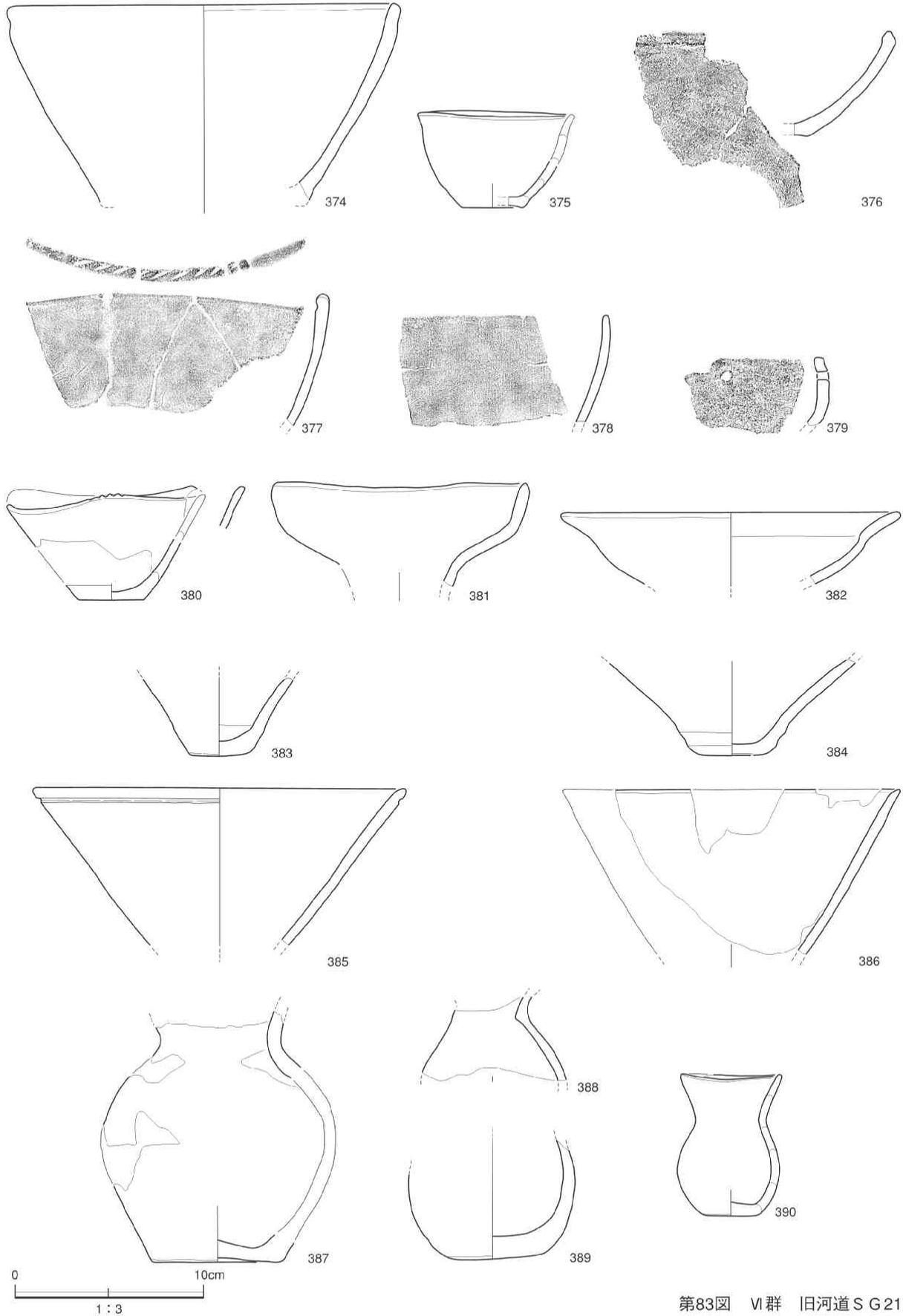




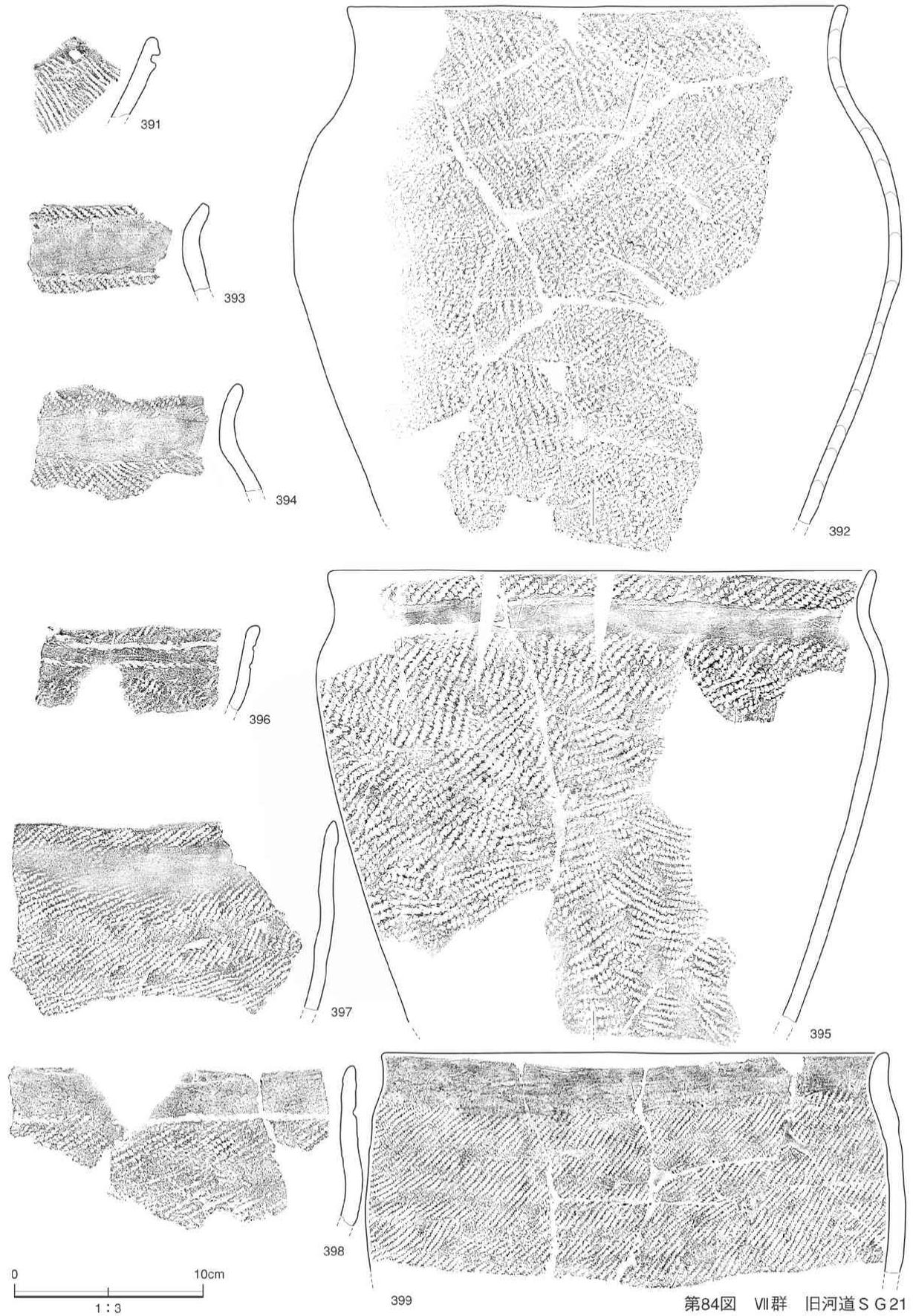
第81図 V群 旧河道SG21



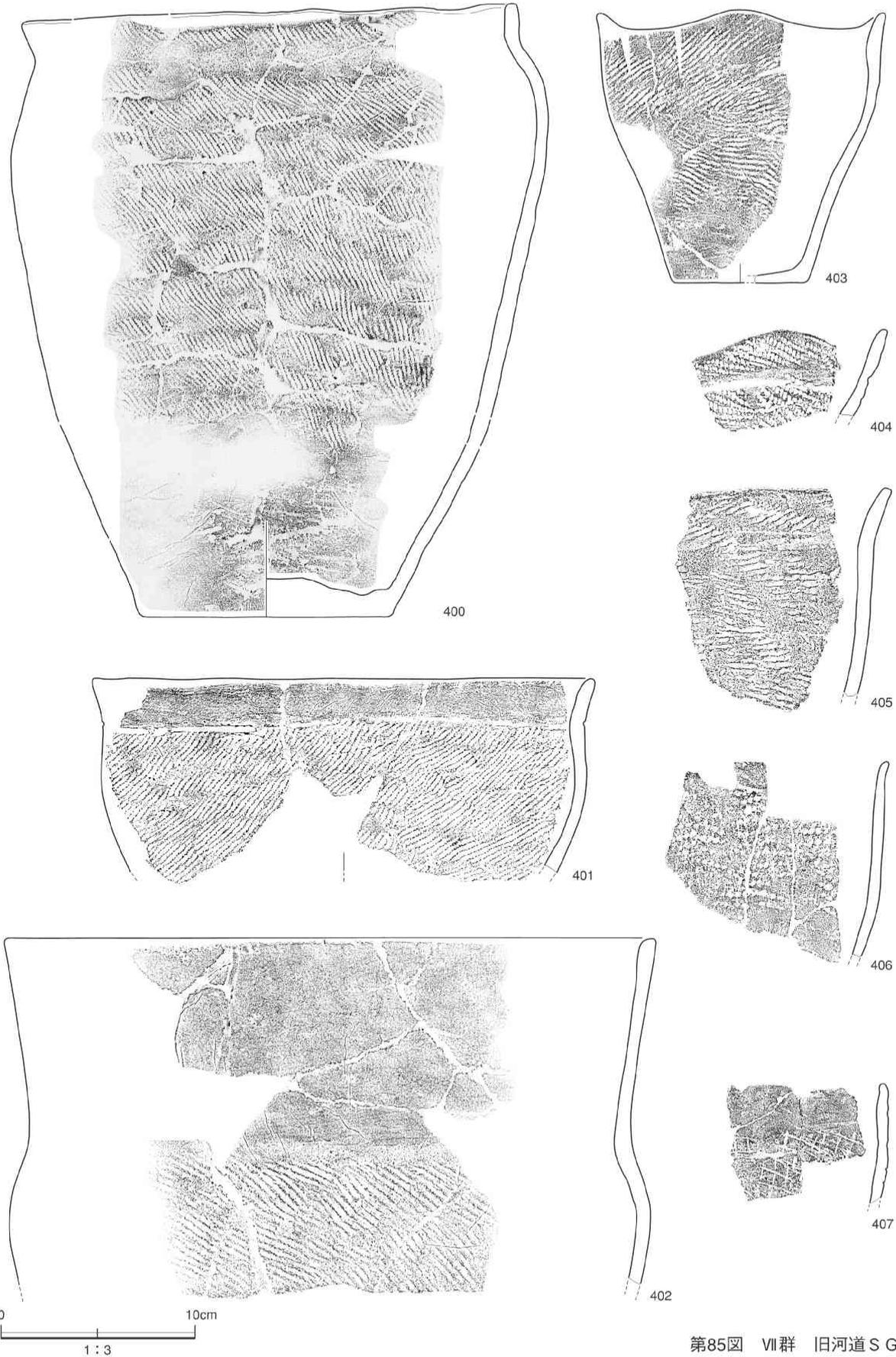
第82図 VI群 旧河道SG21

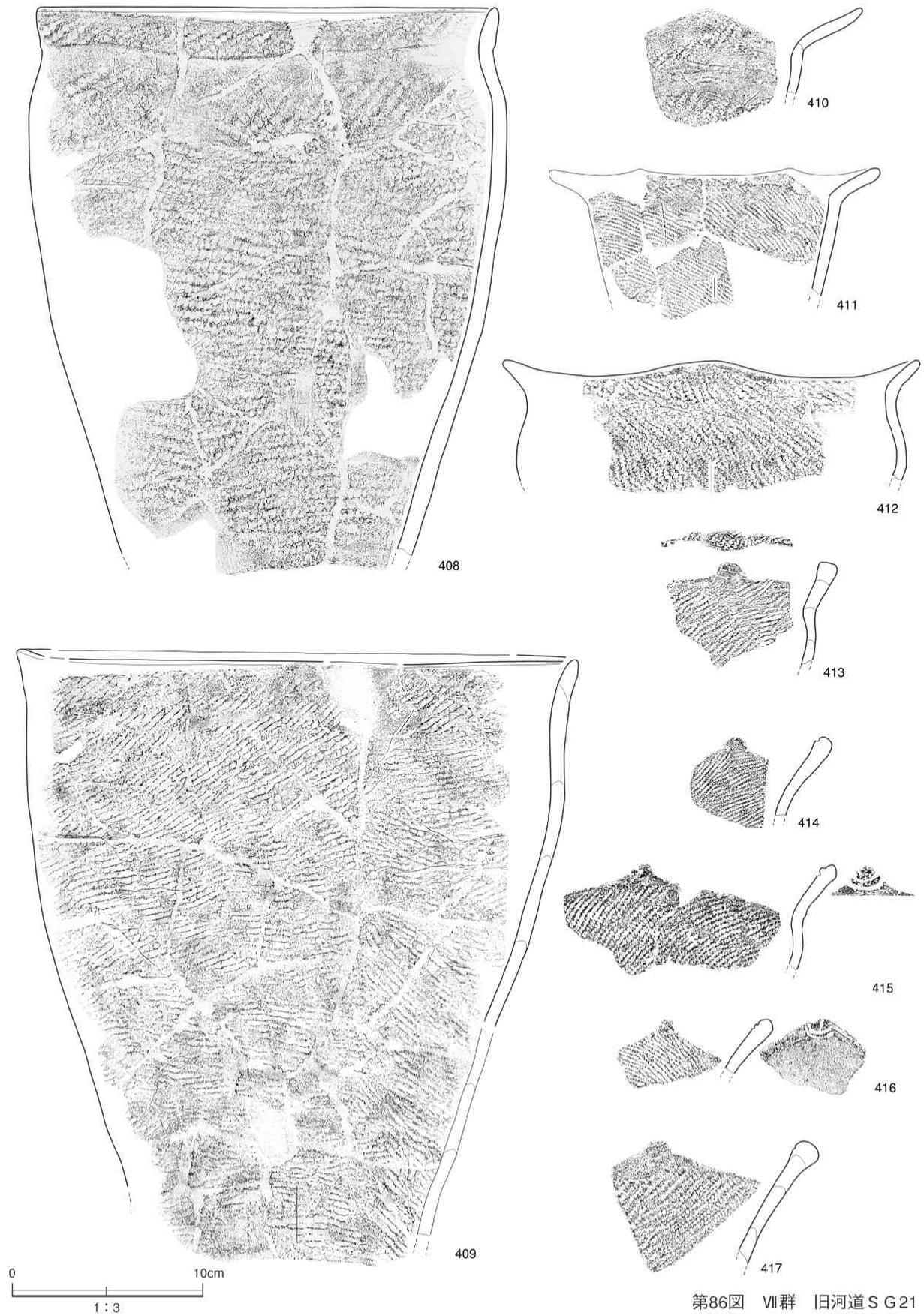


第83図 VI群 旧河道SG21

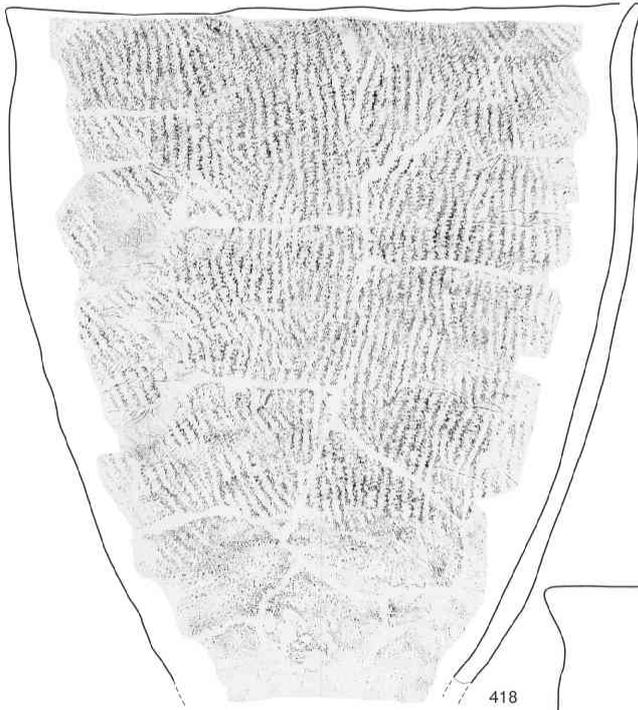


第84図 VII群 旧河道 S G 21

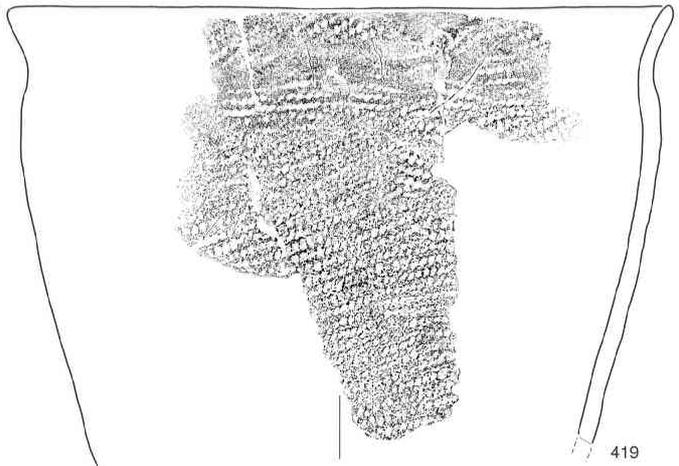




第86図 VII群 旧河道SG21



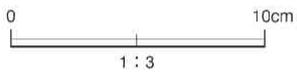
418



419

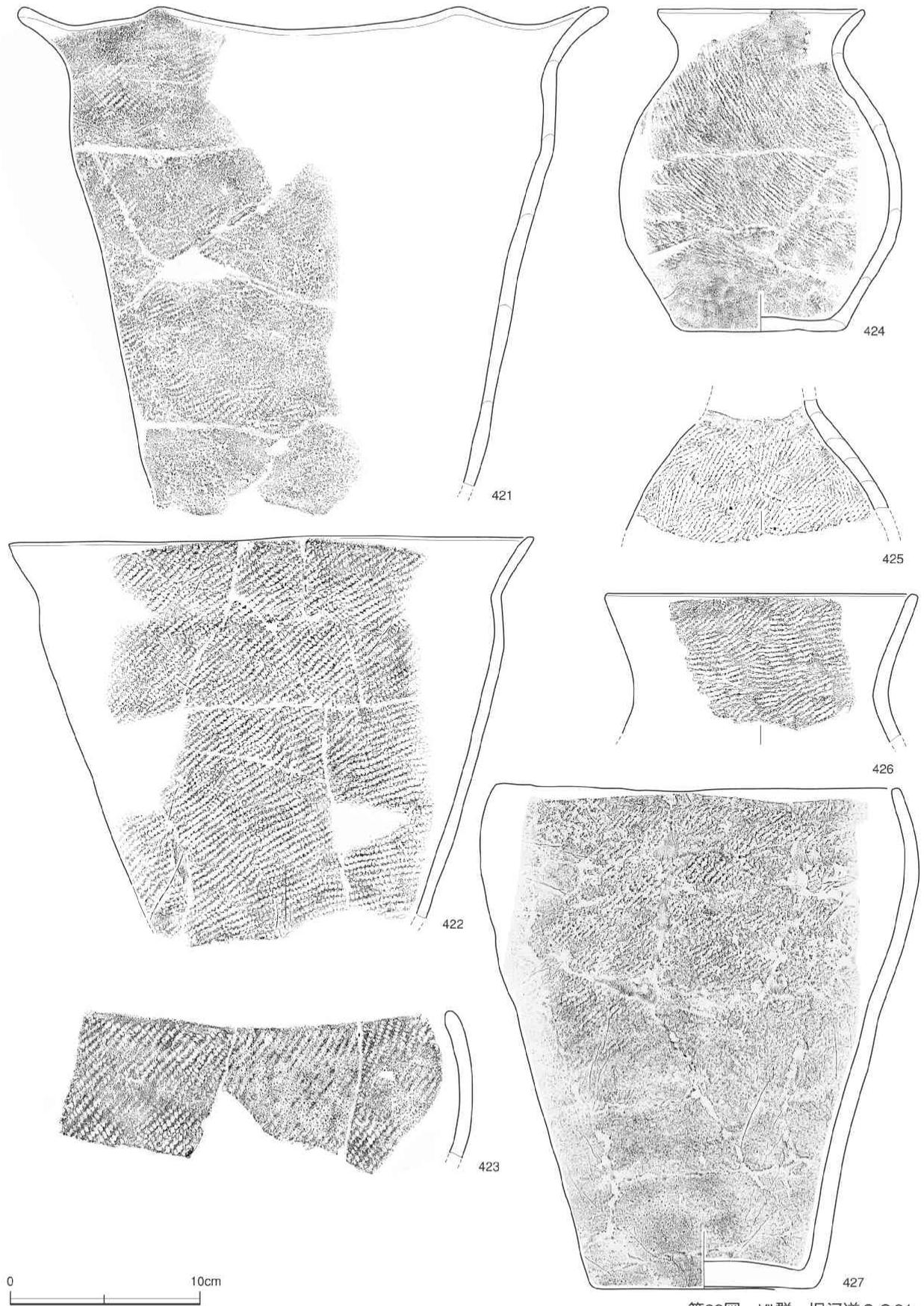


420

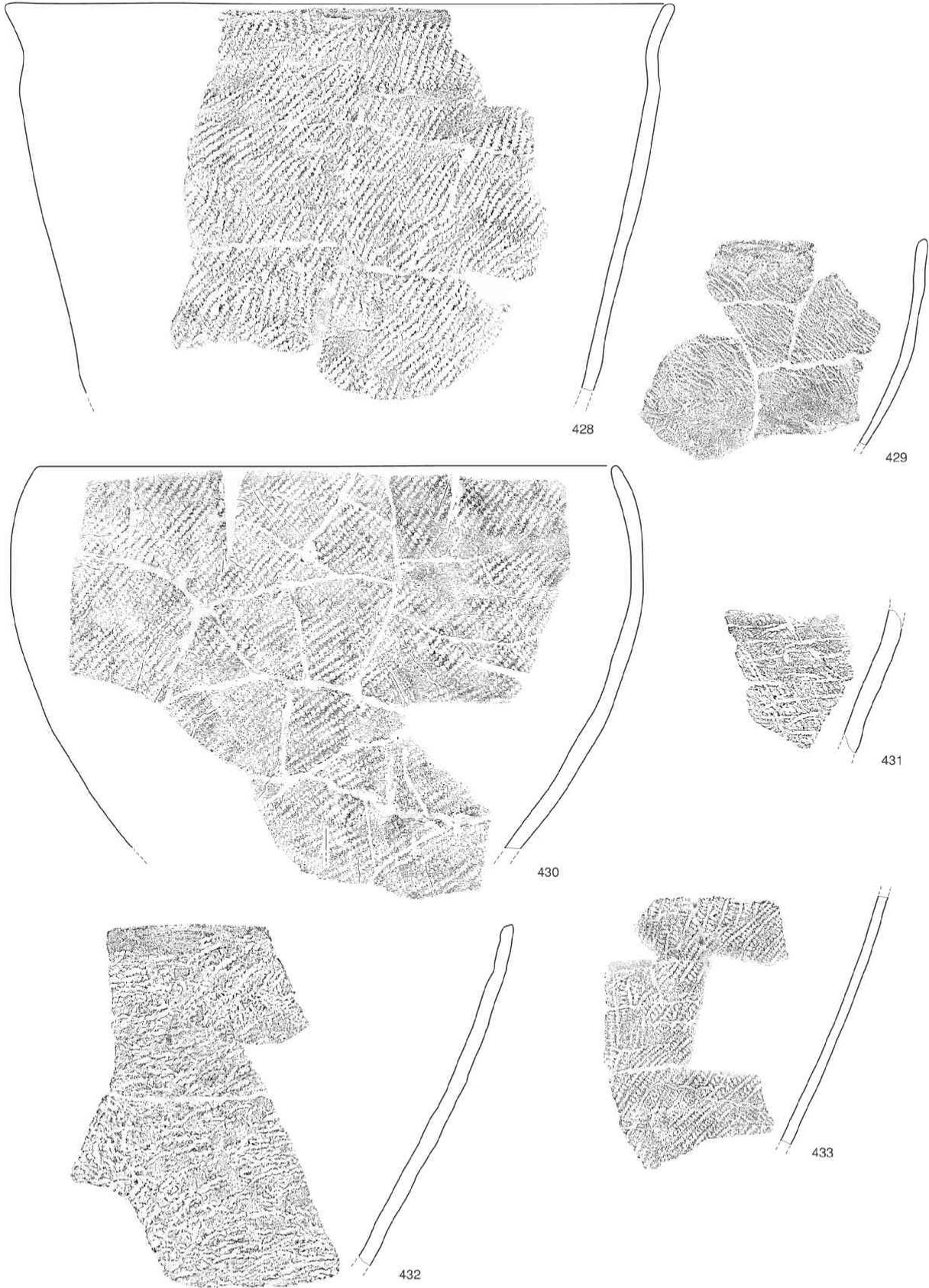


1:3

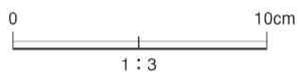
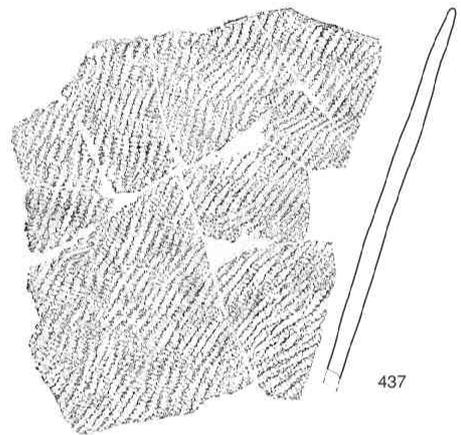
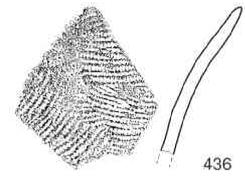
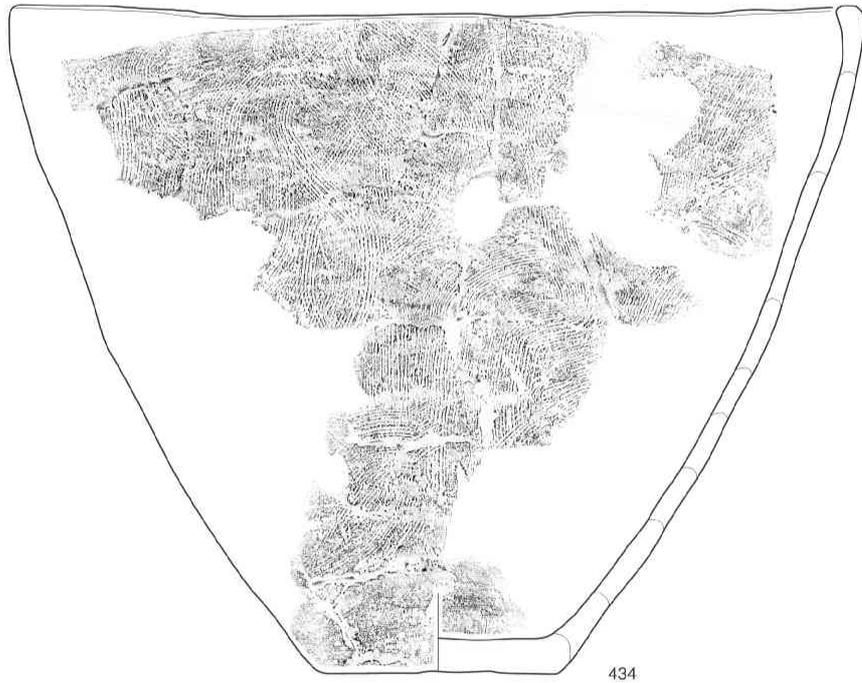
第87図 VII群 旧河道 S G 21



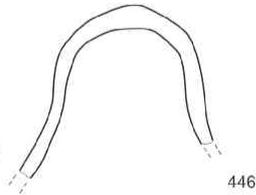
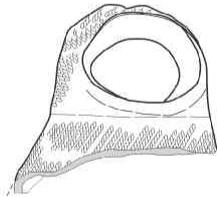
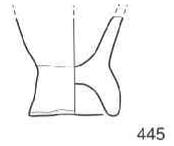
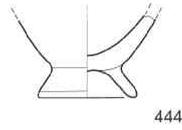
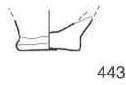
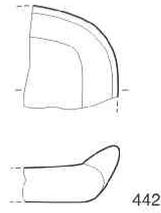
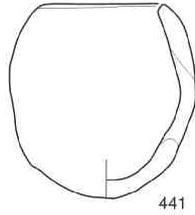
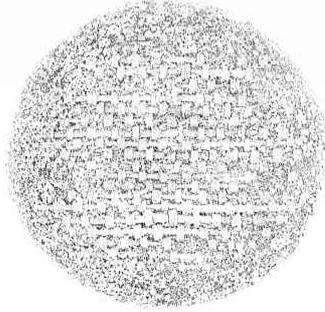
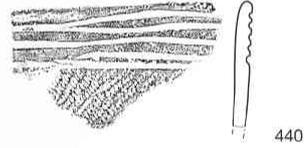
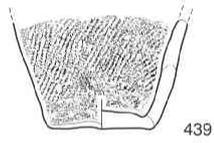
第88図 VII群 旧河道 S G 21



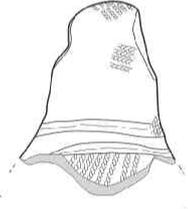
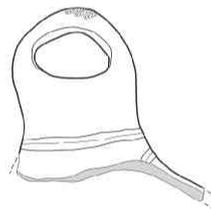
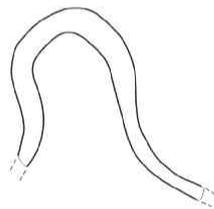
第89図 VII群 旧河道SG21



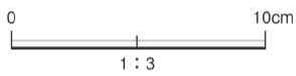
第90図 VII群 旧河道 S G 21



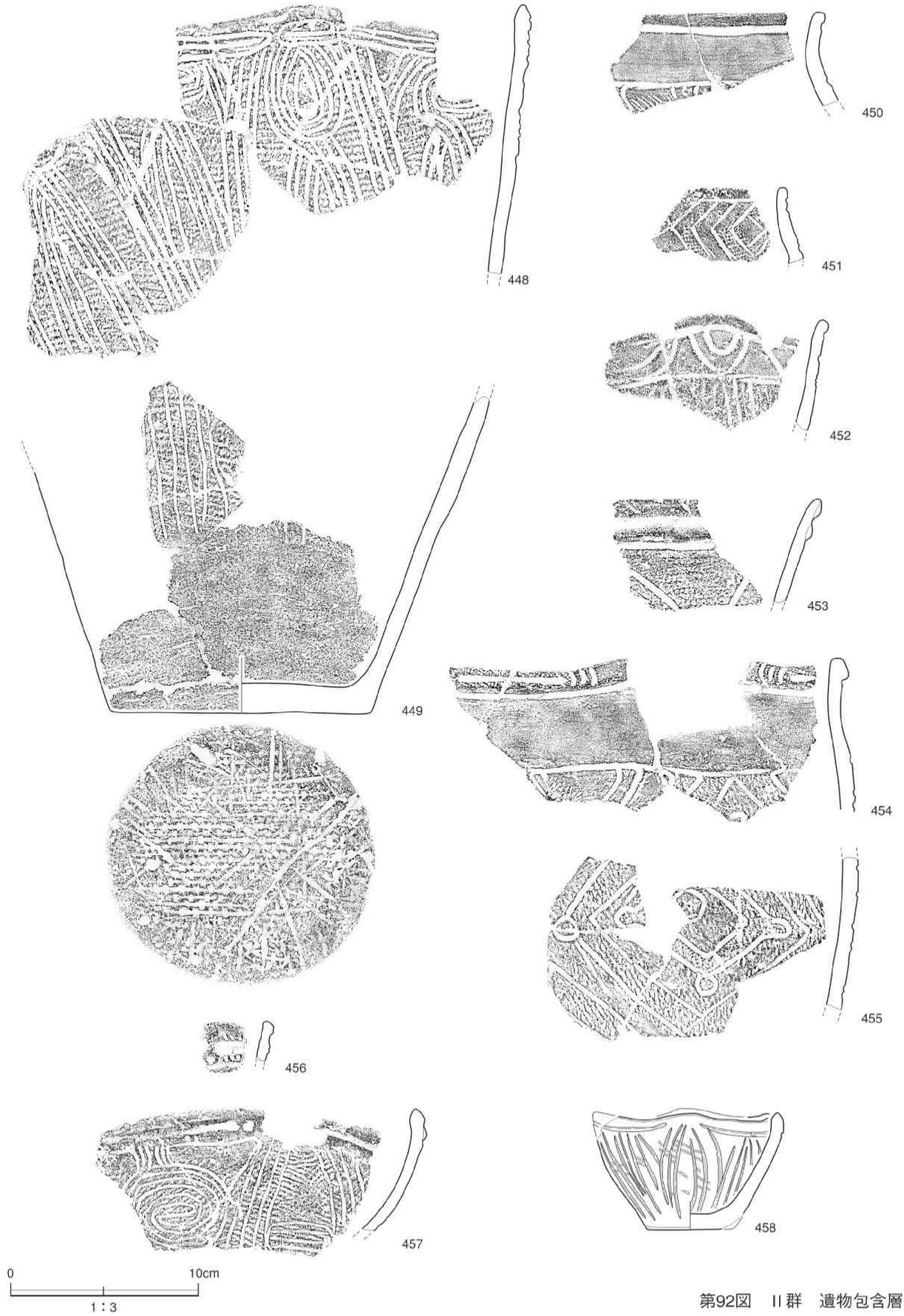
■ 欠損

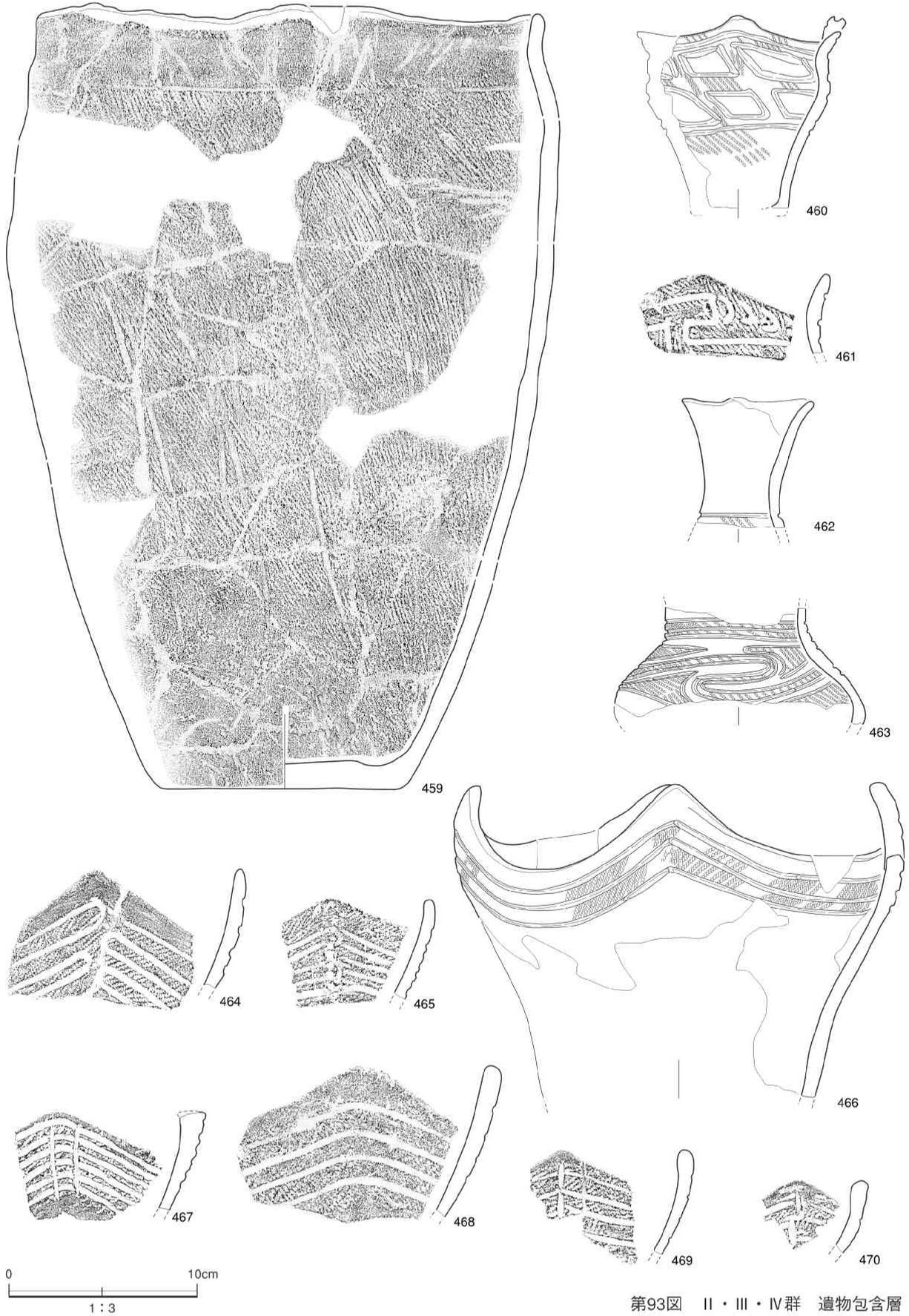


447

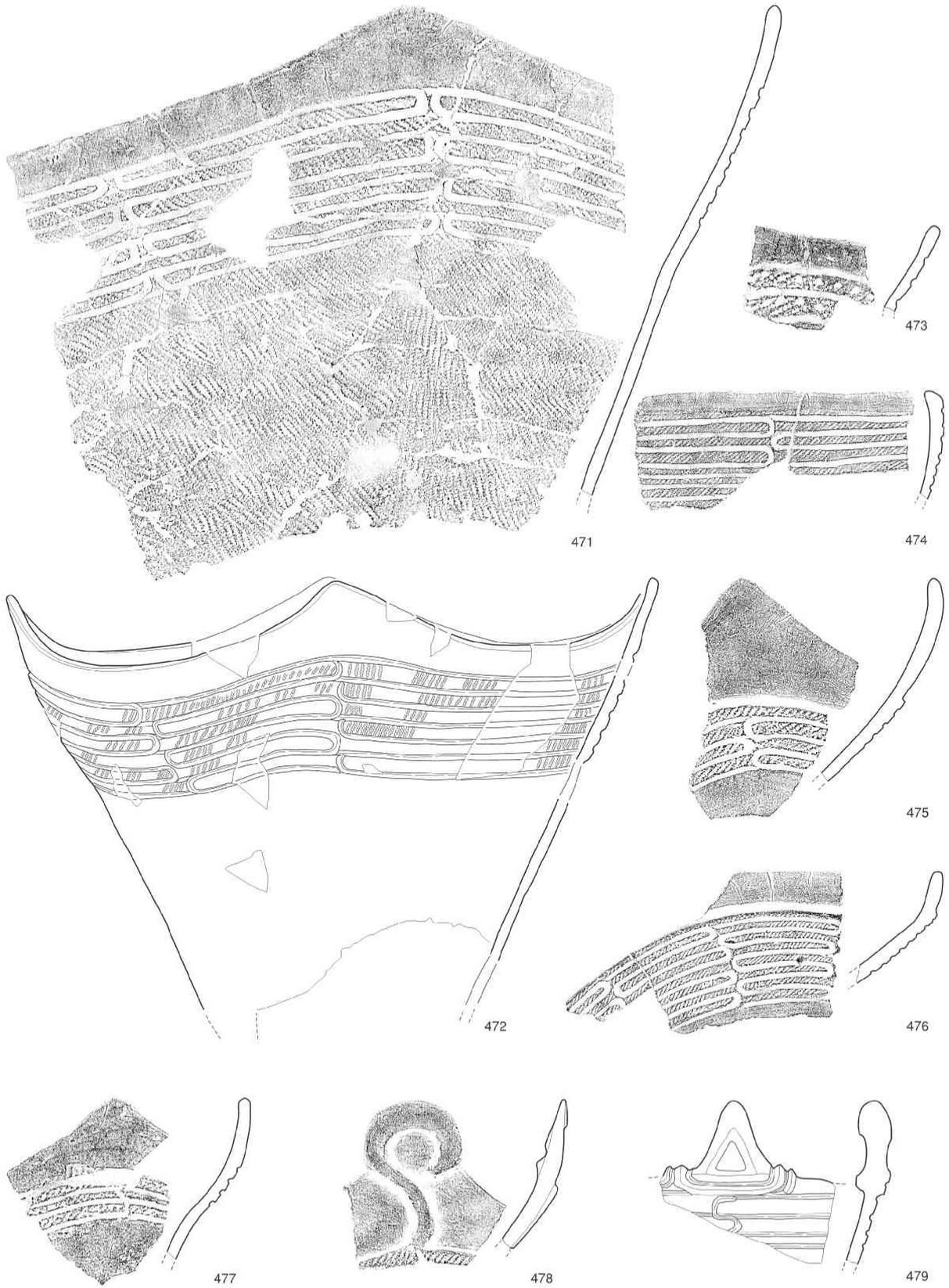


第91図 VII・VIII群 旧河道SG21

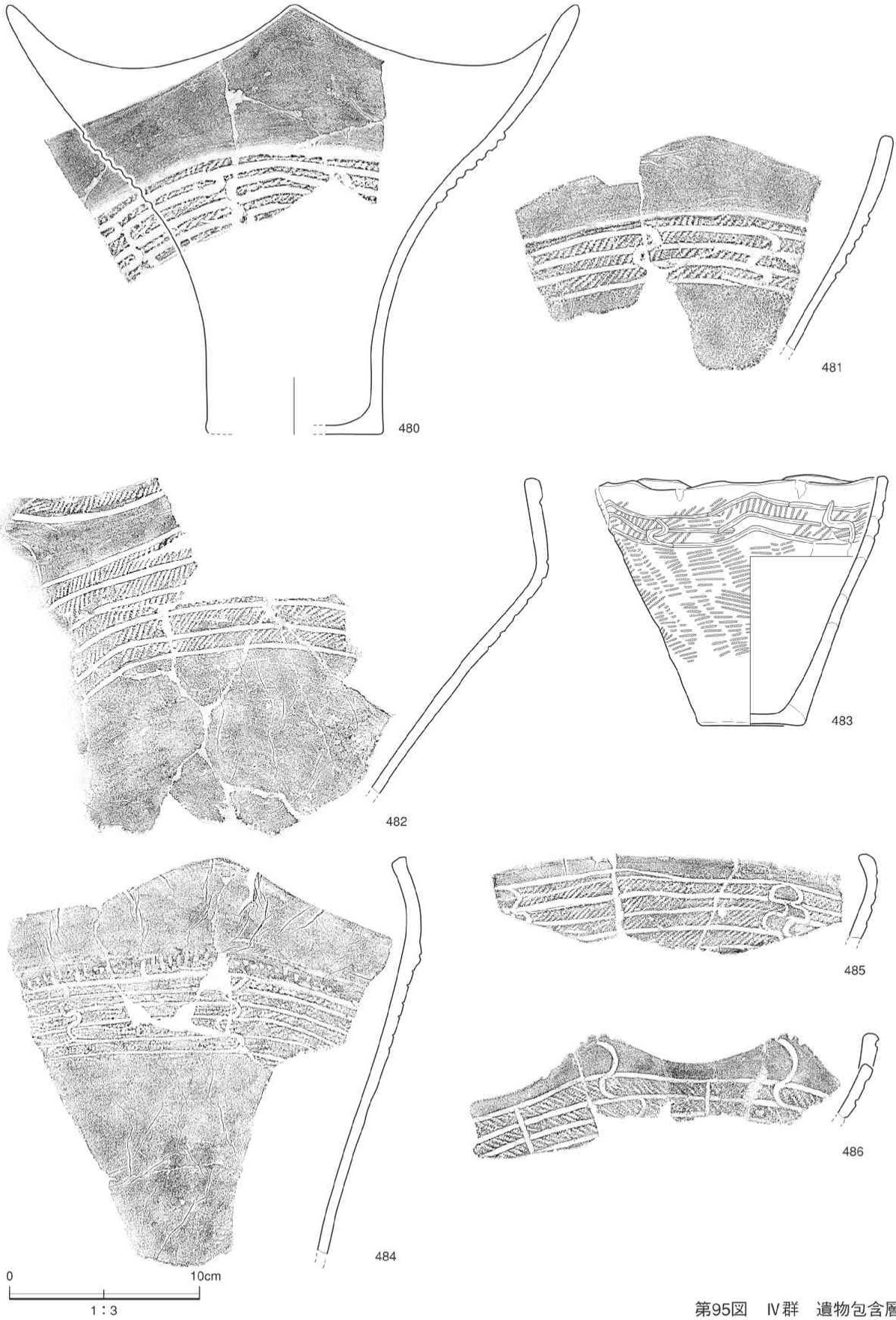




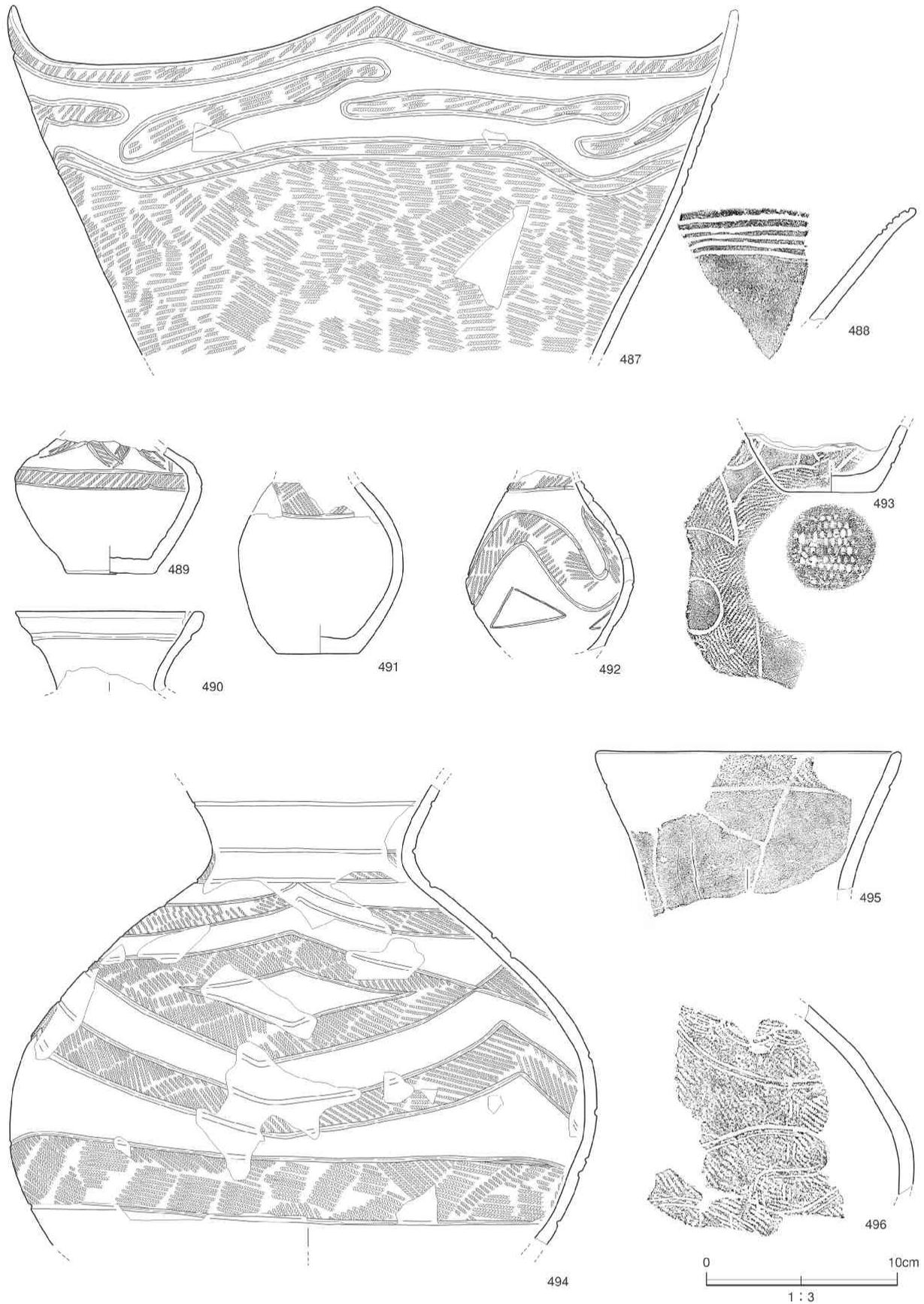
第93図 II・III・IV群 遺物包含層



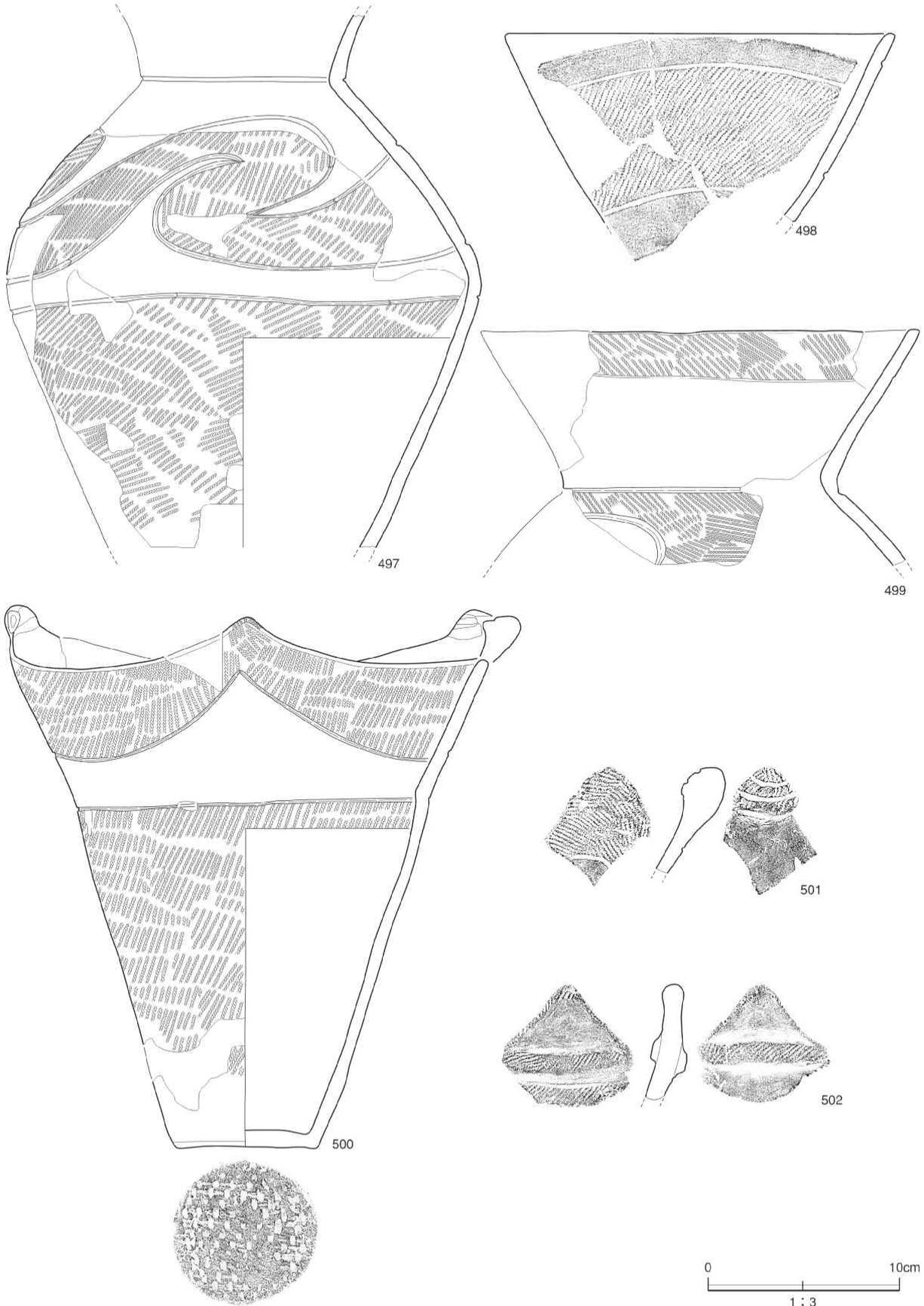
第94図 IV群 遺物包含層



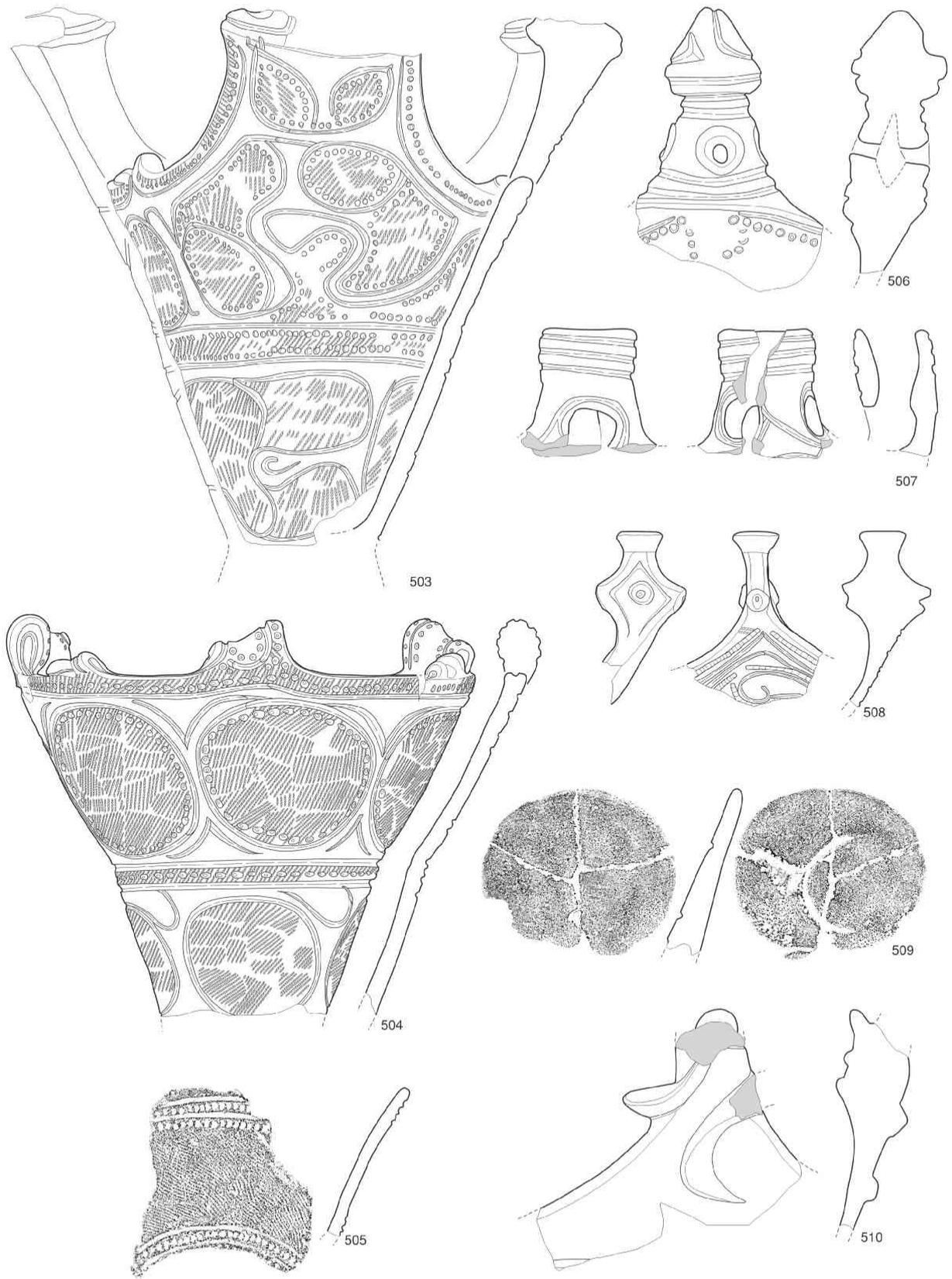
第95図 IV群 遺物包含層



第96図 IV群 遺物包含層

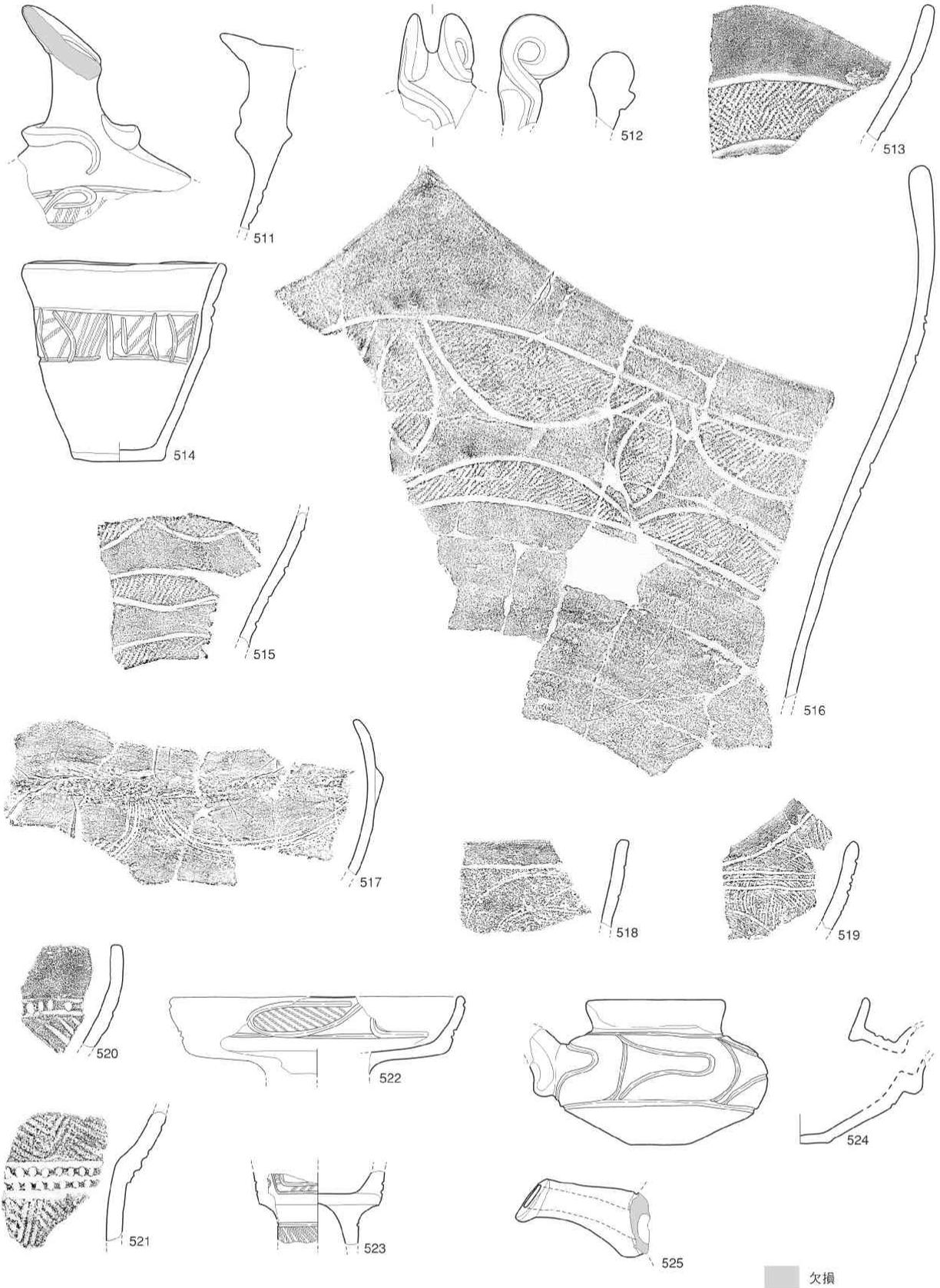


第97図 IV・V群 遺物包含層



0 10cm
1:3

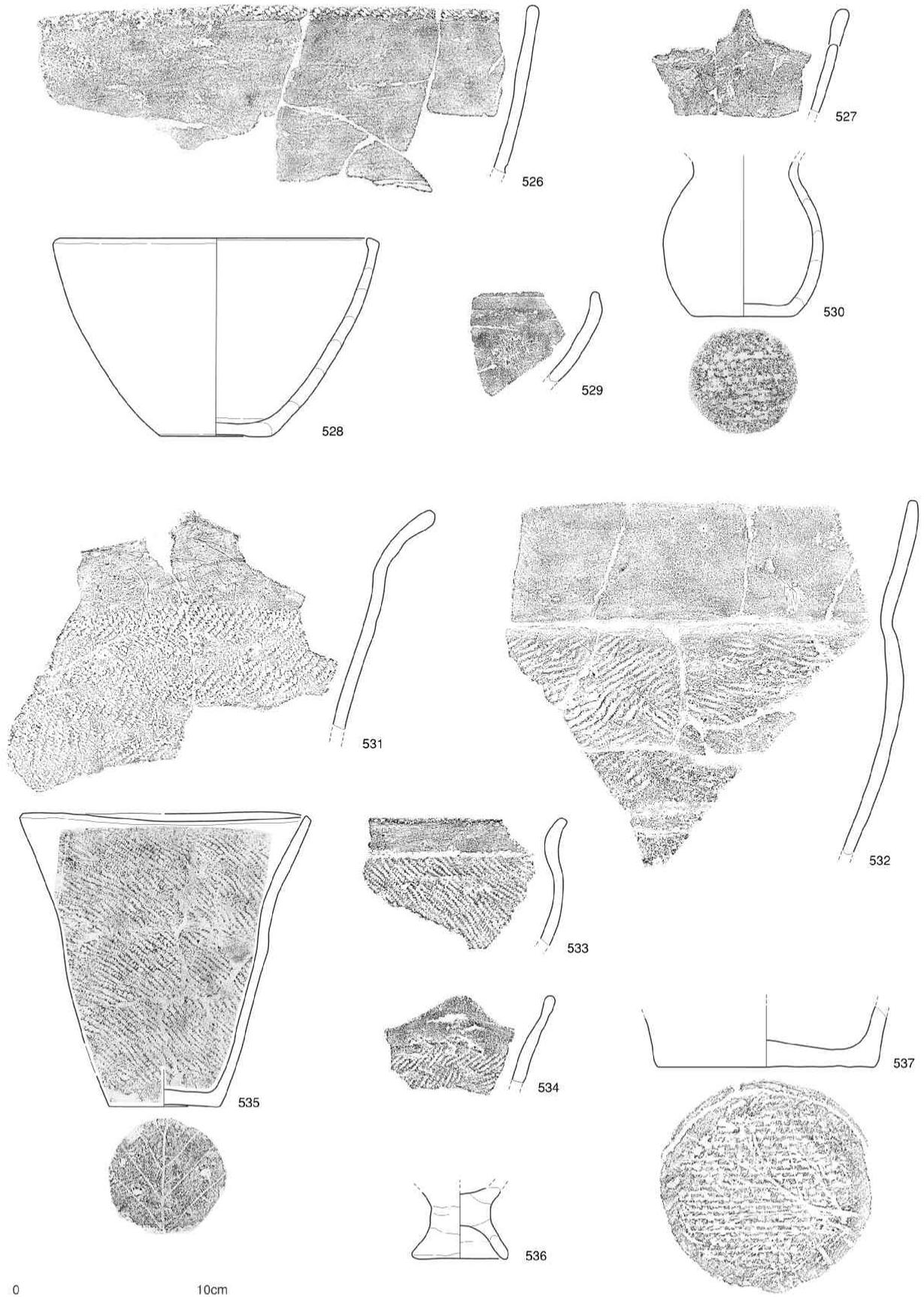
第98図 V群 遺物包含層



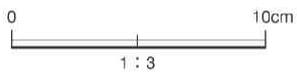
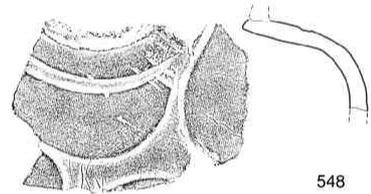
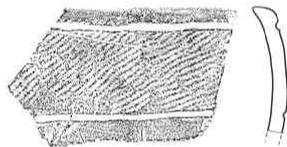
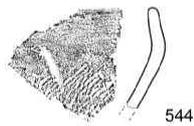
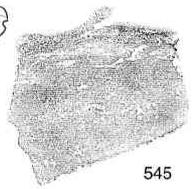
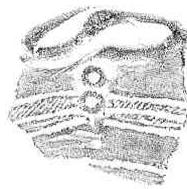
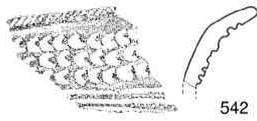
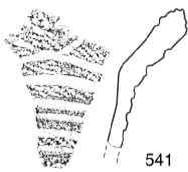
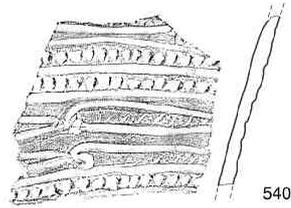
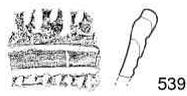
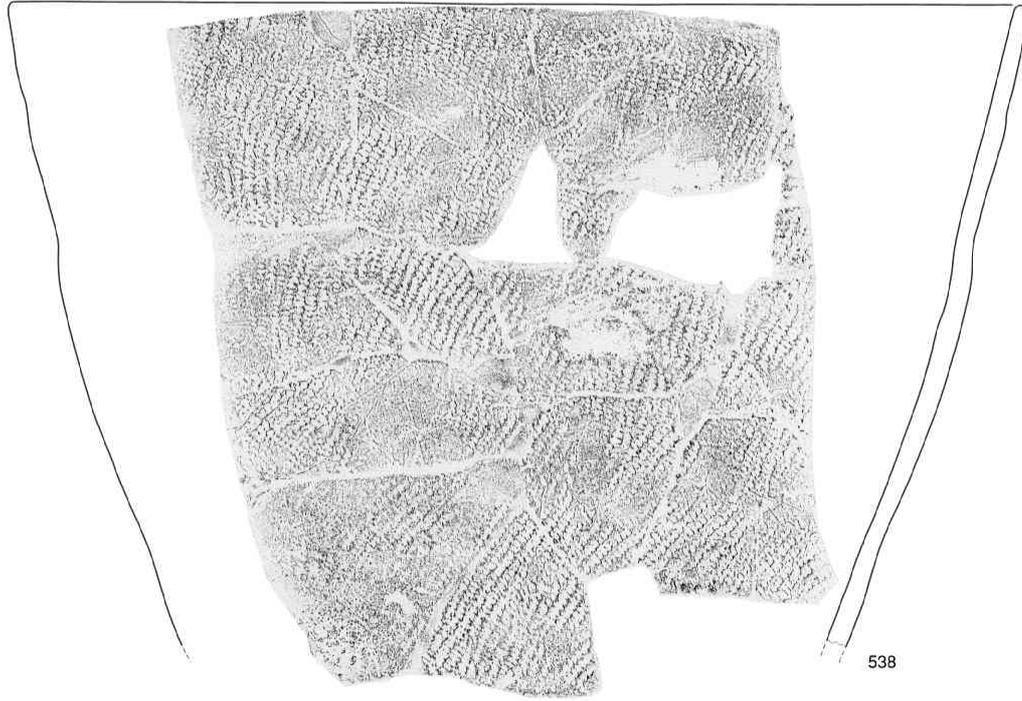
0 10cm
1 : 3

■ 欠損

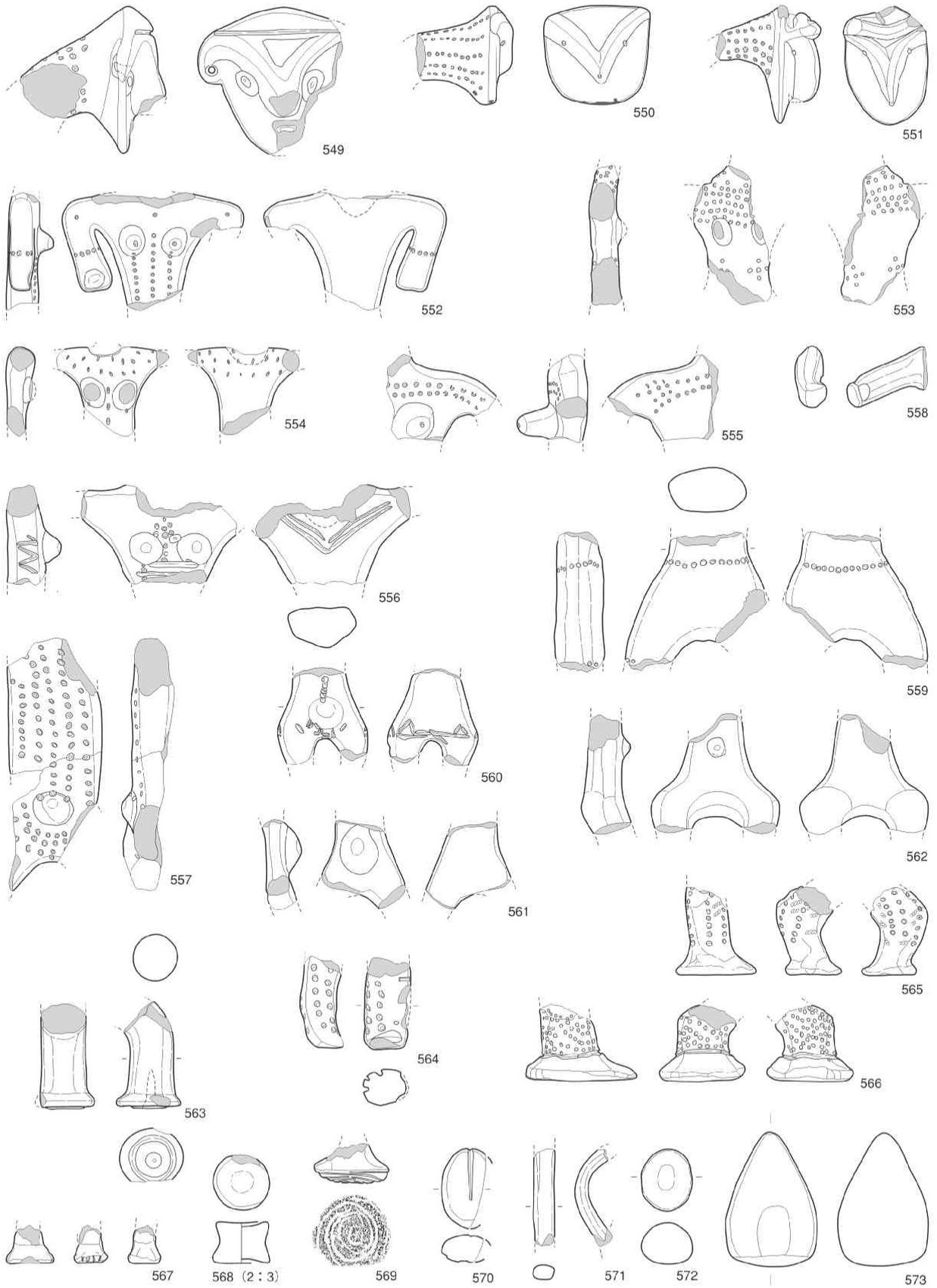
第99図 V群 遺物包含層



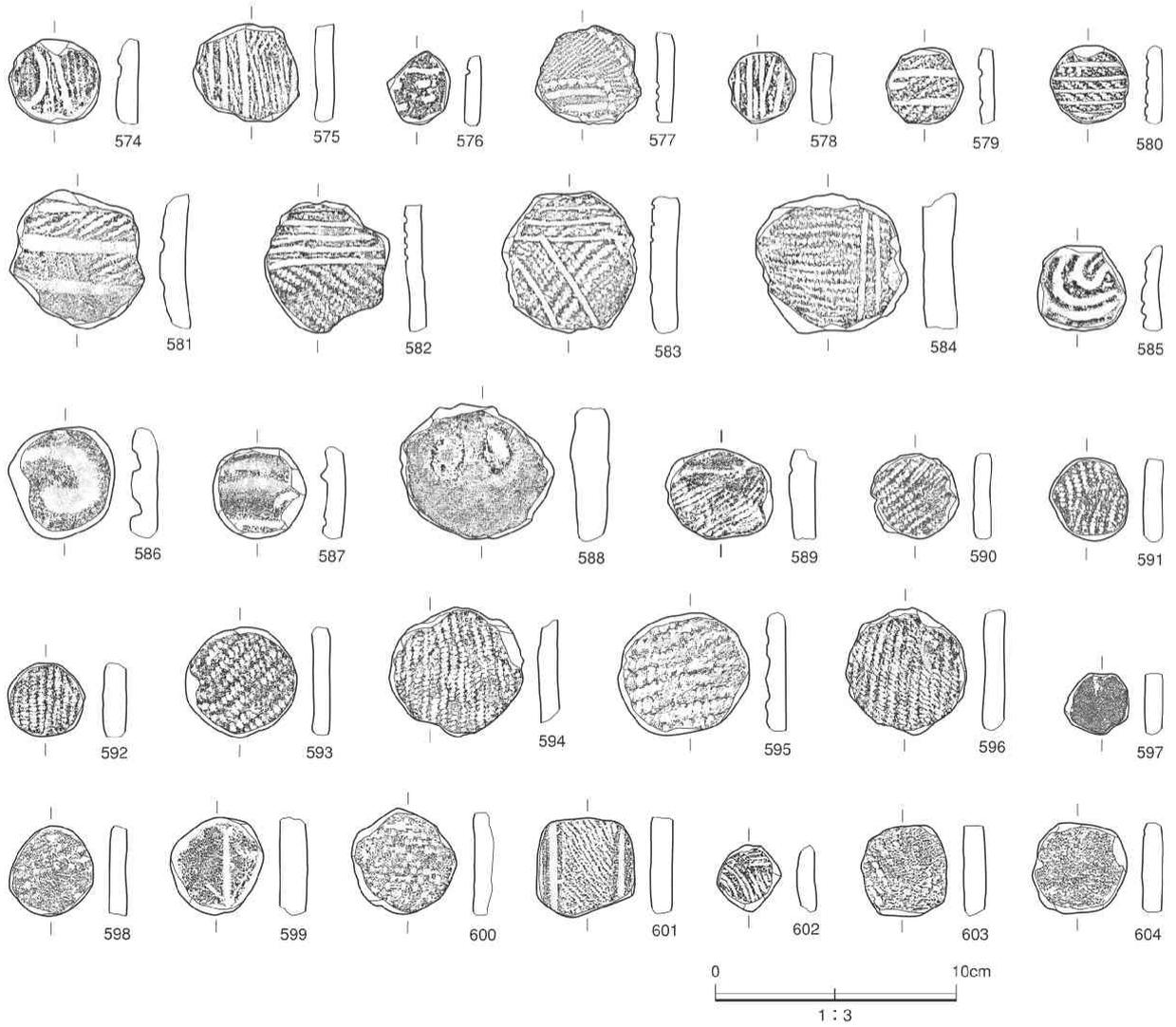
第100図 VI・VII・VIII群 遺物包含層



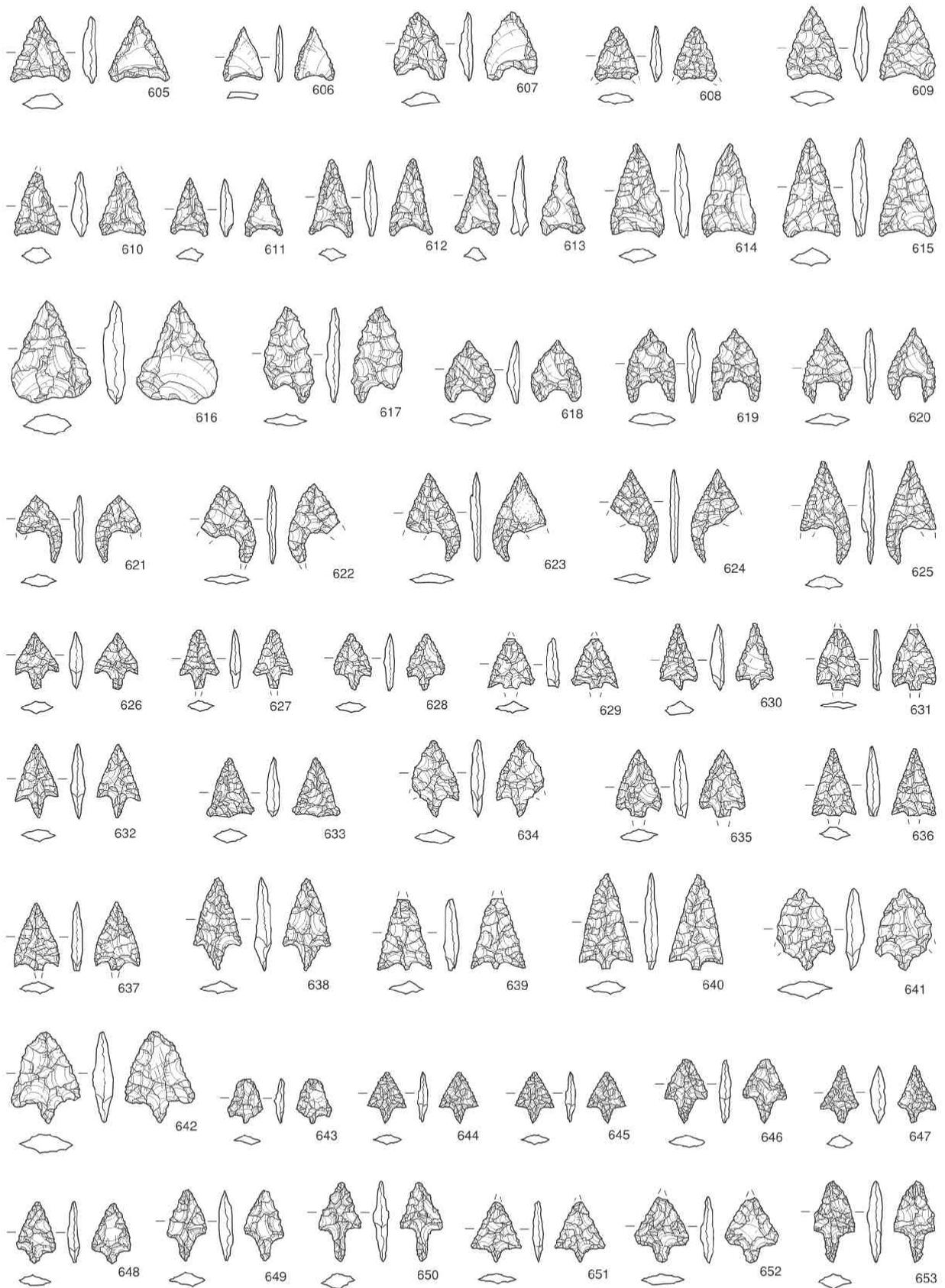
第101図 VII・VIII群 遺物包含層,出土地点不明土器



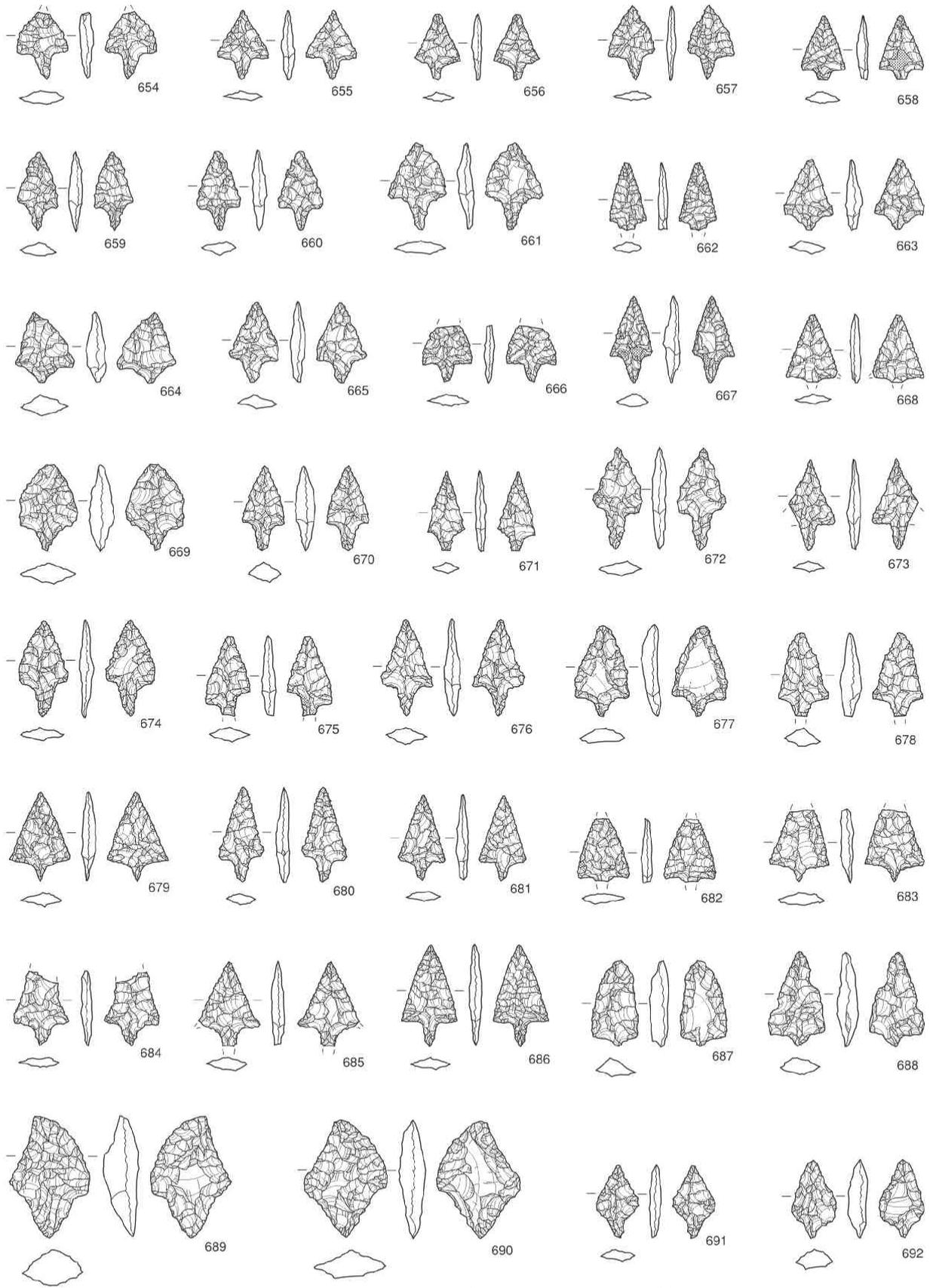
第102図 土偶 耳飾 スタンプ状土製品 土錘 そのほかの土製品



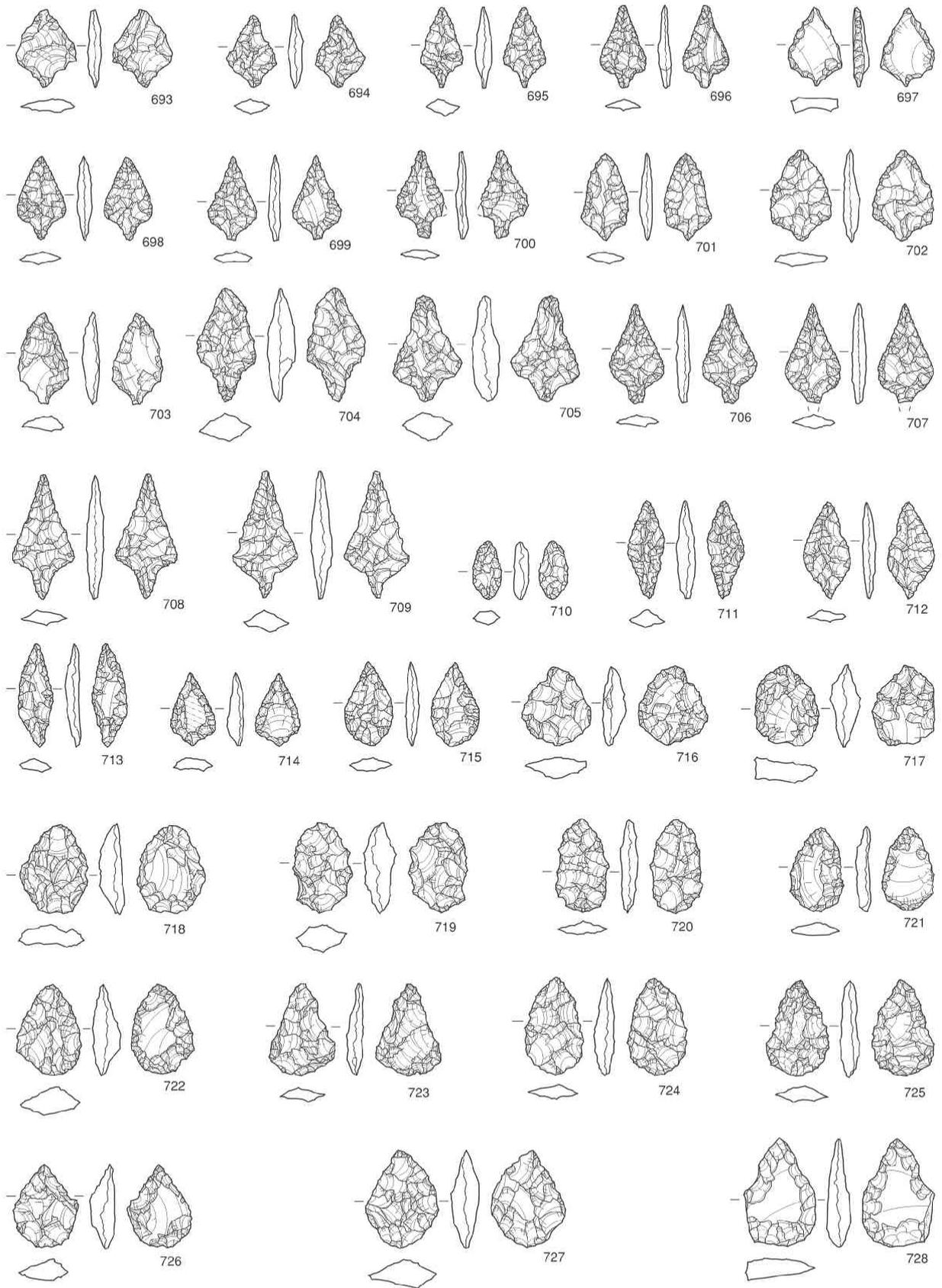
第103図 円盤状土製品



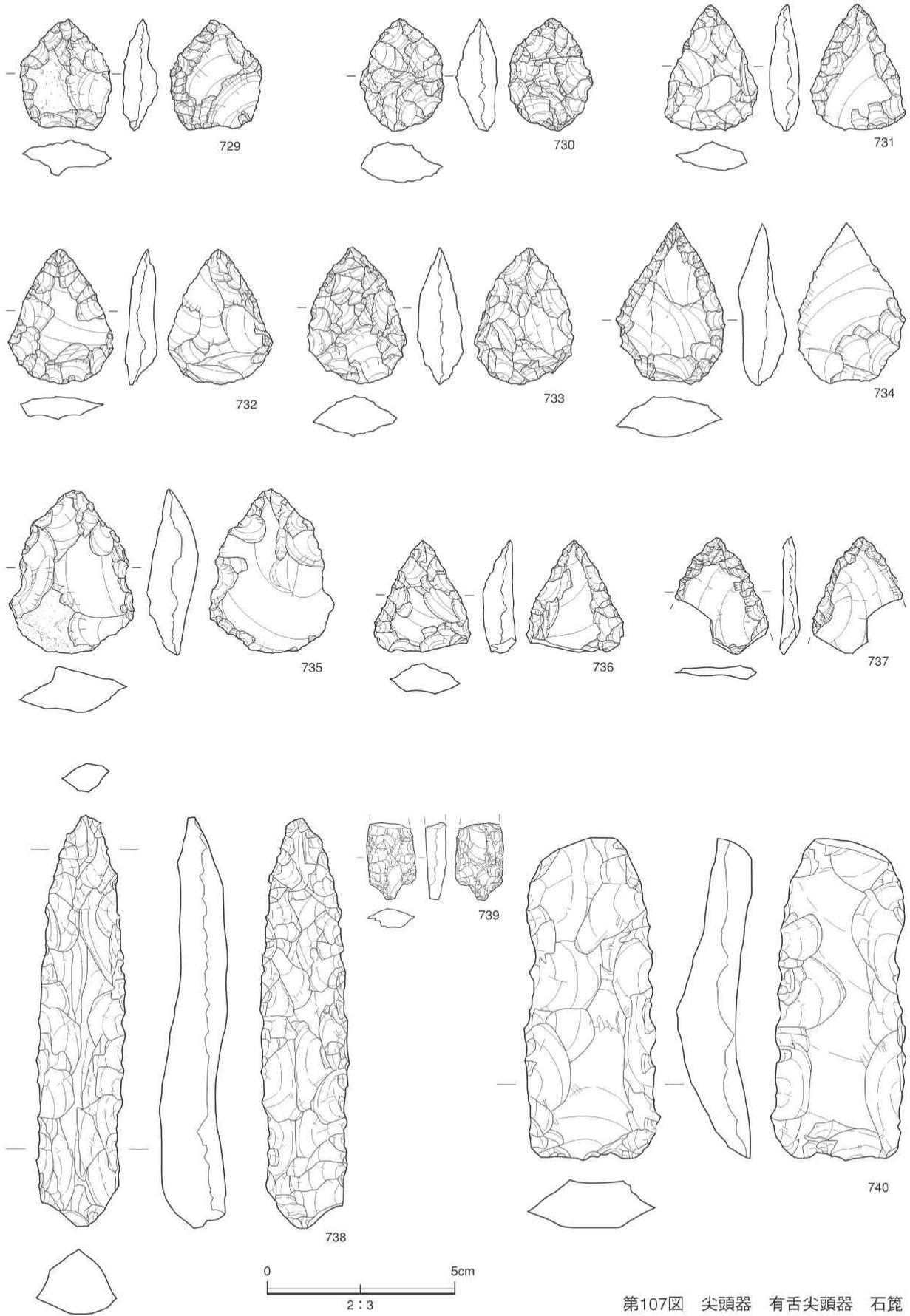
第104図 石鏃



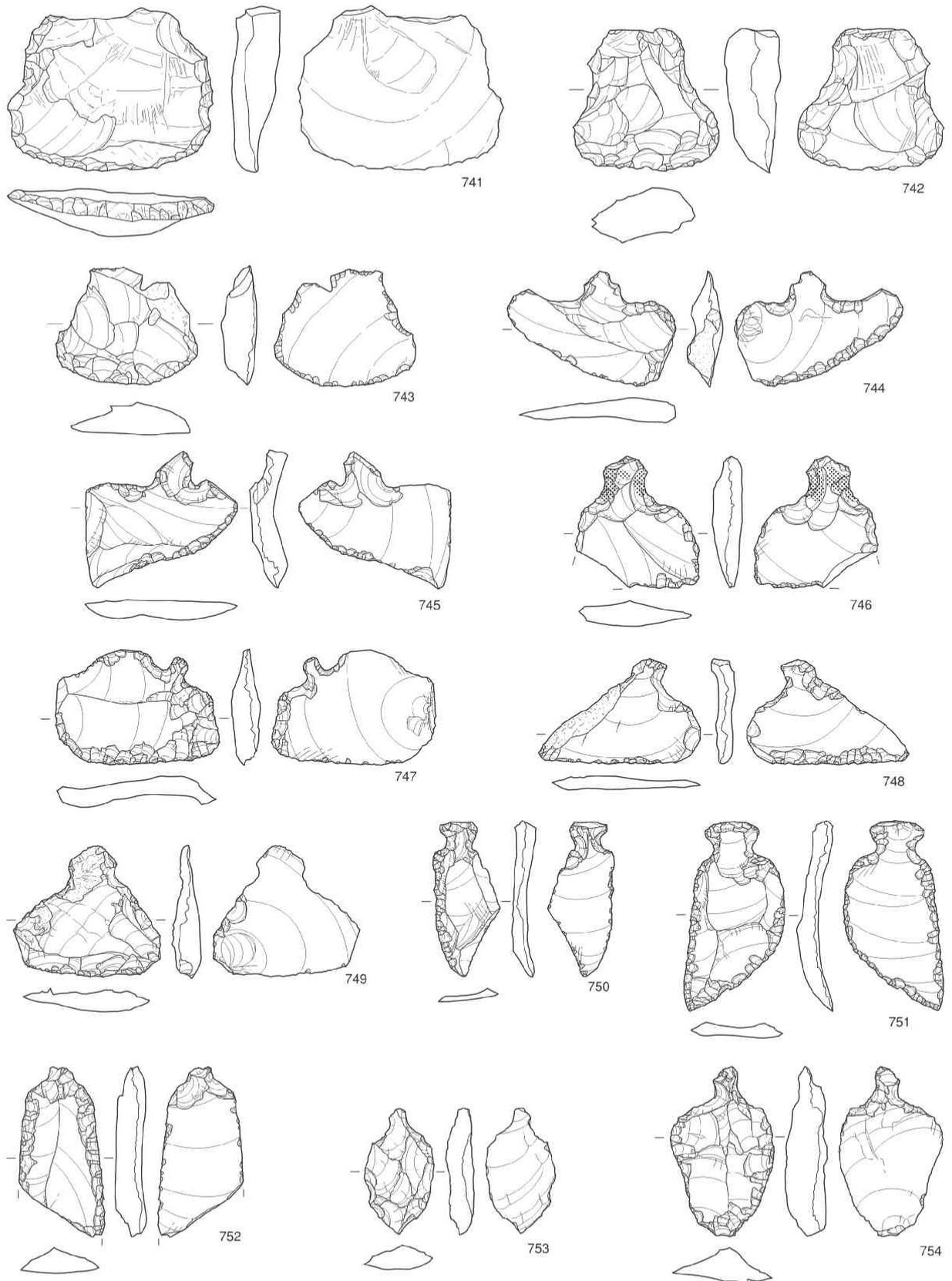
第105図 石鏃



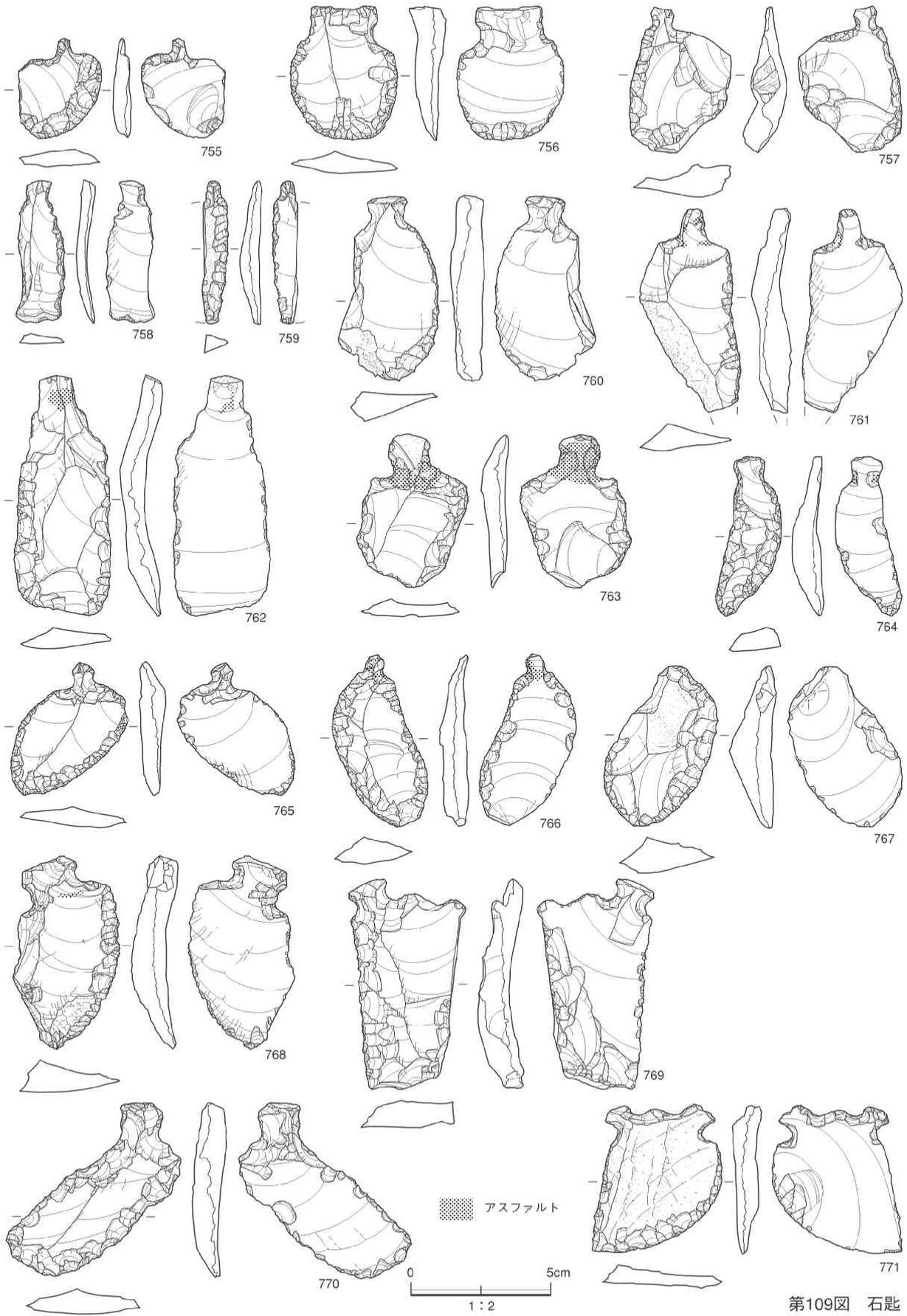
第106図 石鏃



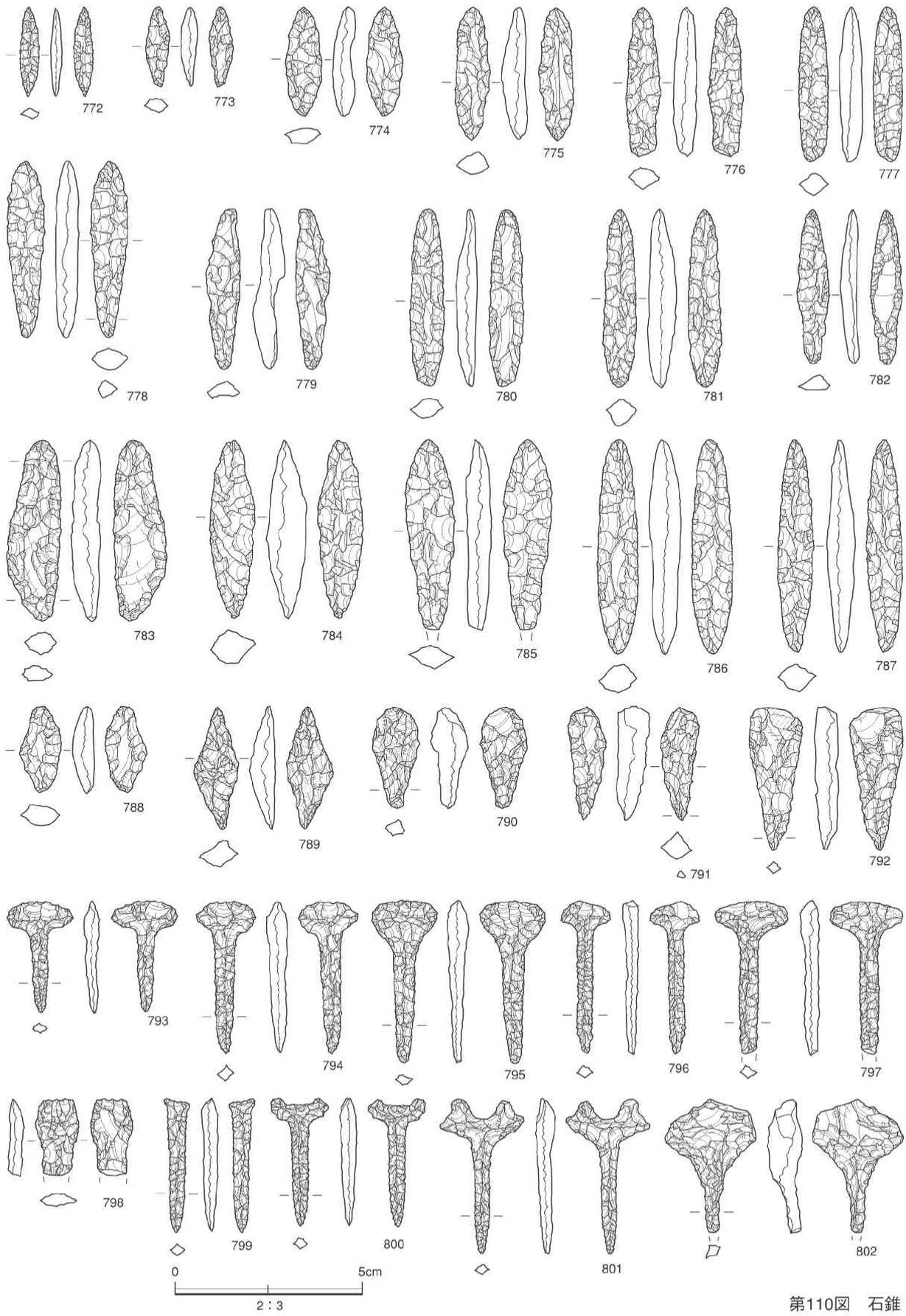
第107図 尖頭器 有舌尖頭器 石筥



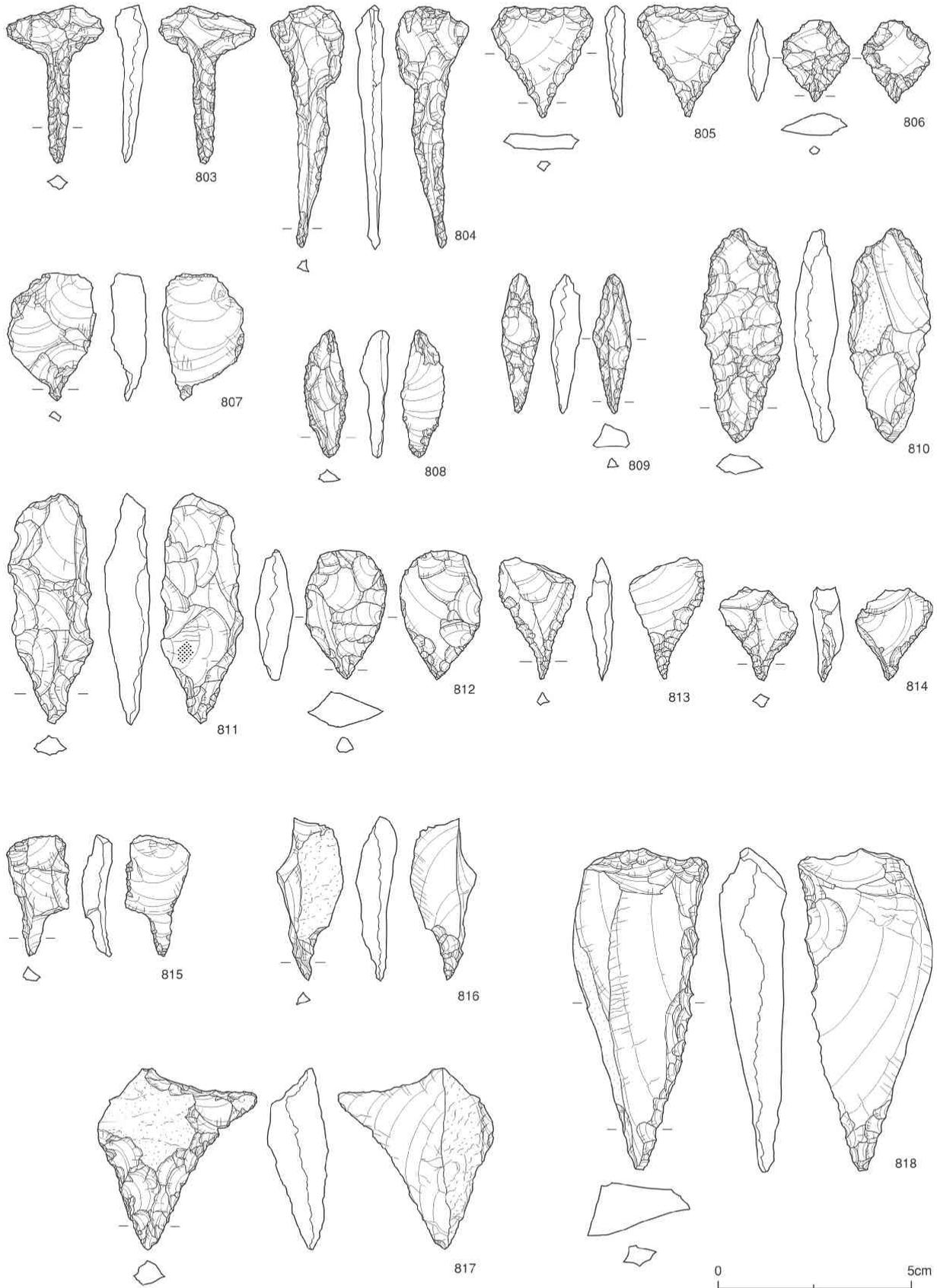
第108図 搔器 石匙



第109図 石匙

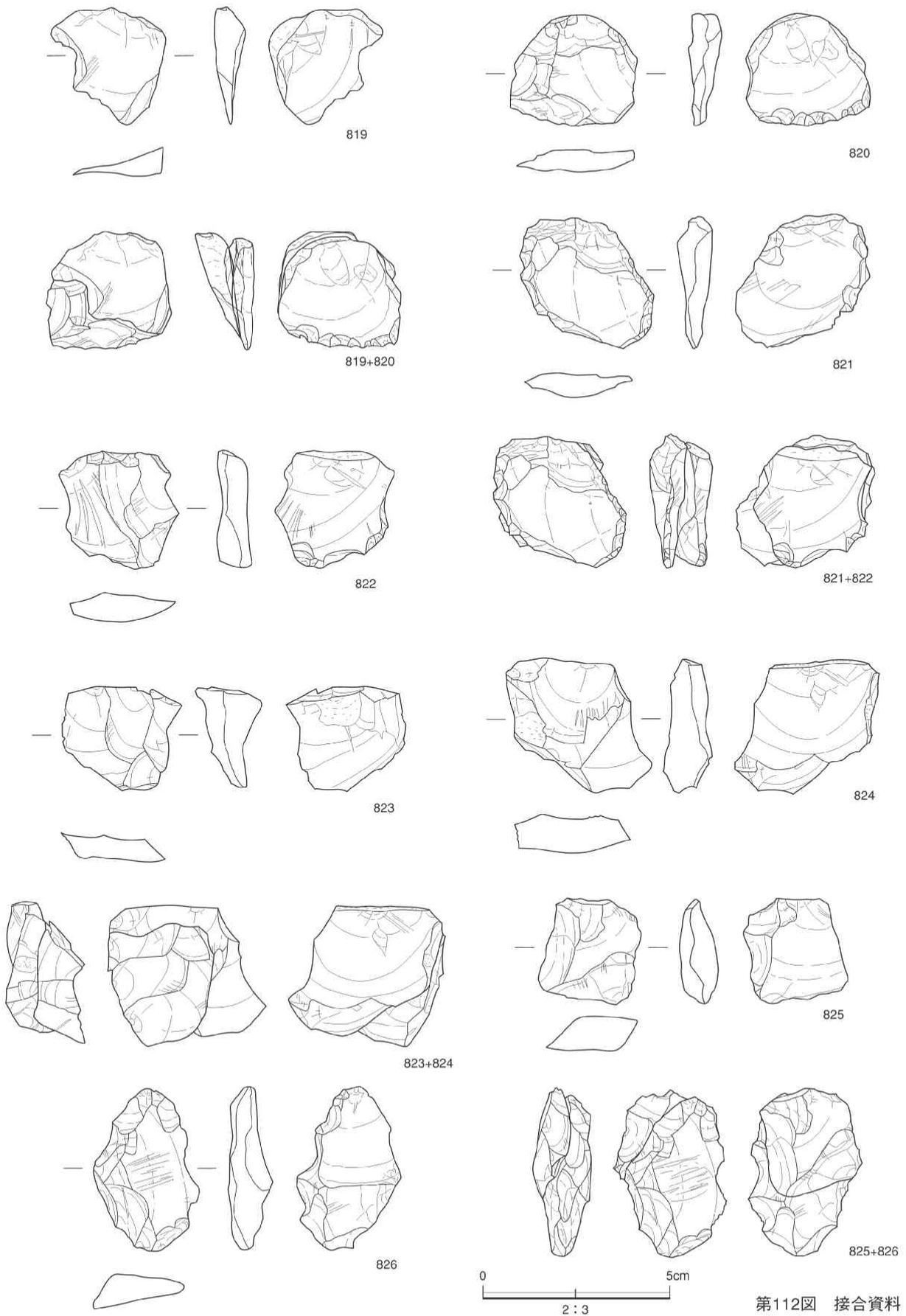


第110図 石錐



アスファルト

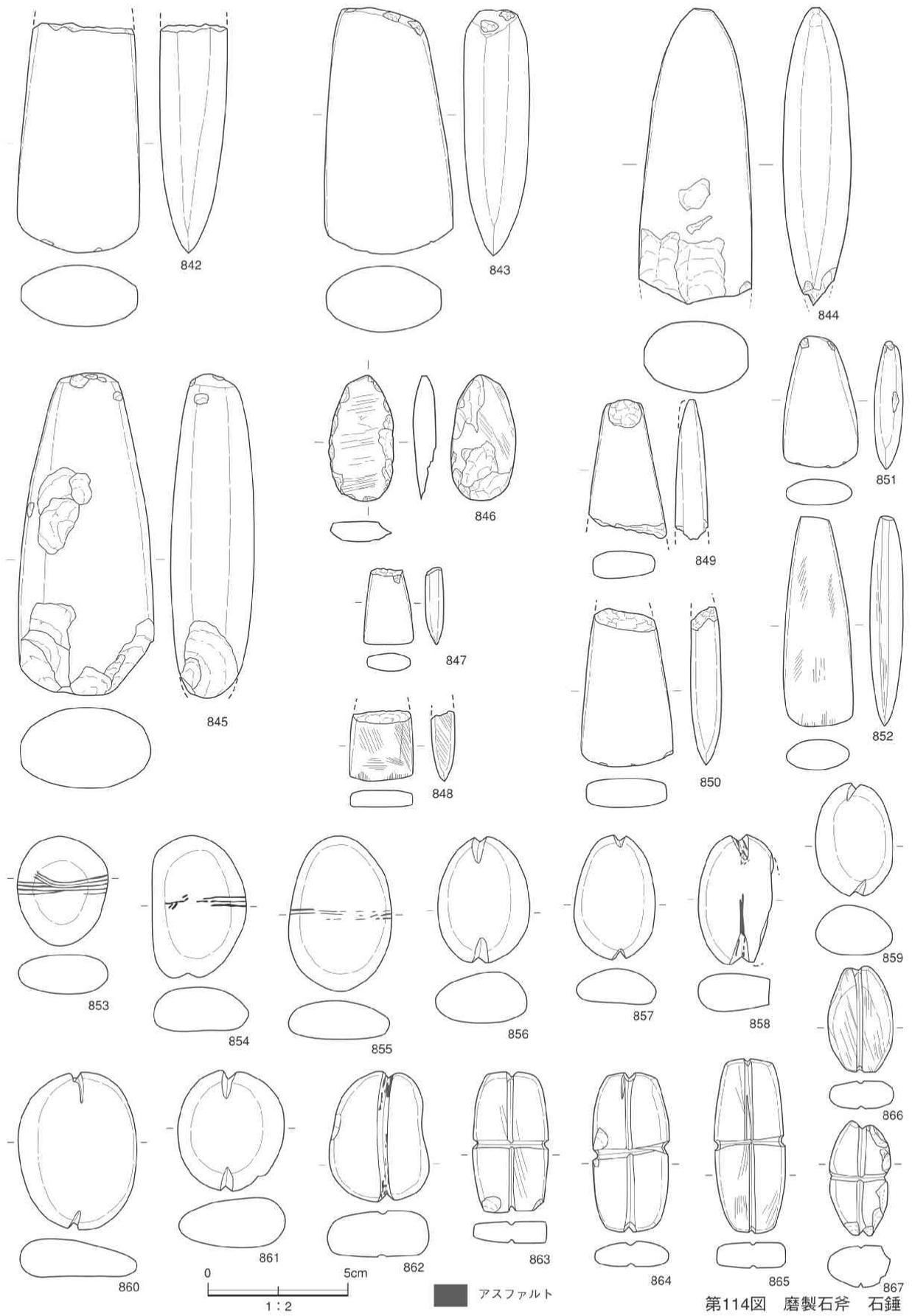
第111図 石錐



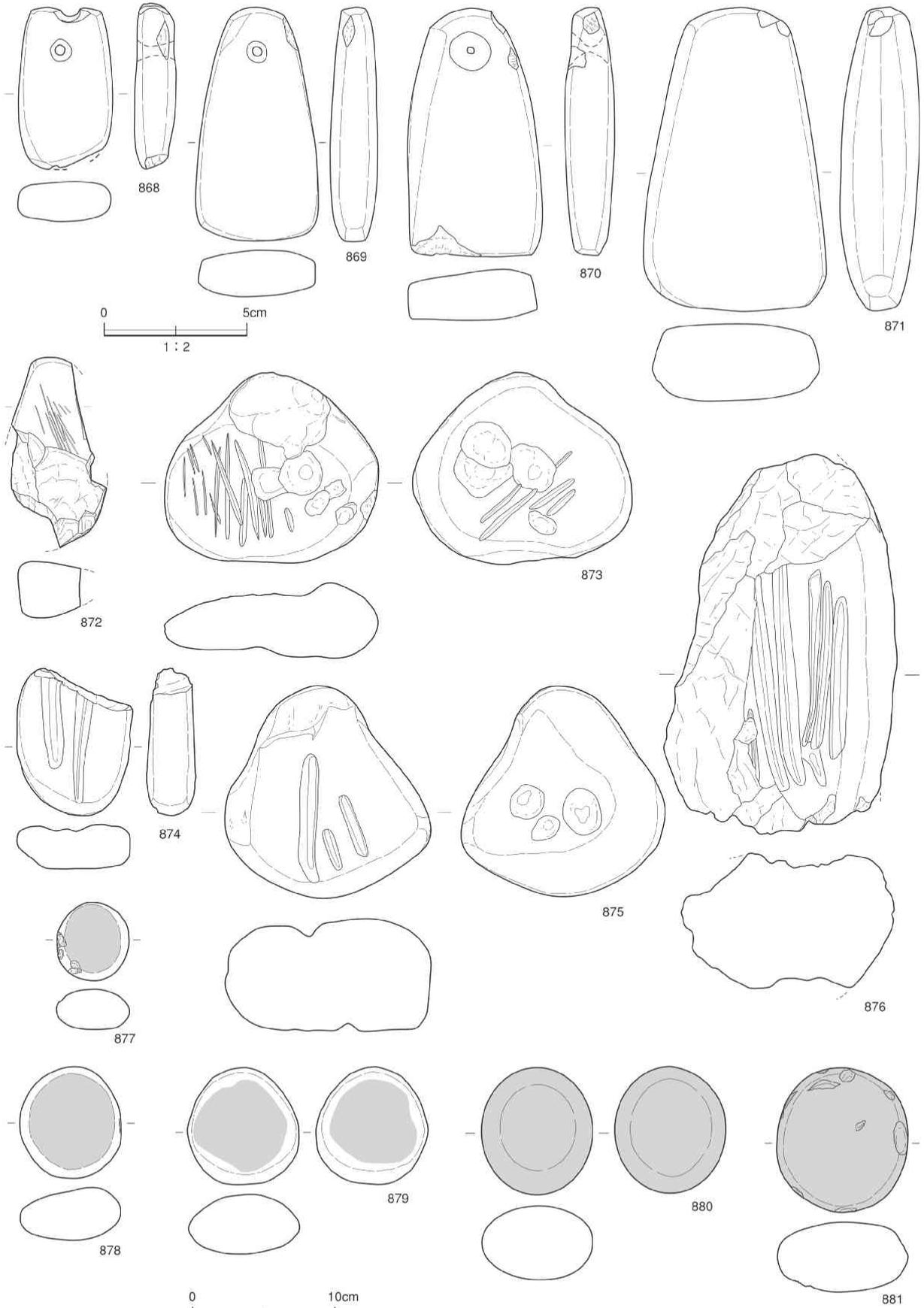
第112図 接合資料



第113図 磨製石斧



第114図 磨製石斧 石錘



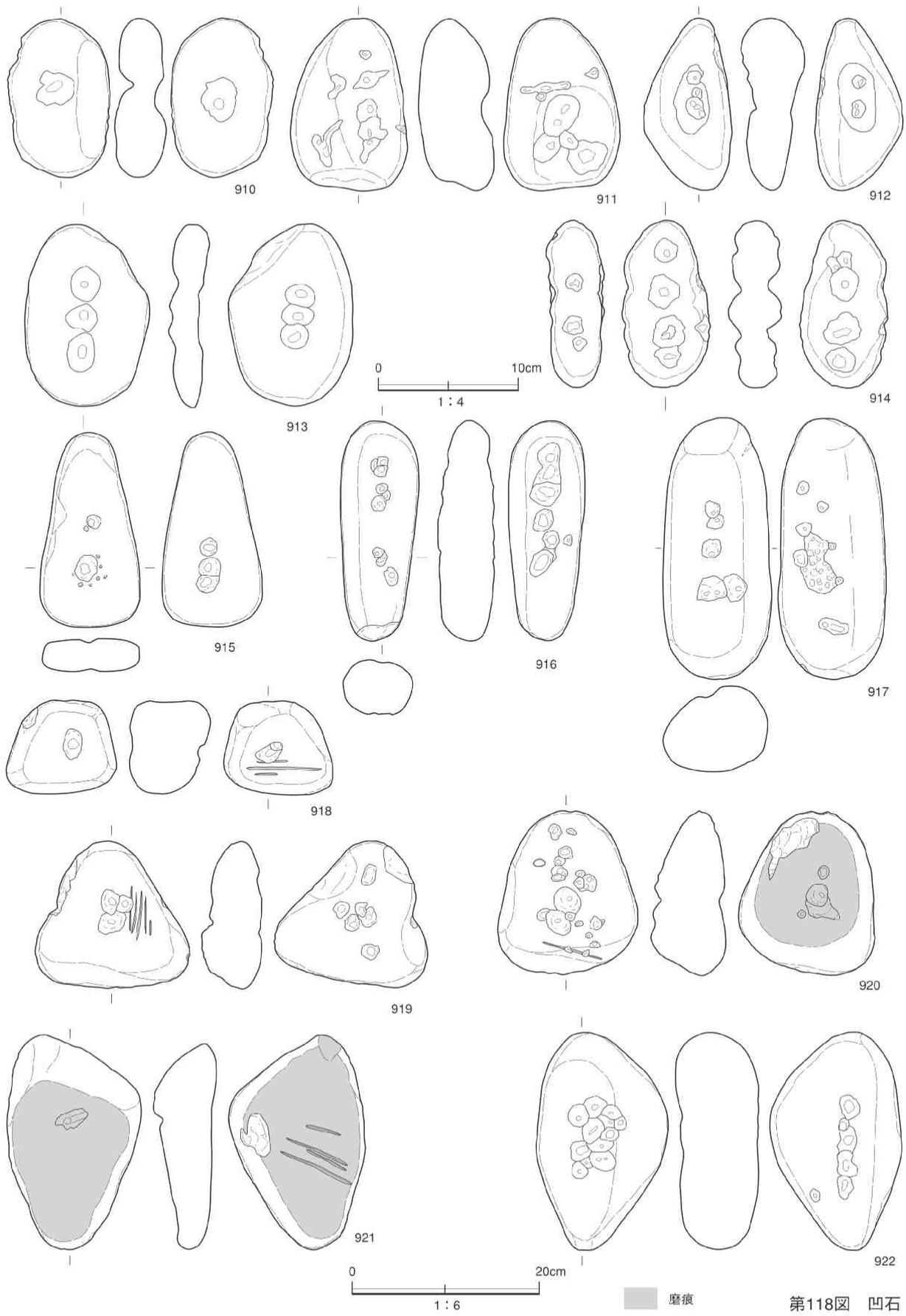
第115図 浮子 砥石 磨石



第116図 磨石 凹石



第117図 凹石

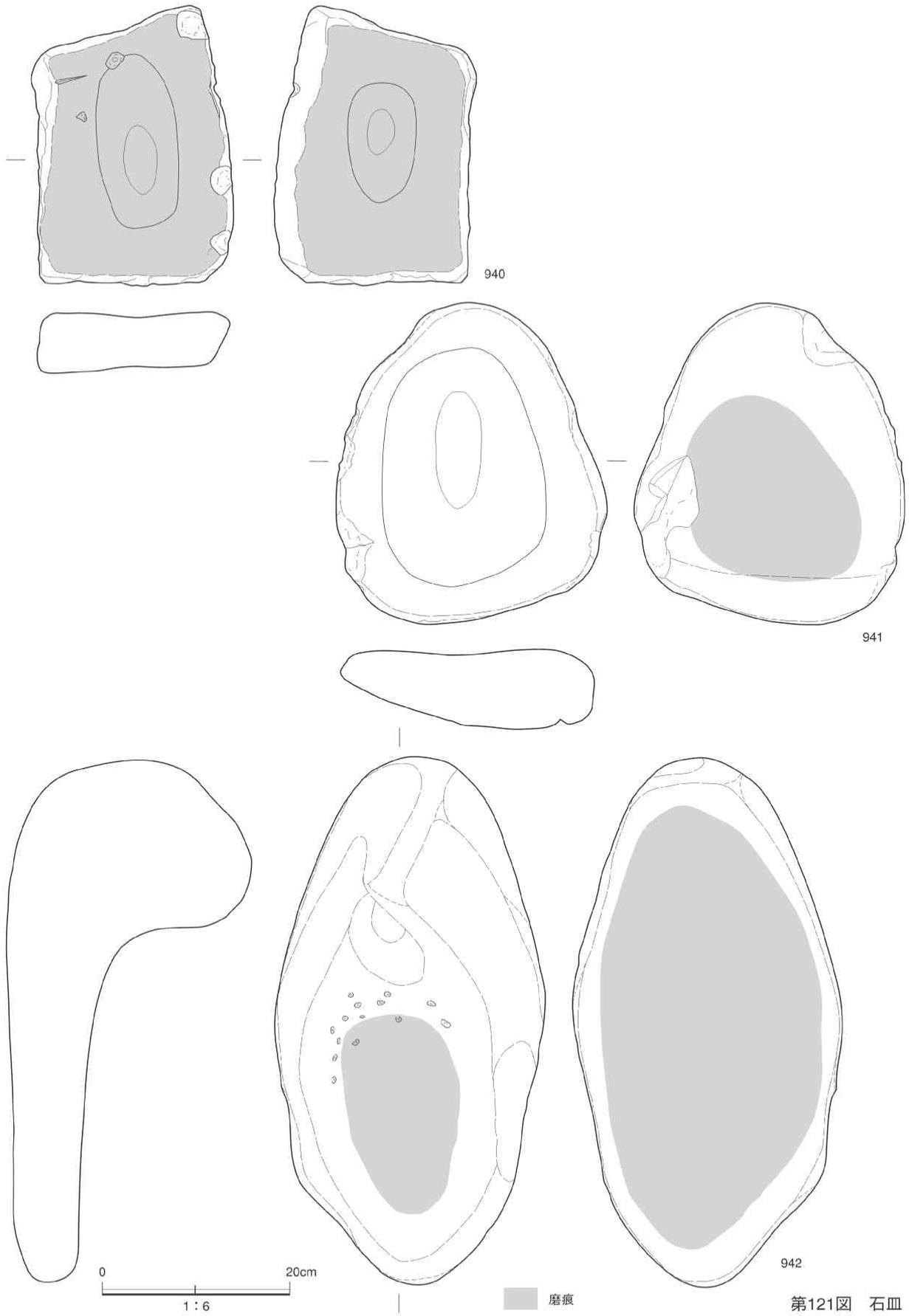


第118図 凹石

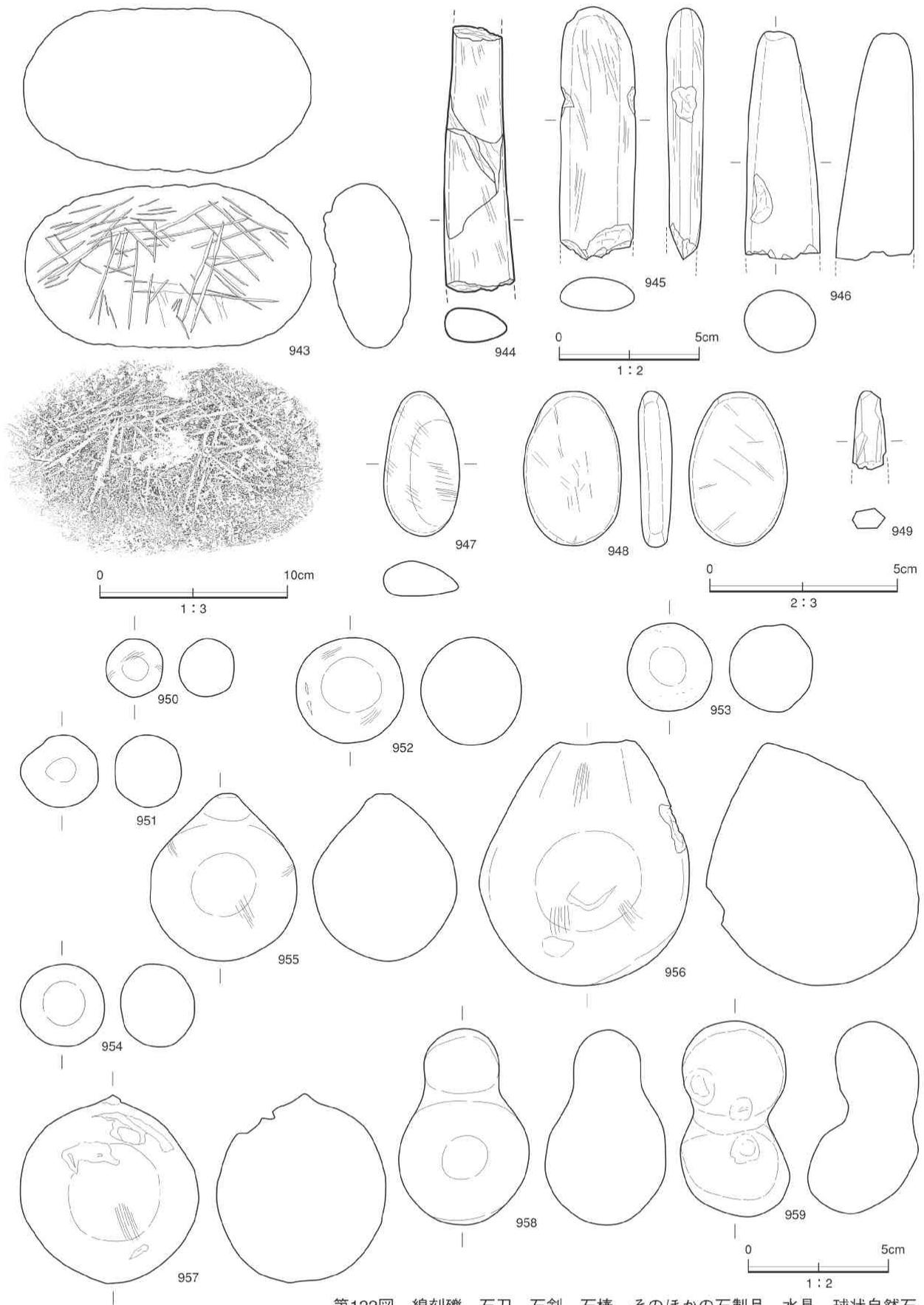


第119図 凹石 石皿

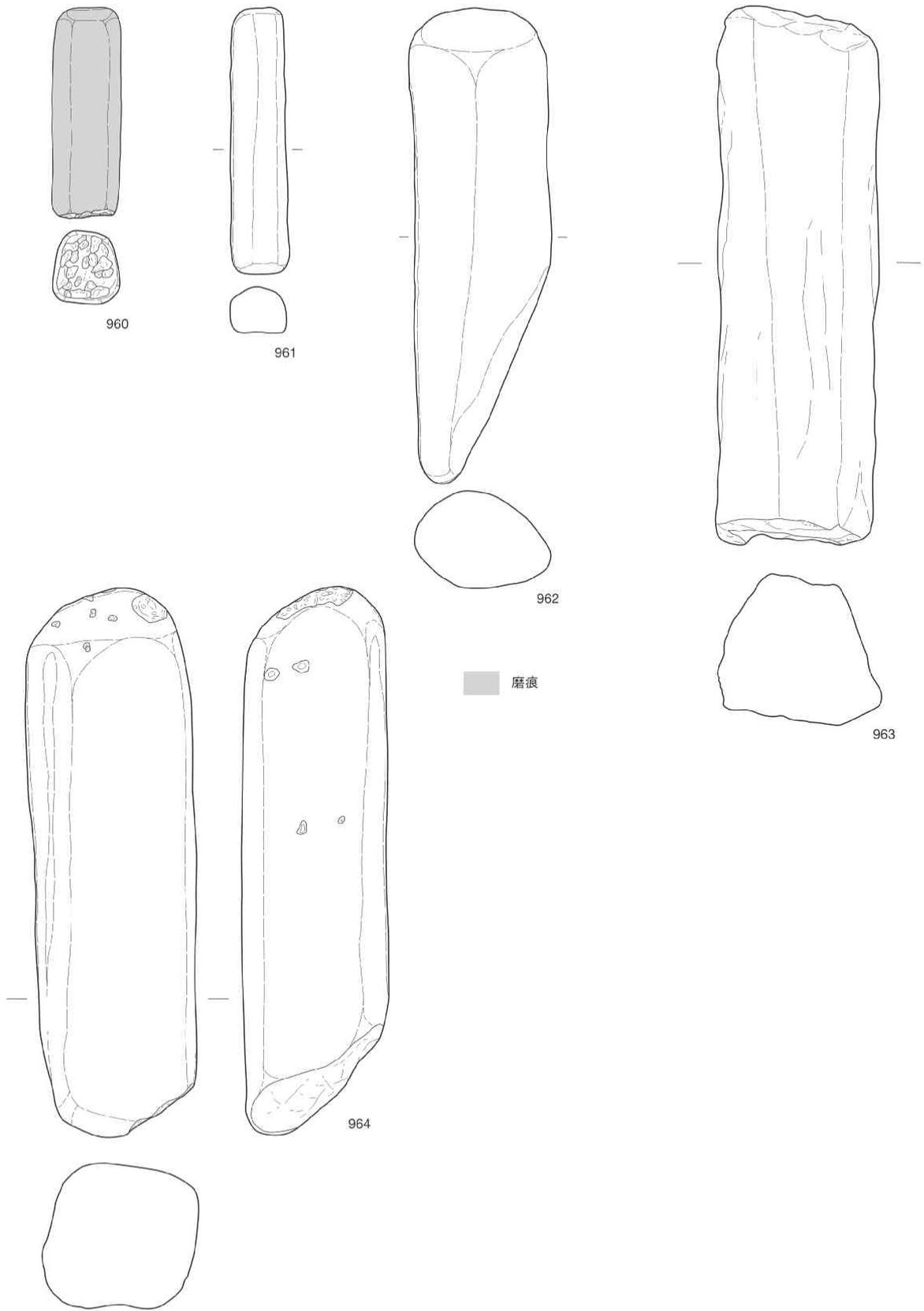




第121図 石皿

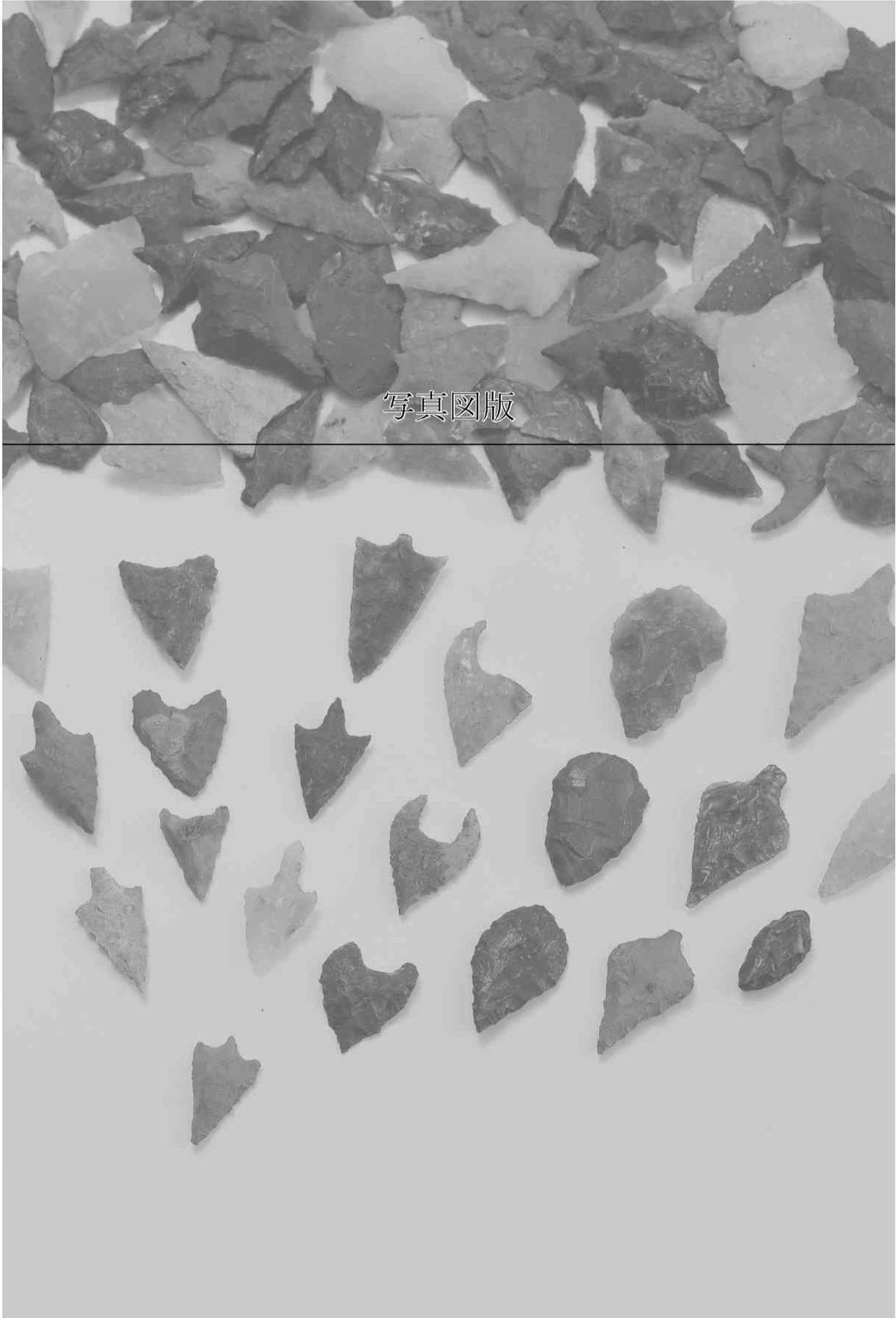


第122図 線刻礫 石刀 石剣 石棒 そのほかの石製品 水晶 球状自然石



0 20cm
1:6

第123図 棒状自然礫



写真図版



旧河道SG21（南から）



SG21検出（北から）



断面b - b'（SG21 北から）



断面f - f'（SG21 東から）



遺物出土状況（旧河道S G21 西から）



深鉢363（S G21 西から）



壺220（S G21 東から）



片口土器302（S G21 北から）



深鉢（S G21 北西から）



大木8 a 式土器 (旧河道SG21 東から)



深鉢144 (SG21 南西から)



断面 d - d' (SG21 東から)



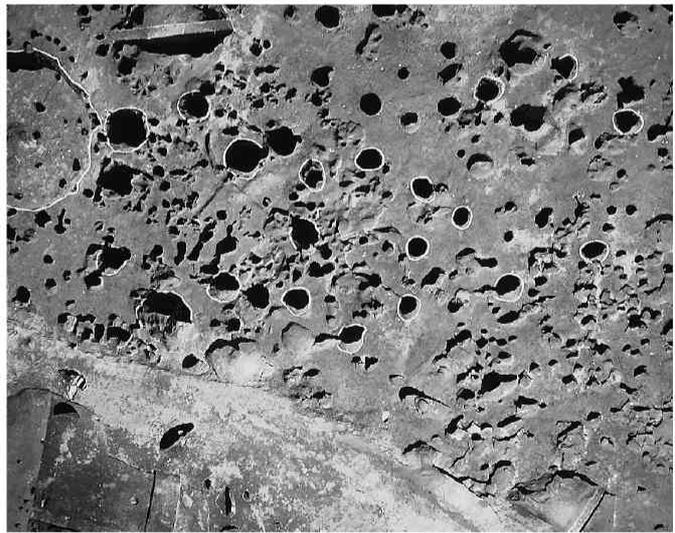
断面 h - h' (SG21 西から)



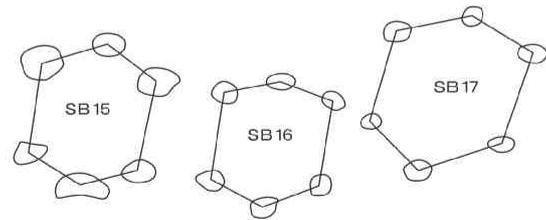
竪穴住居群（北から）

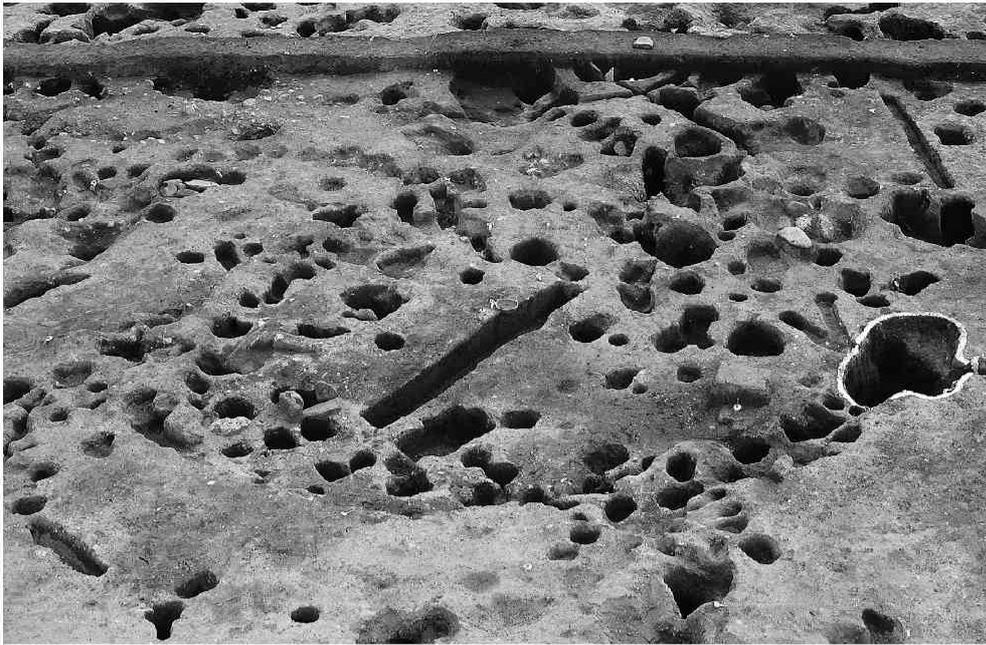


竪穴住居群（北東から）



掘立柱建物 S B 15・16・17（南から）





竪穴住居ST2
(北東から)



土器埋設炉E L266 (ST2 北から)



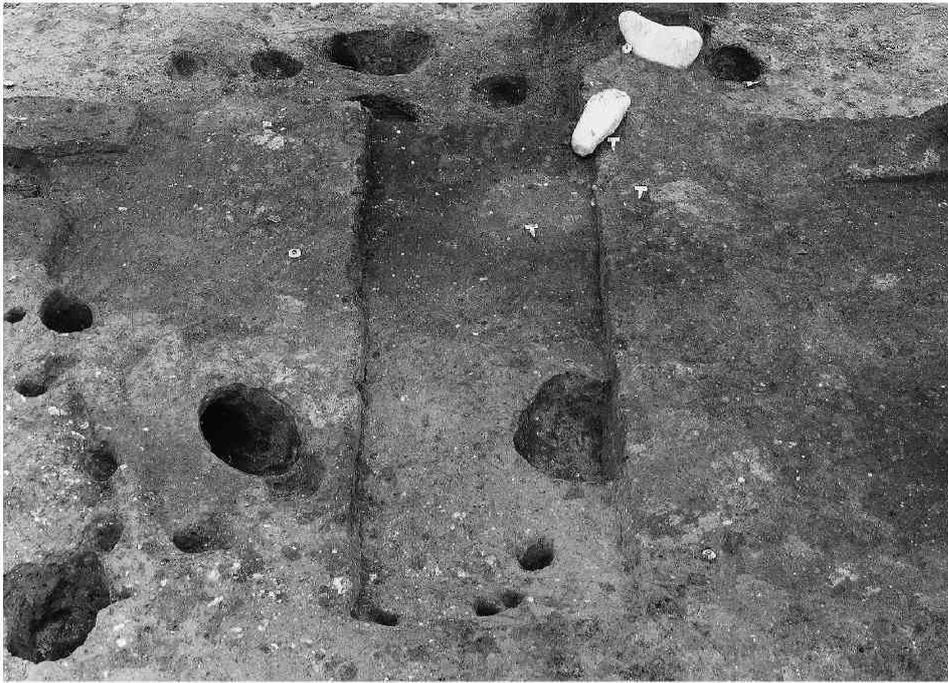
地床炉E L212 (ST3 北から)



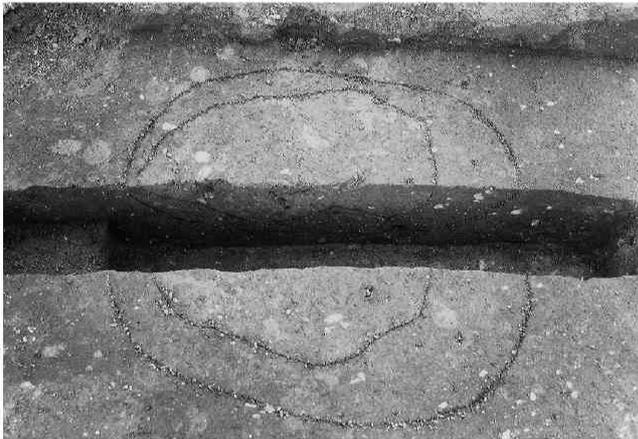
竪穴住居ST3 (西から)



鉢8 (ST3 北から)



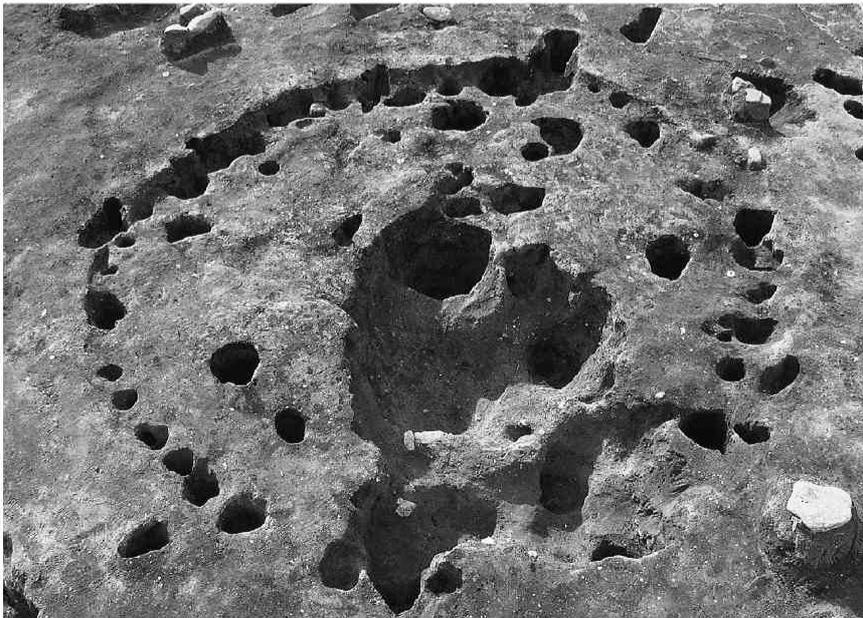
竪穴住居ST7
(西から)



地床炉EL8 (ST7 北から)



床面出土の深鉢32 (ST7 北から)



竪穴住居ST9 (南から)



柱穴SP298 (ST9 東から)



柱穴SP296・297 (東から)



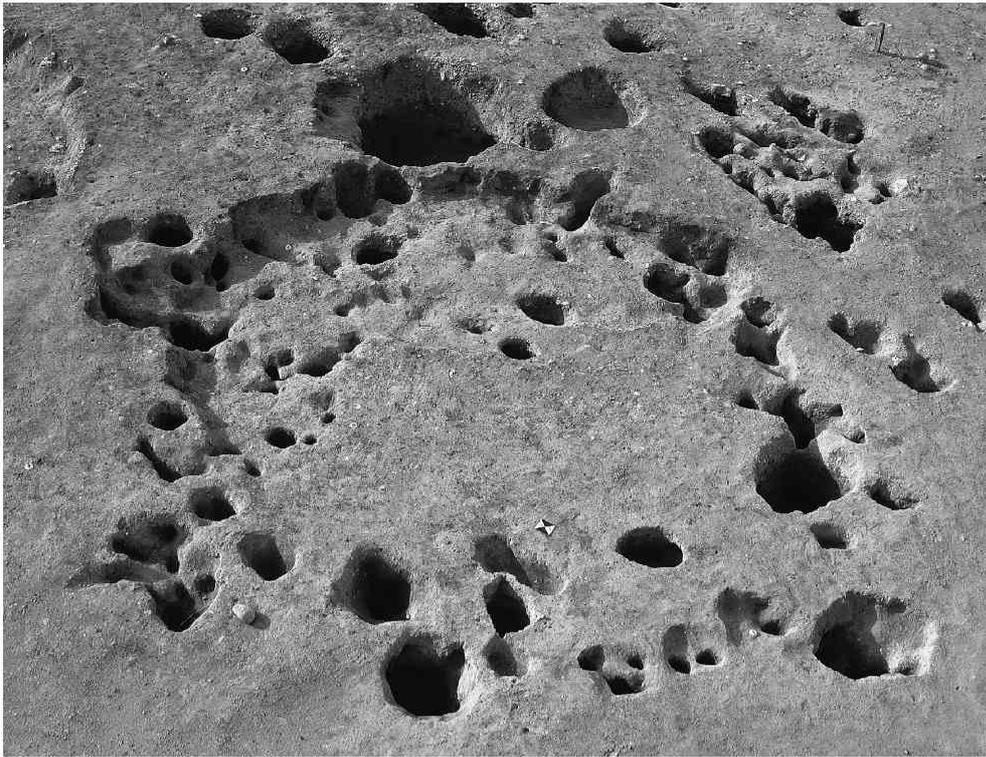
竪穴住居 S T 1004 (西から)



地床炉 E L 649 (S T 1004 北東から)



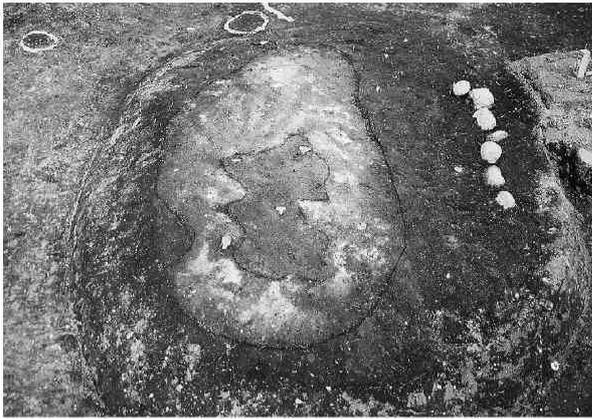
接合資料819~826 (S T 1004掘方 西から)



竪穴住居 S T 19
(南から)



配石遺構 S X 25 (南西から)



地床炉 E L 6 (南から)



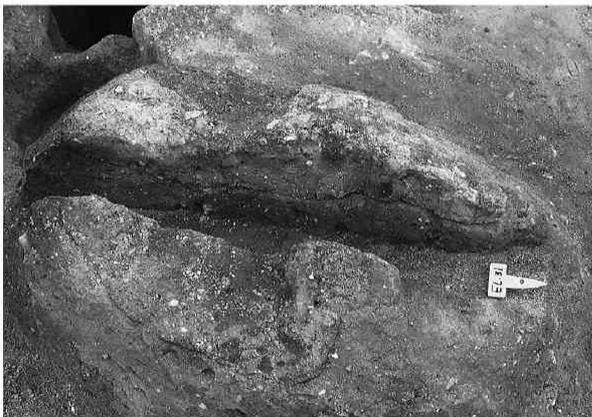
地床炉 E L 34 (南から)



地床炉 E L 22 (北西から)



地床炉 E L 536 (北東から)



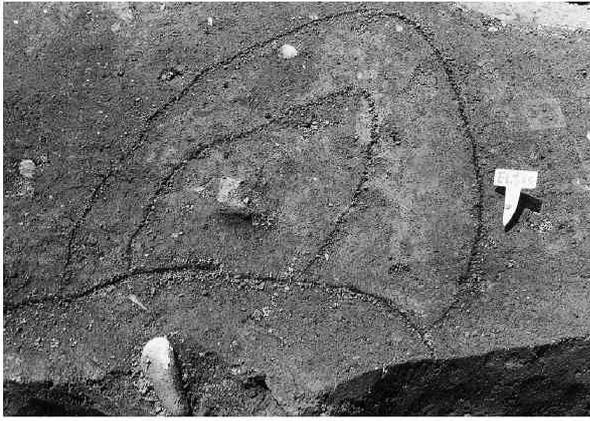
地床炉 E L 31 (西から)



地床炉 E L 29 (南から)



地床炉 E L 534 (南から)



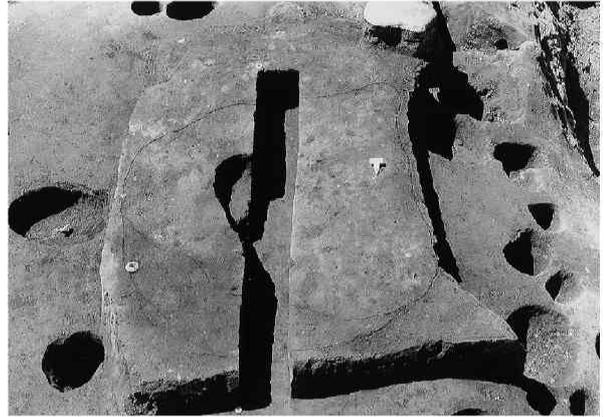
地床炉 E L535 (北東から)



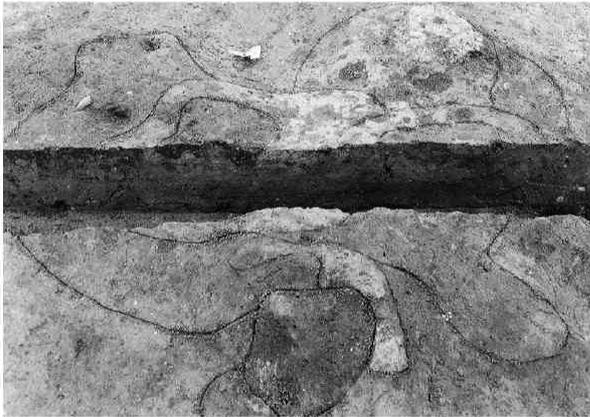
地床炉 E L584 (南西から)



地床炉 E L579 (西から)



地床炉 E L613 (東から)



地床炉 E L588 (東から)



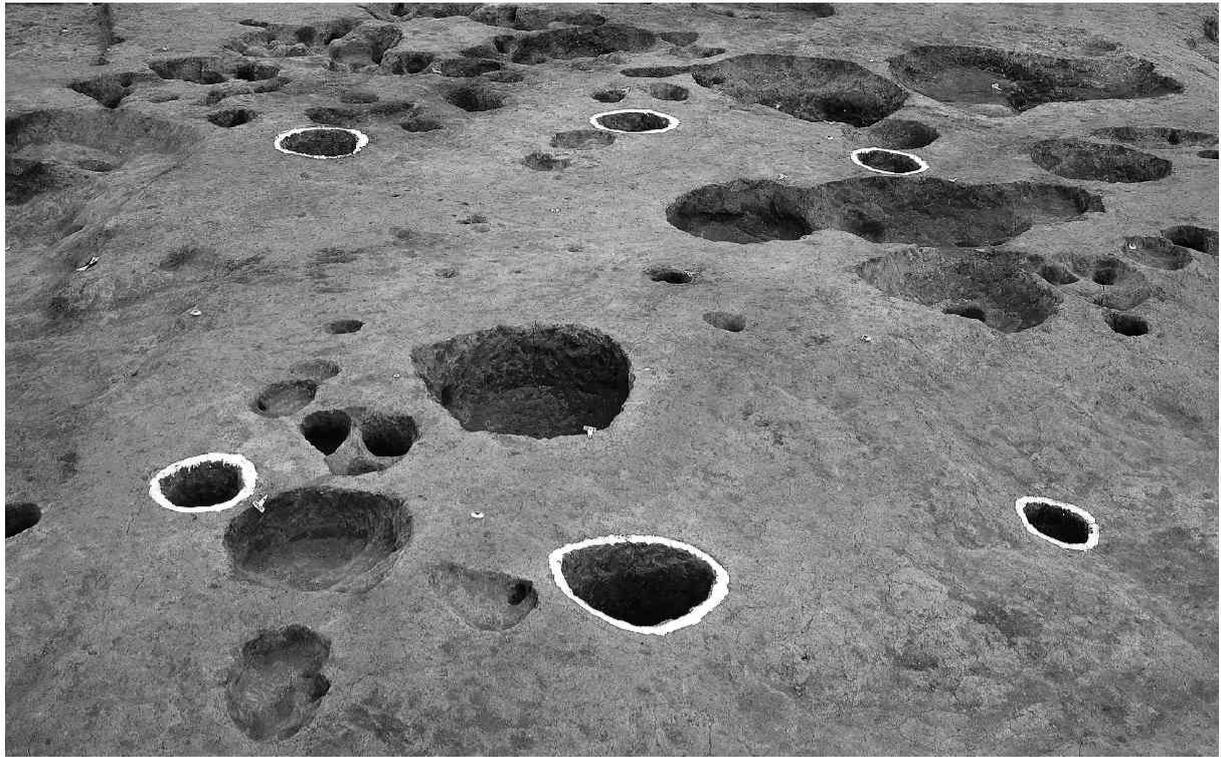
埋設土器遺構 E U27と深鉢37 (北から)



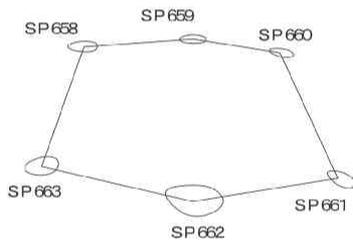
埋設土器遺構 E U509と深鉢38 (西から)



立石遺構 S P482 (西から)



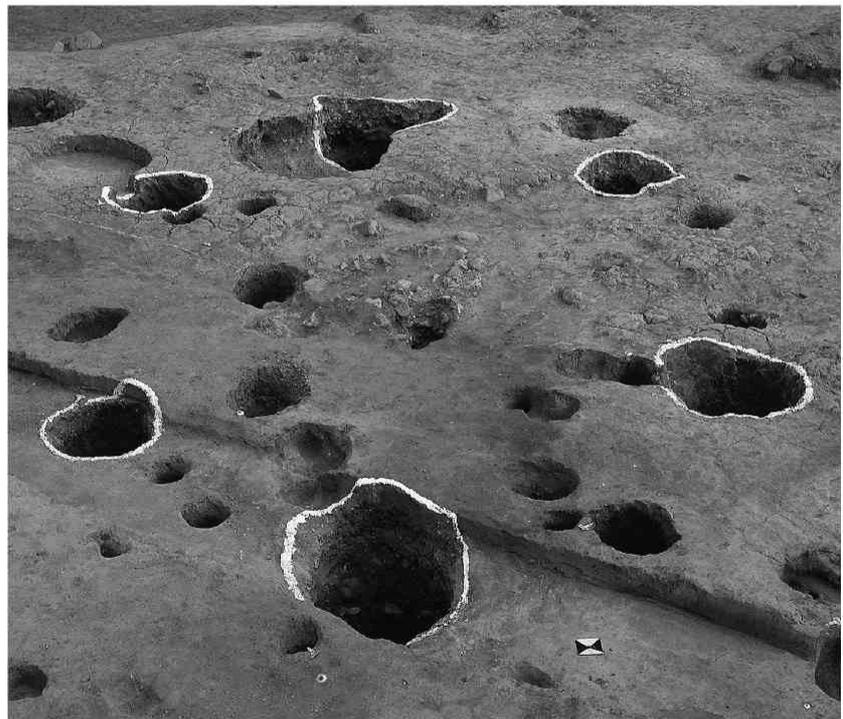
掘立柱建物 S B 1006 (北西から)



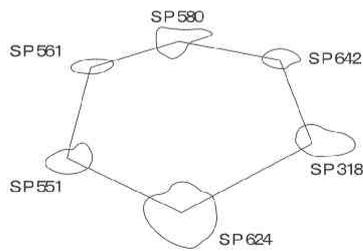
柱穴 S P 561 (北東から)

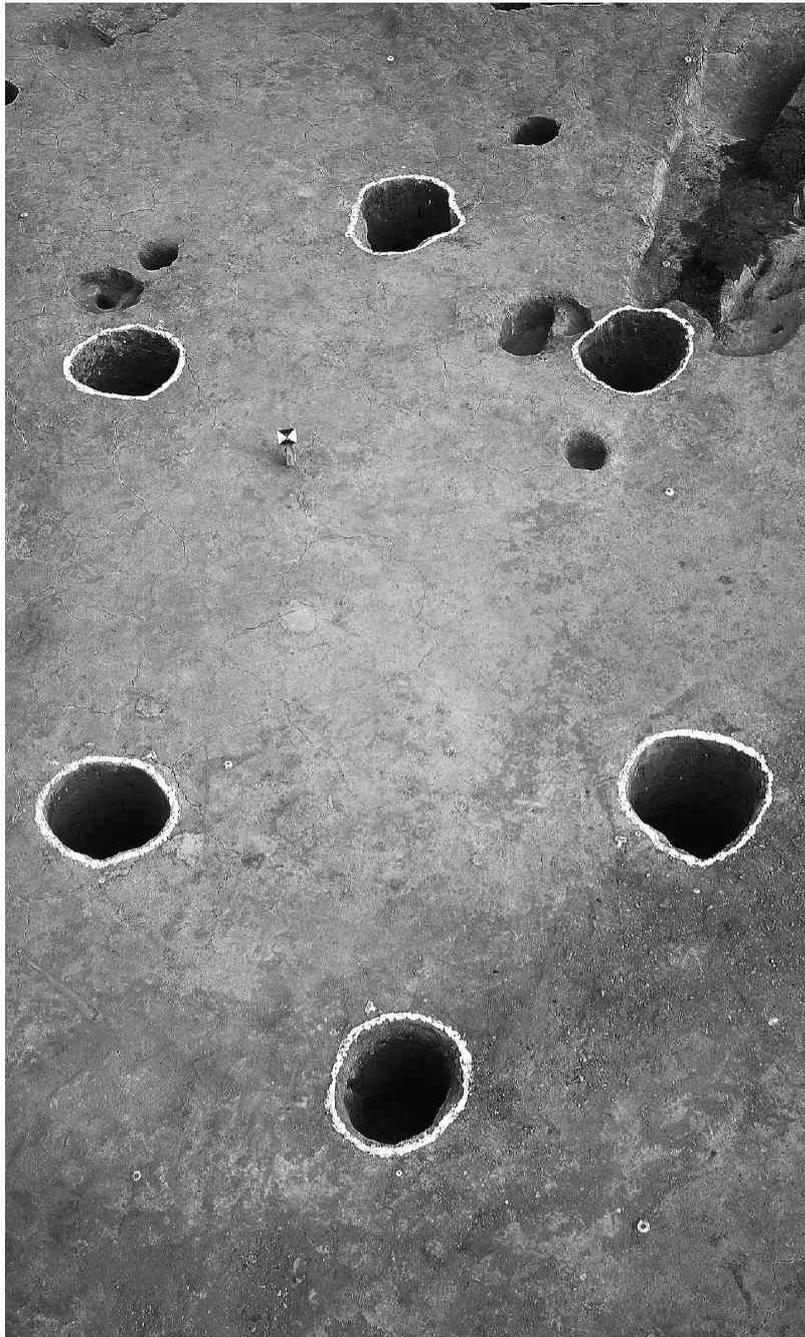


柱穴 S P 551 (東から)



掘立柱建物 S B 1007 (北から)





掘立柱建物 S B 1008 (北から)



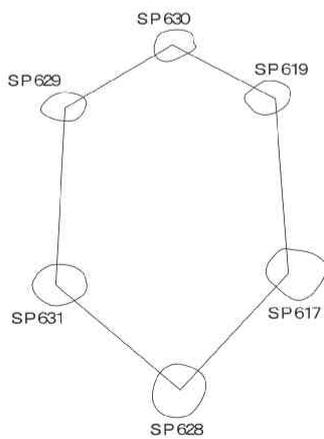
柱穴 S P 630 (北から)



柱穴 S P 617 (北から)



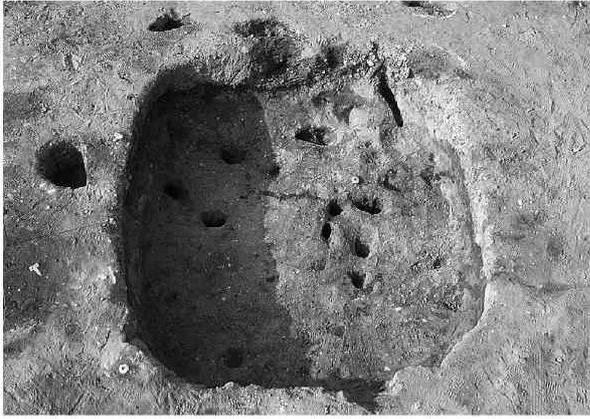
柱穴 S P 628 (北から)



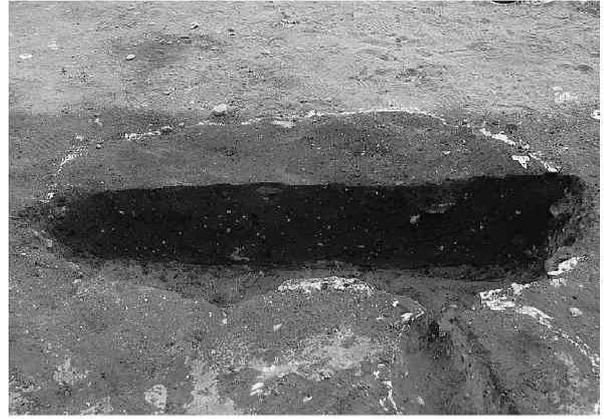
柱穴 S P 629 (北から)



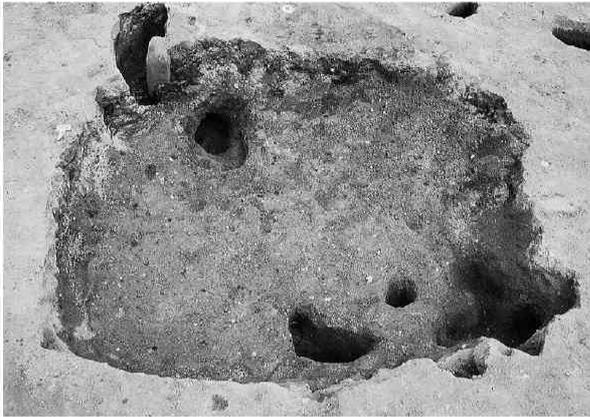
柱穴 S P 619 (北から)



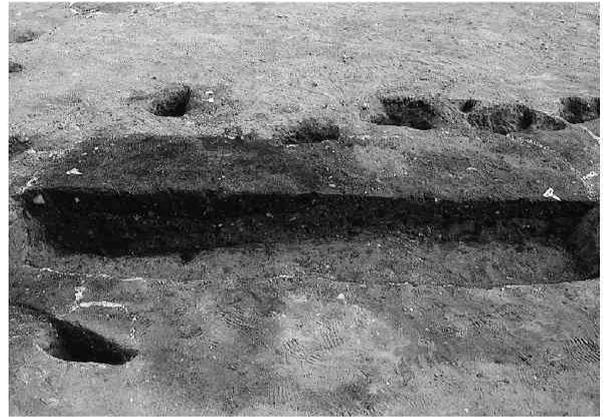
土坑 S K39 (南西から)



土坑 S K42 (北から)



土坑 S K47 (北西から)



土坑 S K49 (西から)



土坑 S K229 (西から)



深鉢55・57 (土坑230 南から)



土坑 S K232 (北西から)



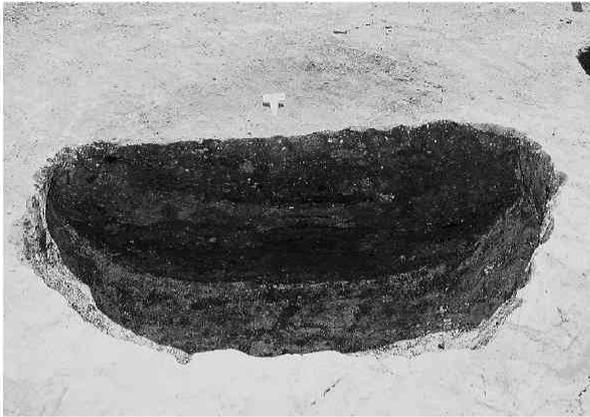
土坑 S K233 (北東から)



土坑 S K252 (北から)



土坑 S K271 (西から)



土坑 S K279 (東から)



土坑 S K416 (南から)



土坑 S K417 (北から)



土坑 S K488 (北から)



土坑 S K510 (西から)



土坑 S K516 (北西から)



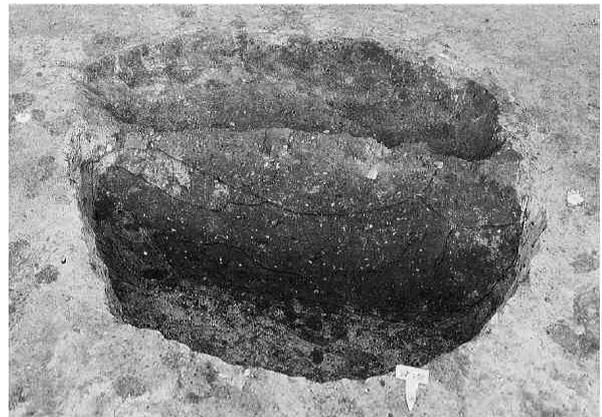
土坑 S K533 (東から)



土坑 S K552 (南西から)



土坑 S K586 (北西から)



土坑 S K258 (西から)



土坑 S K616 (西から)



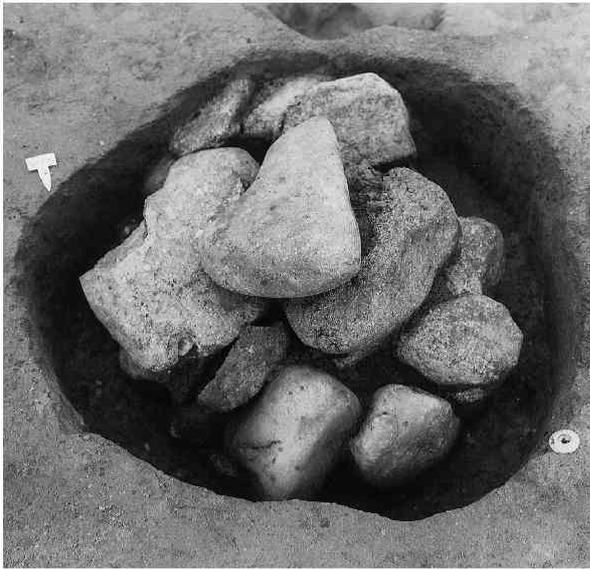
土坑 S K276 (南東から)



土坑 S K69 (北から)



土坑 S K361 (南西から)



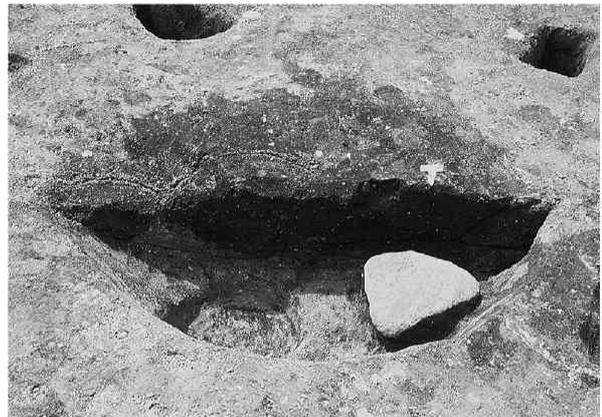
土坑 S K424 (南から)



土坑 S K560 (北東から)



土坑 S K648 (南から)



土坑 S K50 (北から)



土坑 S K43 (北から)



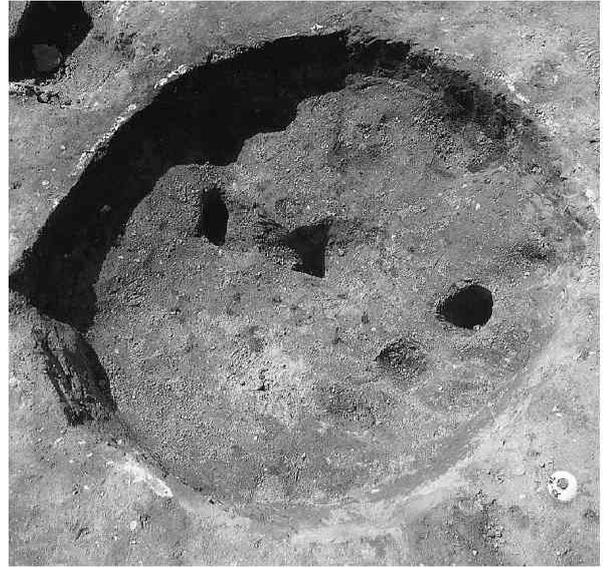
深鉢52 (土坑 S K41 北から)



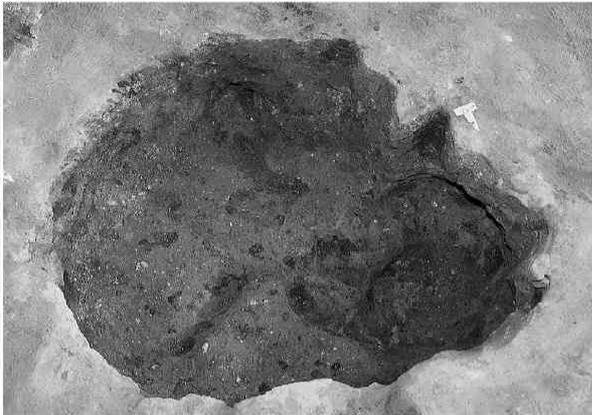
深鉢47 (土坑 S K63 東から)



土坑S K67 (北から)



土坑S K51 (北から)



土坑S K100 ピットS P207 (北東から)



土坑S K64 (東から)



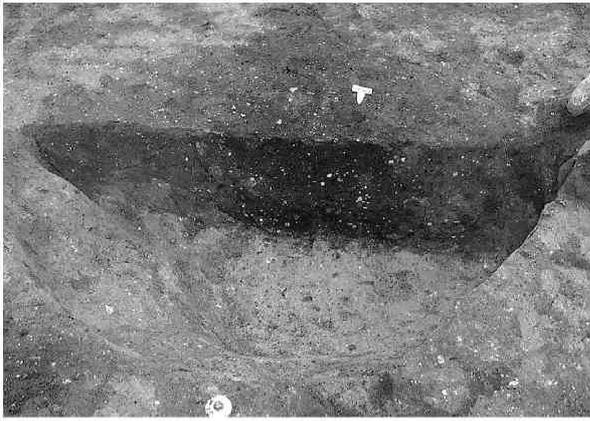
土坑S K226 (北西から)



土坑S K259 (北から)



土坑S K304 (北から)



土坑 S K309 (北から)



土坑 S K321 (北西から)



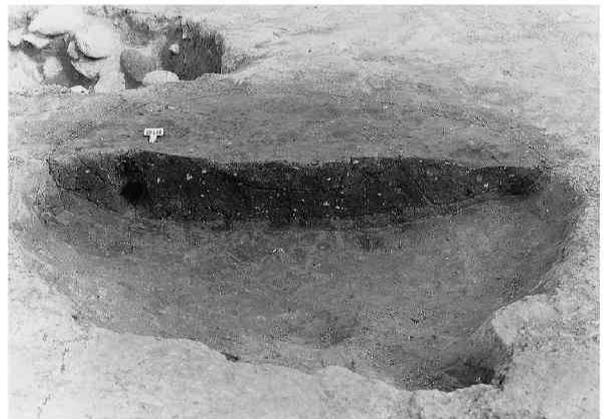
土坑 S K486・487 (東から)



土坑 S K500 (東から)



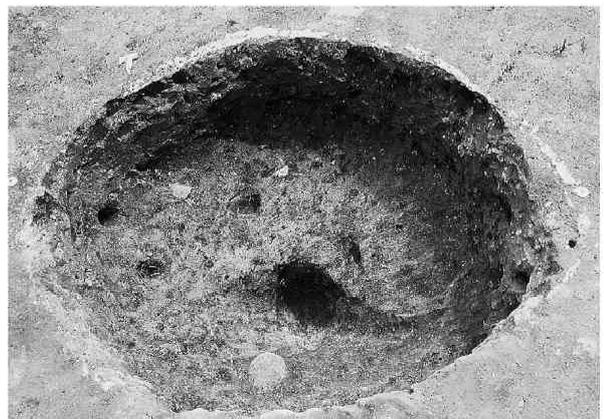
土坑 S K511 (西から)



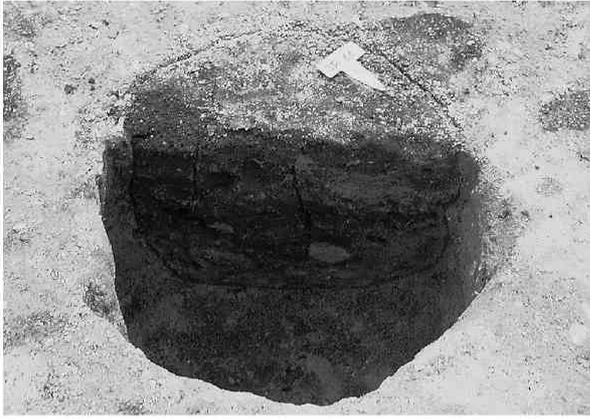
土坑 S K635 (北西から)



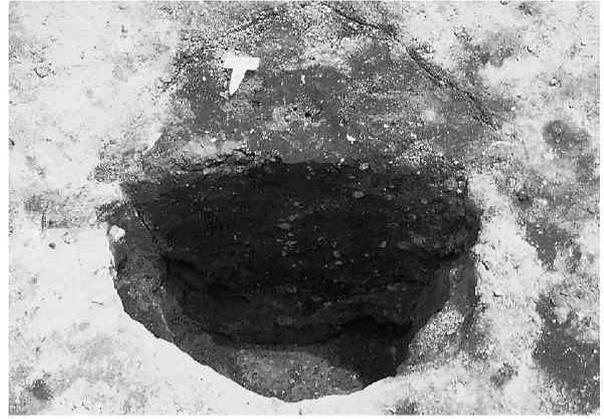
土坑 S K508 (東から)



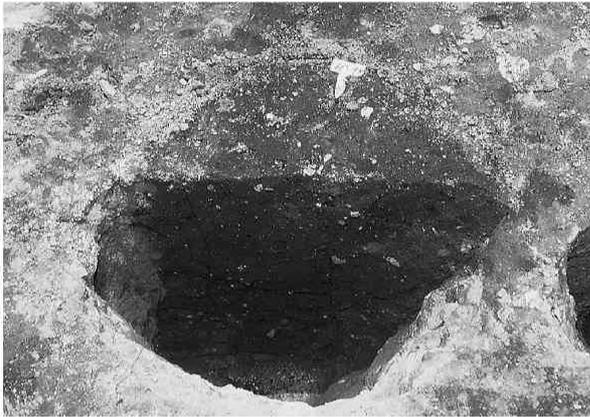
土坑 S K103 (北東から)



柱穴SP66 (北から)



柱穴SP90 (西から)



柱穴SP95 (北から)



柱穴SP96 (北から)



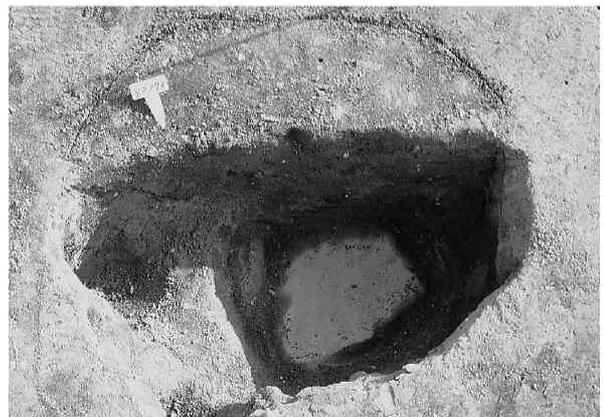
柱穴SP99 (北から)



柱穴SP141 (東から)



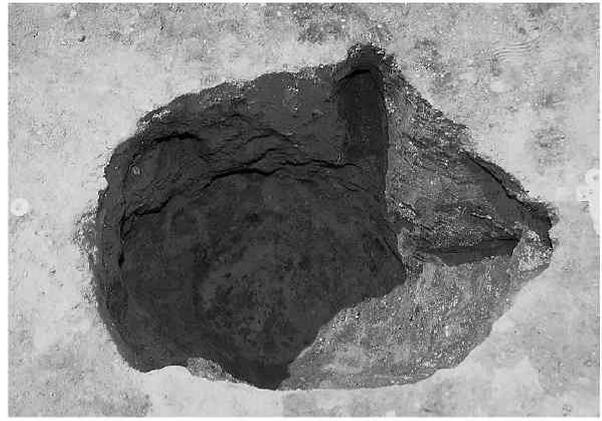
柱穴SP144 (北から)



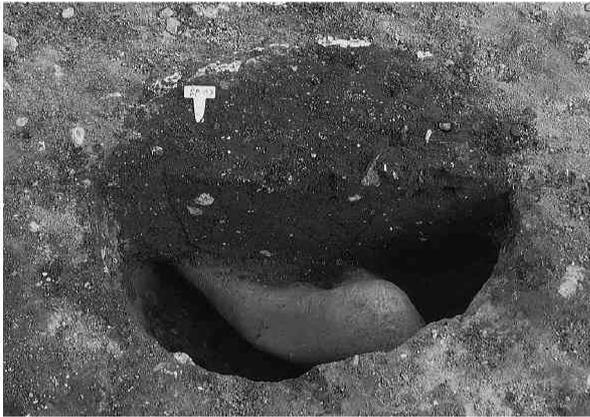
柱穴SP173 (東から)



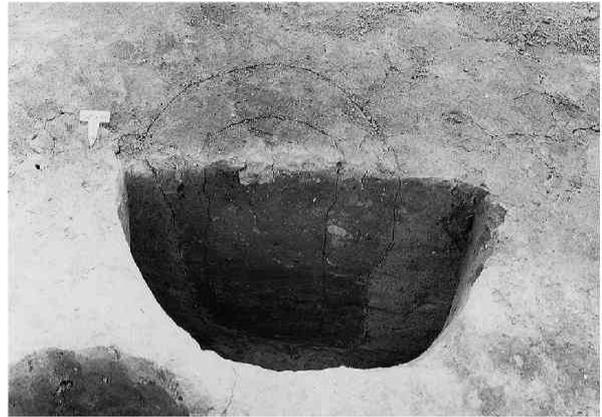
柱穴 S P 177 (西から)



柱穴 S P 190 (北から)



柱穴 S P 193 石皿942 (北から)



柱穴 S P 254 (西から)



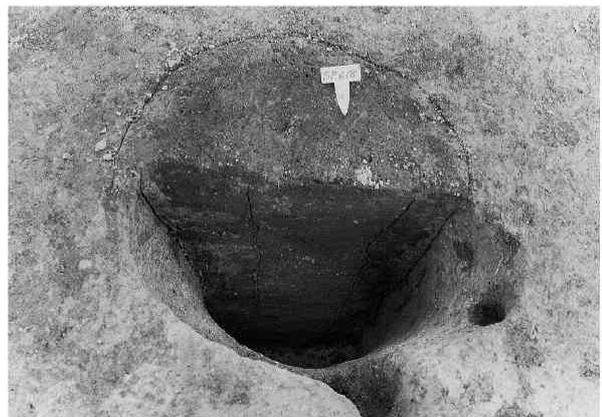
柱穴 S P 334 (東から)



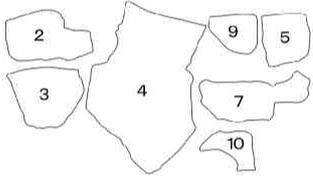
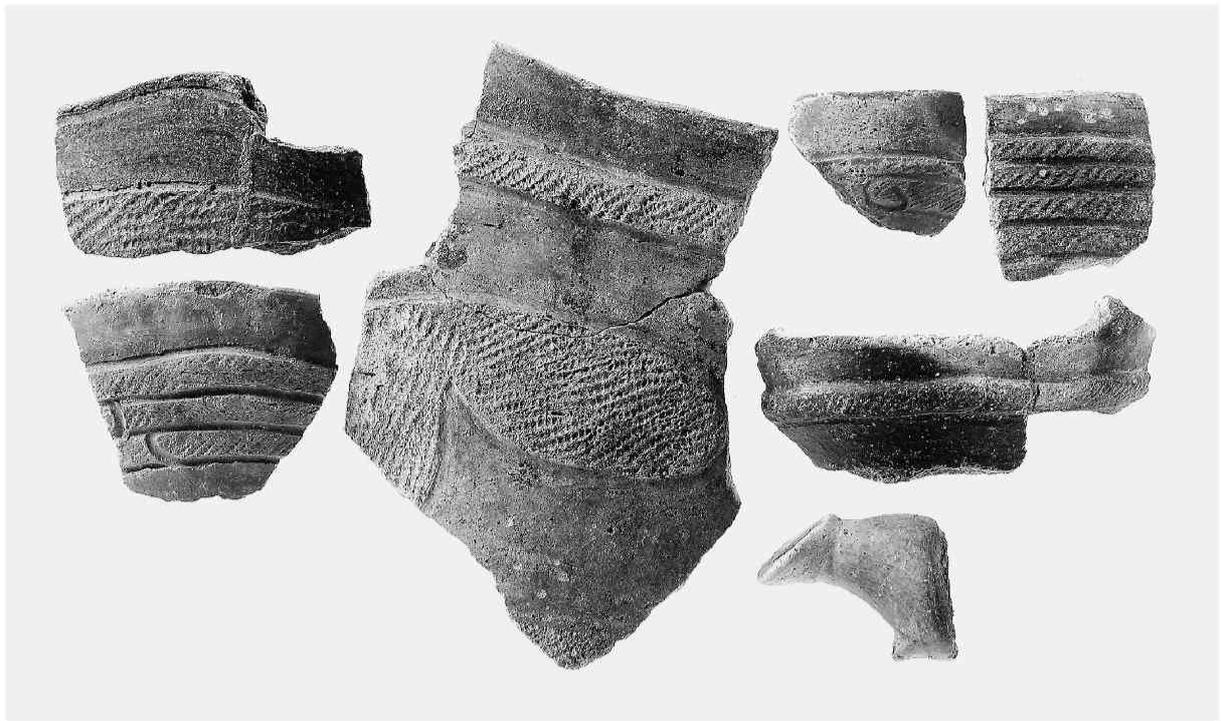
柱穴 S P 559 (西から)



柱穴 S P 593・594・597, S K 595 (西から)



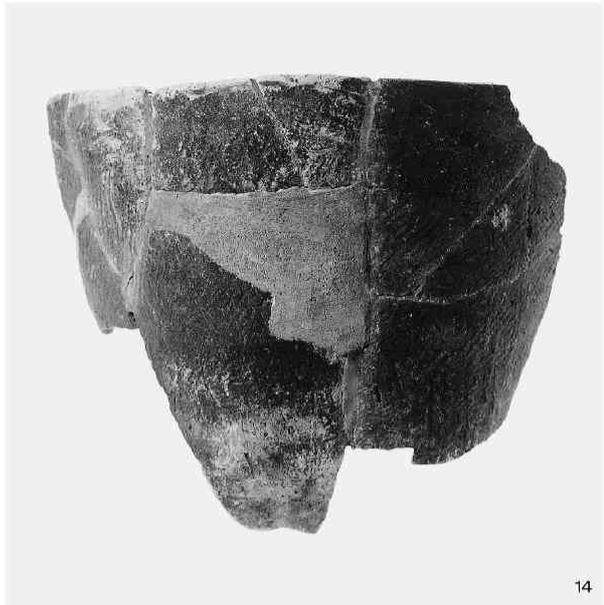
柱穴 S P 618 (北東から)



竪穴住居 ST 2 (1~3) ST 3 (4~12)



13



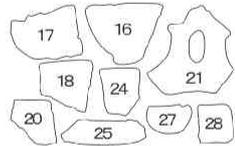
14



15



26



竪穴住居S T 3 (13・14) S T 4 (15・16・20・21・24~28) 柱穴S P 430 (17) S P 290 (18)



22



22

注口土器（竪穴住居ST4）



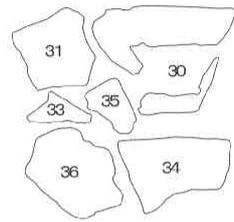


32

深鉢（竪穴住居ST7）



S T 7 30・31
 S T 19 33
 S T 1004 34~36



竪穴住居 S T 7・19・1004



37

埋設土器遺構 E U27



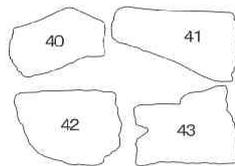
38

埋設土器遺構 E U509



48

深鉢（立石遺構 S P 482）



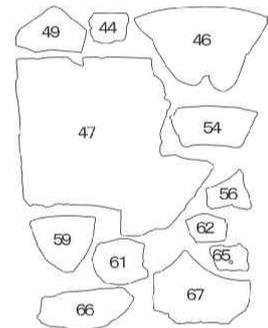
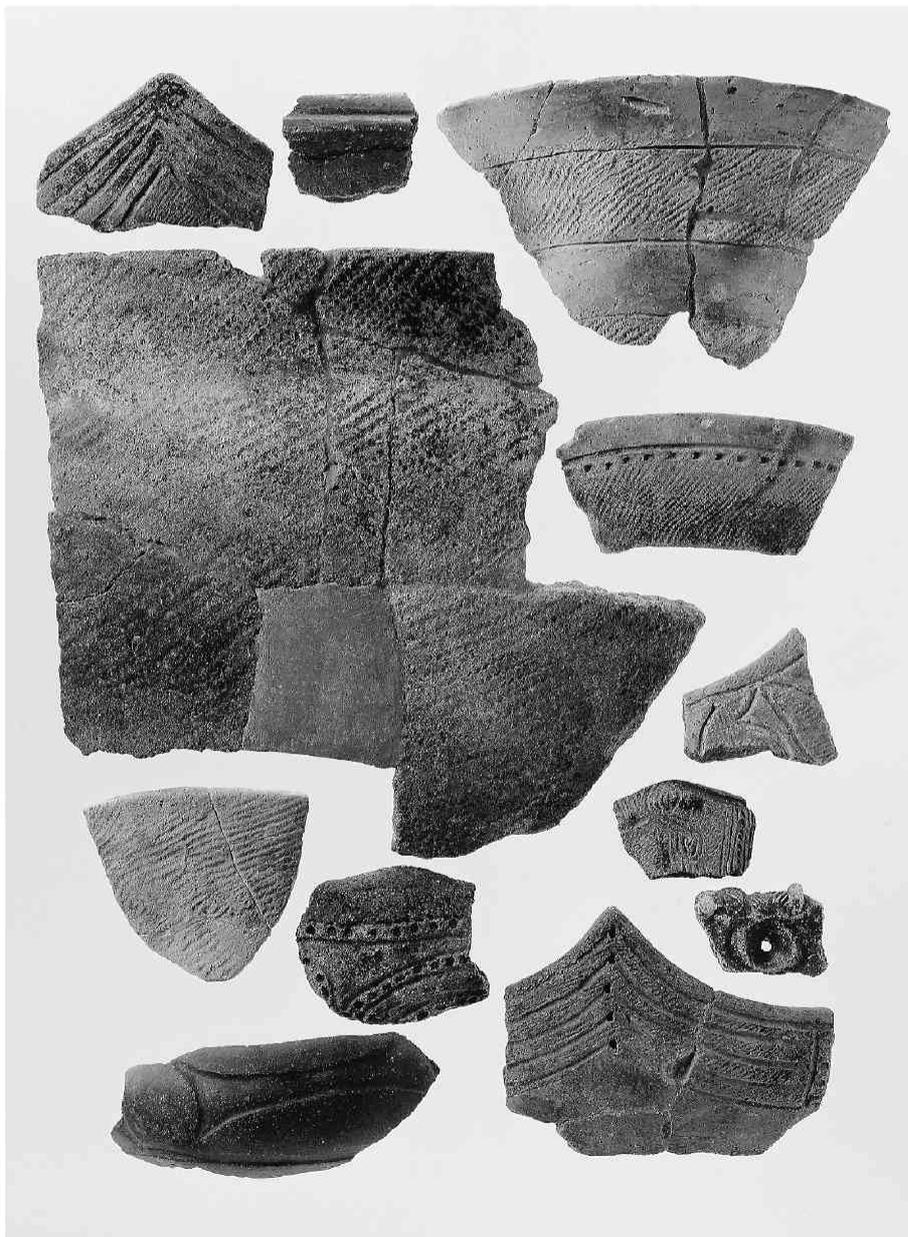
- SB 15 (SP203) 39
- SB 16 (SP112) 40
- SB 17 (SP199) 41
- SB 1007 (SP561) 42
- SB 1008 (SP619) 43



39

掘立柱建物

- S X 25 49
- S K 40 44
- S K 63 47
- S K 64 45・46
- S K 69 53・54
- S K 230 56
- S K 232 59
- S K 233 61
- S K 247 62
- S K 258 65
- S K 271 66・67

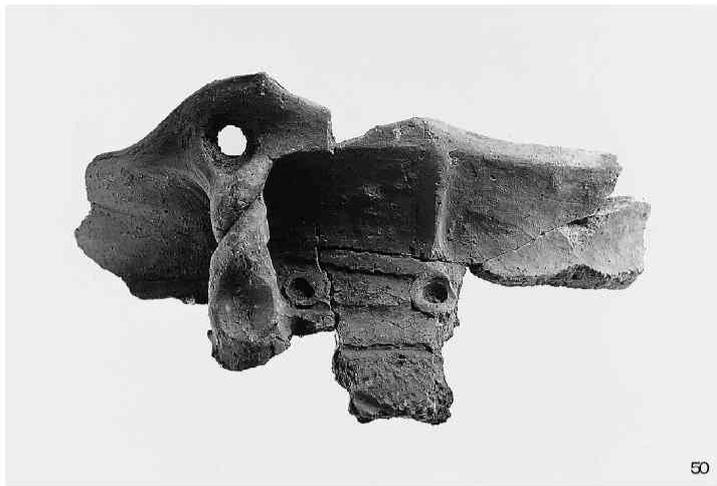


53

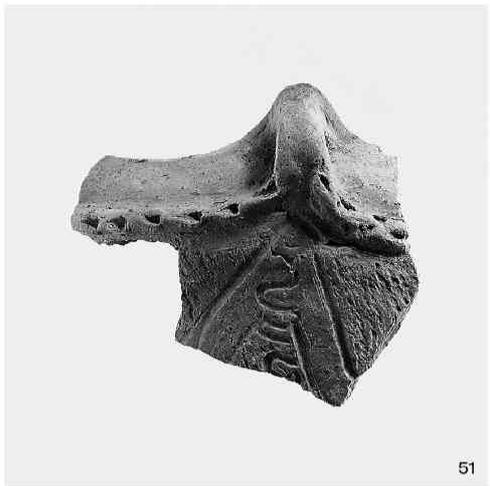


45

配石遺構 S X 25 土坑



50



51



52

土坑 S K 41



57



58



60



63



71



73



壺の内面 (73)

- S K 230 57
- S K 232 58・60
- S K 251 63
- S K 416 71
- S K 426 73

土坑 S K 230・232・251・416・426

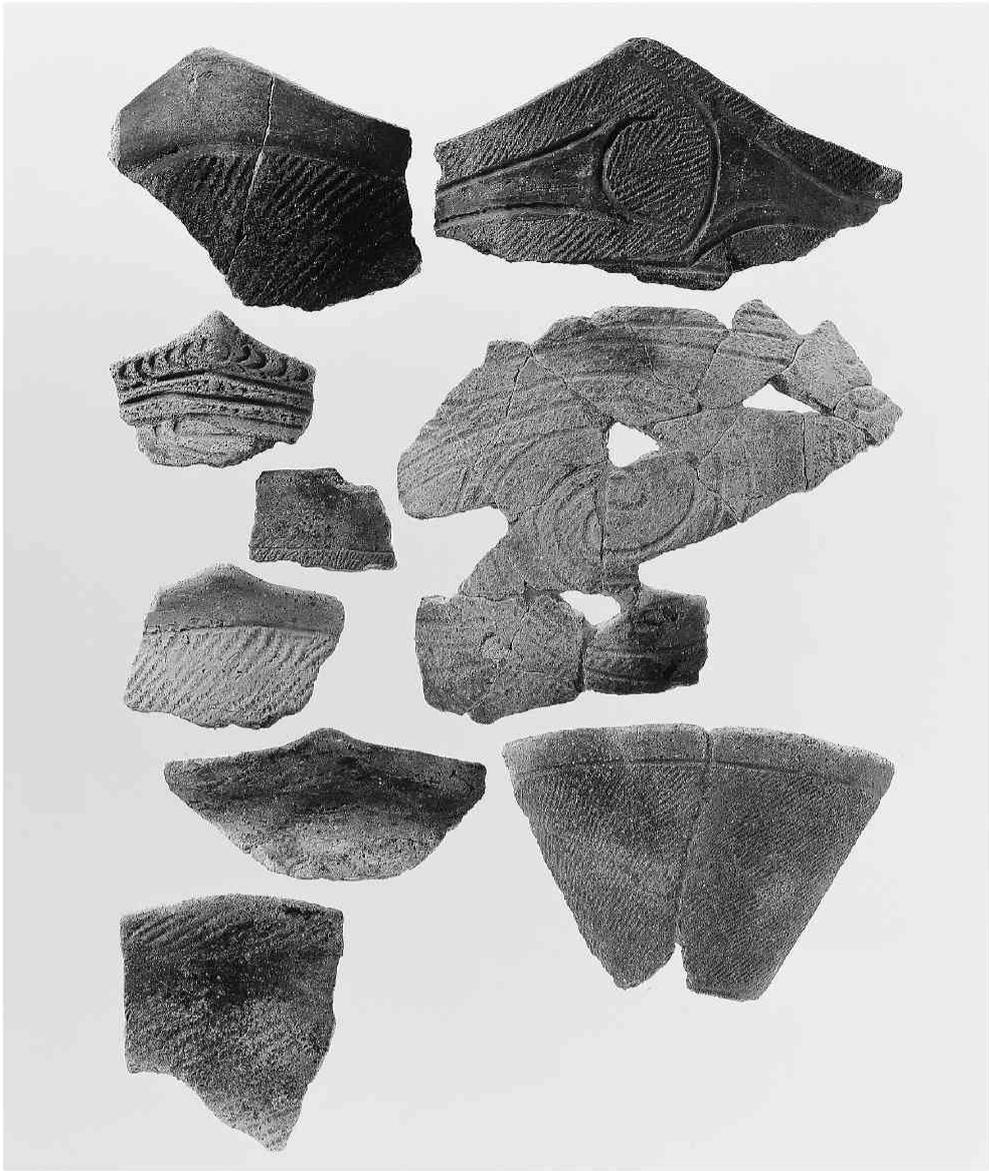


55

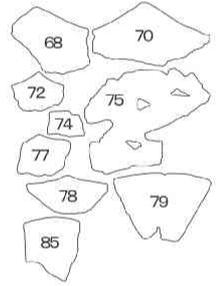


64

土坑 S K 230 (55) S K 252 (64)



- S K308 68・69
- S K361 70
- S K416 72
- S K488 74
- S K502 75
- S K511 76~78
- S K516 79
- S K627 85



69

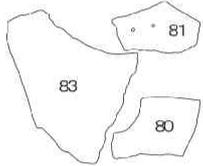


76

土坑



82



84



土坑 S K614



91



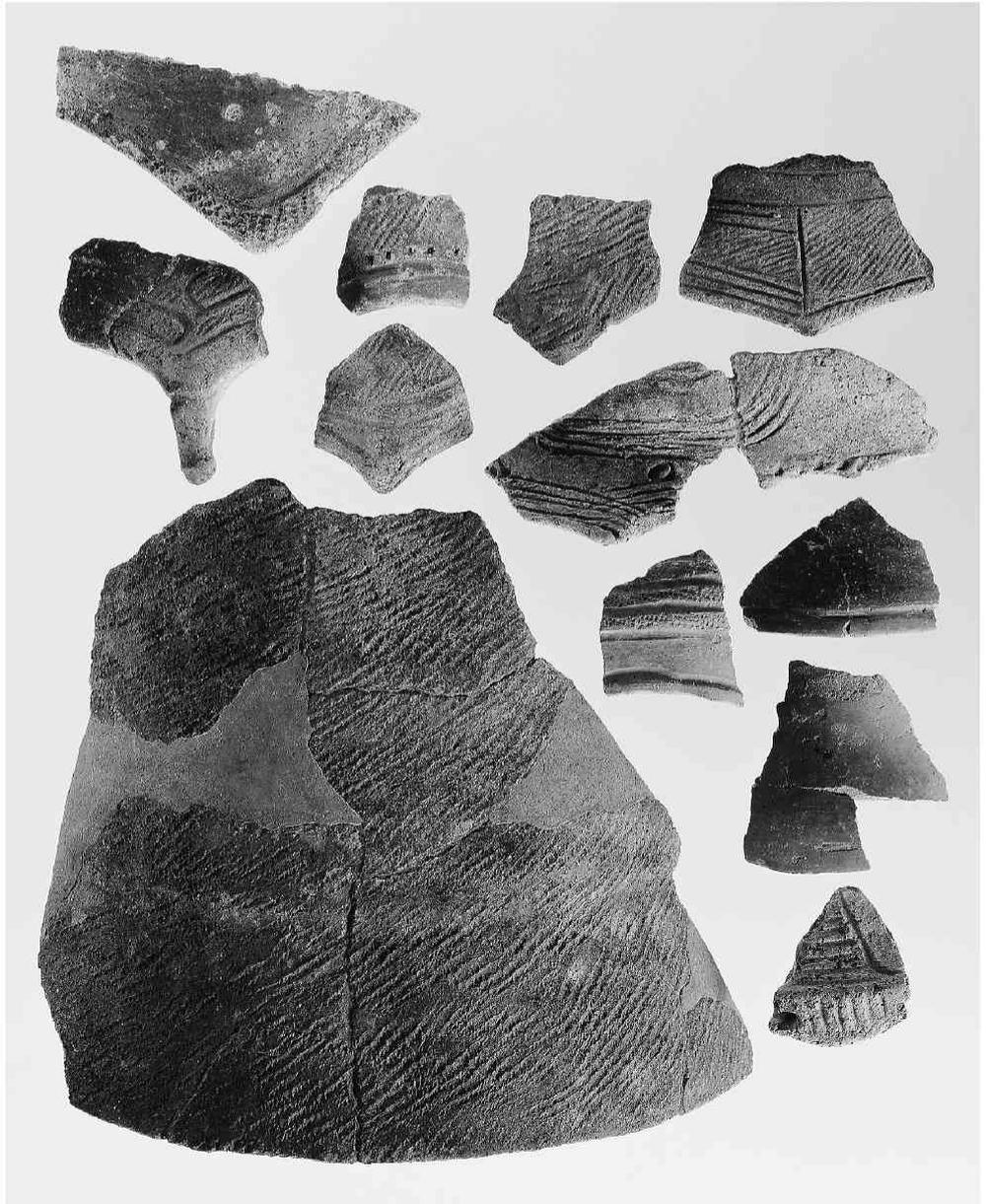
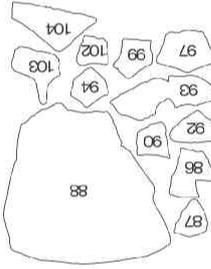
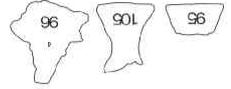
101



89

柱穴 S P144 (89) ピット S P256 (91) S P462 (101)

100



- S P 156 86
- S P 217 87
- S P 174 88
- S P 219 90
- S P 268 92
- S P 320 93
- S P 372 94
- S P 402 96
- S P 434 96
- S P 438 97
- S P 221 99
- S P 441 100
- S P 498 102
- S P 542 103
- S P 557 104
- S P 650 105



98

ピットSP221



106

ピットSP656



113

性格不明遺構S X24



125

性格不明遺構S X250



- S X 11 107~111
- S X 65 115・116
- S X 70 117・119
- S X 139 120
- S X 250 122~124
- S X 253 126・127
- S X 286 128
- S X 587 129・130
- S X 646 131



120



131

性格不明遺構



112



118



121



114



114

- S X11 112
- S X70 118
- S X222 121
- S X62 114

性格不明遺構



133



134



132

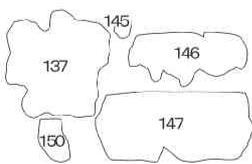
I 群 深鉢 旧河道 S G21



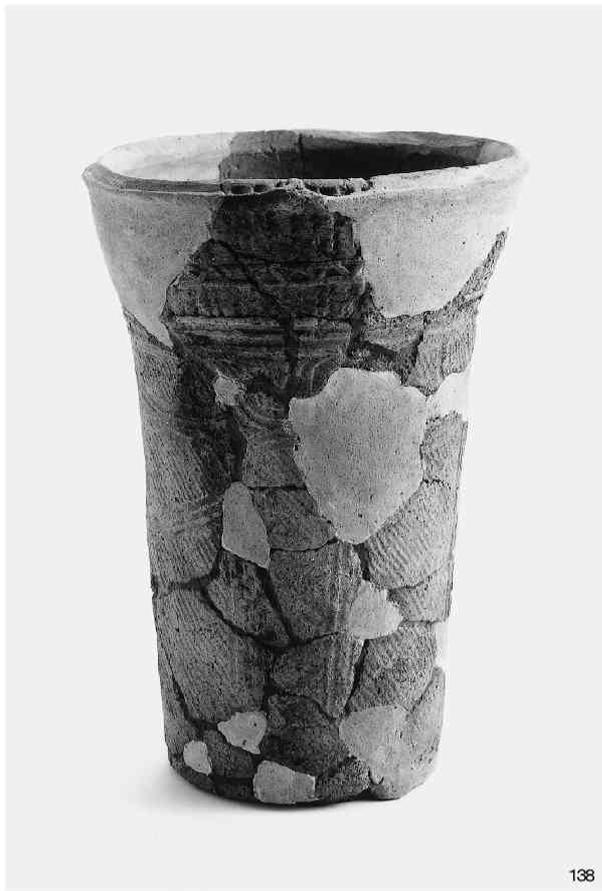
135



136



I 群 深鉢 旧河道SG21, ピットSP542 (145)



138



141



143



149

I 群 深鉢 旧河道 S G21



139



140



142

I 群 深鉢 旧河道 S G21

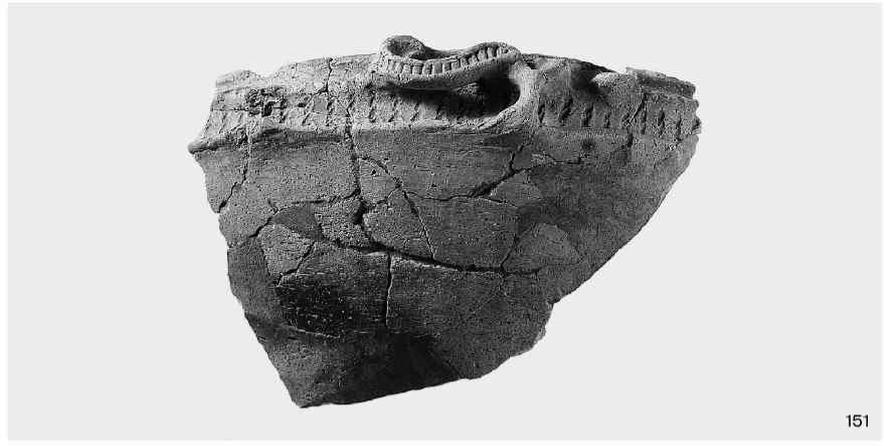
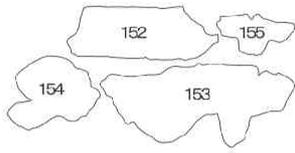


144



148

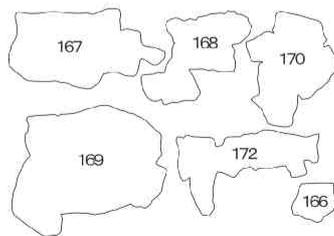
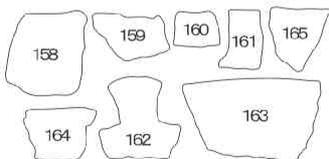
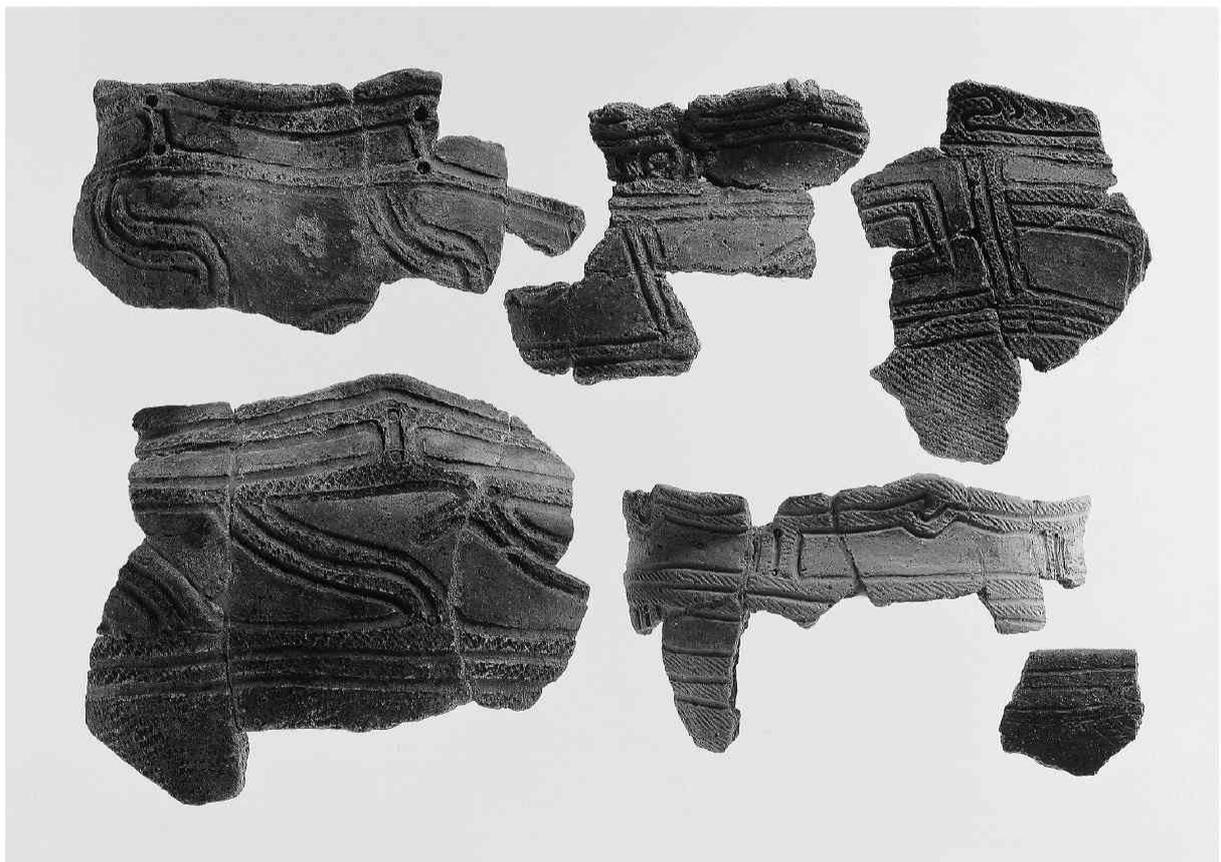
I 群 深鉢 旧河道 S G21



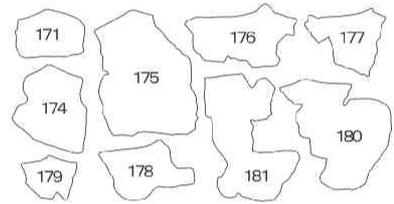
I 群 浅鉢 旧河道 S G21



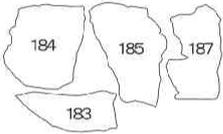
I 群 浅鉢 旧河道 S G21



Ⅱ群（上段），Ⅲ群 深鉢（下段） 旧河道S G21

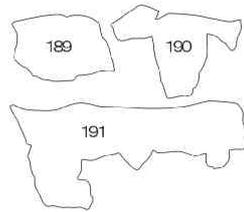


173
Ⅲ群 深鉢 旧河道SG21



186

Ⅲ群 深鉢 旧河道S G21



188

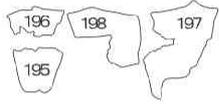


192



193

Ⅲ群 深鉢 旧河道S G21



194

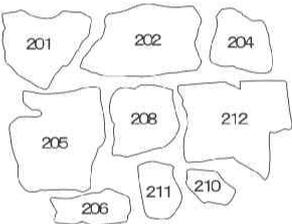


199



200

Ⅲ群 深鉢 旧河道S G21



203



207



209

Ⅲ群 深鉢 旧河道S G21



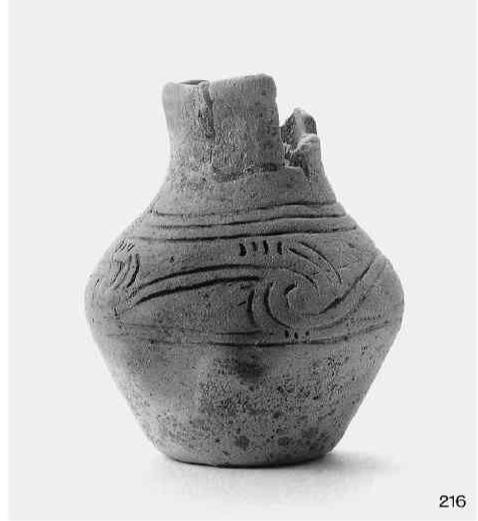
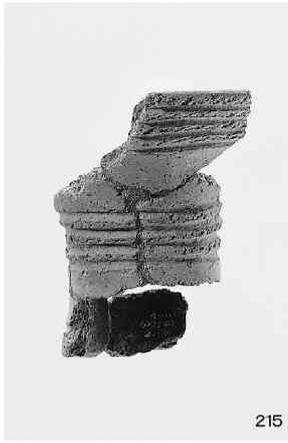
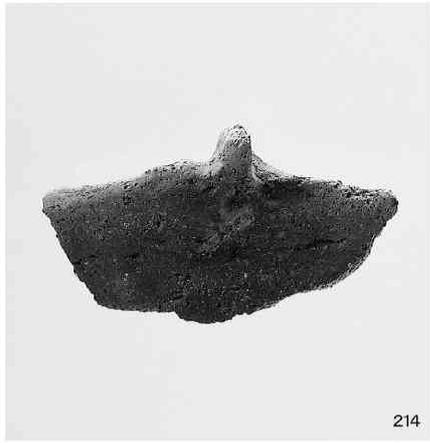
213



213

Ⅲ群 浅鉢 旧河道S G21

写真図版 51



Ⅲ群 浅鉢 (214), 壺 旧河道SG21

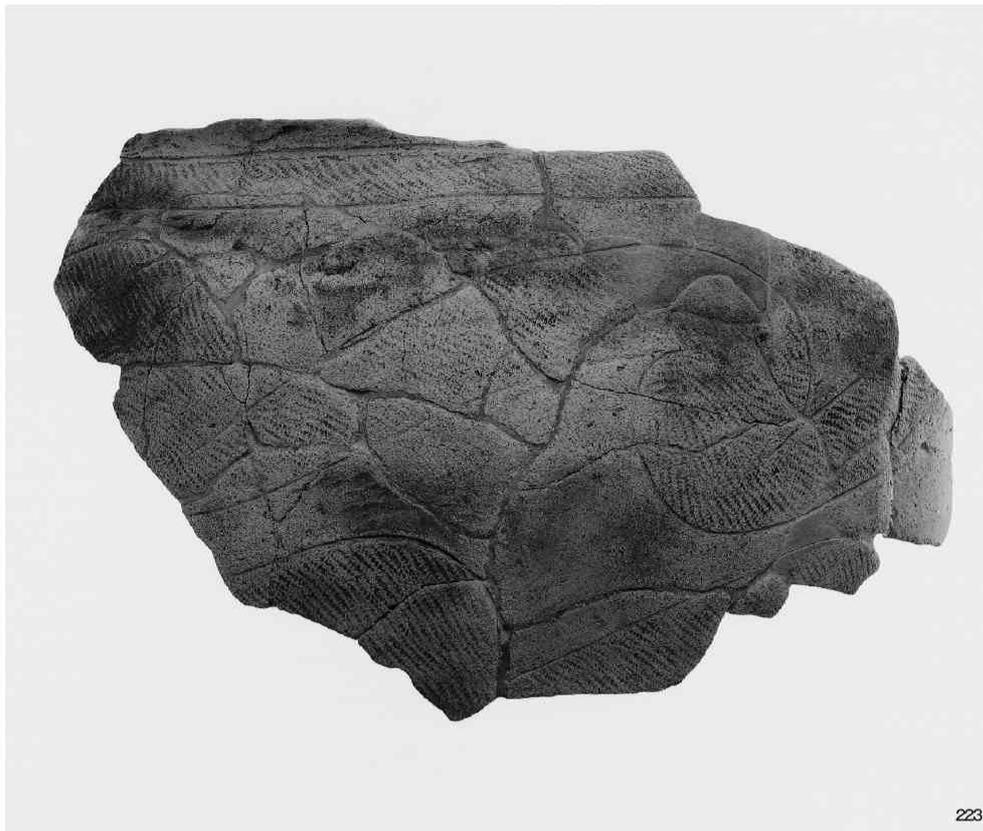


221



220

Ⅲ群 壺 旧河道SG21



223



228



229

IV群 深鉢 旧河道SG21



224



225



226

IV群 深鉢 旧河道S G21



227



230

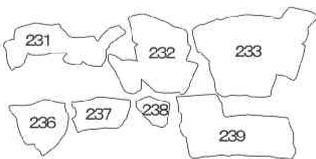
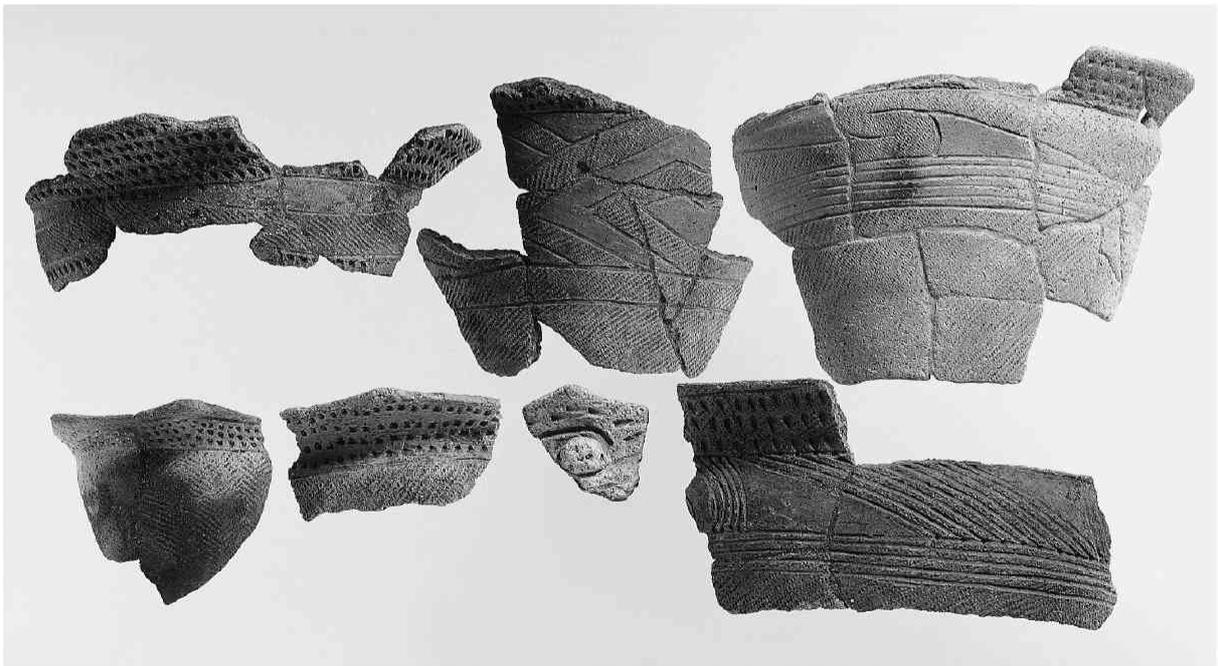


234

IV群 深鉢 旧河道S G21



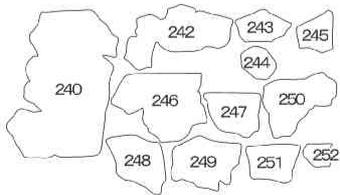
235



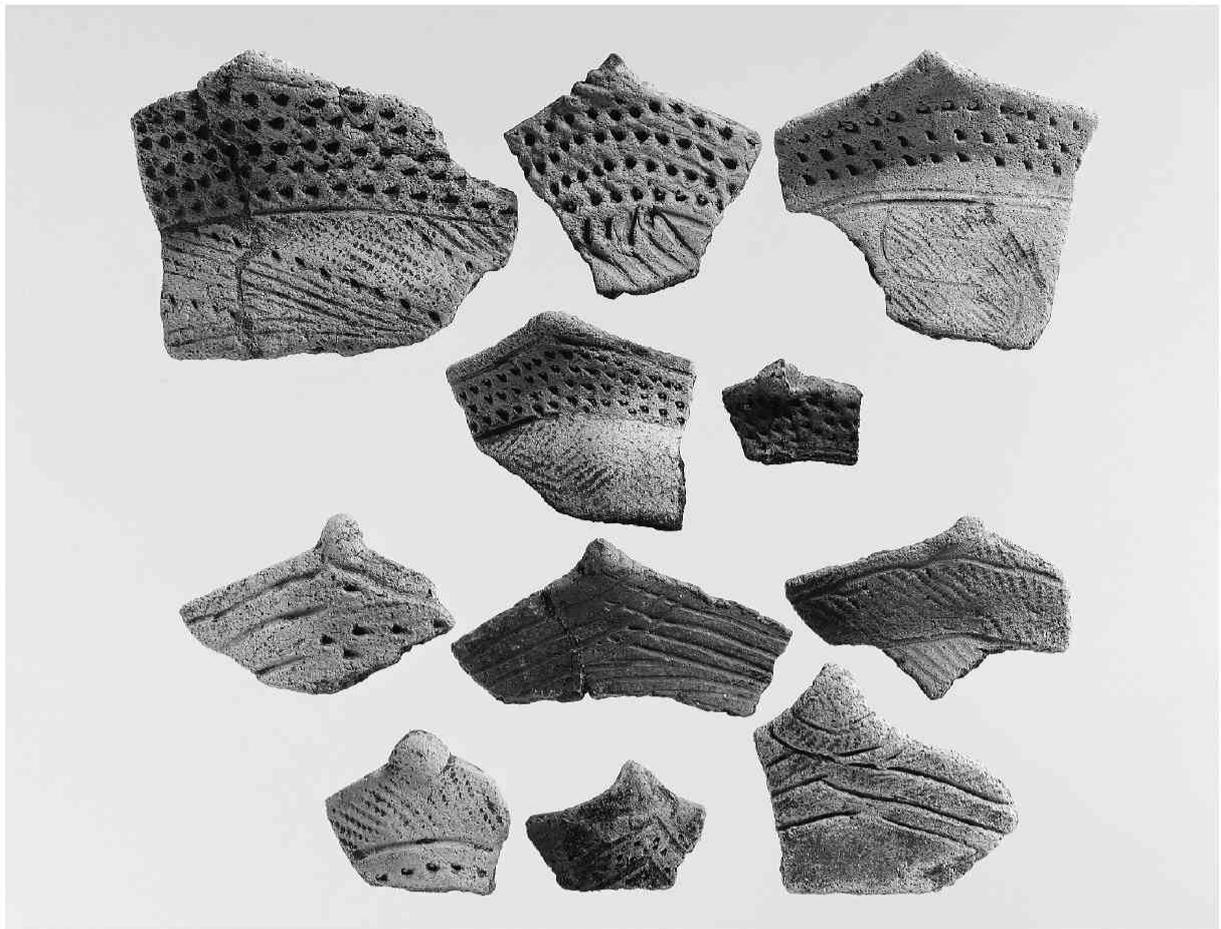
IV群 深鉢 旧河道S G21



241



IV群 深鉢 旧河道S G21



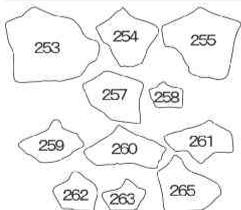
256



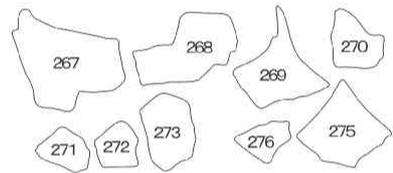
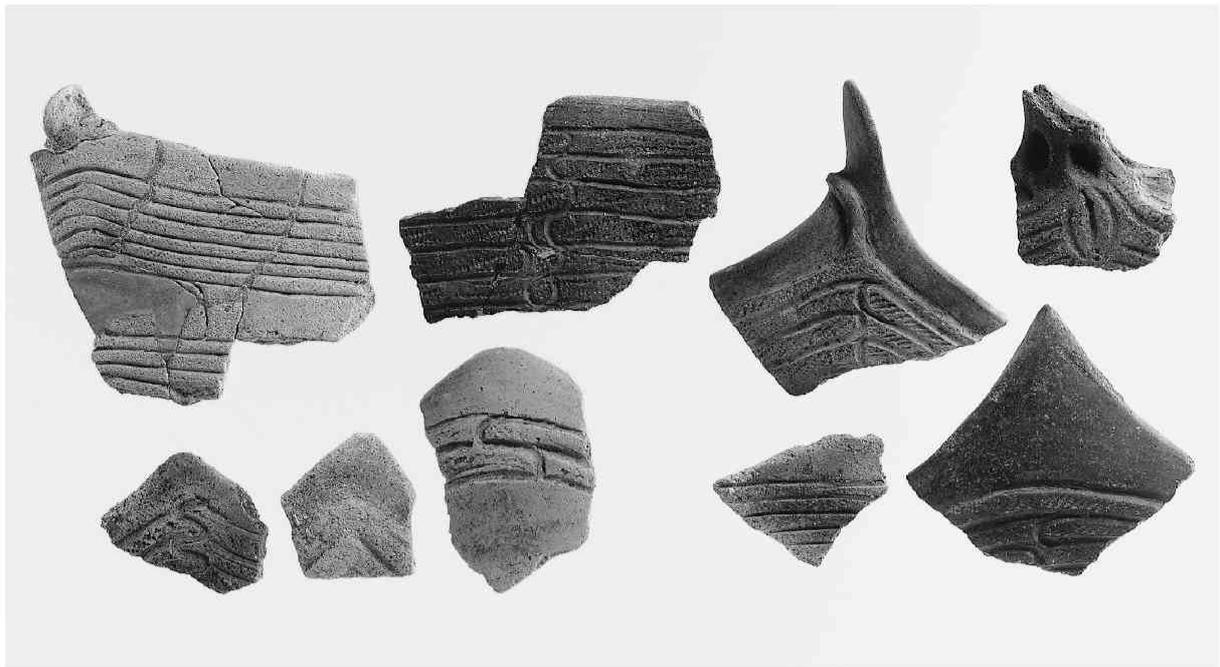
264



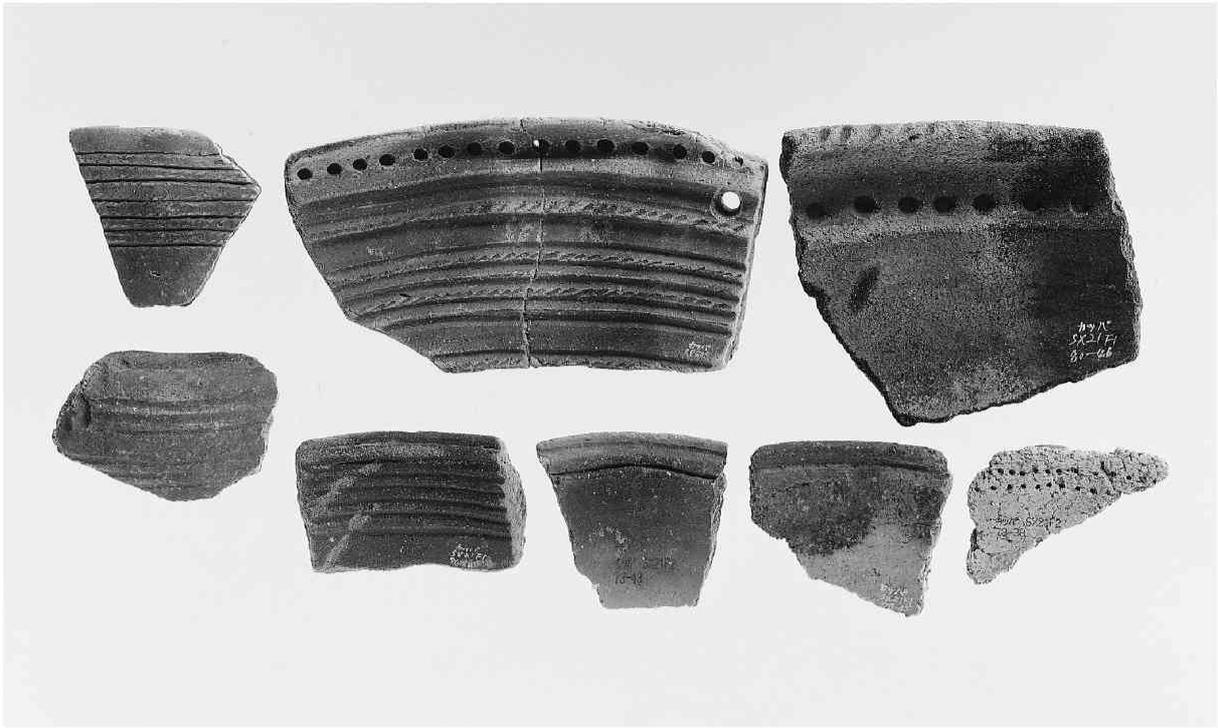
266



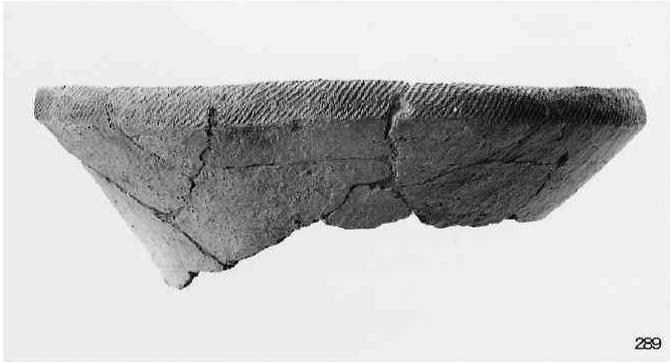
IV群 深鉢 旧河道S G21



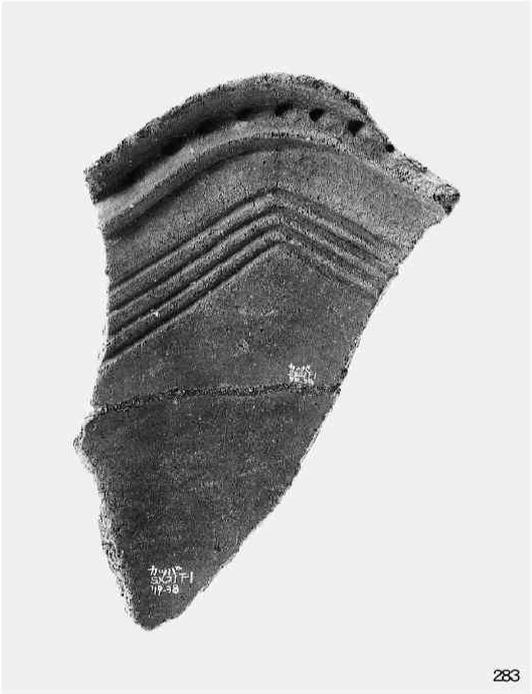
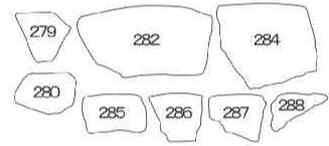
IV群 深鉢・鉢 (278) 旧河道S G21



277



289



283

IV群 鉢 (277・279・280), 浅鉢 (282~289) 旧河道 S G21

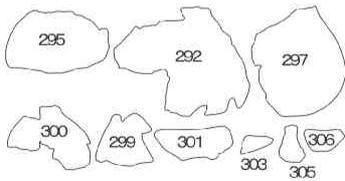


281



281

IV群 浅鉢 旧河道S G21



IV群 浅鉢 (290), 壺 (292・295・297・299~301), 片口土器 (303), 注口土器 (305・306) 旧河道 S G21



IV群 壺・片口土器 (304) 旧河道S G21

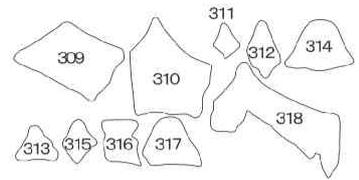
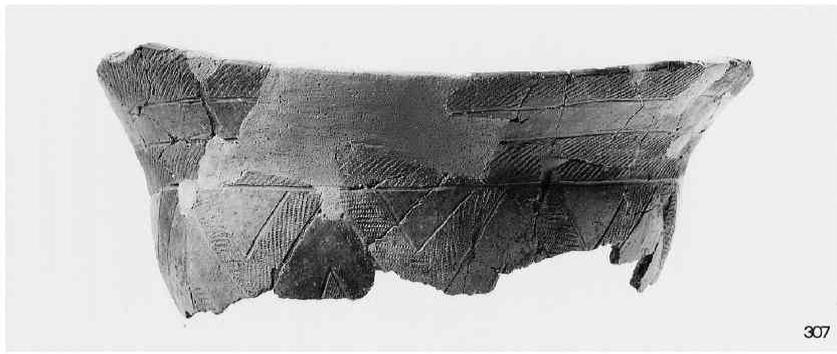


302

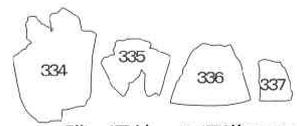
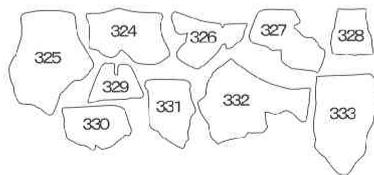
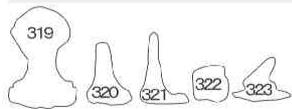
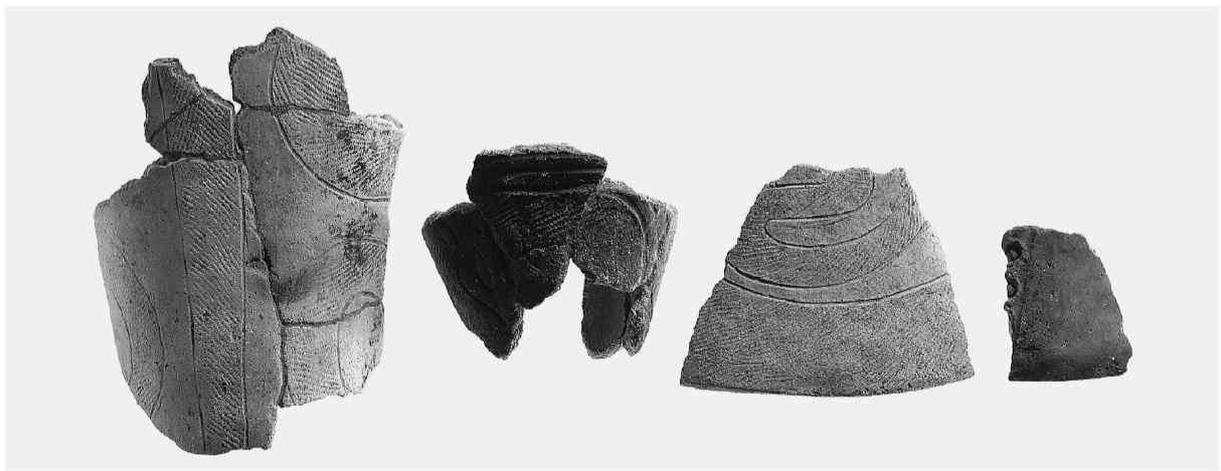
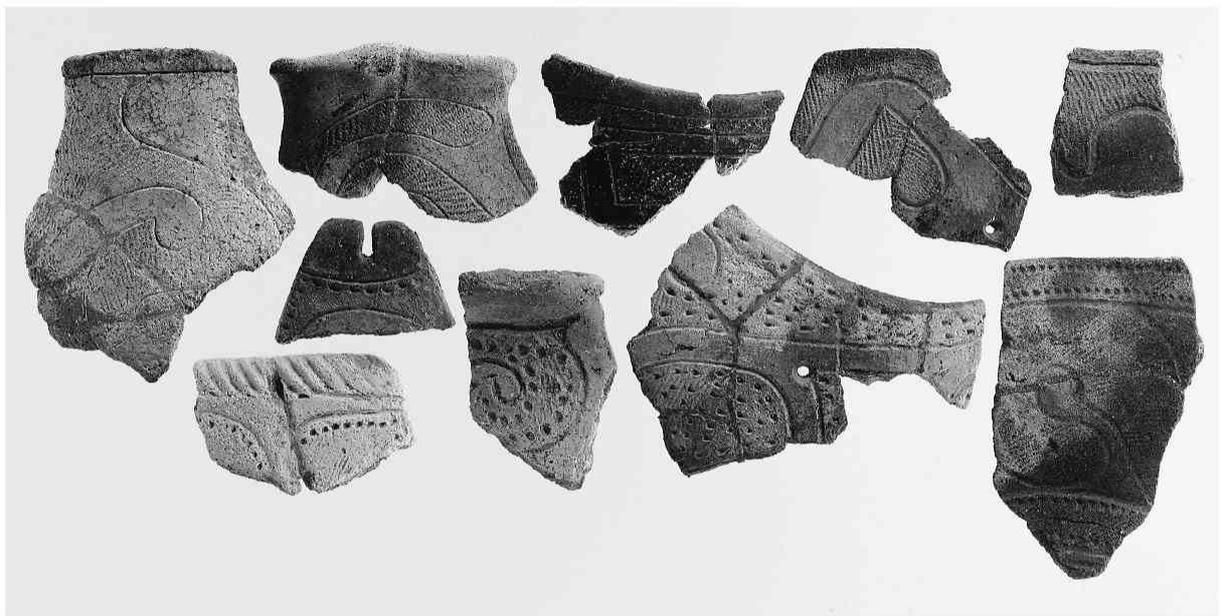
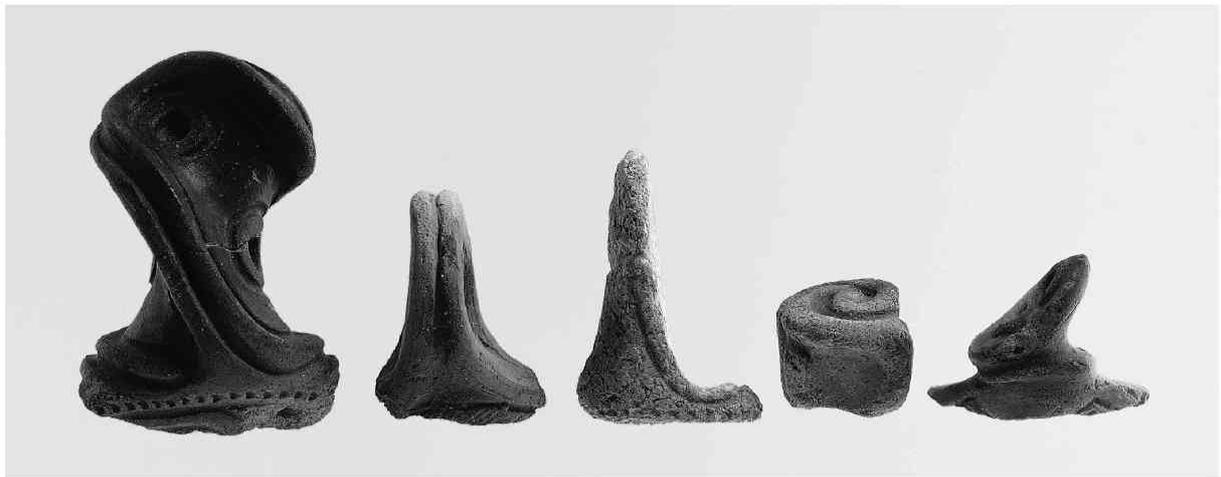


302

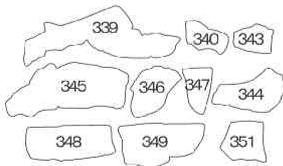
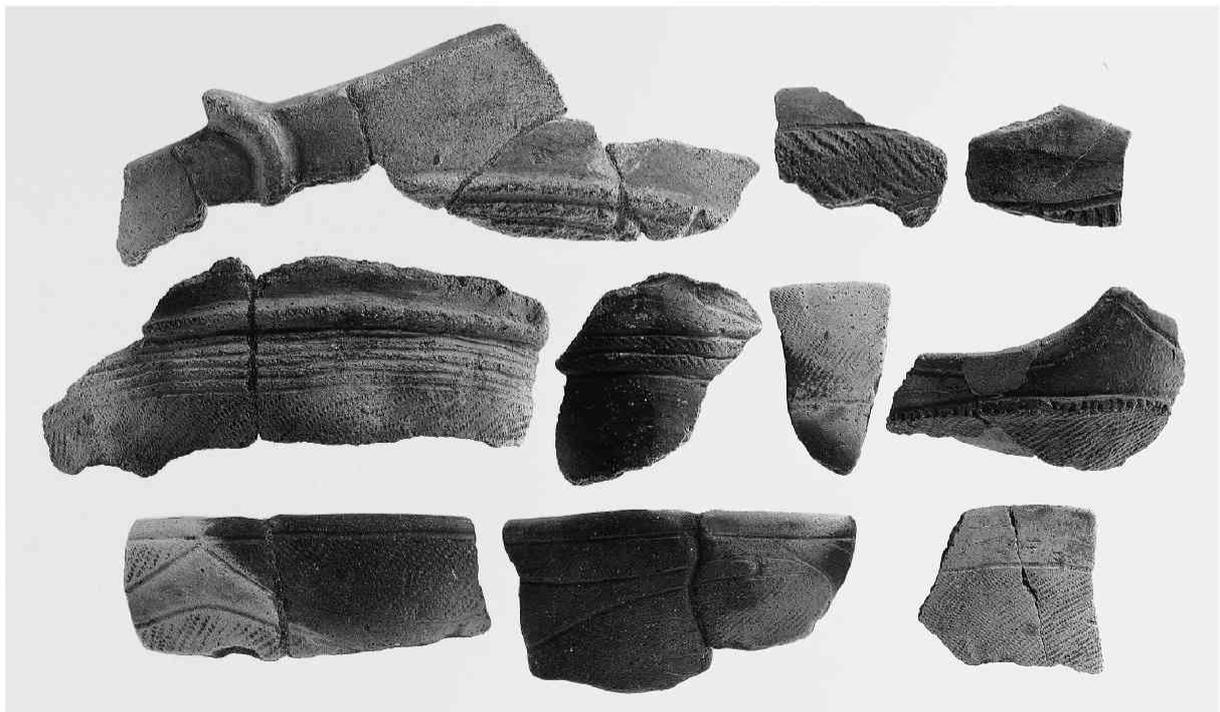
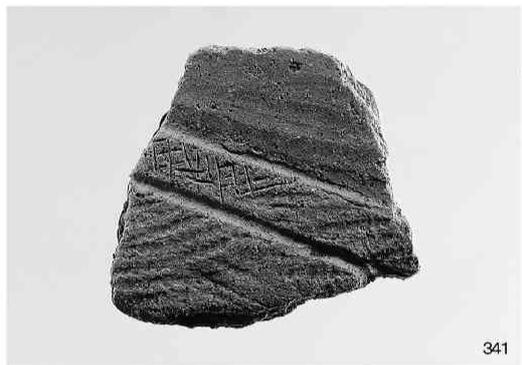
IV群 片口土器 旧河道S G21



V群 深鉢 旧河道SG21



V群 深鉢 旧河道SG21



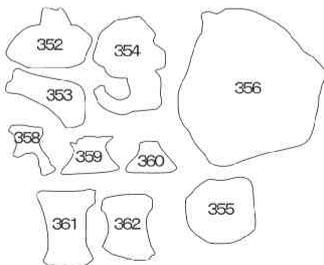
V群 深鉢 (338~347), 鉢 (348・349), 壺 (351) 旧河道S G21



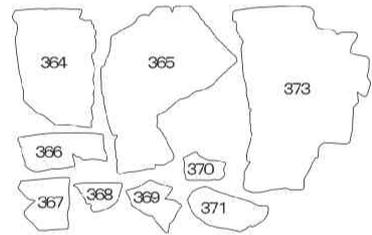
350



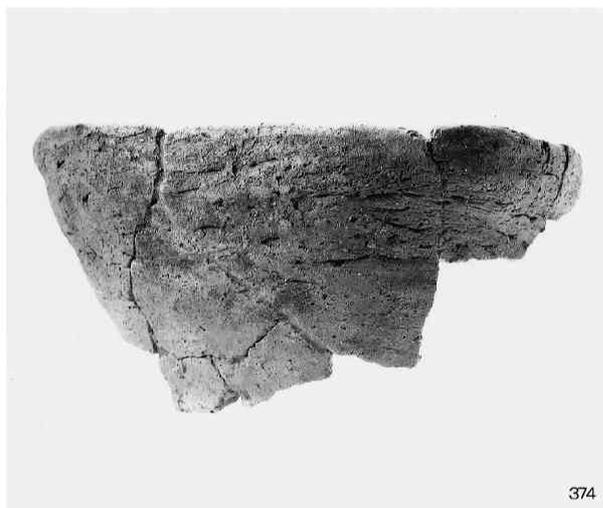
357



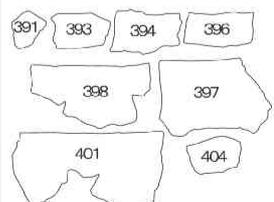
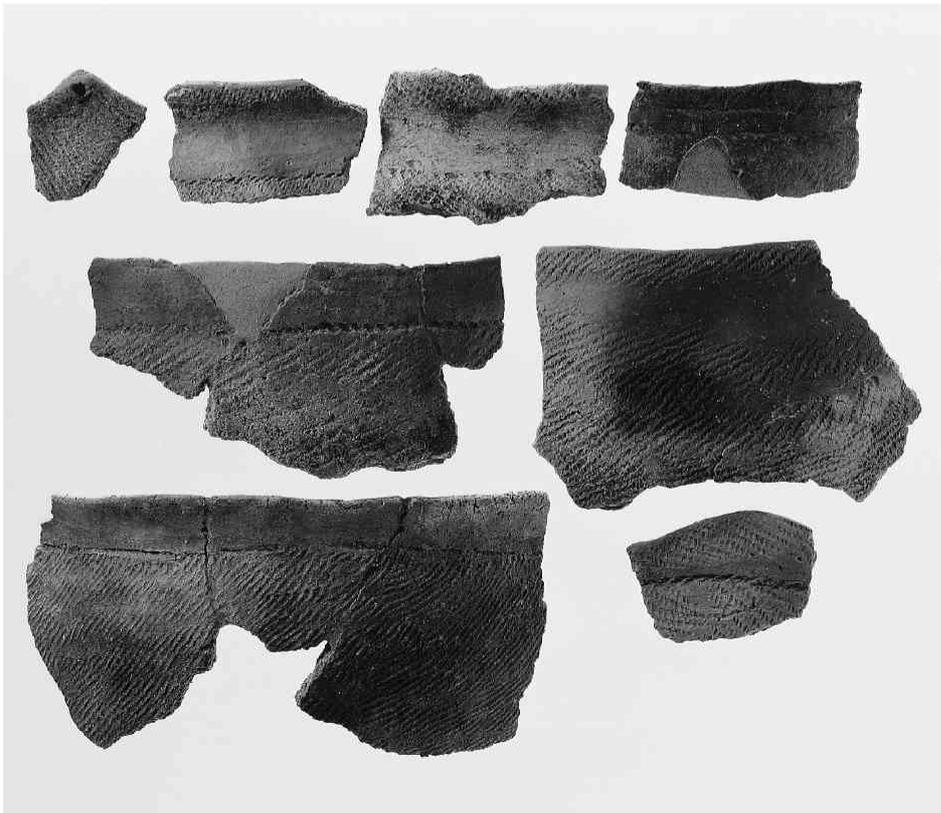
V群 壺 (350), 注口土器 (352~356), 台付浅鉢 (357), 台部 (358~360), 脚部 (361・362) 旧河道S G21



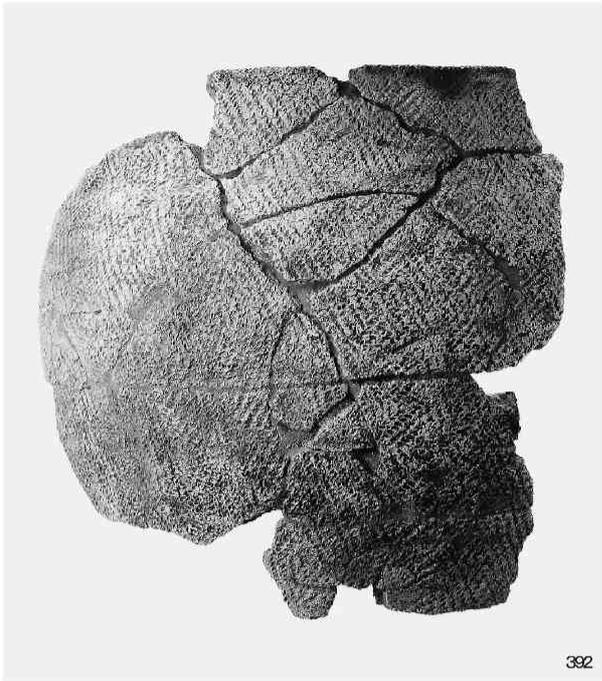
VI群 深鉢 旧河道SG21



VI群 鉢 (374~381), 浅鉢 (382~384), 壺 (385・386) 旧河道SG21



VI群 壺 (上段), VII群 深鉢 (下段) 旧河道SG21



392



403

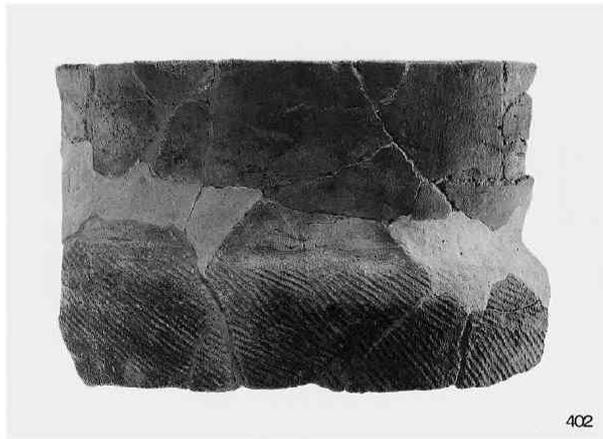
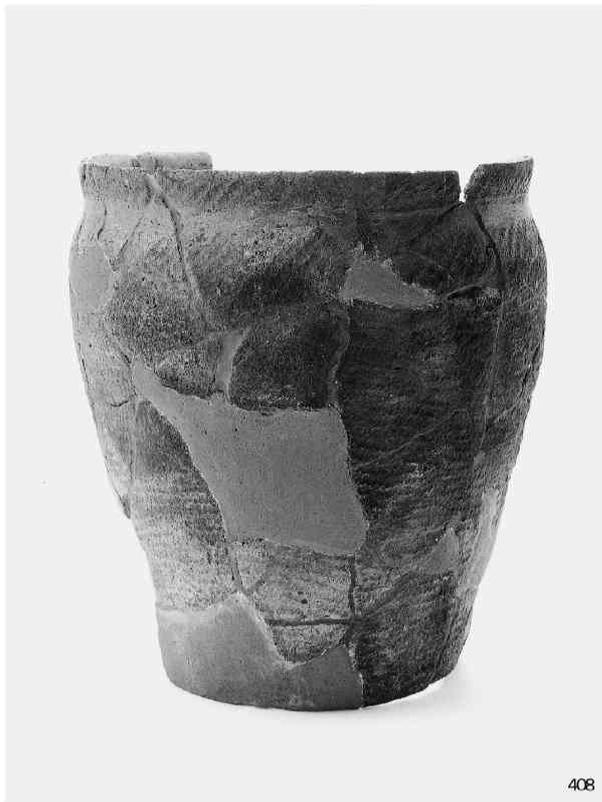


395



400

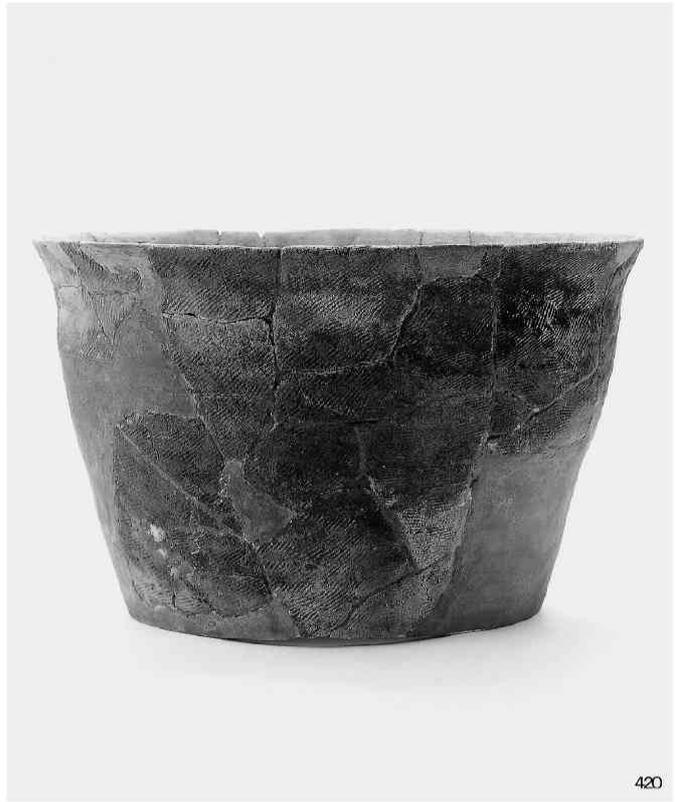
Ⅶ群 深鉢 旧河道SG21



VII群 深鉢 旧河道SG21



419



420

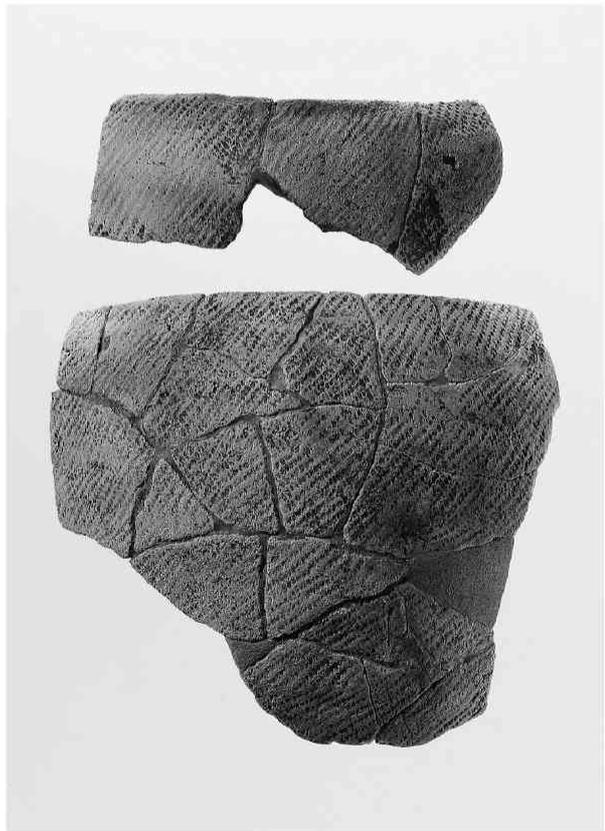
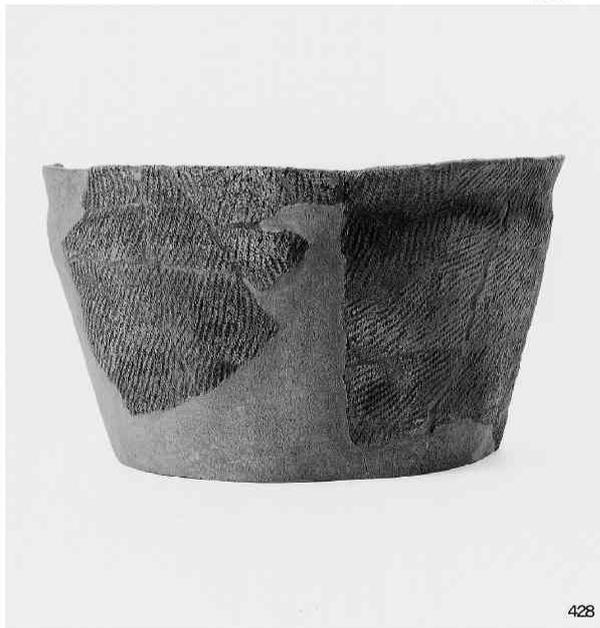
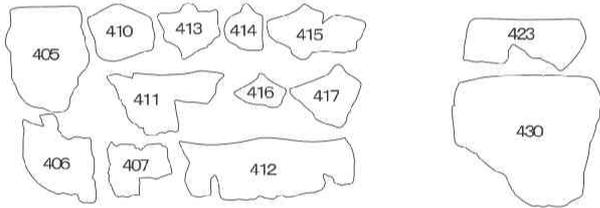
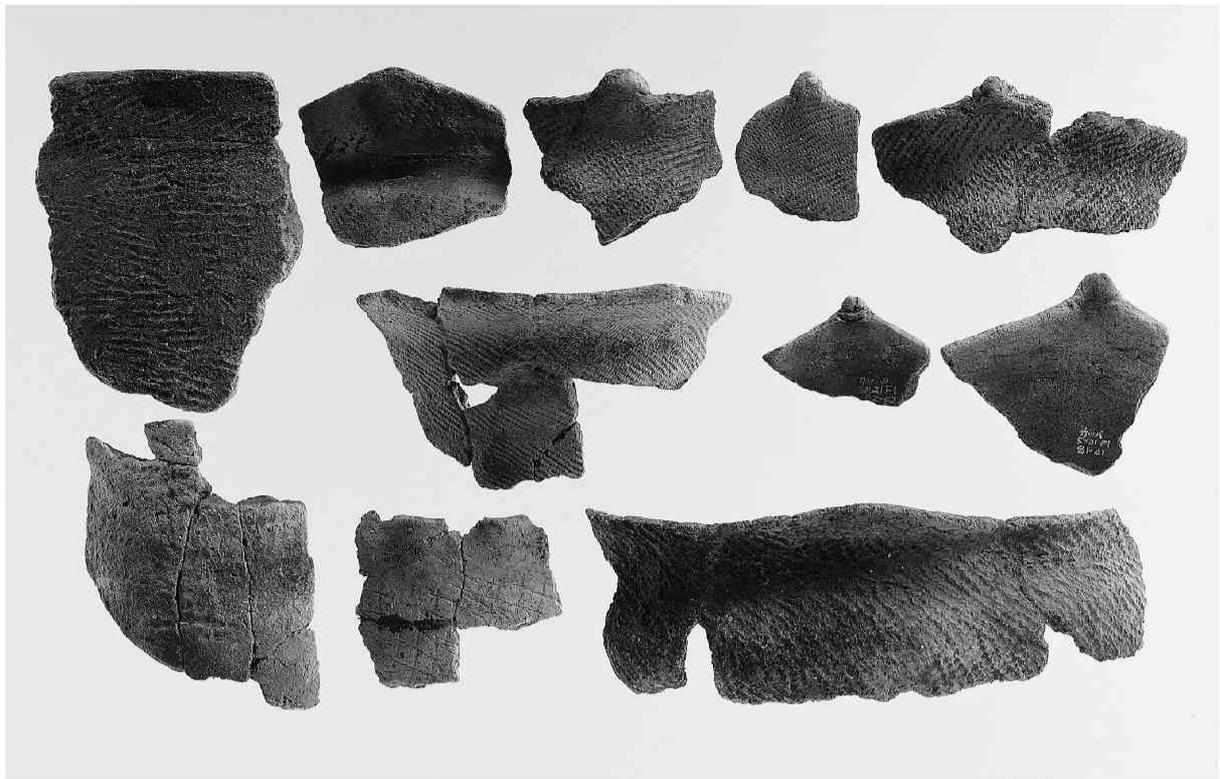


421



422

Ⅶ群 深鉢 旧河道SG21



VII群 深鉢 旧河道SG21



427



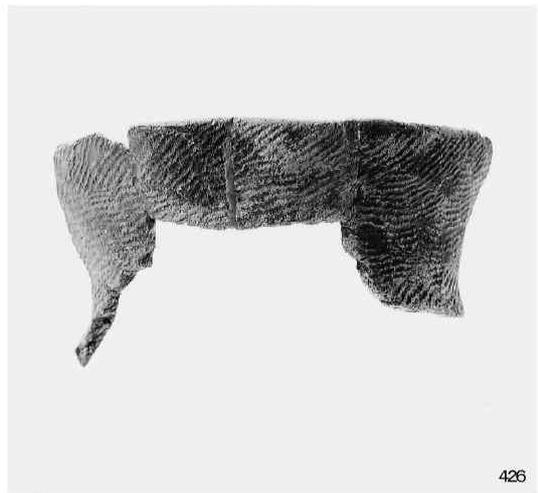
424



425

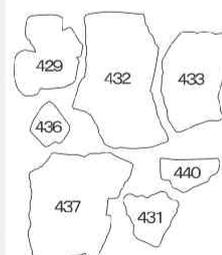


434



426

Ⅶ群 深鉢 (427・434), 壺 (424~426) 旧河道SG21



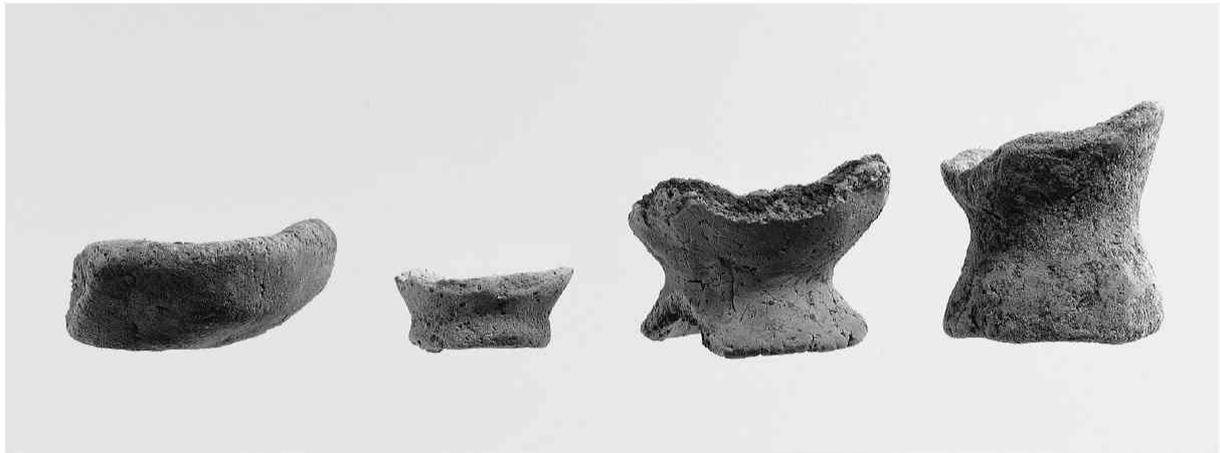
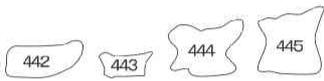
VII群 深鉢・鉢 (438) 旧河道SG21



439



441

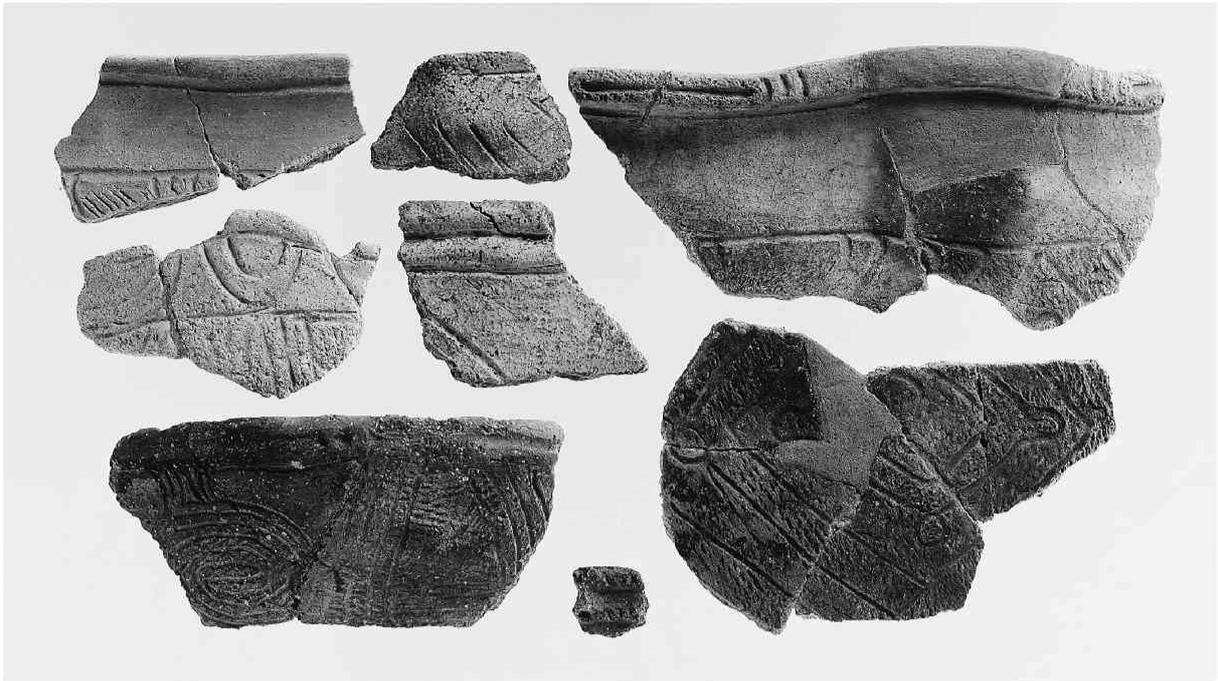


446

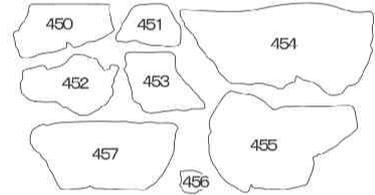


447

Ⅶ群 深鉢 (439), Ⅷ群 ミニチュア土器 (441~445), 異形土器 (446・447) 旧河道SG21



448



449

Ⅱ群 深鉢・鉢(457) 遺物包含層

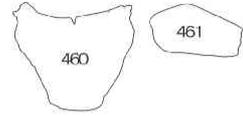
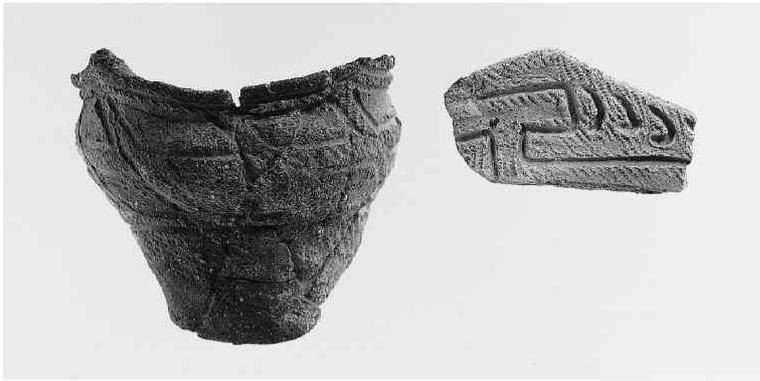


458



459

Ⅱ群 深鉢(459), 鉢(458) 遺物包含層



Ⅲ群 深鉢 (460・461), 壺 (462・463), Ⅳ群 深鉢 (471・482) 遺物包含層



466



472

IV群 深鉢 遺物包含層

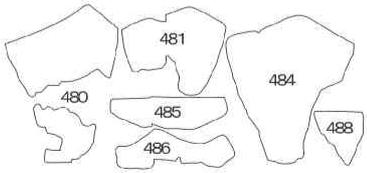
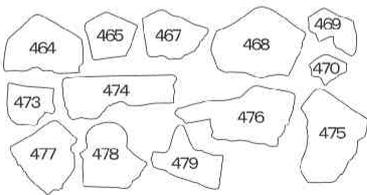
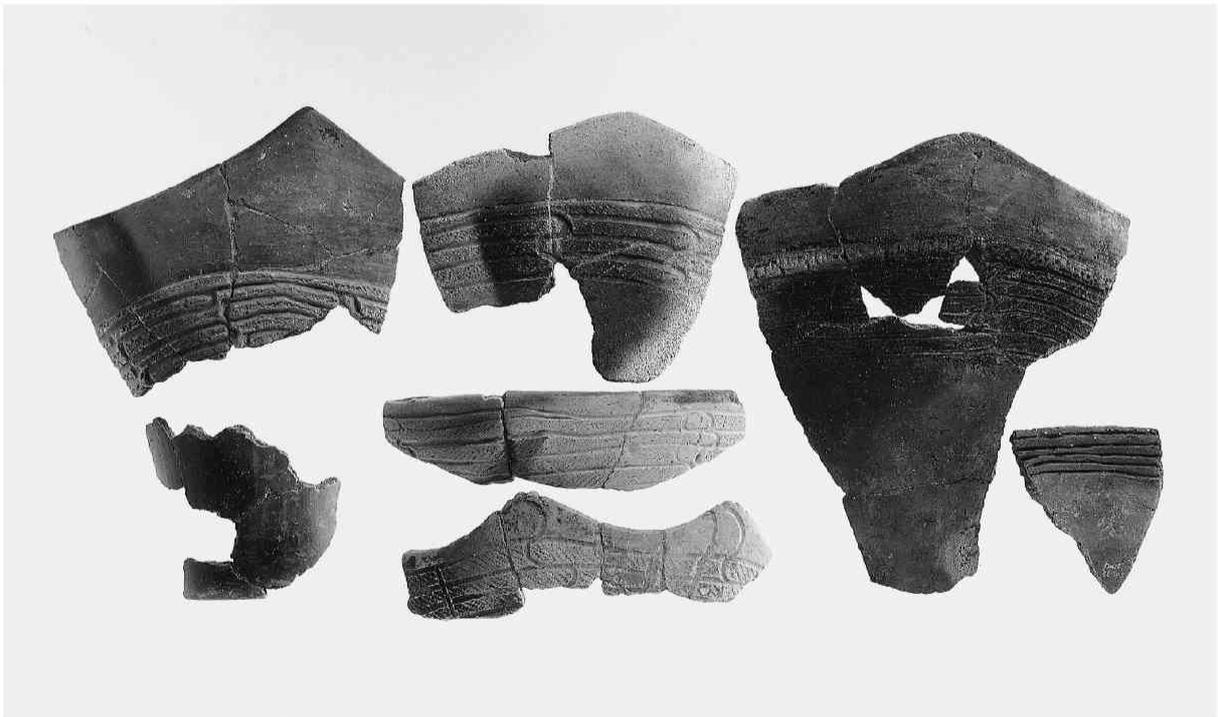


483

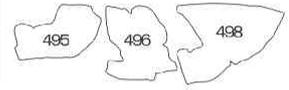
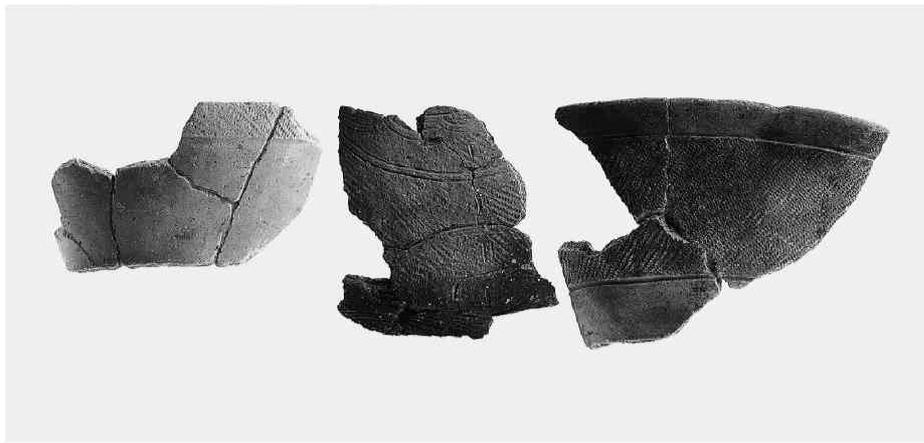


487

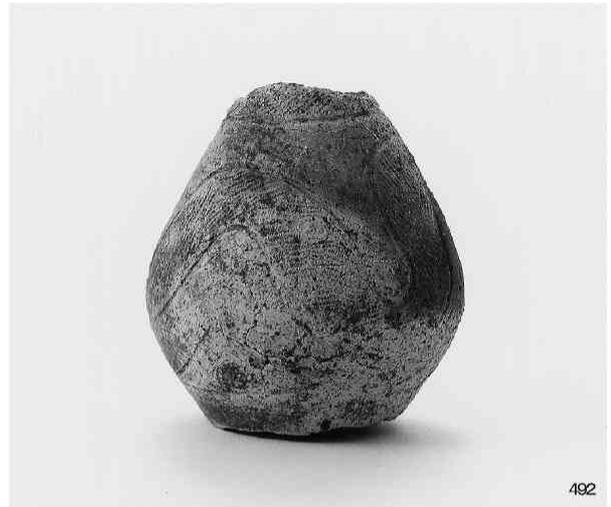
IV群 深鉢 遺物包含層



IV群 深鉢・浅鉢 (488) 遺物包含層



489



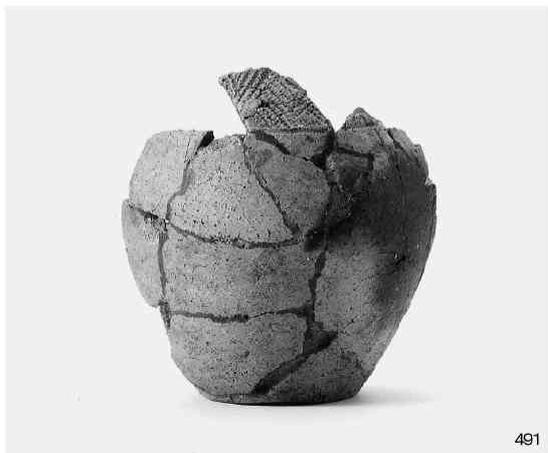
492



490



493



491



499

IV群 壺 遺物包含層



IV群 壺 遺物包含層



500

V群 深鉢 遺物包含層

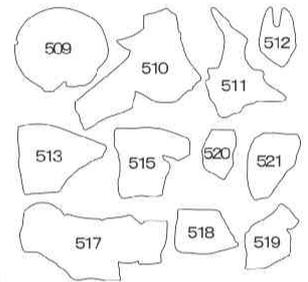
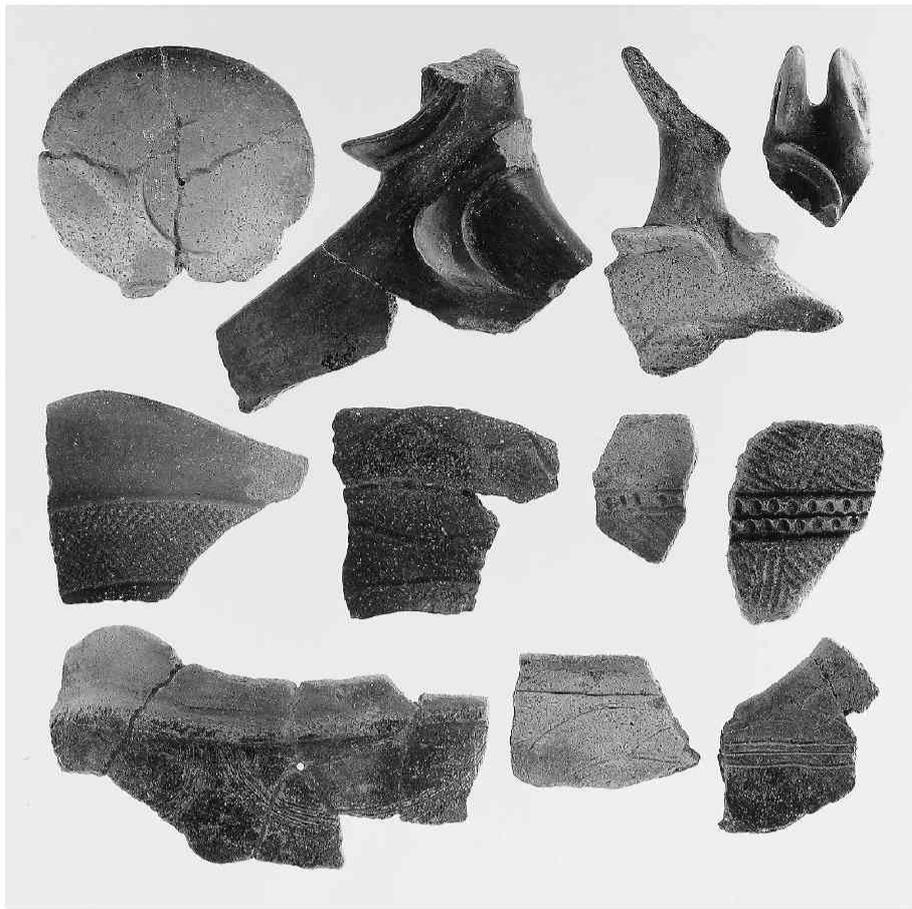


503

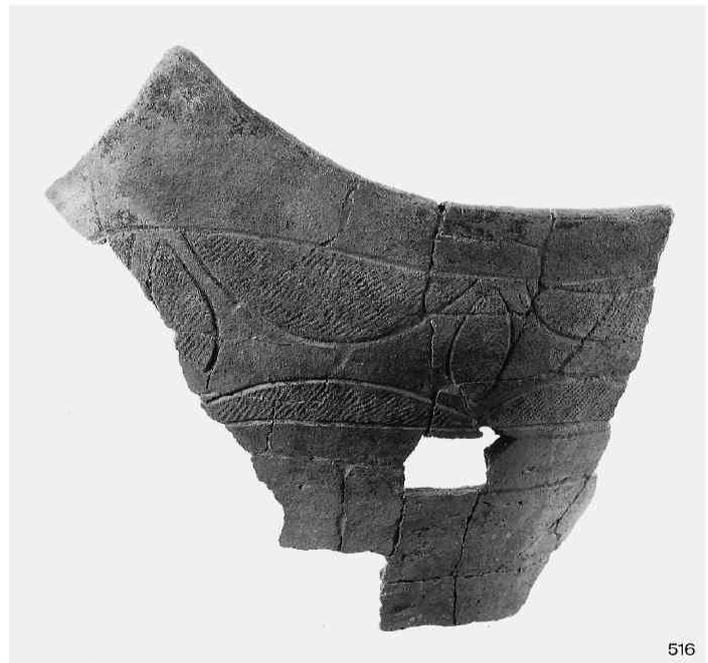


504

V群 深鉢 遺物包含層



514



516

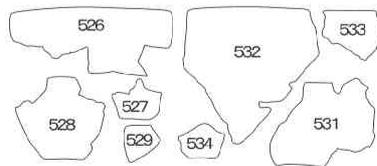
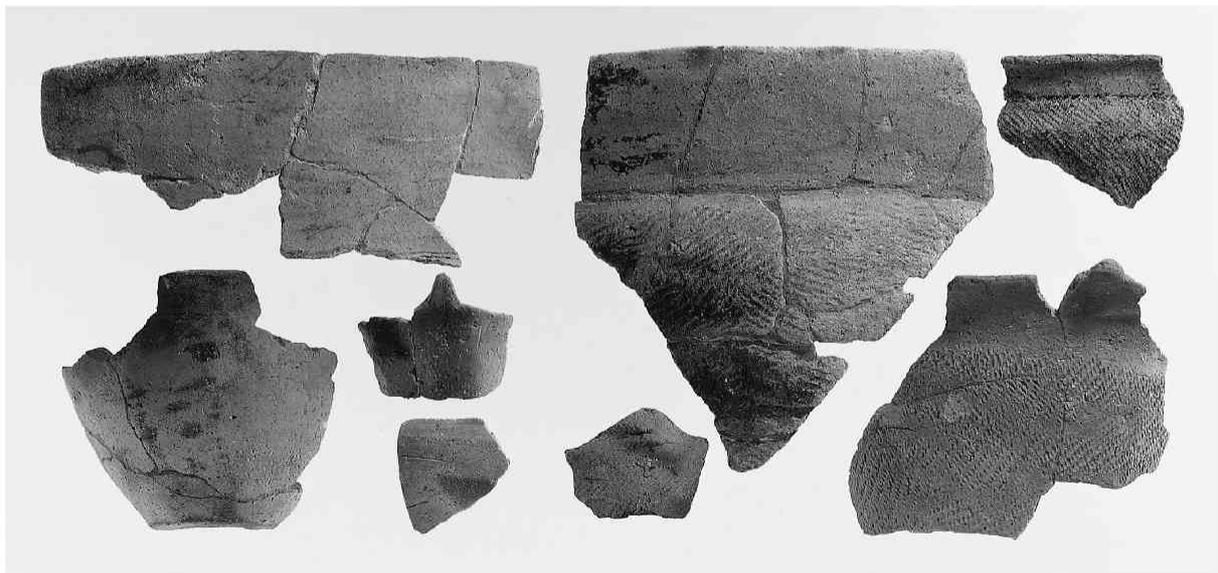
V群 深鉢 遺物包含層



524



525



- V群 注口土器 (524・525)
- 台付浅鉢 (522)
- 台付鉢 (523)
- VI群 深鉢 (526・527)
- 鉢 (528・529)
- VII群 深鉢 (531~534)

V群 VI群 VII群 遺物包含層



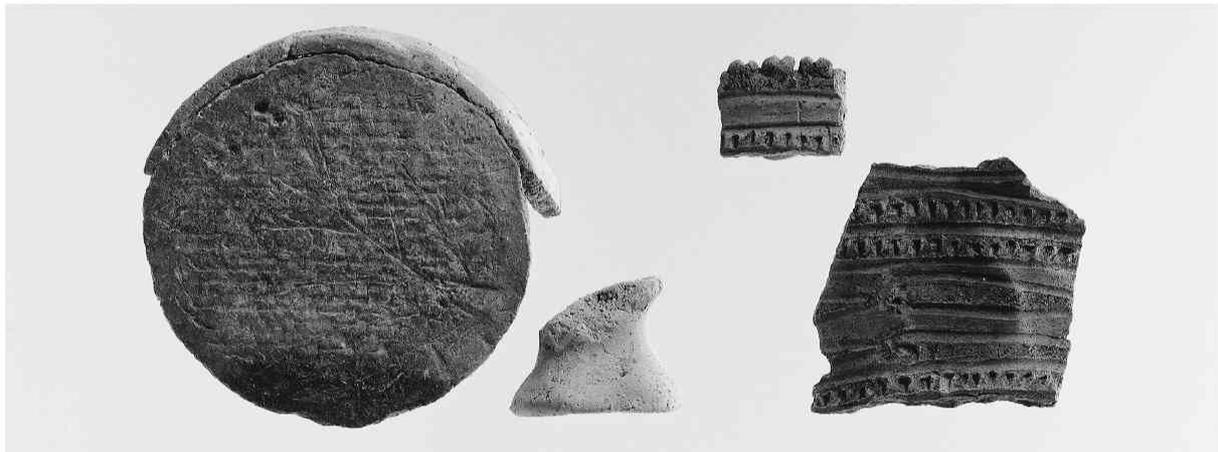
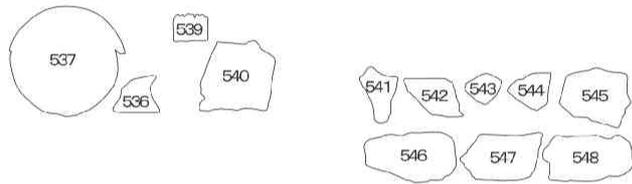
530



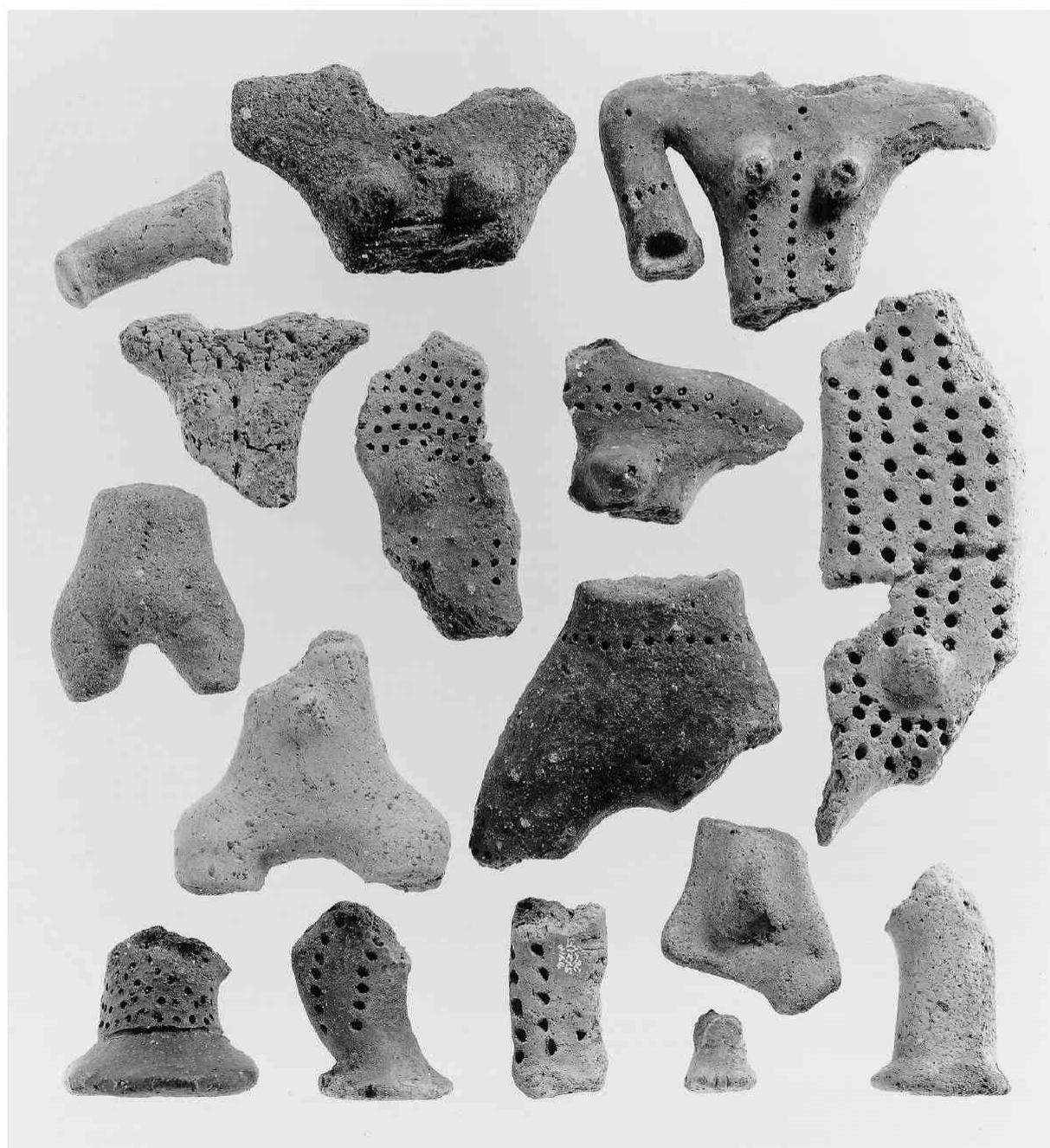
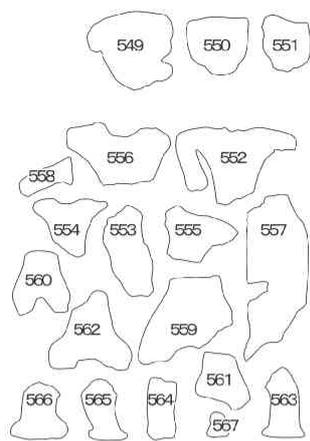
535



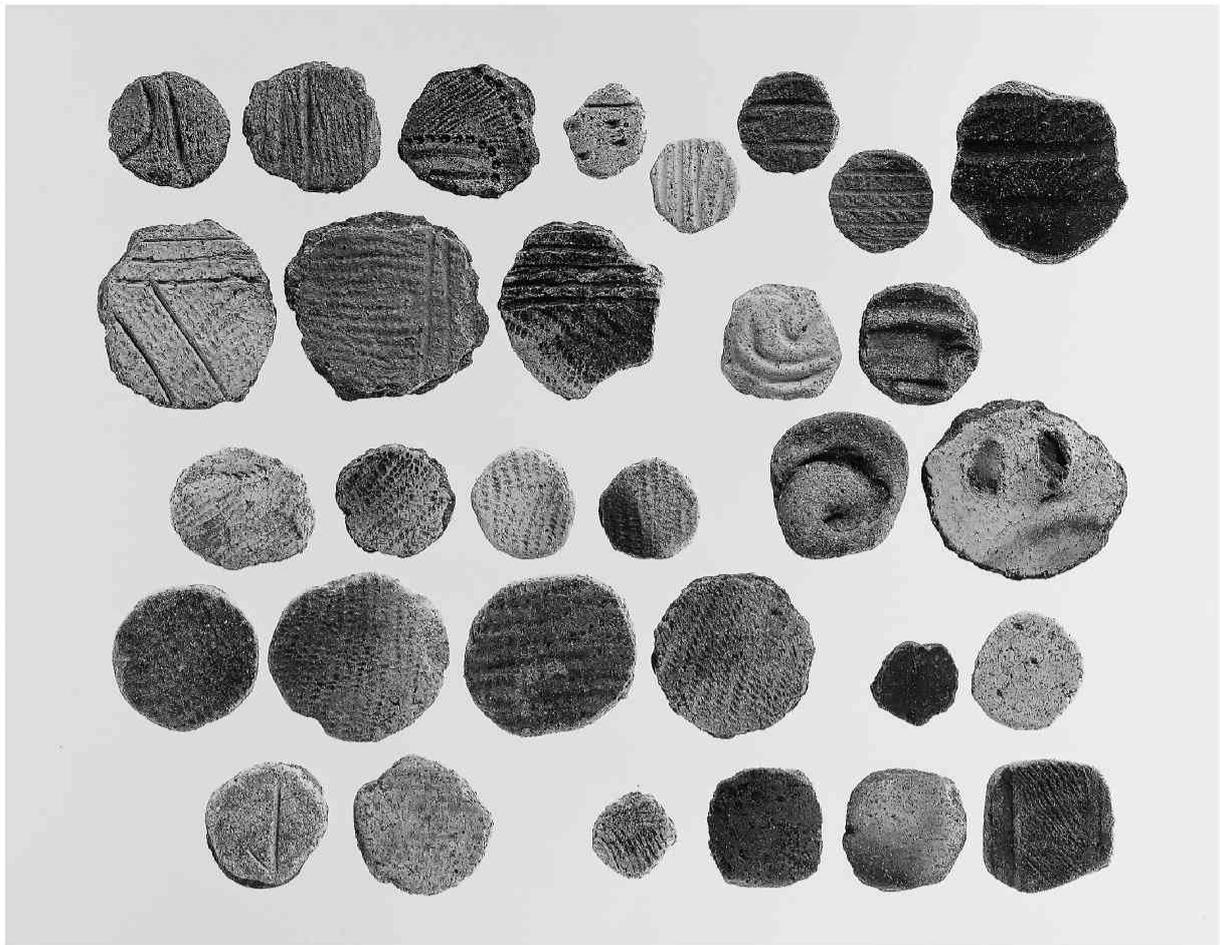
538



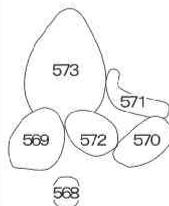
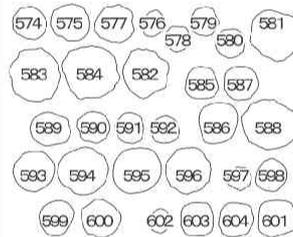
VI群 壺 (530), VII群 深鉢 (535・538), VIII群 (中段) 遺物包含層, 出土地点不明の土器 (下段)



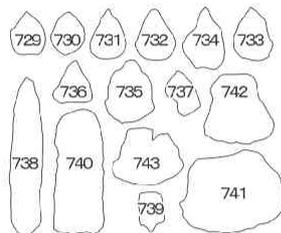
土偶



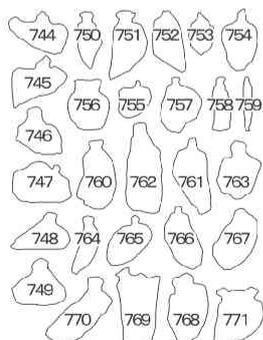
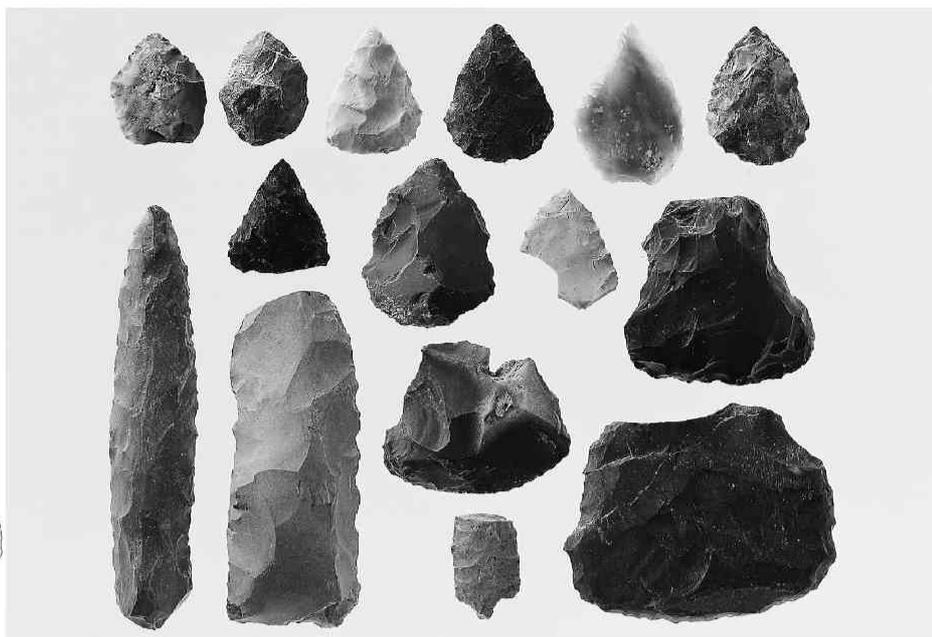
円盤状土製品



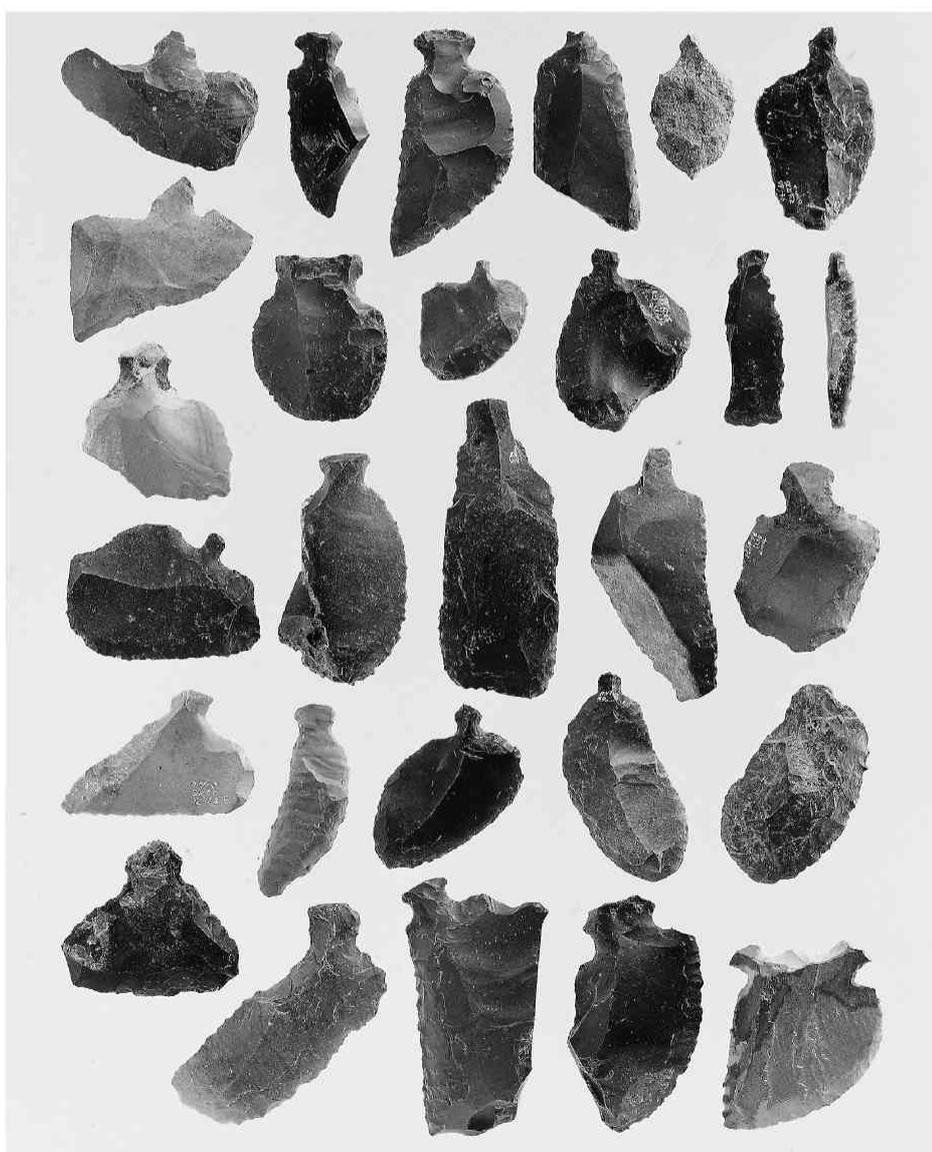
耳飾 (568) スタンプ状土製品 (569) 土錘 (570) そのほかの土製品 (571~573)

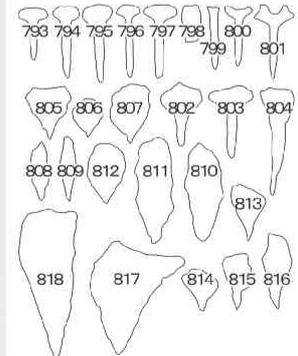
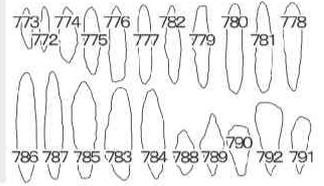


尖頭器 有舌尖頭器
石篔 搔器

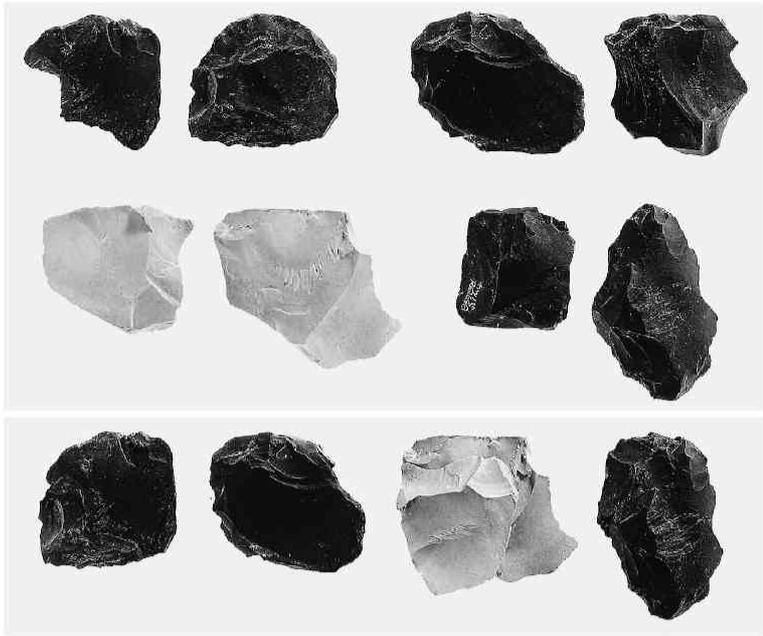


石匙





石錐



819 820 821 822
823 824 825 826

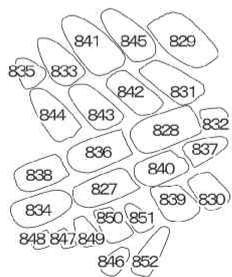
819+820 821+822 823+824 825+826

接合資料



860
861
859 865 862
856 864 858 853
857 863
867 866 854
855

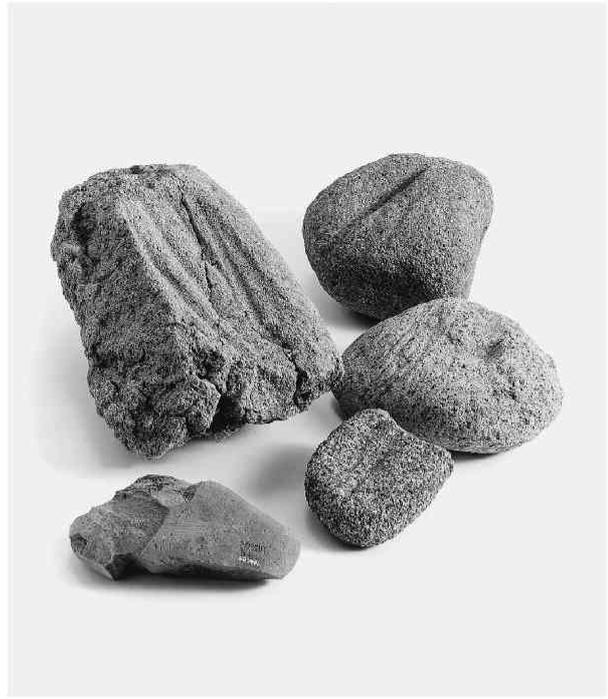
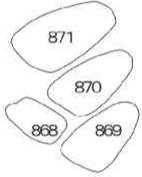
石錘



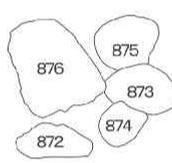
磨製石斧



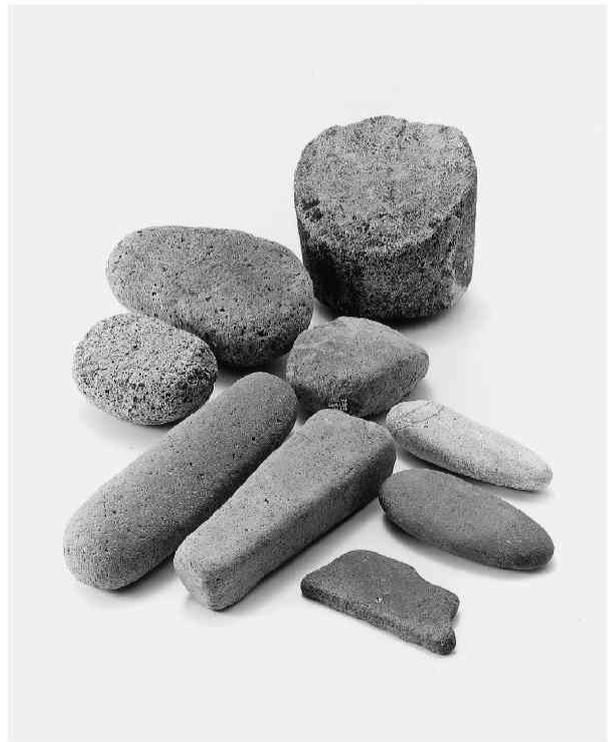
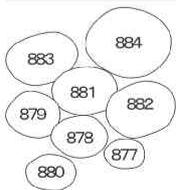
浮子



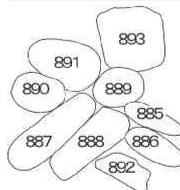
砥石

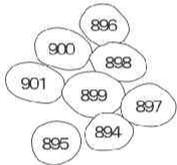


磨石

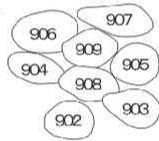


磨石

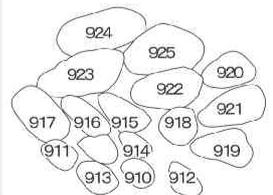




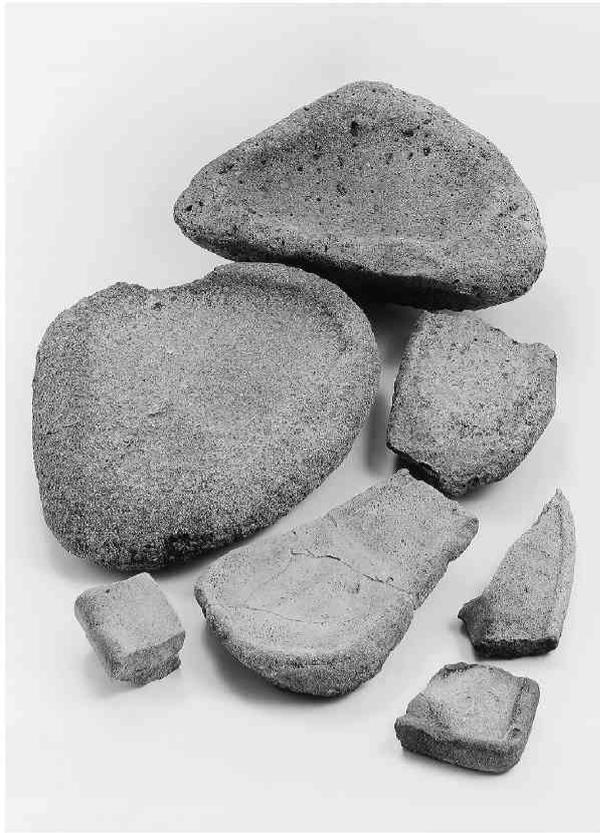
凹石



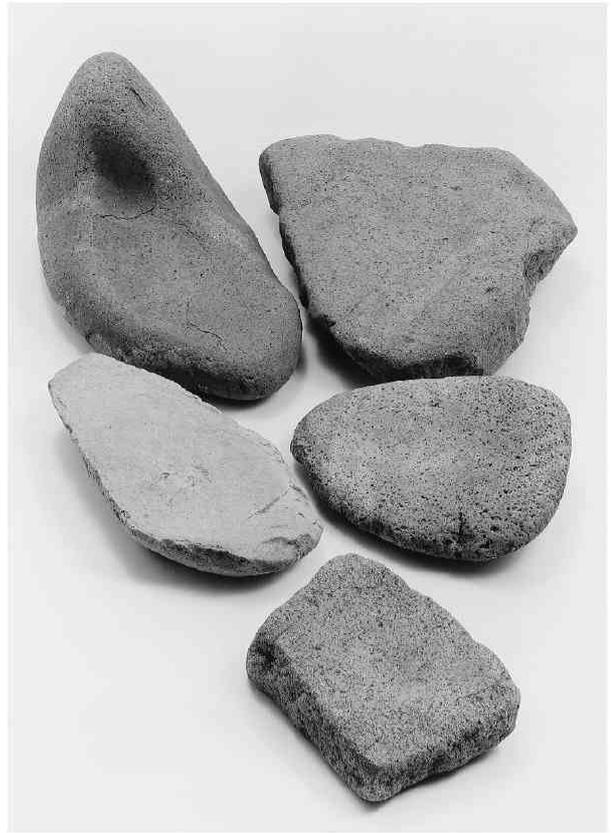
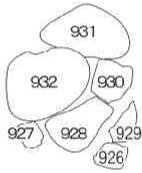
凹石



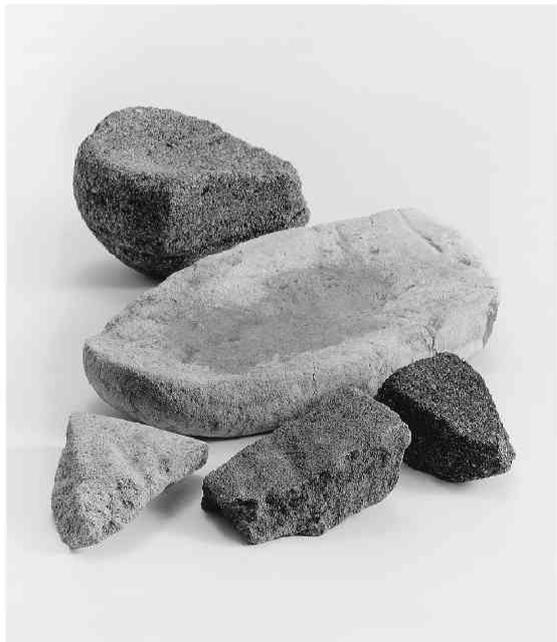
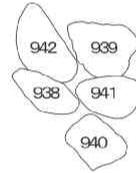
凹石



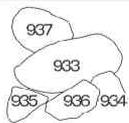
石皿



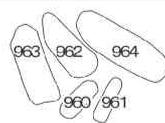
石皿



石皿



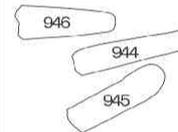
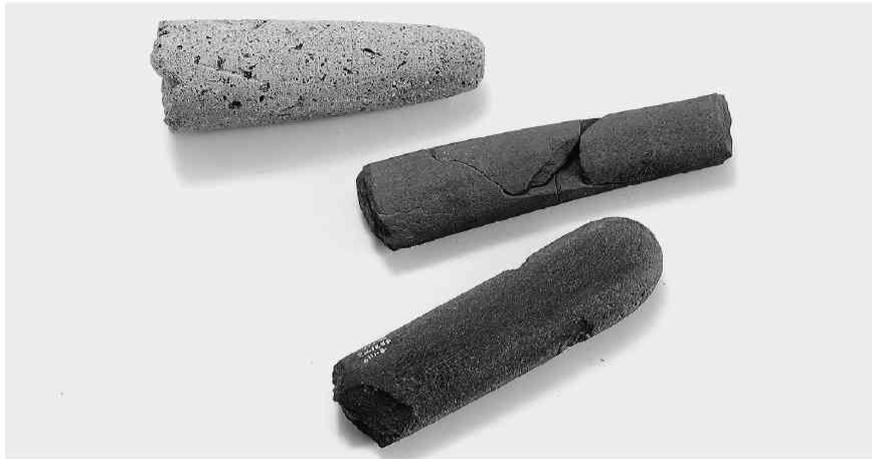
棒状自然礫



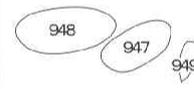
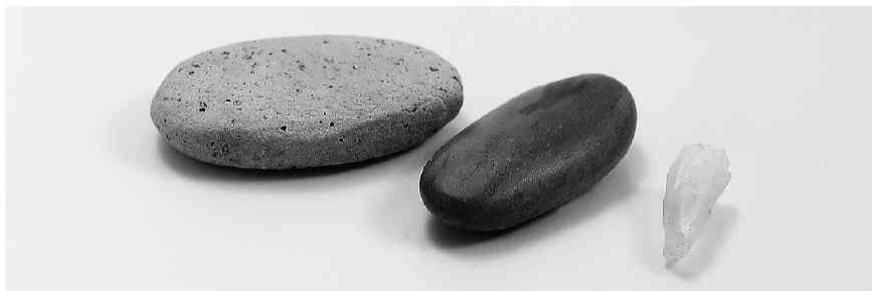


943

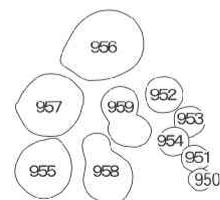
線刻磔



石棒 (946)
石刀 (944)
石剣 (945)



水晶 (949)
そのほかの石製品 (947・948)



球状自然石

報告書抄録

ふりがな	かっぱいせきはつくつちようさほうこくしょ							
書名	かっぱ遺跡発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	山形県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第114集							
編著者名	水戸部秀樹							
編集機関	財団法人山形県埋蔵文化財センター							
所在地	〒999-3161 山形県上市市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301							
発行年月日	2003年3月28日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かっぱ遺跡	やまがたけん 山形県 もがみぐん 最上郡 もがみまち 最上町 おおあざとみざわ 大字富沢 あざかっぱ 字合羽	6209	923	38度 44分 55秒	140度 32分 57秒	20000508) 20000823	6,000	中山間地 域総合整 備事業 (立小路 地区)
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
集落跡	縄文時代 (中期・後期)	竪穴住居 掘立柱建物 配石遺構 土坑 柱穴 旧河道		縄文土器 土製品 石器 石製品		縄文時代後期の掘 立柱建物は県内初 の出土。 (総出土箱数:467)		

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第114集

かっぱ遺跡発掘調査報告書

2003年3月28日発行

発行 財団法人 山形県埋蔵文化財センター
〒999-3161 山形県上市市弁天二丁目15番1号
電話 023-672-5301

印刷 大場印刷株式会社
〒990-2251 山形県山形市立谷川二丁目485-2
電話 023-686-6155



付図 遺構実測図
 山形県埋蔵文化財センター調査報告書第114集
 かつば遺跡発掘調査報告書
 2003年3月28日発行
 財団法人山形県埋蔵文化財センター